

## まえがき

このたびは、BYD の車をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。BYD の車を正しくご利用いただき、正しくメンテナンスするために、ご利用の前に必ず本マニュアルのすべての内容をよくお読みください。

特別説明:BYD は、純正部品を使用し、マニュアルにしたがって正しく利用、メンテナンス、整備することをおすすめしています。非純正部品への交換や車の改造を行うと、車両の性能、特に安全性や耐久性に影響を与えるおそれがあります。それにより発生した車の破損および性能上の不具合は品質保証対象外となります。また、車の改造は、国の法規や地方条例に違反する場合があります。

よりよいサービスをお届けするために、皆さまからの貴重なご意見やアドバイスをいただけましたら幸いです。そのためにも必ず正しい連絡先情報をご提供ください。また、変更がある場合は早めに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡し、システム上の情報更新を依頼してください。同時に、国の関係法規および地方条例に常にご関心をお寄せいただき、できるだけ早く車両登録をしていただきますようお願い申し上げます。そうされませんと、車両登録ができなくなるおそれがあります。

本マニュアルに「アドバイス」、「注意」および「警告」が記載されているところは、怪我や破損が発生しないように記載内容をお守りください。シンボルマークの表示や使い方は、次の通りです。

### アドバイス

メンテナンスなどを容易にするために守らなければならない事項

### 注意

車両の損傷を避けるために守らなければならない事項

### 警告

身の安全を守るために守らなければならない事項



左図に示す禁止マークは、「このようなことをしてはいけません」、または「このようなことを起こしてはいけません」を意味します。

---

本マニュアルに\*記号が付いている内容は、一部の車種にのみ適用され、それが搭載されていることを表しています。使われているイラストは代表例です。お買い上げの車と異なる場合は、実車を参考にしてください。

本マニュアルは、製品を正しくお使いいただくためのものであり、本製品の仕様およびソフトウェアバージョンに関する説明を表すものではありません。製品仕様やソフトウェアバージョンについては、本製品に関する契約書(もしあれば)を参照していただくか、製品をお買い上げいただいた販売店までお問い合わせください。

環境を守ることは、一人ひとりの責任です。この車を正しくご利用いただき、また、関係の法規にしたがって、廃棄物やリサイクル材料を処分してください。

**著作権は、BYD に帰属します。**

**BYD から書面による許可を得ずに、本マニュアルの一部、または全部の内容を転載、複製することを禁じます。**

**本マニュアルを複製する場合は、必ずその責任を追及します。**

## モデル概要

BYD ATTO 3 は、新しいパワートレインを搭載した純電気乗用車で、BYD が総力を結集したエコプロダクツです。ボディはモノコック構造を採用。車両前後のメンバーと左右のサイドメンバーを有し、床下のブレードバッテリーはボディと一体化しているため、バッテリーと車両双方の安全性を確保しています。

ATTO 3 は、それぞれのモードにおいて、すべてモーターで駆動するために、環境保全においてゼロエミッションを確実に達成しています。

車が電気によって駆動されるため、車内、車外の音が極めて小さく、ガソリン車とは比べものにならない運転環境、乗り心地のよさをユーザーにお届けします。

車両設計では、高電圧システムの安全性が十分に考慮されているため、衝突事故から乗員の安全を守ります。

バッテリーマネジメントシステムは、常にパワーバッテリーをモニタリングしています。バッテリーのセル毎の電圧や電流などの各性能指標に基づいて、過充電や過放電およびオーバーヒートなどのバッテリー性能に影響をおよぼす一連の問題がないようにバッテリーの出力を調整し、バッテリーが常に正常に機能していることを確保します。

150kW のモーターが ATTO 3 に高回転、高トルクを与えているため、発進加速能力が高められています。

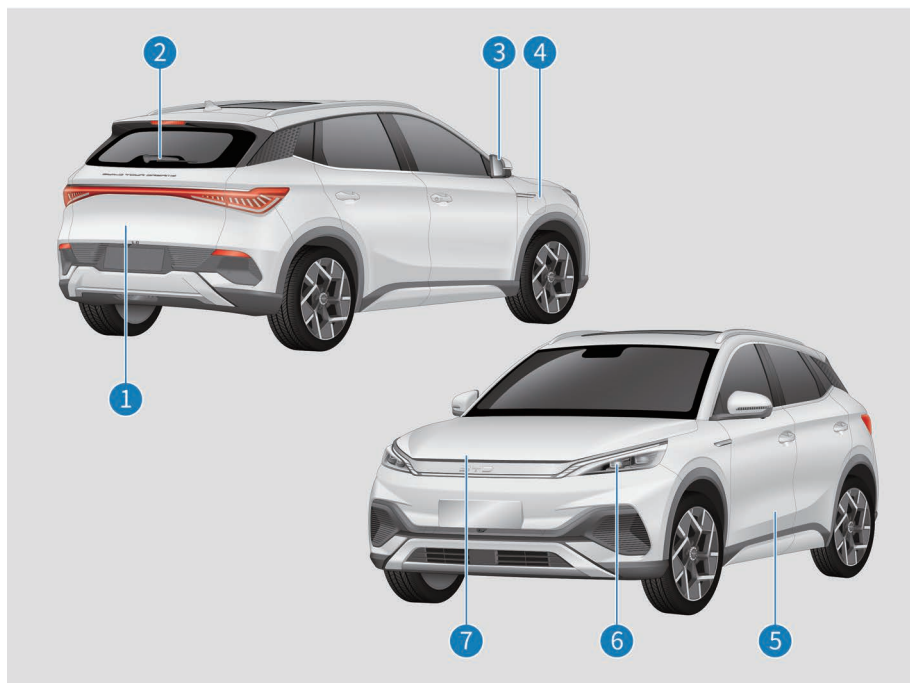
	イラスト目次	イラストで検索します
1	安全	本章の内容を一通りお読みください
2	コンビネーション メーター	メーター、各種警告灯および表示灯などの見方 について
3	コントローラーの 操作	ドアとウィンドウの開閉、運転開始前の調節な どについて
4	使用および運転	運転時の必要操作およびアドバイスについて
5	車内装置	車内装置などの使い方について
6	お手入れと メンテナンス	車のお手入れおよびメンテナンス手順につい て
7	故障が発生したとき	故障が発生したとき、または緊急時の対応策に ついて
8	車両仕様	車両仕様および指示メッセージについて
	さくいん	さくいん

まえがき .....	1	チャイルドロック .....	77
モデル概要 .....	3	<b>3-2 シート</b> .....	<b>78</b>
<b>1 安全</b>		シートについて .....	78
<b>1-1 シートベルト</b> .....	<b>16</b>	フロントシートの調節 .....	79
シートベルトについて .....	16	リアシートの収納 .....	80
シートベルトを着用するとき .....	18	ヘッドレスト .....	81
<b>1-2 エアバッグ</b> .....	<b>22</b>	<b>3-3 ステアリングホイール</b> .....	<b>82</b>
エアバッグについて .....	22	ステアリングホイール .....	82
運転席および助手席エアバッグ .....	24	<b>3-4 スイッチ</b> .....	<b>88</b>
前席サイドエアバッグ .....	25	ライトスイッチ .....	88
サイドカーテンエアバッグ .....	26	ワイパースイッチ .....	94
エアバッグの作動条件 .....	27	走行距離切替スイッチ .....	100
<b>1-3 幼児用補助装置</b> .....	<b>33</b>	運転支援スイッチユニット .....	101
幼児用補助装置 (チャイルドシート) .....	33	助手席側ウィンドウスイッチ .....	101
<b>1-4 イモビライザー</b> .....	<b>38</b>	ハザードランプスイッチ .....	102
イモビライザー .....	38	モードスイッチユニット .....	102
<b>1-5 データの収集および処理</b> .....	<b>39</b>	E-Call .....	104
データの収集および処理 .....	39	サンルーフスイッチ .....	105
		ルームランプスイッチ .....	108
<b>2 コンビネーションメーター</b>		<b>4 使用および運転</b>	
<b>2-1 コンビネーションメーター</b> .....	<b>46</b>	<b>4-1 充電 / 放電について</b> .....	<b>111</b>
コンビネーションメーター .....		充電について .....	111
イメージ .....	46	充電方法 .....	117
メーター表示灯 .....	47	外部給電方法 * .....	125
<b>3 コントローラーの操作</b>		充電ポート盗難防止 .....	
<b>3-1 ドアおよびキー</b> .....	<b>60</b>	ロック機能 .....	128
キーについて .....	60	航続可能距離の表示 * .....	129
ドアの施錠 / 解錠 .....	64	回生ブレーキの設定 .....	130
スマートエントリー & スタートシステム .....	75	<b>4-2 バッテリー</b> .....	<b>131</b>
		パワーバッテリー .....	131
		起動バッテリー (12V) .....	134
		<b>4-3 ご利用要領</b> .....	<b>136</b>

慣らし運転期間	136	<b>4-6 他の主要機能について</b>	<b>197</b>
トレーラーのけん引	136	ルームミラー	197
安全運転上のご注意	136	電動ドアミラー	198
車のご利用についての アドバイス	137	ワイパー	199
電気の省エネで車を 長持ちさせる方法について	138	ドライブレコーダー*	200
荷物の積み込み	140	<b>5 車内装置</b>	
冠水路の走行	141	<b>5-1 空調システム</b>	<b>205</b>
火災の予防	143	エアコンパネルイメージ	205
タイヤチェーン	145	エアコン操作画面	205
<b>4-4 始動および運転</b>	<b>146</b>	機能定義	208
車の始動	146	吹き出し口	213
車の運転	148	空気清浄システム*	214
シフト機構	149	クラウドサービス APP での エアコン操作	216
電動パーキングブレーキ (EPB)	151	<b>5-2 小物入れ</b>	<b>217</b>
オートビークルホールド (AVH)	154	ドアポケット	217
運転要領	156	グローブボックス	217
<b>4-5 運転支援機能</b>	<b>159</b>	センターコンソール ボックス	218
アダプティブクルーズコントロール (ACC) システム*	159	シートバックポケット	218
予測緊急ブレーキシステム	165	カップホルダー	218
交通標識認識システム	169	<b>5-3 その他の装置</b>	<b>220</b>
レーンサポートシステム*	171	サンバイザー	220
ナビゲーションパイロット*	174	アシストグリップ	220
ブラインドスポット インフォメーション*	176	USB ポート	221
タイヤ空気圧モニタリング	179	12V アクセサリー電源	221
BYD アラウンドビュー システム*	182	ワイヤレス充電エリア	222
駐車支援システム	185	リアシェルフ*	224
安全運転支援システム	190	カーペット	225
車両接近通報装置 (AVAS)	196	<b>5-4 マルチメディアシステム</b>	<b>226</b>
		マルチメディアコントロール パネル PAD	226
		ナビゲーションバー	228



■ 車外

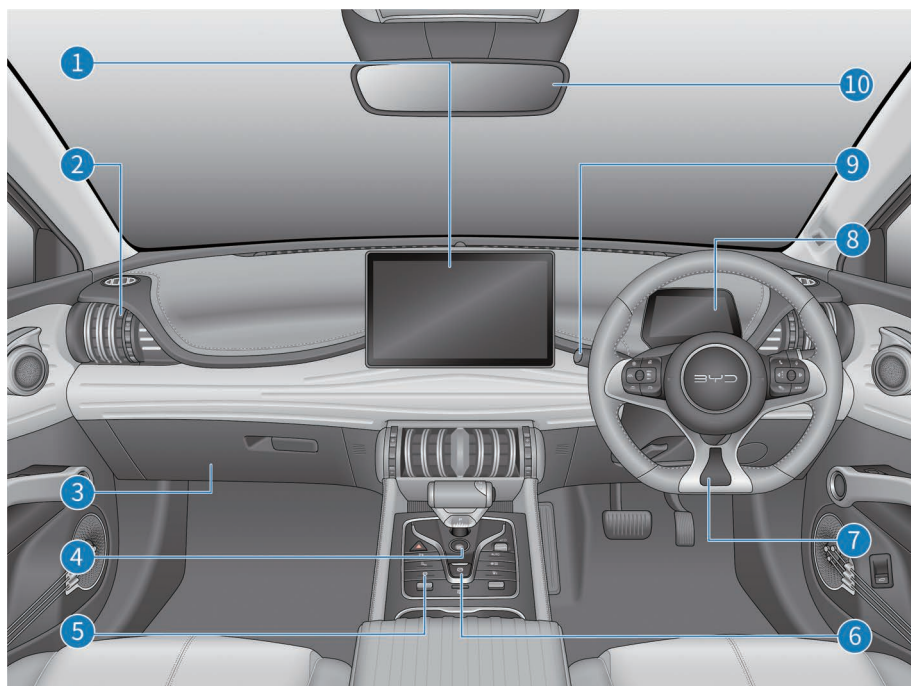


①	テールゲートの解錠・施錠……………	P 70
	荷物の積み込み……………	P 140
	車載工具……………	P 278
②	リアワイパー……………	P 199
③	ドアミラーの調節……………	P 198
④	家庭用 AC 普通充電での充電 ……	P 117
	AC 充電スタンドでの充電 ……	P 121
	DC 急速充電器での充電 ……	P 123
	外部給電……………	P 125



5	ドア	P 64
6	コンビネーションランプ	P 88
7	ボンネットの開け方	P 257
	冷却水	P 258
	ブレーキフルード	P 259
	モータールームの配電ボックス	P 267

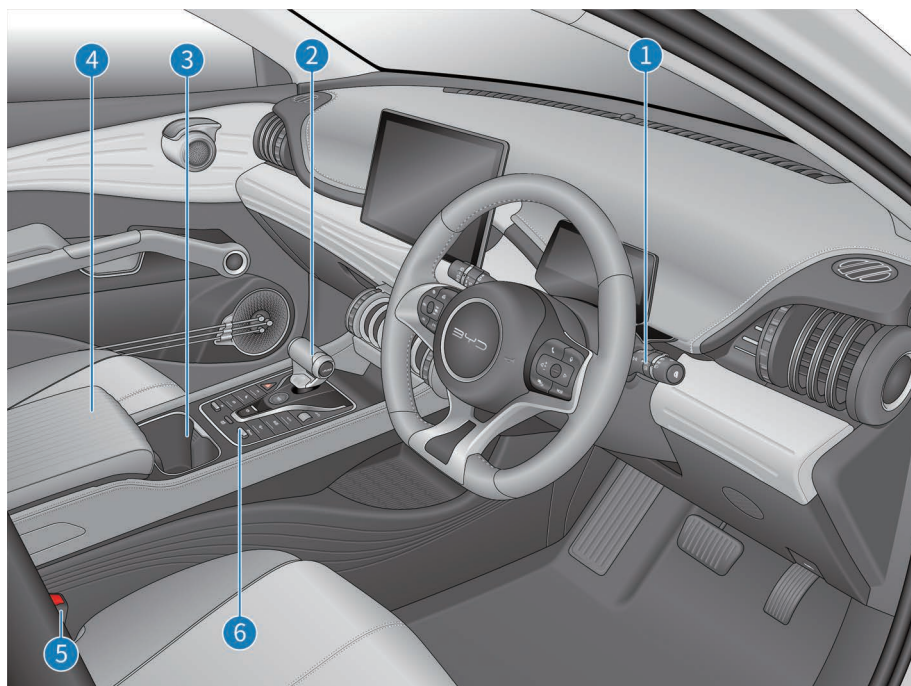
■ インストルメントパネル



①	マルチメディアコントロールパネル PAD .....	P 226
	エアコン設定画面 .....	P 205
	エアコン機能定義 .....	P 208
②	エアコンの吹き出し口 .....	P 213
③	グローブボックス .....	P 217
④	スタート/ストップボタン .....	P 146
⑤	オートビークルホールド (AVH) .....	P 154
⑥	電動パーキングブレーキスイッチ .....	P 151

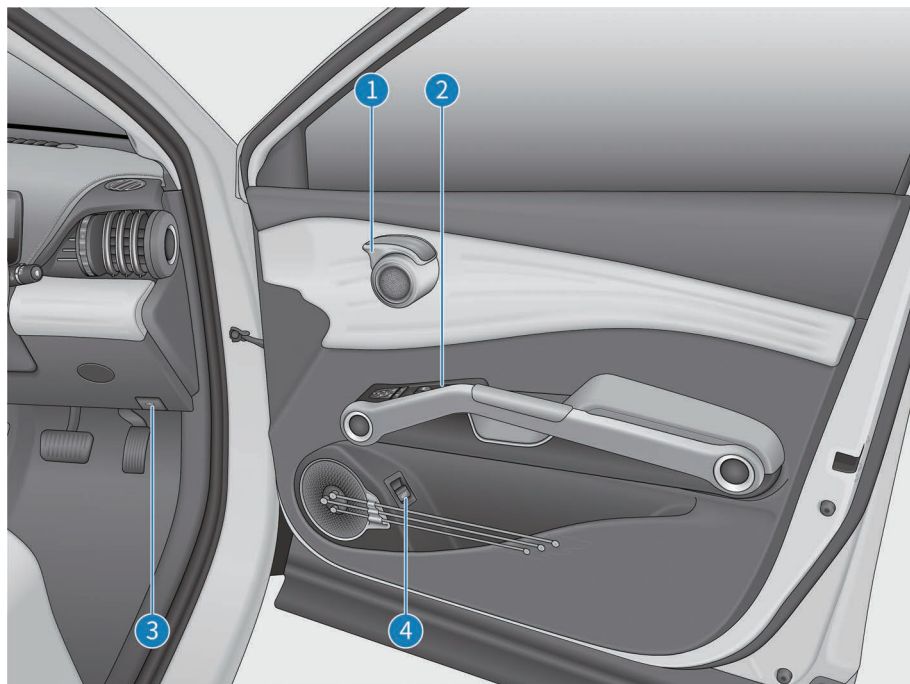
- 7 ステアリングホイールの調節…………… P 87  
ステアリングホイールコンビネーションスイッチ…………… P 82
- 8 コンビネーションメーター…………… P 46
- 9 フロントワイパーおよびウォッシャー…………… P 94  
リアワイパーおよびウォッシャー…………… P 95
- 10 ルームミラー…………… P 197

■ センターコンソール



- ① ライト調節スイッチ…………… P 88
- ② シフト機構…………… P 149
- ③ カップホルダー…………… P 218
- ④ センターコンソールボックス…………… P 218
- ⑤ シートベルトを着用するとき…………… P 18
- ⑥ モードスイッチユニット…………… P 102

## ■ ドア



- ① ノブ操作でドアを開けるとき…………… P 64
- ② パワーウィンドウスイッチ…………… P 96  
ウィンドウロックキー…………… P 99  
集中ドアロック…………… P 99  
ドアミラーの調節…………… P 198
- ③ ボンネットリリースレバー…………… P 257
- ④ テールゲートの解錠・施錠…………… P 70



<b>1-1 シートベルト</b> .....	<b>16</b>
シートベルトについて .....	16
シートベルトを着用するとき .....	18
<b>1-2 エアバッグ</b> .....	<b>22</b>
エアバッグについて .....	22
運転席および	
助手席エアバッグ .....	24
前席サイドエアバッグ .....	25
サイドカーテンエアバッグ .....	26
エアバッグの作動条件 .....	27
<b>1-3 幼児用補助装置</b> .....	<b>33</b>
幼児用補助装置	
(チャイルドシート) .....	33
<b>1-4 イモビライザー</b> .....	<b>38</b>
イモビライザー .....	38
<b>1-5 データの収集および処理</b> .....	<b>39</b>
データの収集および処理 .....	39

## シートベルトについて

急ブレーキ、急ハンドル、衝突の際にシートベルトを正しく使用することで、乗員の死傷者数を大幅に減らすことが研究により明らかになっています。以下をよくお読みになり、厳守してください。

### 警告

- 車の走行中は、常にシートベルトを着用してください。
- 事故による傷害または重傷を起こさないように、BYD は、ドライバーと乗員全員がいつでもシートベルトの着用を徹底するようお願いしています。
- 車を発進させる前に、乗員全員が確実にシートベルトを締めていることを確認してください。シートベルトを締めていないと、急ブレーキ時や衝突事故時に、乗員の生命にかかわる重大な傷害を負うおそれがあります。
- 車のシートベルトは、大人のサイズに合わせて設計されており、お子様向けではないため、お子様の年齢や体格にあった、適切な幼児用補助装置（チャイルドシート）を選定してください（詳細は[幼児用補助装置（チャイルドシート）](#)の区分をご参照ください）。
- また、お子様を必ずリアシートに乗せてシートベルトを確実に締めてください。事故の統計データによると、お子様をリアシートに乗せて幼児用補助装置を正しく使用する場合は、フロントシートに座らせるときより安全性が高くなります。
- お子様リアシートに立つ、またはひざまずくことがないようにしてください。緊急ブレーキ時や衝突発生時に、幼児用補助装置を利用していないお子様は、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。緊急ブレーキ時や衝突発生時にお子様が確実に守られるように、お子様を膝の上に乗せないでください。
- シートベルトの破損または異常がある場合は、ただちに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に点検や処置を依頼してください。それまでは該当シートを使用しないでください。



## シートベルトの緊急ロック機能

- 急ハンドル、緊急ブレーキ、衝突があったとき、または乗員の身体が勢いよく前へ傾いたとき、シートベルトは自動的にロックされ、乗員への有効な拘束と保護が可能になります。
- 車がスムーズに走行しているときは、シートベルトは乗員の動きに合わせて伸縮しますので、身体の動きへの支障はありません。
- シートベルトの引き出し方が速く、シートベルトがロックされた場合は、シートベルトを少し巻き戻してから、ゆっくり引っ張り出すと、シートベルトをスムーズに引き出すことができます。

## シートベルトのプリテンション / ロードリミット機能\*

重大な正面衝突事故が発生し、プリテンショナーの作動条件が揃ったとき、プリテンショナーは、シートベルトの緩みを瞬時に巻き取ってロックし、乗員の身体を拘束します。ロードリミッターは、シートベルトの乗員への過度にかかる負荷を回避するため拘束力を一定レベルに保ち、拘束力の強さにより乗員にかかる衝撃を緩和させます。

### 警告

- プリテンショナーの部品や配線を修理したり、テスターを使用してシステム回路を検査したりしないでください。誤作動を起こし、正常な作動をしなくなるおそれがあります。

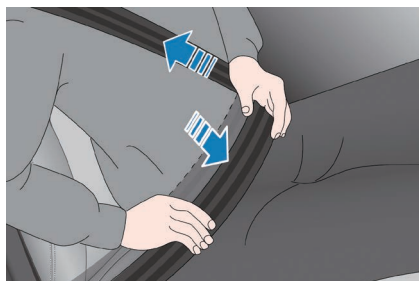
## シートベルトを着用するとき

1. シートを適切な位置に、シートバックを適切な角度に調節します。（詳細は[電動フロントシートの調節\\*](#)を参照してください）

2. 3点式シートベルトの位置を調節します。

■ 正しい運転姿勢でシートベルトのストラップをゆっくり引っ張り出し、肩部から胸骨を通るように着用します。シートベルトは、脇の下や首の後部にかからないようにしてください。

■ 腰ベルトは、腰部を押さえず、できる限り骨盤部を通るように着用してください。



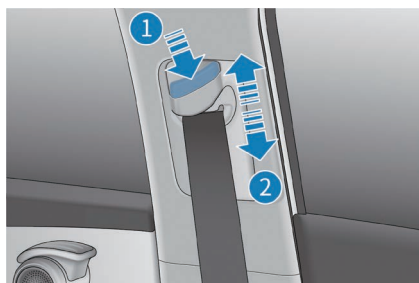
3. タングプレートをバックルに「カチッ」と音がするまで挿し込んでから、反対方向にタングプレートを引っ張り、確実にロックできたかを確認します。シートベルトにねじれがないように注意してください。



4. シートベルトのアンカーアジャスター（前側）を調節して、適切な位置にします。

① シートベルトのアンカーアジャスターのリリースボタンを押します。

② シートベルトのアンカーアジャスターを上下に動かし、フロントシートのシートベルトを適切な高さまで調節してから、アンカーアジャスターから手を離します。



5. 調節ができた後、肩ベルトを強く引っ張り、アンカーアジャスターがロックできるかをチェックします。

6. シートベルトのロックを解除します。

- バックルの赤い解除ボタンを押すと、タンブプレートが外れ、シートベルトが戻ります。
- シートベルトがスムーズに戻らない場合は、それを引っ張り出し、ねじれがないかをチェックしてください。



### 警告

- 肩ベルトは、肩の真ん中を通さなければいけません。シートベルトは首から遠く離し、かつ肩から簡単に外れないようにしてください。そうしないと、シートベルトが急ブレーキ時や事故時に十分に機能せず、乗員への重大な傷害につながるおそれがあります。
- 事故時に、お腹にベルトがかかったことによる乗員への傷害を避けるため、腰ベルトを骨盤部のできるだけ低い位置にかけなければいけません。
- シートベルトは、保護機能がより発揮できるように、身体に密着させなければいけません。身体とシートベルトの間にもものを挟まないでください。
- ベルトはねじれたままで着用しないでください。ねじれによりベルトの幅が狭くなり、事故のときに衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。
- シートベルトは1人用です。お子様も含め、2人以上で1本のシートベルトを使ってはいけません。
- シートバックの倒しすぎがないようにしてください。シートバックが直立している場合に、シートベルトの保護機能を十分に発揮することができます。
- シートベルト、タンブプレート、バックルは、ドアや後部席シートバックに挟まれることがないようにしてください。シートベルトが破損するおそれがあります。
- シートベルトを定期的に点検してください。切れ、摩耗、緩みなどの異常がないかを点検します。異常がある場合は、ただちにBYD正規ディーラーまたはBYD指定サービス工場にチェックや処置を依頼してください。それまでは該当シートを使用しないでください。
- シートベルトの取り外し、分解、改造を絶対にしないでください。
- 事故が発生した後は、BYD正規ディーラーまたはBYD指定サービス工場でのシートベルトの点検を推奨します。プリテンション機能が作動した場合は、シートベルトを交換してください。

**▲ 警告**

- 重大な事故が発生した場合は、明らかな損傷がなくても、シートアッセンブリと一緒にシートベルトを交換し、エアバッグシステムを十分に点検してください。
- 廃車にするときや、プリテンショナー、シートベルトを廃棄するときは、必ず BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場へご相談ください。
- 妊娠中の方も他の乗員と同じようにシートベルトを正しく着用してください。事故が発生したとき、お腹にベルトがかかったことによる本人や胎児への重大な傷害を起こさないように、腰ベルトを骨盤部のできるだけ低い位置にかけるように注意してください。
- リアシートのシートベルトの付け方はフロントシートと同じです。リアシートのシートベルトが保護機能を確実に発揮できるように、タンクプレートを対応するバックルに確実に挿し込んでください。ドライバーには、乗員にシートベルトを正しく着用させる責任があります。
- タングプレートとバックルを確実に結合させるために、バックルには、コイン、クリップまたは他の異物を入れないでください。

**シートベルトリマインダー**

車を始動させた後、ドライバーまたは乗員がシートベルトを着用していない場合、着用するまで音声・視覚警告システムが作動します。

**■ シートベルト非着用警告灯**

どの位置のシートベルトも使われていないとき、シートベルト非着用警告灯が点滅します。

**■ 非着用座席の表示**

シートベルトが使われていない座席の表示灯が点灯します。

**■ 電源ポジションを「OK」にしたとき、運転席シートベルトが使われていない、または乗員がシートベルトを着用していない場合、シートベルト非着用警告灯が点灯し、該当座席の表示灯も点灯します。**

走行中もシートベルトが着用されていない場合、シートベルト非着用表示灯は点灯すると同時に、警告音を鳴らし、ドライバーや乗員に注意喚起します。

**■ ドライバーまたは乗員がシートベルト\*を締めると、シートベルト非着用警告灯は消灯し、該当座席の表示灯もすべて消灯します。**

**⚠ 警告**

- エアバッグ故障警告灯が点灯しているときは走行しないでください。電源ポジションを「ON」にすると点灯し、システムチェック後に消灯となるため、必ず消灯してから走行してください。
- 助手席やリアシートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して、警告灯が点灯することがあります。

**ℹ アドバイス**

- 上記機能の異常または故障がある場合は、ただちにBYD正規ディーラーまたはBYD指定サービス工場まで連絡し、機能が取り戻されるまでは、該当シートを使用しないでください。
- 走行中、乗員はシートに座り、シートベルトを確実に着用しなければいけません。着用しないと、急ブレーキ時や衝突事故時に、乗員の生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。

## エアバッグについて

- エアバッグシステムは補助拘束装置の一部で、シートやシートベルトの働きを補助します。大きな衝突事故が発生し、システムの作動する条件が揃うと、エアバッグは瞬時に膨張し、シートベルトと併用することでドライバーや乗員の頭部と胸部などを更に保護し、負傷や死亡の確率を軽減させます。
- エアバッグシステムは、衝突の種類によって、フロントエアバッグとサイドエアバッグに大別されます。フロントエアバッグには、運転席エアバッグ、助手席エアバッグがあり、サイドエアバッグには、フロントシートのサイドエアバッグとサイドカーテンエアバッグがあります。
- エアバッグシステムはシートベルトに取って代わるものではなく、パッシブセーフティシステムの構成部分です。シートベルトが確実に締められていなければ、エアバッグシステムは、保護機能を最大限に発揮することができません。

### MCB (マルチコリジョンブレーキ) 機能

- 車が衝突した後、MCB 機能が作動し、車の二次衝突を回避します。
- 最初の衝突でドライバーが正しく判断できない場合、システムはエアバッグコントロールユニットの衝突パターンに応じ、MCB 機能を作動させます。車の勢いを緩和させ、速度を落とし、停車させることで、二次衝突発生時の破損度合いを軽減させ、また周囲の車両の巻き込みを防止します。

### 警告

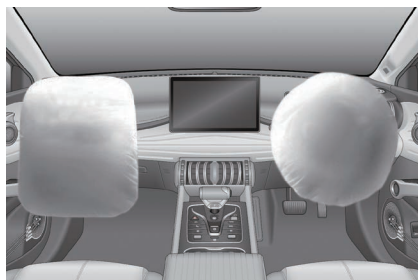
- シートベルトとエアバッグシステムの保護機能を最大限に発揮できるように正しい姿勢でシートベルトを着用してください。
- エアバッグの部品を取り外さないでください。
- BYD が装着を認めていないシートカバーでは、エアバッグ性能の低下につながったり、乗員に思わぬ傷害をおよぼすおそれがあります。サイドエアバッグと乗員との間には、絶対にものを置かないでください。
- サイドエアバッグが搭載されているシートの側面には、大きな力を加えないでください。
- 衝突が発生した後、エアバッグモジュールが膨張せず、プリテンションシートベルトがロックされなくても、乗員を思わぬ膨張から保護するため、エアバッグコントロールユニットは暗号化されることがあります。BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場でチェックするようにおすすめします。

**▲ 警告 (続き)**

- エアバッグ故障警告灯で下記状況のいずれかが発生した場合は、警告灯システムで監視している対象部品が故障していることを表します。走行をやめて、早めにBYD 正規ディーラーまたはBYD 指定サービス工場に連絡し、車の点検を依頼するようおすすめします。
- 電源ポジションを「OK」にしたとき、警告灯が点灯しない、または点灯し続ける。
  - 運転中に警告灯が点灯する。

## 運転席および助手席エアバッグ

車には運転席エアバッグと助手席エアバッグが搭載されています。走行中、エアバッグシステムの電子コントロールユニット（ECU）が中程度から重度の正面衝突を感知し、エアバッグを作動させる条件が揃うと、エアバッグは瞬間的に膨らみ、上体への衝撃を軽減します。



### フロントエアバッグの作動プロセス

- 中程度から重度の正面衝突が発生すると、センサーは、車の急激な減速を検知して、コントロールユニットに信号を発信し、フロントエアバッグを瞬時に膨張させます。
- 正面衝突が発生したとき、シートベルトが乗員の下半身と胴体を拘束します。エアバッグは、エアクッションに相当するもので、頭部や胸部の拘束や保護をアシストします。
- 衝突の強さがエアバッグ作動のしきい値に達しない場合、シートベルトが主な保護機能を発揮します。エアバッグは、最小限の補助保護を提供します。
- フロントエアバッグは膨張するとすぐに収縮しますので、ドライバーの視線やステアリングホイールまたはその他の制御装置の操作を妨げることはありません。
- エアバッグは、千分の一秒以内に作動できるため、事故発生時にドライバーや乗員を更に保護することができます。
- エアバッグは、作動時に大きな音がしますが、通常人に傷害をおよぼすことはありません（耳鳴りまたは一時的な聴力障害を起こすことがありますが、すぐに回復します）。
- 衝突後、煙のようなものが見える場合があります。これは、エアバッグ表面の貼り付き防止の粉末です。この粉に毒性はありませんが、呼吸器疾患がある乗員は、一時的な不快感を覚える場合があります。



## 前席サイドエアバッグ

ご購入の車の左右のフロントシートにサイドエアバッグが搭載されている場合（図のようにこのエアバッグがフロントシートバックの外側に取り付けられ、2箇所とも「AIRBAG」の表示があります）。



- 走行中に発生した中程度から重度の側面衝突により、エアバッグの作動条件が揃うと、エアバッグは作動し、衝突を受けた側の乗員の胸部を保護し、怪我を軽減します。
- 側面衝突が発生したとき、通常衝突を受けた側のエアバッグのみ作動します。
- 助手席側が衝突された場合、シートには乗員が乗っていなくても、助手席側のエアバッグは作動します。
- シートサイドエアバッグの機能を最大限に発揮させるために、乗員はシートベルトを確実に着用し、正しい姿勢を保ったまま身体をシートバックに密着させなければなりません。

### サイドエアバッグが搭載されている車について

- シートバックを濡らさないでください。雨または水しぶきでシートバックが濡れた場合、サイドエアバッグシステムは正常に動作できなくなるおそれがあります。
- 絶対にシートバックにカバーをかけたり、自分でシートバックのカバーを交換したりしないでください。不適切なシートバックカバーの交換または不適切なカバーの使用は、衝突が発生したとき、サイドエアバッグの作動を妨げる可能性があります。

## サイドカーテンエアバッグ

- 図のように、ご購入の車には、左右サイドカーテンエアバッグが搭載されています（ボディーサイドとヘッドライニングとの結合部に内蔵され、Aピラーパネル、Bピラーパネル、Cピラーパネルのいずれにも「CURTAIN AIRBAG」との表示が付いています）。
- ECUが中程度から重度の側面衝突を検知した信号を受けて、サイドカーテンエアバッグの作動条件が揃うと、サイドカーテンエアバッグは、瞬時に膨らみ、衝突を受けた側の乗員の頭部を保護し、怪我を軽減します。
- 側面衝突が発生したとき、通常衝突を受けた側のエアバッグのみ作動します。
- サイドカーテンエアバッグの機能を最大限に発揮させるために、乗員はシートベルトを確実に着用し、正しい姿勢を保ったまま身体をシートバックに密着させなければなりません。



## エアバッグの作動条件

### エアバッグが作動するとき

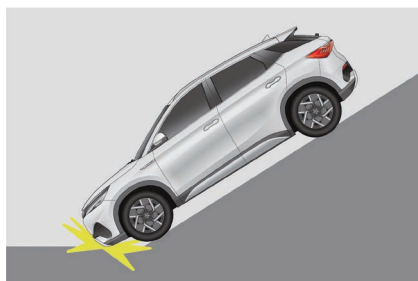
深い溝を通り、車の先端部が地面にぶつかったとき。



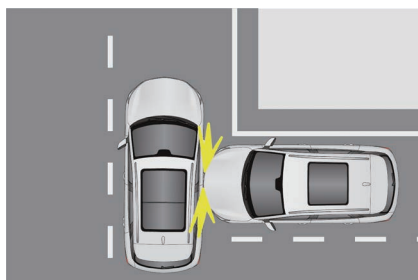
路肩の突起物、縁石などにぶつかったとき。



急な下り坂を走り、車の先端部が地面にぶつかったとき。



車両側面に他の車がぶつかったとき。

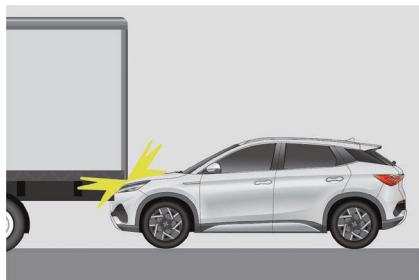


## エアバッグが作動しないとき

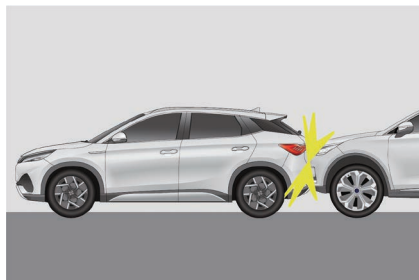
コンクリートの柱、樹木または他の細長いものにぶつかったとき。



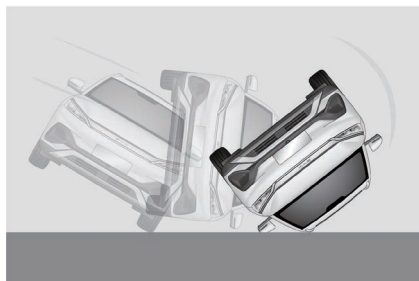
トラックの荷台の下に潜り込んだとき。



後方から追突されたとき。



車が横転したとき。



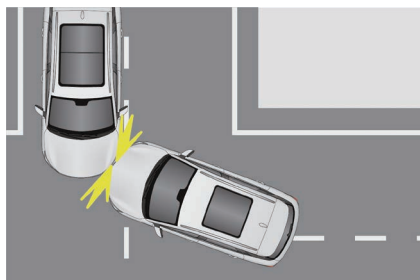
壁または車に斜めにぶつかったとき。



車室以外の部位で側面から衝突を受けたとき。



側面に斜め方向から衝突されたとき。



側面が柱のようなものに衝突したとき。




**▲ 警告**

- エアバッグは、指定車種を対象に開発されているもので、サスペンション、タイヤ寸法、バンパー、シャーシおよびオリジナルデバイスを変更すると、エアバッグシステムに悪影響をおよぼします。また、エアバッグシステムのどの部品も、他の車種に流用しないでください。エアバッグシステムが故障し、身体に危害をおよぼすおそれがあります。
- ドライバーの場合、当該システム作動時に自身を最も効果的に保護するには、胸部からステアリングホイールの間を 25cm 以上離してください。
- 走行中、シートベルトを確実に着用し、正しい姿勢を保ってください。シートベルトを着用せず、前かがみになるなど正しく着席していない場合、事故によるエアバッグの作動により、怪我をする危険性が高まります。
- ステアリングホイールキャップの表面、インストルメントパネル右側エアバッグ近くの表面、A、B、C ピラーパネルの表面に何かを貼り付けたり、何かで覆ったり、装飾を施したりしないでください。汚れは乾いた布、または水で湿らせた布で拭き取ってください。また、強く叩かないでください。
- お子様は補助装置なしで、または大人が抱いてフロントシートに座ることを禁止します。事故の発生でエアバッグが作動した場合は、生命にかかわる重大な怪我につながるおそれがあります。
- チャイルドシートは後席シートに取り付けてください。エアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- 助手席エアバッグの格納部に手や足を置いたり、顔や胸などを近づけないでください。お子様も近づかせないようにしてください。エアバッグ作動時に衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。
- スマホホルダー、コップ、灰皿などのアクセサリーは、エアバッグカバーの上またはエアバッグが機能する範囲内に取り付けしないでください。取り付けた場合、事故が発生しエアバッグが展開することで、怪我をする危険性が高まります。
- サイドカーテンエアバッグは、展開速度が速く、かつ衝撃力が強いいため、このエアバッグを搭載している車の走行中は、乗員はドアに寄りかかったりしないでください。寄りかかった場合、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
- ウィンドウガラス、ドアガラス、A ピラーパネル、ヘッドライニング、B ピラーパネル、C ピラーパネルおよびアシストグリップなど、サイドカーテンエアバッグが機能する範囲内にアクセサリーなどのものを置かないでください。サイドカーテンエアバッグの展開により、アクセサリーなどのものが強く飛ばされたり、サイドカーテンエアバッグが正常に展開できなくなることで、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。

**▲ 警告 (続き)**

- 車を譲渡する場合は、購入時に入手したすべての資料を新しいオーナーに渡してください。
- サイドカーテンエアバッグが内蔵されている A ピラーパネル、ヘッドライニング、B ピラーパネル、C ピラーパネルの分解や修理をしないでください。それらの分解や修理により、システムが機能できなくなり、またはサイドカーテンエアバッグが予期せず作動し、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
- エアバッグシステムのすべての構成部品は、関連ラベルを含め、いかなる変更もしないでください。エアバッグに対するすべての作業は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に依頼してください。
- 展開したエアバッグは部分的に熱くなっています。やけどをするおそれがありますので、熱がさめるまで触れないでください。
- エアバッグが作動するときは微粉末が放出されます。目や皮膚に付着したときは、完全に水で洗い流してください。
- 展開したエアバッグが破裂して怪我をすることがありますので、エアバッグモジュールの上に身体を載せないでください。
- エアバッグは、1 回限りの使い捨てです。エアバッグが作動、または破損したら、当該システムを交換しなければなりません。
- 車またはエアバッグシステムの各部品を廃棄処分する場合は、関係する安全規定および廃却処分手順を守ってください。
- エアバッグシステムは、その周りの電磁環境に対し強い耐干渉性と耐妨害性を有します。したがって、事故を防ぐため、国が許可した電磁環境以外で車を使わないでください。
- 一般的な誤操作や、道路状況を考慮しているエアバッグシステムとなっていますが、事故を防ぐために、車の底部をぶついたり、悪路での乱暴な運転をしないでください。
- ドアが壊れるぐらい強く閉めないでください。エアバッグが誤作動するおそれがあります。
- 十分な検証を受け、オリジナルワイヤーハーネスシステムとエアバッグシステムが完全にマッチングしているエアバッグシステムとなっていますので、車全体のワイヤーハーネスの改造や変更は、エアバッグの誤作動、または衝突発生時の不動作につながるおそれがあります。

下記のいずれかの場合は、ただちに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡してください。

- エアバッグが展開したとき。
- コンビネーションメーターのエアバッグ故障警告灯  が異常点灯しているとき。

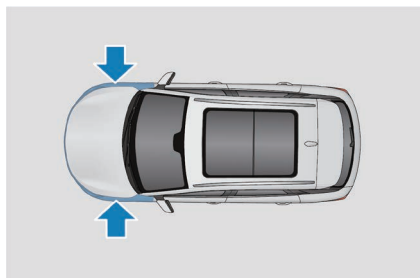
- このエアバッグシステムは、電子コントロールユニットによりモニタリングし、自己診断機能によりインストールパネルのエアバッグ故障警告灯でシステム状態を表示します。
- 車の電源ポジションを「OK」にした後、エアバッグ警告灯が約5秒間点灯し、次に5秒以上消灯してシステムに異常がないことを表します。
- エアバッグが無効になると、警告灯が常時点灯し、保護機能が提供できなくなります。

**下記のいずれかの場合は、当該エアバッグシステムが故障しています。**

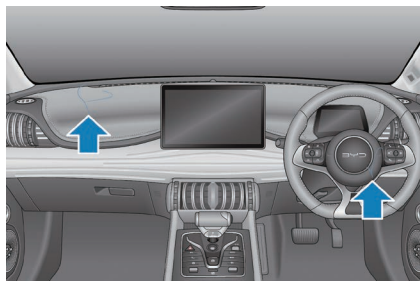
- 電源ポジションを「OK」にした後、警告灯が点灯しないとき。
- 電源ポジションを「OK」にしてから5秒後、警告灯が消灯しない、または消灯して再び点灯するとき。
- 電源ポジションを「OFF」にした後、警告灯が点灯するとき。

走行中に、警告灯が点灯、または点滅するとき。故障がある場合は、できるだけ早くBYD正規ディーラーまたはBYD指定サービス工場での点検、修理を行ってください。

- 車の前方（図の網掛け部）で衝突事故が発生したが、フロントエアバッグが展開していないとき。



- エアバッグカバーに、破れ、割れまたは他の破損があるとき。



- エアバッグの取り外し、分解、取り付け、修理を行う必要があるとき。



## 幼児用補助装置（チャイルドシート）

お子様の年齢や体格にあった、適切な幼児用補助装置を選定してください。

- お子様のために適切な幼児用補助装置（ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシート）を選定してください。お子様の身体が大きくて幼児用補助装置が使えない場合は、リアシートに座らせ、シートベルトを着用させてください。

幼児用補助装置を使わないとき

- 幼児用補助装置をシートに正しく固定してください。絶対に助手席やトランクルーム内に置かないでください。

### 警告

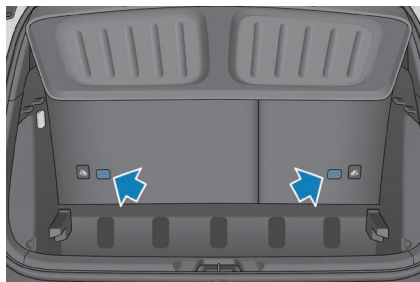
- 事故時や急ブレーキ時に、お子様を確実に守れるように、お子様の年齢や体格にあった、シートベルトまたは幼児用補助装置を使用しなければなりません。お子様を腕に抱くことは、幼児用補助装置の代わりにはなりません。事故が発生したとき、お子様は、ウィンドウガラスにぶつかったり、保護者と車の間に挟まれたりするおそれがあります。
- 幼児用補助装置メーカーの取扱説明書にしたがって幼児用補助装置を正しく取り付けてください。正しく取り付けていないと、緊急ブレーキ時や事故時に、お子様が生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- フロントシートに幼児用補助装置を取り付けしないでください。助手席に幼児用補助装置を後ろ向きに取り付けると、エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
- シートベルトが首や顔に当たり、適正な着用ができないお子様には、幼児用補助装置を使用してください。

### アドバイス

- BYD は幼児用補助装置の使用を強くおすすめします。研究によると、フロントシートに取り付ける場合より幼児用補助装置をリアシートに取り付ける方が安全性が高くなります。
- 幼児用補助装置メーカーが提供する取扱説明書にしたがい、幼児用補助装置を外側リアシートにしっかり固定してください。
- 幼児用補助装置を取り付けるとき、トップテザーを確実に固定してください。

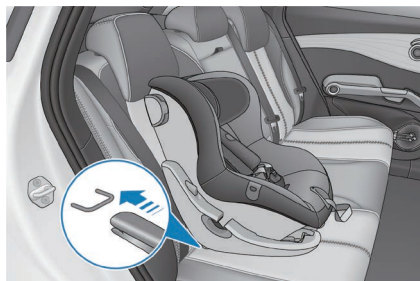
## 幼児用補助装置の取り付けについて

- 外側のリアシートには専用のアンカーが装備されています。(アンカー位置を表示するラベルはシートに付いています)
- リアシートバックの裏側にはアンカーが装備されています。



## 幼児用補助装置の取り付けについて

1. 専用アンカーの位置をチェックし、幼児用補助装置をシートに取り付けます。



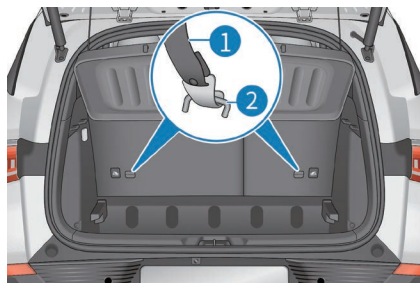
## **i** アドバイス

- アンカーは、シートとシートバックの間隙に設置されています。

2. ヘッドレストを持ち上げ、取付金具をシートバック裏側のアンカーにしっかり取り付けます。トップテザーを締め付けて確実に取り付けます。

- ① トップテザー
- ② アンカー

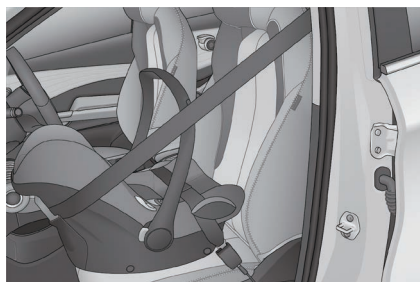
3. ヘッドレストを適切な位置に調整します。



- 運転席シートとの干渉により、幼児用補助装置が正しく取り付けられない場合は、幼児用補助装置を右側リアシートに取り付けます。

- ヘッドレストを取り外した場合は、安全確保のためにトランクルームに置いてください。

- BYD は車に備わっている ISOFIX アンカーを使ってチャイルドシートを取り付けることを推奨します。



### ⚠ 警告

- それぞれの方向に幼児用補助装置を揺らし、確実に取り付けられていることを確認します。
- ロアアンカーを使う場合は、アンカーの周りに異物がなく、シートベルトが幼児用補助装置の裏側に引っかかっているようにしなければいけません。また、幼児用補助装置が確実に固定されているようにしなければいけません。確実に固定されていないと、緊急ブレーキ時や事故時に、お子様に生命にかかわる重大な傷害を負わせるおそれがあります。
- 運転席の後方のシートに幼児用補助装置を取り付けている場合、リアシートとの間隔が狭くなると、運転席を動かすときにお子様の足に当たったり、幼児用補助装置を押してしまったりするため、確認してから動かしてください。
- 1つのアンカーポイントに2つの幼児用補助装置を取り付けしないでください。事故が発生したとき、1つのアンカーポイントでは2つの幼児用補助装置を支えきれないおそれがあります。

## 座席位置別の幼児用補助装置適合表

重量グループ	座席位置（または他の位置）		
	フロントシート （助手席）	リアシート左右	リアシート中央
グループ0 （10kg まで）	X	U	X
グループ0+ （13kg まで）	X	U	X
グループI （9～18kg）	X	U/UF	X
グループII （15～25kg）	X	UF	X
グループIII （22～36kg）	X	UF	X

注：表に記載されるアルファベットの意味は次の通りです。

U = この重量グループでの使用を許可された汎用型「ベビーシート」に適合している

UF = この重量グループでの使用を許可された前向き汎用型「チャイルドシート」に適合している

X = このシートの位置は、この重量グループの「ジュニアシート」に適合していない

### 幼児用補助装置固定システム (ISOFIX) 位置別の ISOFIX 幼児用補助装置適合表

重量グループ	サイズ	固定具	座席位置 (または他の位置)		
			フロントシート (助手席)	リアシート 左右	リアシート 中央
キャリコット	F	ISO/L1	X	X	X
	G	ISO/L2	X	X	X
グループ 0 (10kg まで)	E	ISO/R1	X	X	X
グループ 0+ (13kg まで)	E	ISO/R1	X	X	X
	D	ISO/R2	X	X	X
	C	ISO/R3	X	X	X
グループ I (9 ~ 18kg)	D	ISO/R2	X	X	X
	C	ISO/R3	X	X	X
	B	ISO/F2	X	IUF	X
	B1	ISO/F2X	X	IUF	X
	A	ISO/F3	X	IUF	X

注 1：ISO/XX サイズ区分表示 (A ~ G) のない幼児用補助装置に適合する重量グループについて、各座席位置で使用できる専用の ISOFIX については、BYD Auto Japan にお問い合わせください。

注 2：表に記載されるアルファベットの意味は次の通りです。

IUF = この重量グループでの使用を許可された前向き汎用型 ISOFIX 幼児用補助装置に適合している

X = ISOFIX 位置は、この重量グループおよび / または本サイズ区分の ISOFIX 幼児用補助装置に適合していない

## イモビライザー

### イモビライザー

車の盗難を防ぐために、盗難防止機能が作動している状態でいずれかのドアを開けると、ターンシグナルランプが点滅します。



### イモビライザーを設定するとき

1. 電源ポジションを「OFF」にします。
2. すべての乗員が車から降ります。
3. すべてのドアを施錠します。このとき、セキュリティ表示灯は点灯し続けます。10秒後、イモビライザーが自動的に設定されます。システムの設定が完了すると、セキュリティ表示灯は点滅します。
4. 表示灯が点滅していることを確認したうえで車から離れます。車内からドアを解錠するとシステムが作動するため、システムを設定中は誰も車内に残らないでください。

### 警告

■ 変更や追加によるイモビライザーの改造をしないでください。このような変更は、システム故障につながるおそれがあります。

### セキュリティ表示灯

イモビライザーの設定中は、セキュリティ表示灯が10秒間点灯します。



## データの収集および処理

- 本節では、BYD の車両をご利用いただく際の、システムが個人データを収集および処理する方法について重要な情報を提供します。
- データ処理、データ保護およびデータ主体の権利についての詳細は、BYD のホームページにアクセスし、最新版の車両プライバシーポリシーをご覧ください。

### 車両データの処理

- 車両センサーまたはコントロールユニットが収集、または送信するデータなど、車両利用時にシステムが収集したデータは、車の安全運転に必要なものです。
- 場合によって、収集されたデータは、運転支援（ドライバー補助システム）や、特定の快適機能、インフォテインメント機能の作動に利用されます。
- 収集、処理される個人データは、主に車載データ、遠隔サービス関係のデータおよび他のデータを含みます。詳細は次の通りです。

#### 車載データ

##### 走行データ

- 車を使用している間、システムは、それぞれの車両状態データ（例えば、速度、バッテリー残量、ブレーキシステム）または周囲のモード（例えば、距離センサー、温度など）の収集と処理を行います。
- それらのデータは、通常保存されませんが、コントロールユニット、センサーまたは車両に取り付けられた、データを記録する他のユニットは、メンテナンス要求、エラー情報、その他の情報の記録に用いられます。
- 車載データは、車載デバイスにのみ保存されますが、法律で義務付けられる OBD（「車載式故障診断装置」）のポートを介し、それらのデータを読み取ることができます。例えば、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場、もしくは他の第三者がデータを読み取ることができます。
- 車の整備中にシステムにアクセスする場合、それらの情報も品質検査保証、製品不具合報告またはユーザークレームの検証を目的として、BYD の技術者に提供されます。

## 遠隔サービス関係データ

### 遠隔監視サービス

- 車は遠隔監視サービス機能を備えています。
- これには、安全性を確保するための遠隔診断・無線通信（OTA）によるアップデートおよびアップグレード（オーナーの了承が必要）などの遠隔監視サービスが含まれます。
- この監視サービスの目的：サービスの提供（遠隔支援 / 診断）、製品開発とセキュリティ / パブリックセーフティ。
- 使用される国または設定により、車両位置情報、車両状態（例えば、電費、速度、シフトポジション、電源ポジション、エレクトロニクススピードコントローラーの状態、ステアリングシステムの状態、バッテリーの状態、パワーユニットの状態、車両の性能状態など）を含む各種の車両情報は、上記の目的で BYD のサーバーに送信されることがあります。

### その他

#### インフォテインメントシステム

- 車両の仕様により、ドライバーは、自らインフォテインメントシステムでビデオを再生するためのメディアデータ、ナビゲーションシステムに用いられるアドレスデータ、またはオンラインサービスに用いられるデータなどのデータをインフォテインメントシステムに追加することができます。
- 車両の仕様により、それらのデータは、インフォテインメントシステムでビデオを再生するためのメディアデータ、ナビゲーションシステムに用いられるアドレスデータ、またはオンラインサービスに用いられるデータなどを含みます。
- 車両の仕様により、車の個人設定にもアクセスできます。車両に保存されているデータは、いつでも削除できます。
- BYD は、第三者に送信されたデータを管理することはできません（特にオンラインサービスの一部として第三者のコンテンツを使用した場合）

#### モバイルデバイスの集積

- 車両の仕様により、車のインフォテインメントシステムを介して、モバイルデバイスの接続や制御を行うことができます。
- デバイスの画面または音声は、インフォテインメントシステムを介して表示 / 再生、またはインフォテインメントシステムにストリーミングする必要がある場合があります。
- 位置情報や車両情報のような付加データは、アプリケーションを介して送信し、ナビゲーションシステムや、通信または他の第三者サービスに用いることができます。
- データ処理の具体的なパターンは、それぞれの機能に依存し、ユーザーまたはデバイスや関係サービスを提供する第三者が制御します。





## インターネットアクセスと接続サービス

- 車両の仕様により、車のインフォテインメントシステムのネットワークデバイスを介してインターネットにアクセスすることで、車の特定の機能、またはBYDのサービスを実現することができます。
- BYDは、いかなる相手側が提供するこのようなサービスのすべてについて責任を負いません。
- そのような場合には、データ使用に関する情報について、関連するオンラインサービスプロバイダーにお問い合わせください。

## カメラ映像の記録 / 周辺区域の監視

- 車には、複数のカメラ / センサーが搭載されています。
- 一部の機能は、車両の進路を感知して評価する必要があるためです。これは車両周辺のもの（障害物など）を感知するカメラにより行われます。
- オペレーティングシステムで必要な更なる分析を行うために、映像は関連する制御モジュールに送信されます。
- 一部の映像は、ランダムアクセスメモリ（RAM）でのみ処理され、その他の映像は車両の装備に応じて保存されることがあります。
- 車両は、周囲の撮影に用いられる外向きカメラ（OFC）を搭載していることがあります（ドライブレコーダー）。また車内の撮影に用いられる内向きカメラ（IFC）1台を搭載することができます。
- この二種類の映像はすべて車内に保存されます。
- カメラオプションの詳細については、本ユーザーマニュアルにおける[ドライブレコーダー\\*](#)と[BYDアラウンドビューシステム\\*](#)のセクションを参照してください。

## 車の第三者への譲渡、およびオフラインモード

- 車の譲渡の場合、つまり、別の人が使用していた車を購入、または譲渡を受ける場合に、新所有者は、インフォテインメントシステムを介し設定されたカスタマイズ/ユーザー設定のすべてにアクセスできます（アドレステーブル、ナビゲーションシステムなど）。
- 車両をオフラインモードに設定することにより、車とBYDデータサーバー間の通信、および車両の関係データ・個人データの処理を制限することができます。
- PAD  をタッチし、Wi-Fi を OFF にします。
- Wi-Fi は、次の操作でも OFF にできます。  → システム設定 → Wi-Fi → OFF の順にタッチします。

## 当局への個人情報開示

- BYD は、法律で許可されている、またはお客様の同意を得た場合にのみ第三者に対し個人データを開示します。
- ただし、適用される法律にしたがい、政府機関は車からデータを読み出す権限を付与されることがあります（例えば、事故究明のために、データをエアバッグコントロールユニットから読み出します）。
- 法律で義務付けられている場合、BYD は犯罪捜査などの要求にしたがい、お住まいの国 / 地域の政府当局に対しデータを開示する義務を負う場合もあります。

## ユーザーのデータ保護の権利

- BYD は、お客様のプライバシーを尊重し、すべてのデータ保護法、特に一般データ保護規則（GDPR）および適用する現地の法律を厳しく遵守します。
- それらの法律によって個人データが処理される際、オーナーは特定の権利を有します。
- データ主体は、情報の通知を受ける権利、アクセス権、訂正権、削除権（「忘れられる権利」）、および個人データの処理に異議を唱える、または制限する権利（または同意を撤回する権利、およびデータの移植性に対する権利）を有します。場合によって、それらの権利は制限されることがあります。
- 例えば、お客様のデータを処理する法的義務があると表明できる場合、または情報の提供により、別の人物に関する個人データが開示される場合、もしくは法律によりそれらの情報の開示が禁止される場合です。
- 場合によって、同意を撤回されたとしても、当社は関係データを保持できる場合があります。

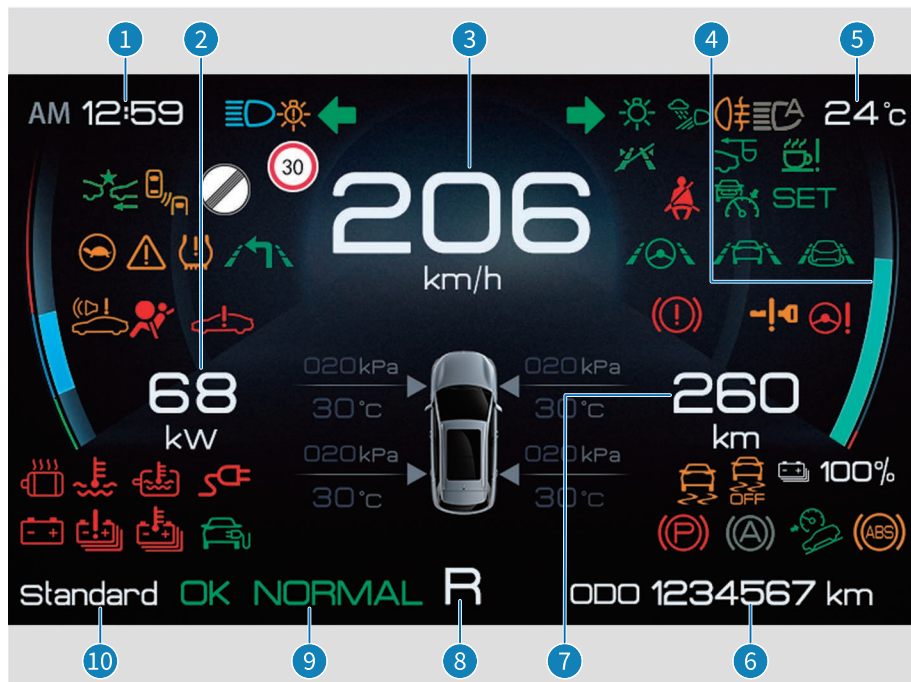


## 2-1 コンビネーション

メーター .....	46
コンビネーションメーター イメージ .....	46
メーター表示灯 .....	47

## コンビネーションメーターイメージ






















## 液晶コンビネーションメーター



























- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1 時間          | 6 総走行距離      |
| 2 パワーメーター     | 7 航続可能距離     |
| 3 スピードメーター    | 8 シフトポジション情報 |
| 4 パワーバッテリー残量計 | 9 走行モード情報    |
| 5 外気温度        | 10 回生ブレーキ情報  |

## メーター表示灯

### 表示灯 / 警告灯の標識

	方向指示表示灯		ポジションランプ表示灯
	ハイビーム表示灯		リアフォグランプ表示灯
	OK 表示灯		フロントフォグランプ表示灯 *
	ECO モード表示灯		SPORT モード表示灯
	オートビークルホールド 表示灯		ヒルディセントコントロール 表示灯 *
	ライトマスタースイッチ 表示灯		ハイビームアシスト表示灯 *
	給電表示灯		オールウェザーランプ表示灯
	ACC 待機状態表示灯 (グレー) *		ACC クルージングスピード 表示灯
	ACC 状態表示灯 *		オートビークルホールド スタンバイ表示灯 (ホワイト)
	クルーズコントロール表示灯		クルーズコントロールメイン 表示灯
	トラフィックジャムアシスト (TJA) 表示灯 *		衝突予測警告表示灯 (緑)
	自動緊急ブレーキ故障 警告灯 *		リモートキーシステム警告灯

	タイヤ空気圧警告灯		マスターウォーニング表示灯
	ESC OFF 警告灯		ESC 故障警告灯
	ABS 故障警告灯		駆動パワー制限警告灯
	ヘッドライト故障警告灯		スノーモード表示灯
	パワーバッテリー残量警告灯		ACC 故障警告灯
	ブラインドスポット インフォメーション表示灯 *		衝突予測警告表示灯 (赤)
	モーター過熱警告灯		モーター冷却水 オーバーヒート表示灯
	シートベルト非着用警告灯		エアバッグ故障警告灯
	電動パーキングブレーキ 表示灯		パーキングシステム故障 警告灯
	ステアリングシステム故障 警告灯		パワーバッテリー充電接続 表示灯
	低電圧給電システム故障 警告灯		パワーバッテリー過熱警告灯
	パワーバッテリー故障警告灯		パワートレイン故障警告灯
	交通標識認識システム 表示灯 *		AVAS (車両接近通報装置) 故障警告灯



## 警告灯 / 表示灯について

### リモートキーシステム警告灯

- リモートキーが車内にない状態で「スタート/ストップ」ボタンを押すと、警告灯が数秒間点灯すると同時にメーターのブザーが1回鳴り、コンビネーションメーターに「キー検出不可。車内にキーがあるか確認」と表示されます。
- リモートキーを所持して車に乗り込み「スタート/ストップ」ボタンを押すと、警告灯は点灯せずに電源ポジションを入れて車を始動させることができます。
- 「スタート/ストップ」ボタンを押したときに警告灯が点滅している場合は、リモートキーのバッテリー残量低下を表します。

### ABS (アンチロックブレーキシステム) 故障警告灯

- ABS (アンチロックブレーキシステム) 故障警告灯は、電源ポジションを「OK」にしたときに点灯します。アンチロックブレーキシステム (ABS) が正常に作動している場合は、数秒後に消灯します。システムに故障などが発生したときは、故障が解消されるまで警告灯は再び点灯します。
- ABS 故障警告灯が点灯 (パーキングシステム故障警告灯は消灯) している場合は、アンチロックブレーキシステムは作動していませんが、ブレーキシステムは正常に作動します。
- ABS 故障警告灯が点灯 (パーキングシステム故障警告灯は消灯) している場合は、アンチロックブレーキシステムが作動しないため、急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時にホイールがロックします。
- 下記状況のいずれかが発生した場合は、警告灯システムで監視している対象部品が故障していることを表します。早めにBYD正規ディーラーまたはBYD指定サービス工場に連絡し、車の点検を依頼するようおすすめします。
  - 電源ポジションを「OK」にしたとき、警告灯が点灯しない、または点灯し続ける。
  - 運転中に警告灯が点灯する。

## アドバイス

- 操作中に警告灯がしばらく点灯することは、異常ではありません。
- パーキングシステム故障警告灯と ABS 故障警告灯が同時に点灯した場合は、ブレーキをかけてもアンチロックブレーキシステムが機能せず、車両姿勢も極めて不安定な状態になるため、ただちに安全な場所に停車し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。

- ABS (アンチロックブレーキシステム) 表示灯とブレーキシステム表示灯が同時に点灯し、かつ EPB が完全に解除された場合は、前後タイヤの制動力配分システムも効かなくなったことを表します。

## タイヤ空気圧警告灯

- タイヤ空気圧警告灯は、電源ポジションを「OK」にしたときに点灯します。タイヤ空気圧モニタリングシステムが正常に作動している場合は、数秒後に消灯します。システムに故障が発生したときは、警告灯が再び点灯します。
- タイヤ空気圧警告灯が点灯または点滅すると同時に、メーターのインフォメーションディスプレイに「チェック TPMS」と表示され、タイヤ空気圧表示画面の数値部に「---」が表示された場合は、タイヤ空気圧モニタリングシステムが故障していることを表します。
- タイヤから「信号異常」が発信された場合は、タイヤ空気圧信号が干渉を受けている、またはタイヤ空気圧モニタリングモジュールが破損している可能性があります。
- タイヤ空気圧警告灯が高速で点滅すると同時に、メーター内のインフォメーションディスプレイに表示される、タイヤ空気圧表示画面の数値表示部の一部が赤くなった場合は、該当タイヤに急激な空気圧の減少があることを表します。
- タイヤ空気圧警告灯が常時点灯すると同時に、コンビネーションメーターのタイヤ空気圧表示画面の一部が黄色になった場合は、該当タイヤの空気圧が少ない状態であることを表します。1 つまたは複数のタイヤの温度数値が黄色になった場合、タイヤ温度が高すぎることを表します。

上記のいずれかが発生した場合は、早めに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡し、車の点検を依頼するようおすすめします。



## ESC (横滑り防止装置) 故障警告灯

- ESC (横滑り防止装置) 故障警告灯は、電源ポジションを「OK」にしたときに点灯します。ESC 機能が正常に作動している場合は、数秒後に消灯します。システムに故障が発生したときは、故障が解消されるまで警告灯は再び点灯します。
- 走行中に ESC 故障警告灯が点滅している場合は、ESC システムが作動していることを表します。
- ESC 故障警告灯が点灯 (ABS 故障警告灯、パーキングシステム故障警告灯は消灯) している場合は、ESC の車両安定性制御は無効になりますが、アンチロックブレーキシステムおよびブレーキシステムは正常に作動します。
- ESC 故障警告灯が点灯 (ABS 故障警告灯、パーキングシステム故障警告灯は消灯) している場合は、横滑り防止装置が作動しないため、急ハンドルや前方障害物の緊急回避時に、車両姿勢が極めて不安定な状態になります。
- 下記のいずれかが発生した場合は、警告灯システムで監視している対象部品が故障していることを表します。早めに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡し、車の点検を依頼するようおすすめします。
  - 電源ポジションを「OK」にしたとき、電源が入っても点灯しない (セルフテストなし)。
  - 運転中に警告灯が点灯し続ける。
  - 走行中に警告灯が点滅している場合は、システムが作動していることを表します。

### アドバイス

- 操作中に警告灯がしばらく点灯することがありますが、異常ではありません。
- ABS 故障警告灯、ブレーキシステム警告灯が点灯すると同時に、ESC 故障警告灯も点灯した場合、ブレーキをかけると車両姿勢が極めて不安定な状態になります。このとき、アンチロックブレーキシステムが完全に機能しないため、ただちに安全な場所に停車し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。



### ESC OFF 警告灯

- 「ESC OFF スイッチ」を押すと、ESC OFF 警告灯が点灯し続けます。この場合、横滑り防止装置は機能しません。再び「ESC OFF スイッチ」を押すと、ESC OFF 警告灯が消灯し、横滑り防止装置が機能するようになります。

### アドバイス

- ESC OFF 警告灯が点灯している場合は、ブレーキをかけても ESC システムが機能せず車両姿勢が不安定になります。ドライバーは急ハンドルや突然現れた障害物の緊急回避時に、必ず警戒感を高めながら低速で走行してください。



### 駆動パワー制限警告灯

- 車のパワーが制限されたときに点灯します。早めに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。



### ヘッドライト故障警告灯

- 警告灯が黄色く点灯している場合は、ヘッドランプが故障していることを表します。BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に点検するようおすすめします。



### マスターウォーニング表示灯

- 表示灯が点灯している場合は、要注意であることを表します。また、インフォメーション表示部に故障や警告のメッセージが表示されます。



### AVAS（車両接近通報装置）故障警告灯

- AVAS（車両接近通報装置）が故障すると表示灯が点灯します。早めに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場まで連絡するようおすすめします。



### シートベルト非着用警告灯

- 電源ポジション「OK」時、フロント側シートベルトが未着用の場合に点灯します。シートベルトが確実に装着されるまで点灯し続けます。



### エアバッグ故障警告灯

- 電源ポジション「OK」時に点灯し、エアバッグシステムが正常に作動している場合は、数秒後に警告灯が消灯します。エアバッグ ECU、衝突センサー、インフレーター、警告灯、結線、および電源をモニタリングするものです。
- 下記状況のいずれかが発生した場合は、警告灯システムで監視している対象部品が故障していることを表します。早めに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡し、車の点検を依頼するようおすすめします。
  - 電源ポジションを「OK」にしたとき、警告灯が点灯しない、または点灯し続ける。
  - 運転中に警告灯が点灯する。



### パーキングシステム故障警告灯

ブレーキフルードの液量が低下している、またはブレーキシステムが故障している場合に警告灯が点灯します。下記状況のいずれかが発生した場合は、ただちに安全な場所に停車し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。

- 電源ポジションが「OK」の状態ではブレーキフルードの液量が低下している場合に警告灯が点灯します。



### アドバイス

- ブレーキフルードの液量が低下している状態で運転し続けることは、非常に危険であるため、運転を続けしないでください。
- 車を始動後、ブレーキフルードの液量に問題がなく、電動パーキングブレーキシステムが正常に作動している（電動パーキングブレーキスイッチをスムーズに引き上げたり、解除することができ、「電動パーキングブレーキシステムを確認」のメッセージが出ていない）場合、警告灯は常時点灯します。

- パーキングブレーキ故障警告灯と ABS 故障警告灯が同時に点灯している場合。

### アドバイス

- 操作中に警告灯がしばらく点灯することがありますが、異常ではありません。

### ステアリングシステム故障警告灯

- ステアリングシステム警告灯が常時点灯している場合は、ステアリングシステムが故障しているため、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場で点検するようおすすめします。

### アドバイス

- ステアリングシステムは、モーターによりステアリングホイールを回すための力を軽減するものです。
- ステアリングホイールを回すとき、モーターの動作音（「ぶんぶん」のような音）が聞こえることがありますが、故障ではありません。
- ステアリングホイールを 5 秒以上全切り（限界位置を保持）のままにしないでください。5 秒を超えると、過熱保護機能が作動し、操舵力が重くなる、または損傷します。

- 長時間頻繁に据え切りをした場合、ステアリングシステム故障警告灯が点灯していないのに操舵が重く感じられることがありますが、故障ではありません。
  - 長時間頻繁に据え切りした場合、システムの過熱による操舵が重く感じられることがないようにステアリングシステムのアシスト力が低下します。このような状況があった場合、頻繁なハンドル操作を避けるか、停車して電源を切ってください。システムは 10 分以内に正常な状態に戻ります。

### 警告

- ステアリングシステム故障警告灯が点灯している場合は、ただちに安全な場所に停車し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。

### 低電圧給電システム故障警告灯

- 充電または給電しないときは、DC モジュールおよびバッテリーモジュールの作動状態を知らせます。
- 充電時は、充電システムの故障を知らせます。

### ⚠ 警告

- 運転中に警告灯が点灯している場合は、DC システムまたは低電圧給電システムに不具合があることを表します。そのまま運転を続けると、突然停止するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。エアコンやファンなどを止めて安全な場所に停車し、早めに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に救援を依頼するようおすすめします。

### パワートレイン故障警告灯

- パワートレインが故障した場合に点灯します。
- 下記状況のいずれかが発生した場合は、警告灯システムで監視している対象部品が故障していることを表します。早めに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡して、車の点検を依頼するようおすすめします。
  - 電源ポジションを「OK」にしたとき、警告灯が点灯し続ける。
  - 運転中に警告灯が点灯する。

### ⚠ 注意

- できるだけ警告灯が点灯している状態で運転をしないでください。早めに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡し、車の点検および問題の確認を依頼するようおすすめします。

### パワーバッテリー過熱警告灯

- 警告灯が点灯している場合、パワーバッテリーの温度が高すぎることを表します。車を停車し温度を下げてください。パワーバッテリー過熱警告灯が点滅している場合は、ただちに安全な場所に車を停車し、早めに車を離れるようおすすめします。
- 下記条件で走行した場合、パワーバッテリーは過熱することがあります。
  - 炎天下や長時間・長距離で上り坂を走行する。
  - 長時間にわたり発進・停止を頻繁に繰り返すような交通状況、頻繁に急加速・急ブレーキを繰り返す、または長時間の連続走行をする場合。



### パワーバッテリー故障警告灯

- 電源ポジション「OK」時に点灯し、パワーバッテリーシステムが正常に作動している場合は、数秒後に警告灯が消灯します。システムの故障があった場合は、警告灯が再び点灯します。早めにBYD正規ディーラーまたはBYD指定サービス工場に連絡し、車の点検を依頼するようおすすめします。
- 下記状況のいずれかが発生した場合は、警告灯システムで監視している対象部品が故障していることを表します。早めにBYD正規ディーラーまたはBYD指定サービス工場に連絡し、車の点検を依頼するようおすすめします。
  - 警告灯が電源ポジション「OK」時に点灯し続ける。
  - 運転中に警告灯が常時または時々点灯する。







### モーター冷却水オーバーヒート表示灯





- 表示灯が点灯している場合は、モーターの温度が高すぎることを表します。
- ただちに安全な場所に停車してから車を離れ、できるだけ早くBYD正規ディーラーまたはBYD指定サービス工場に車の点検を依頼するようおすすめします。



## メーターのその他故障について

メーターには次のような故障メッセージが表示されることがあります。その都度、推奨される対応方法にしたがって操作してください。

アイコン表示	故障メッセージ	対応方法
	車載充電システムを確認してください	車載充電システムが故障しています。充電設備の接続異常がないか確認したうえで、新たな充電設備に接続してください。解消しなかった場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
	ネットワーク故障 安全に停車し、BYD サービスに連絡してください	車のデータネットワークが故障していることを表します。ただちに車を停車させ、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
	ヘッドライトシステムを確認	ヘッドライトシステムが故障していることを表します。BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
	衝突予測警告システム * を確認してください	衝突予測警告システムが故障していることを表します。車を停車し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
	自動緊急ブレーキ機能が制限中 *	自動緊急ブレーキシステムが故障していることを表します。車を停車し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
	ブラインドスポットインフォメーションシステム * を確認してください	ブラインドスポットインフォメーションシステムが故障していることを表します。車を停車し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
	ブラインドスポットインフォメーション機能制限中 *	ブラインドスポットインフォメーションシステムの機能が制限されていることを表します。車を停車し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。

アイコン表示	故障メッセージ	対応方法
	シフト機構を確認してください	シフトコントローラーが故障していることを表します。ただちに停車し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
	マルチファンクションビデオコントローラー*を確認してください	マルチファンクションビデオコントローラーが故障していることを表します。車を停車し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
	マルチファンクションビデオコントローラー機能が制限中*	マルチファンクションビデオコントローラー機能が制限されていることを表します。車を停車し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
	インテリジェントカメラ機能制限あり 利用不可*	インテリジェントカメラが利用できないことを表します。車を停車し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
	レーンサポートシステムを確認してください*	レーンサポートシステムが故障していることを表します。車を停車し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
	ナビゲーションパイロット / レーンサポートシステムを確認してください*	ナビゲーションパイロット / レーンサポートシステムが故障していることを表します。車を停車し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
	ナビゲーションパイロット / レーンサポートシステムが機能制限中*	ナビゲーションパイロット / レーンサポートシステム機能が制限されていることを表します。車を停車し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。

<b>3-1 ドアおよびキー</b> .....	<b>60</b>
キーについて .....	60
ドアの施錠 / 解錠 .....	64
スマートエントリー& スタートシステム .....	75
チャイルドロック .....	77
<b>3-2 シート</b> .....	<b>78</b>
シートについて .....	78
フロントシートの調節 .....	79
リアシートの収納 .....	80
ヘッドレスト .....	81
<b>3-3 ステアリングホイール</b> .....	<b>82</b>
ステアリングホイール .....	82
<b>3-4 スイッチ</b> .....	<b>88</b>
ライトスイッチ .....	88
ワイパースイッチ .....	94
走行距離切替スイッチ .....	100
運転支援スイッチユニット .....	101
助手席側ウィンドウ スイッチ .....	101
ハザードランプスイッチ .....	102
モードスイッチユニット .....	102
E-Call .....	104
サンルーフスイッチ .....	105
ルームランプスイッチ .....	108

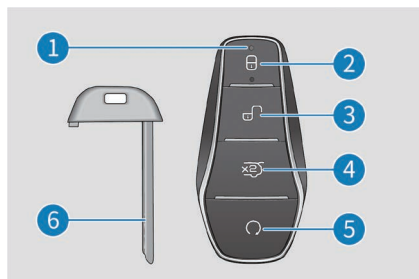
## キーについて

キーは、リモートキー、メカニカルキー（リモートキー内）および NFCカードキーを含みます\*。

### リモートキー

リモートキーを携帯し、フロントドアハンドルのマイクロスイッチを押すと、すべてのドアの解錠 / 施錠ができます。ボタン操作でもドアの解錠 / 施錠、テールゲートのオープンおよびリモートスタートなどができます。

- 1 表示灯
- 2 ロックボタン
- 3 アンロックボタン
- 4 テールゲートオープンボタン
- 5 スタート / ストップボタン
- 6 メカニカルキー



### ⚠ 警告

- リモートキーの中に入っているボタン電池は危険なため、電池の新旧を問わずお子様の手の届かないところに置いてください。
- 電磁波による電子機器への影響があるため、植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器を使用されている方は、スマートエントリー&スタートシステムのアンテナから遠く離れてください。
- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器、またはそれ以外の医療電子機器を使用されている方は、電磁波がそうした機器におよぼす影響を製造メーカーに確認してください。電磁波は、そのような医療機器の使用に予測できない悪影響をおよぼすおそれがあります。

### ⚠ 注意

- リモートキーは電子部品です。リモートキーの破損を防ぐため次の説明にしたがってください。
  - リモートキーをインストルメントパネルなどの温度が高いところに置かないでください。
  - リモートキーを勝手に分解しないでください。

**▲ 注意 (続き)**

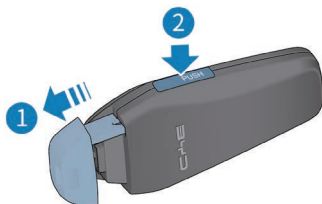
- リモートキーで他のものを強く叩いたり、キーを落としたりしないでください。
- リモートキーを水に浸けたり、超音波洗浄機で洗浄したりしないでください。
- リモートキーを携帯電話などの電磁波が発生する装置と一緒に置かないでください。
- リモートキーに電磁波を遮断するものを付けしないでください(例：金属シール)。
- 同一の車にエマージェンシーキーを登録することができます。詳細な説明については、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
- リモートキーの作動範囲内でドア操作ができない、またはキーの表示灯が暗く点灯しない場合：
  - 近くにリモートキーの動作を干渉するラジオ局や航空無線発信機がないかを確認してください。
  - リモートキーのバッテリーが切れている可能性があります。リモートキーのバッテリーを点検してください。バッテリーの交換が必要な場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
- リモートキーを紛失した場合は、車の盗難事故や予期せぬ事故がないようにできるだけ早く BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
- 送信周波数の変更、送信電力の増加（送信周波数アンプの追加を含む）、アンテナの外付けや他の送信アンテナの流用をしないでください。
- 使用時に、合法的な様々な無線通信業務に干渉がないようにしてください。干渉が見つかった場合は、ただちに使用を停止し、干渉の解消措置を取ってから使用するようにしてください。
- 小電力無線機を使用するときは、様々な無線通信業務の干渉、または産業用、研究用および医療用設備の放射干渉を避けてください。
- 飛行機や空港の近くで使わないでください。機内でスイッチが押されると電波が発信され、飛行機の運航に支障をきたすおそれがあります。
- 車から離れるとき、必ずキーを携帯し、施錠してください。また、絶対に人（特にお子様）を1人で車内に残さないでください。

## メカニカルキー

メカニカルキー（リモートキー内）：運転席側ドアの解錠および施錠ができます。使わないときは、メカニカルキーをリモートキーに確実に収めてください。

### メカニカルキーの取り出し

図のようにリモートキー上の「PUSH」ボタン②を押し、矢印①方向にメカニカルキーを取り出します。



- メカニカルキーを使用した後は、「PUSH」ボタン②を押しながらメカニカルキーを戻してください。

## NFCカードキー\*

■ NFCカードキーを右側ドアミラーのマークが付いている部分にかざすと、電源ポジションが「OFF」の状態ですべてのドアの解錠/施錠ができます。



### ⚠ 注意

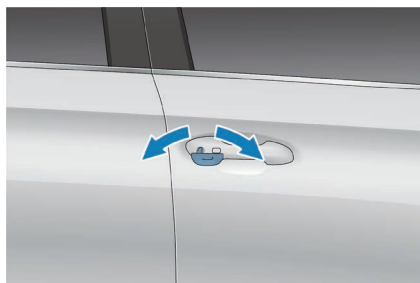
- NFCカードは電子機器です。NFCカードが機能しなかったり破損したりしないように次の説明にしたがってください。
  - ワイヤレス充電器を ON している場合は、NFCカードを充電エリアに置かないでください。
  - NFCカードを使用するとき、電磁波を遮断するものを付けしないでください（例：金属シール、携帯電話の金属製バックカバーなど）。
  - NFCカードをインストルメントパネルなどの高温部に置かないでください。NFCカードを強く曲げないでください。
  - NFCカードを他の固いものと一緒に置かないでください。
- NFCカードは近距離無線通信を行うもので、きちんとかざさないと認識できないために、NFC の設置位置に注意してください。
  - NFCカードの通信距離は 1 ～ 2cm 以内です。
  - ドアミラーに当て、NFCカードを認識させることができます。
  - 反応には 1 ～ 2 秒がかかることがあります。
- NFCカードは、NFC 通信規格に基づき用意したキーです。車の安全性を確保するために、大切に保管してください。紛失した場合、紛失したカードの作動を解除するために、ただちにBYD 正規ディーラーまたはBYD 指定サービス工場 で新たにカードを作製するようおすすめします。

## ドアの施錠 / 解錠

### メカニカルキーでの施錠 / 解錠

キーを鍵穴に挿し込んで回してからキーを抜き出し、ドアハンドルを引いてドアを開けます。

- 運転席側ドアの解錠：時計回りにキーを回します。
- 運転席側ドアの施錠：反時計方向にキーを回します。

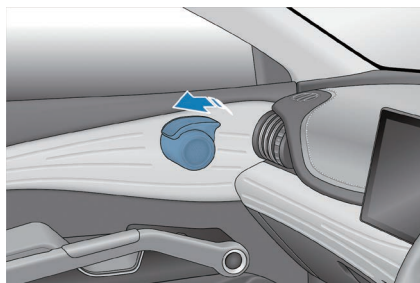


### ⚠ 注意

- メカニカルキーを抜き出した後、運転席側ドアのハンドルを引かなければ、ドアを開けることができません。

### ノブ操作でドアを開けるとき

- 解錠した状態でノブを1回引き上げると、車内でドアが開けられます。
- 施錠した状態で2回連続でノブを引き上げなければ、車内でドアを開けることができません。



### ⚠ 警告

- 誤ってドアを開け、予期せぬ事故を起こすことがないようにお子様にノブを触らせないでください。
- 車にお子様を乗せている場合は、必ずチャイルドロック機能をONしてください。

### ⚠ 注意

- チャイルドロックが搭載されているため、チャイルドロックを解除しなければ、車内でノブを引き上げても、リアドアを開けることができません。



## リモートキー操作での施錠 / 解錠

- ワイヤレスリモートコントロール機能は、作動範囲内であればすべてのドアの解錠や施錠、付加機能が操作できます。
- 登録済みのリモートキーを携帯し、作動範囲内で、ゆっくりと確実にリモートキーのボタンを押すと、すべてのドアの施錠または解錠ができます。

### 施錠：

- 車の電源ポジションが「OFF」で、すべてのドアおよびボンネットが閉まっているときに、ロックボタンを押すと、すべてのドアが同時に施錠されます。また、ドアミラーも一緒に格納され（スイッチは自動（AUTO）ポジション）、ターンシグナルランプは1回点滅して、すべてのドアが確実に施錠されているかをチェックします。
- ドア、ボンネット、テールゲートのいずれかが開いている場合は、ターンシグナルランプが点滅せず、ホーンが1回鳴ります。



### 解錠：

- ドアが施錠されている状態で、リモートキーを携帯し、ドアハンドルのマイクロスイッチボタンを押すと、すべてのドアは解錠されます。そのときに、ドアミラーはオープンし、ターンシグナルランプは2回点滅します。
- 車の電源ポジションがすでに始動されている場合は、「アンロック」ボタンまたは「ロック」ボタンでドアの解錠 / 施錠ができません。
- リモートキーの操作ですべてのドアを解錠する場合は、ドアが開いていない場合でも、ルームランプが16秒間点灯してから、消灯することがあります。（ルームランプスイッチの「ドア連動」ポジションが点灯）。
- 盗難防止機能が作動している状態で、リモートキーの操作でドアを解錠させた場合は、30秒以内にドアを開けてください。そうしない場合は、すべてのドアは自動的に施錠されます。
- 施錠された状態で、キーを車内やトランクルームに置いたままテールゲートを閉めた場合、キーの車内への置き忘れを防ぐため、自動的にドアを解錠しターンシグナルランプを2回点滅します。

- 4 ドアのウィンドウに挟み込み防止機能が搭載されている場合:「ロック」または「アンロック」ボタンを押し続けても、施錠または解錠することはできません。一度指をボタンから離し、「ロック」または「アンロック」ボタンを押し、再度「ロック」ボタンを長押しすると、4 ドアのウィンドウガラスは自動的に閉まります。

### **i** アドバイス

- 車の電源ポジションが「OFF」以外のポジションに入っている場合、解錠 / 施錠ボタンの操作でドアの解錠 / 施錠ができません。

### リモートキー操作でテールゲートを開けるとき

- 2回連続でリモートキーの「テールゲート解錠」ボタンを押すと、テールゲートが開けられます。このときには、ターンシグナルランプが2回点滅します。
- 機械式駐車場などに駐車した際、誤って2回連続でリモートキーの「テールゲート解錠」ボタンを押さないようご注意ください。

### **i** アドバイス

- 車から離れる場合は、リモートキーを携帯してください。

## リモートキーのリモコン操作での窓開 / 閉


■ 車の電源ポジションを「OFF」にした場合：

- リモートキーのロックボタンを長押しすると、すべてのドアのガラスが自動的に閉まります。
- リモートキーのアンロックボタンを長押しすると、すべてのドアガラスを自動で開けることができます。

### 警告

- リモコン操作でドアガラスを閉じる際は、車内の乗員の安全に充分注意してください。ドアガラスに乗員の身体が挟まれるおそれがないことを確認してから操作してください。

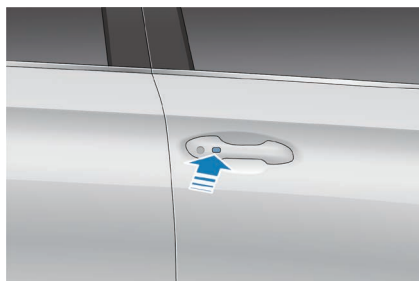
### アドバイス

- ドライバーはマルチメディア  → 車両設定 → ドア・窓とロック の設定画面でリモートキーの長押し操作での解錠 / 施錠、ドアガラスの開 / 閉機能（実車仕様に準ずる）の ON、OFF を設定することができます。

## マイクロスイッチ操作での施錠 / 解錠

### 施錠

- 車の電源ポジションが「OFF」で、ドアを閉めた状態で施錠されていない場合、リモートキーを携帯し、フロントドアハンドルのマイクロスイッチを押します。すべてのドアが同時に施錠され、ターンシグナルランプが、1 回点滅します。
- ドア、ボンネット、テールゲートのいずれかが開いている状態でも、マイクロスイッチ操作により、閉まっているドアを施錠することができます。ただし、ターンシグナルランプは点滅せず、ホーンが 1 回鳴ります。



### 解錠

- 盗難防止機能が作動している状態で、リモートキーを携帯し、フロントドアハンドルのマイクロスイッチを押すと、すべてのドアが同時に解錠され、ターンシグナルランプが 2 回点滅します。
- 盗難防止機能が作動している状態で解錠した場合は、30 秒以内にドアを開けてください。そうしない場合は、すべてのドアは自動的に再度施錠されます。
- 次のいずれかの場合は、マイクロスイッチを押しても解錠 / 施錠されません。
  - ドアを開け閉めしているときに、マイクロスイッチを押した場合。
  - 車の電源ポジションが「OFF」以外のポジションに入っている場合。
  - リモートキーが車内に置かれている場合。

### アドバイス

- リモートキーがアウトドアハンドル、またはウィンドウに近すぎる場合は、この機能が有効にならず操作ができないことがあります。

## マイクロスイッチ操作での窓開 / 閉

- 車の電源ポジションを「OFF」にし、リモートキーを携帯した状態で、フロントドアハンドルのマイクロスイッチを長押しすると、すべてのドアガラスの自動開 / 閉ができます（ドライバーは、**マルチメディア → 車両設定 → ドア・窓とロック** の設定画面を ON または OFF にし、マイクロスイッチを長押しすることで解錠 / 施錠、またはドアガラスを開 / 閉することができます）。

## NFCカードでの施錠 / 解錠 \*

- NFCカードを携帯し右側ドアミラーに NFC マークが付いているところに近づけます。

### ドアの施錠：

- 車の電源ポジションを「OFF」にしてドアを閉じ、施錠した状態で NFCカードを右側ドアミラーの感知エリアにかざすと、すべてのドアが同時に施錠されます。このとき、ターンシグナルランプが 1 回点滅します。

### ドアの解錠：

- イモビライザーが機能している状態で NFCカードを右側ドアミラーの感知エリアにかざすと、すべてのドアは同時に解錠されます。このとき、ターンシグナルランプが 2 回点滅します。
- イモビライザーが機能している状態で NFCカードで解錠してから 30 秒以内にドアを開けてください。そうしない場合、すべてのドアは自動的に再度施錠されます。
- NFCカードで解錠してから 10 分以内は、ユーザーに操作権限を与えます。この権限は電源ポジションを「OFF」にしたときに解除されます。
- 以下の場合は、NFCカードを右側ドアミラーの感知エリアにかざしても解錠 / 施錠がされません。
  - ドアの開閉を操作すると同時に、NFCカードを右側ドアミラーの感知エリアにかざす場合。
  - 車の電源ポジションが「OFF」以外のポジションに入っている場合。

## ⚠ 注意

- キーレス操作権限の有効時間は最大 10 分間です。

## テールゲートの施錠 / 解錠

### リモートキーのリモコン操作でテールゲートの開 / 閉

パワーリフトゲートシステムが搭載されている場合、リモートキーの「テールゲートオープン」ボタンを2回連続で押すと、テールゲートが開きます。このとき、ターンシグナルランプが2回点滅します。更に「テールゲートオープン」ボタンを1回押すと、テールゲートの開動作がそのまま停止します。更に2回押すと、テールゲートが反対側に動きます。



### アドバイス

- テールゲートの開閉中に再びテールゲートオープンボタンを押すと、テールゲートがそのまま停止します。

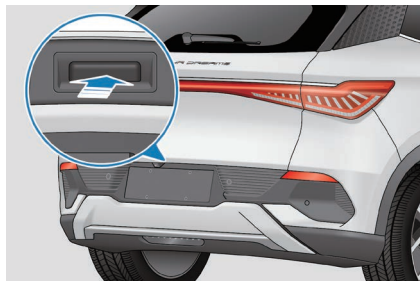
### 車内からテールゲートを開 / 閉する場合 \*

- テールゲートが閉まっている状態で運転席側のドアにあるスイッチを引くと、テールゲートが解錠され設定位置まで開きます（デフォルト値は最大高さ）。
- テールゲートのオープン中に再度スイッチを引くと、テールゲートは現在の位置で止まります。
- テールゲートが開いている状態でスイッチを1秒以上引き続けると、テールゲートが自動的に閉まります。手を離すと止まります。



### テールゲートオープンスイッチでテールゲートを開ける場合

- 車を解錠した状態でテールゲートオープンスイッチを押すと、テールゲートを開けることができます。
- 車が施錠されている場合、リモートキーを携帯した状態でテールゲートオープンスイッチを押すと、テールゲートを開けることができます。



### **i** アドバイス

- テールゲートの動作中に、テールゲートオープンスイッチを押すと、テールゲートが止まります。

### 電動操作でテールゲートを開閉する場合\*

- 1 テールゲートクローズボタン\*
- テールゲートが開き、静止している状態でテールゲートクローズスイッチを押すと、テールゲートが自動的に閉まります。
- 閉まっている途中に再びテールゲートクローズスイッチを押すと、テールゲートが現在の位置で止まります。テールゲートが作動中に止まってから再びテールゲートクローズスイッチを押すと、テールゲートが反対側に動きます。



### 2 全ドア施錠ボタン\*

車の電源ポジションを「OFF」にし、テールゲートが開いている状態でリモートキーを携帯しながら施錠スイッチを押すと、テールゲートが閉まり、車が施錠されると同時にイモビライザーが作動します。

### 手動操作でテールゲートを閉める場合\*

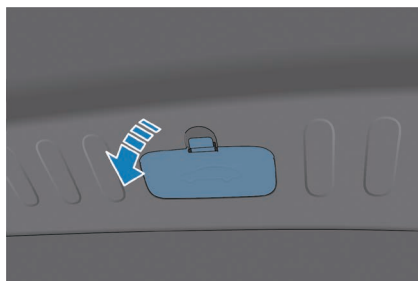
車が解錠されている場合は、手動でテールゲートを閉めることができます。

### **▲** 注意

- 電動操作でテールゲートを閉める前に、物的損害がないようにドア、ウィンドウ、サンルーフなどが閉まっていることを確認してください。

## テールゲートの緊急時解錠

テールゲートのロックの真上に緊急時解錠用蓋が付いています。この蓋を開け、その中の緊急時解錠ワイヤー、またはレバーを引くと、車内側からテールゲートの緊急時解錠ができます。



### **i** アドバイス

- 車が停電した場合は、車内からテールゲートの緊急時解錠ができます。

### テールゲートの開口位置の設定 \*

- 手動または自動でテールゲートを必要な位置まで開けて維持したまま、テールゲート内のスイッチを3秒以上長押しすると、スピーカーが1秒鳴り、テールゲートを現在の開口位置で設定したことを知らせます。
- ドライバーは、**マルチメディア** → **車両設定** → **ドア・窓とロック** 設定画面で **トランクオープン時高さ** の設定画面から、テールゲートの開口位置を設定することができます。

### 挟み込み防止機能

パワーテールゲートが閉まる途中で一定以上の力がかかると、テールゲートは自動的に反対側に動きます。パワーテールゲートが開く途中で一定以上の力がかかると、テールゲートはそのまま停止します。

### テールゲートのモーターが動かなくなったら

手動操作でテールゲートを閉めると、モーターの機能を復旧させることができます。

### モータールームのバッテリーを新たに接続する場合

手動でテールゲートを閉めなければ、パワーテールゲートは正常に動作できません。



**警告**

- テールゲートを操作するときには、下記の注意事項を守ってください。そうしないと、身体の一部が挟まれ、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
- 挟み込み防止機能を身体の一部で故意に作動させないください。
  - 近くに人がいる場合は、安全を確認し、テールゲートを開閉してください。
  - テールゲートを閉めるときには、特に指などを挟まないように注意してください。
  - テールゲートの開閉するときは、周りの安全を充分確認してください。
  - 発進するときは、テールゲートを確実に閉めてください。
  - テールゲートを開ける前には、付着している雪や氷などを取り除いてください。そうしないと、開いたテールゲートが突然閉まる場合があります。
  - 電動操作でテールゲートを開閉している最中、手動でテールゲートを操作しないでください。
  - 風が強いときに開閉すると、風にあおられ急に動くことがありますので特に注意してください。
  - テールゲートが閉まり切る直前に、挟まれるものによっては、挟み込み防止機能が作動しない場合があります。
  - テールゲートが最後まで開いていない場合、突然閉まる場合があります。坂道でのテールゲートの開閉操作は、水平地面の場合より力がかかるために、テールゲートの思わぬ開閉に気を付けてください。トランクルームを利用する前には、テールゲートが最後まで開き、ホールドしていることを確保してください。
  - 挟まれたものの形状によっては、挟み込み防止機能が作動しない場合があります。指などが挟まれないように気を付けてください。

**集中ドアロックの施錠 / 解錠****集中ドアロックスイッチでの車の解錠・施錠**

本章の運転席側ドアスイッチユニットの**集中ドアロック**を参照してください。

**ドアの自動施錠・解錠**

- PAD に設定された機能を ON にし、車の電源ポジションが「OK」状態で、速度が 8Km/h 以下から 8Km/h 以上に上がったとき、すべてのドアが閉まっている状態で施錠されていないドアがある場合は、4 つのドアのロックモーターを制御して施錠します。

- 「スタート/ストップ」ボタンを押して、車の電源ポジションを「OK」から「OFF」にすると、すべてのドアが自動的に解錠されます。

### すべてのドアを同時に施錠・解錠する

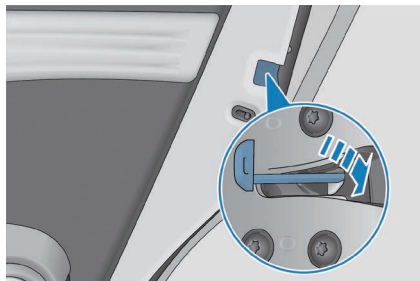
- 車が盗難防止モードに入らずに施錠されると、集中ドアロックの施錠ボタンのバックライトが点灯します。車が解錠されると、バックライトが消灯します。
- 集中ドアロックの施錠ボタンを押すと、すべてのドアは同時に施錠されます。その場合、車の外側からの解錠操作ができなくなります。ドアを開けるには、インナードアノブを1回引く必要があります。ロックが解錠されてから、再びインナードアノブを引くと、ドアが開きます。

### メカニカルキーでの全ドア緊急施錠

集中ドアロックシステム、またはリモートキーが作動しない場合は、メカニカルキーでの施錠・解錠ができます。

#### 施錠：

1. リモートキーからメカニカルキーを取り出します。
2. 運転席側ドア以外の三つのドアを開け、図のようにメカニカルキーで矢印方向に白いノブを動かした状態で、ドアを閉めると、ロックされます。
3. 運転席側ドア以外の三つのドアをロックしてから、運転席側ドアを開けます。
4. メカニカルキーをドアロックの鍵穴に挿し込み、一定の力で反時計回りにキーを最後まで回してから、メカニカルキーを初期位置に戻して抜き出します（本章の[メカニカルキーでの施錠 / 解錠](#)を参照してください）。



#### 解錠：

1. リモートキーからメカニカルキーを取り出します。
2. メカニカルキーをドアロックの鍵穴に挿し込み、一定の力で時計回りにキーを最後まで回してから、メカニカルキーを初期位置に戻して抜き出します。
3. 車に乗り込んでから、インナードアノブを2回連続で引くと、運転席側以外の三つのドアが解錠されます。

## スマートエントリー&スタートシステム

リモートキーを携帯している場合は、ドアを解錠 / 施錠し、車を始動させることができます。

### 機能を ON にする場合

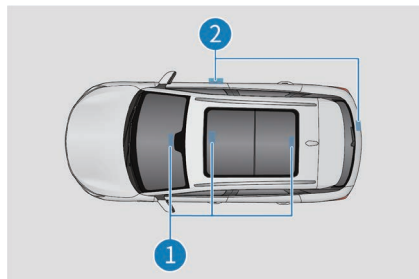
リモートキーを携帯し「ロック / アンロック」ボタンを押すことで、ドアを解錠・施錠させます（詳細は本章の[リモートキー操作での施錠 / 解錠](#)を参照してください）。

### 車を始動する場合

リモートキーを携帯し、ブレーキペダルを踏み込みながら「スタート / ストップ」ボタンを押すことで車を始動させます（詳細は[車の始動](#)を参照してください）。

#### アンテナの搭載位置

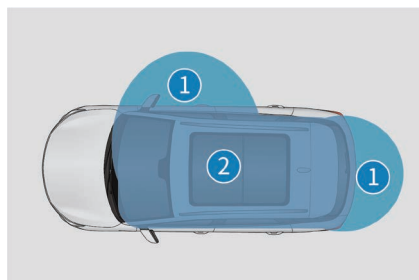
- ① 室内アンテナ
- ② 室外アンテナ



#### 作動範囲

登録済みのリモートキーが作動範囲内になれば、スマートエントリー&スタートシステムは機能しません。

- ① 機能が ON になる作動範囲——運転席側ドアハンドルおよびテールゲートオープンスイッチから約 1m の範囲内。
- ② 機能が作動する作動範囲——室内。



## **i** アドバイス

次の場合は、スマートエントリー&スタートシステムは、正常に作動しないことがあります。

- 近くにテレビ塔、発電所、ラジオ放送局などの強い電磁波を発生する施設がある場合。
- リモートキーを双方向無線電話や携帯電話などの通信装置と一緒に携帯している場合。
- リモートキーが金属に接触したり、覆われたりしている場合。
- ドアハンドルを素早く操作している場合。
- リモートキーがドアハンドルに近づいた場合。
- 近くにある別の車の中でワイヤレスリモートコントロール機能进行操作している場合。
- リモートキーのバッテリーが切れている場合。
- リモートキーが高電圧設備、またはノイズが発生する設備の近くにある場合。
- リモートキーを他車のスマートエントリー&スタートシステムのキーや無線電波を発する他の装置と一緒に携帯している場合。
- 作動範囲内であっても、一部の場所（インストルメントパネルの上、グローブボックスの中、床）では、リモートキーが正常に作動しないことがあります。

- スマートエントリーシステムが正常に作動せず車に乗り込めない場合、リモートキーに内蔵されているメカニカルキーで運転席側ドアの解錠・施錠を操作する、またはワイヤレスリモートコントロール機能ですべてのドアの解錠・施錠を操作することができます。
- 「スタート/ストップ」ボタンを押したとき、スタート機能が正常に作動しない場合は、下記に示す要因が考えられます。
  - リモートキーが作動せずにコンビネーションメーターのリモートキーシステム警告灯が点灯し、コンビネーションメーターに「キーのバッテリー残量が少なくなっています。できるだけ早くバッテリーを交換してください」とメッセージが表示されている場合は、リモートキーのバッテリーが切れていることが考えられます。
- スマートエントリー&スタートシステムがシステム故障で正常に作動しない場合は、すべてのリモートキーを携帯し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場での修理をようおすすめします。

## 節電

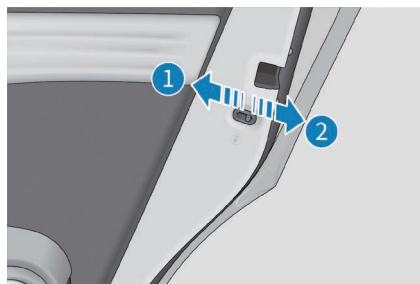
- 車を運転しなくても、リモートキーと車との通信は常に行われています。そのため、リモートキーを車内、または車から 2m 以内のところに置かないでください。
- リモートキーは長時間強い電磁波を受信すると、バッテリーが急速に消耗するため、以下のような機材から 1m 以上離してください。
  - テレビ
  - パソコン
  - ワイヤレス充電器
  - 電気スタンド
  - 電気蛍光灯スタンド

## チャイルドロック

チャイルドロックは、リアシートに座っている子供が不注意でリアドアを開けるのを防ぐための機能です。左リアドア、右リアドアの側面にチャイルドロック装置が備わっています。

- ① チャイルドロックボタン ON
- ② チャイルドロックボタン OFF

チャイルドロックボタンを ON にすると、乗員は、内側からリアドアを開けることができません。リアドアを開けるには、外側のドアハンドルを使用してください。



### ⚠ 注意

- 運転前には、特にお子様を車に乗せている場合、ドアが閉まり、かつチャイルドロック機能が作動していることを確認してください。
- シートベルトを正しく着用し、チャイルドロックを作動させることで、交通事故によるドライバーや乗客の車外放出を防止すると同時に、ドアが不意に開くことも防止します。

## シートについて

走行中、乗員全員は、シートバックを垂直にして、背中をシートバックに密着させてシートベルトを正しく着用しなければなりません。

### ⚠ 警告

- 乗員が正しく着座するまでは、車を発進させないでください。
- 倒したシートバックの上、トランクルームの中、または荷物の上に座らないでください。そうしないと、緊急ブレーキ時や衝突発生時に、シートに正しく着座していない、またはシートベルトを正しく着用していない方は、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 走行中に、乗員を立たせたり、シート間を移動させたりしないでください。そうしないと、急ブレーキ時や衝突発生時、乗員は、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートの思わぬ移動によって車が制御不能にならないように、走行中に運転側のシート調節をしないでください。
- シートバックを調節した後、後ろへ身体を寄せてシートバックがロックされていることを確認してください。
- シートを調節する際は、手をシートの下に入れたり、動作中の部品に近づけたりしないでください。手や指が挟まれるおそれがあります。
- シートバックを必要以上に倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を発揮せず、衝突時に重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートバックと背中の中にクッションなどを入れないでください。運転姿勢が安定せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- リアシートを折りたたんだとき、折りたたんだシートバックの上に乗らないでください。シートを損傷したり、転んだりして思わぬ怪我をするおそれがあります。

### ⚠ 注意

- ペダル、ステアリングホイールおよびインストルメントパネル上のコントローラーがドライバーの操作しやすい範囲内に入るように運転側シートを調節してください。
- シートを調節するときは、シートが乗員、または荷物に当たらないように注意してください。

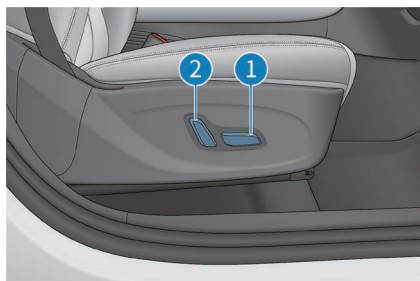
## フロントシートの調節

### 電動フロントシートの調節\*

フロントパワーシート位置の調節は、シートの前後位置、シートクッションの高さ、シートバック角度調節を含みます。車に搭載されている機能に応じ、次の調節方法で対応してください。

#### ① シートポジション調節スイッチ

- 前後方向にシートポジション調節スイッチを操作すると、シートポジションを前後方向に調節することができます。
- スwitchの後部を上下方向に操作すると、ドライバー側シートの高さを調節することができます。



#### ② シートバック角度調節スイッチ

前後方向にシートバック角度調節スイッチの上端を操作すると、シートバックの角度を調節することができます。

3

フロントローラーの操作

### ⚠ 注意

- スwitchから手を離すと、シートは、現在の位置に止まります。シートの下にものを置かないでください。シートの動作を妨げるおそれがあります。

### ヒーターシステム\*

- ヒーターシステムは、マルチメディアディスプレイの操作アイコンでフロントシートヒーター機能のON・OFFを制御します。
- マルチメディアのトップページのプルダウンメニューでシートヒーター設定アイコンを読み出すことができます。



## ヒーターシステムの調節

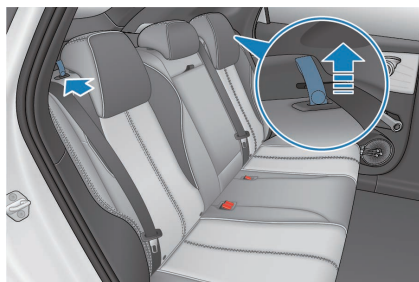
- シートヒーター：ドライバーは、シートヒーターアイコンの操作でモードを選択します。ヒーター機能は、高温、低温の2段切替となっています。
  - 電源を入れるたびに、初期状態としてヒーター表示灯は消灯します。
  - スイッチを1回押すと、シートヒーターが高温モードで作動すると同時に、2つのヒーター表示灯が点灯します。
  - スイッチを2回押すと、シートヒーターが低温モードで作動し、1つ目の表示灯が点灯し、二つの表示灯が消灯します。
  - スイッチを3回押すと、ヒーター機能がOFFになり、二つの表示灯が消灯します。

### ⚠ 警告

- 長時間連続して使わないでください。低温やけどの原因になります。特に乳幼児、高齢者、身体の不自由な方、薬を服用された方、糖尿病などの症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は注意してください。
- 突起があるものをシートに載せたり、ピンなどの尖ったもので突き刺したりしないでください。

## リアシートの収納

- シートバックを倒す
  - ストラップを引きます。
  - シートバックを前か後ろに押し倒します。前に倒す場合は、シートバックがシートクッションに当たるまで倒します。後ろに倒す場合は、シートバックがロックされるまで（ロック音が聞こえるまで）倒します。



### ⚠ 警告

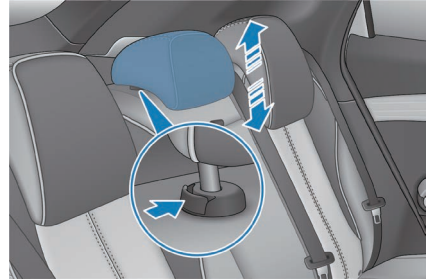
- シートバックを起こすときは、ゆっくりと手で戻してください。急に戻すと身体に当たり、思わぬ怪我をするおそれがあります。
- シートバックを起こすときは、シートベルトを挟み込まないでください。挟み込まれているとシートベルトを正しく着用できません。



## ヘッドレスト

### ヘッドレストの調節

1. ヘッドレストを高くする  
ヘッドレストを適切な位置まで引き上げ、ロック音が聞こえたら手を離します。
2. ヘッドレストを低くする  
ヘッドレストの高さ調節ノブを押したままヘッドレストを適切な位置まで下げ、ロック音が聞こえたら手を離します。
3. ヘッドレストの取り外し  
ヘッドレストの高さ調節ノブを押したままヘッドレストを抜き出してからノブを離します。
4. ヘッドレストの取り付け  
ヘッドレストの足を元の位置に差し込み、切り欠きが前に向くように保ちます。ヘッドレスト高さ調節ノブを押したまま、ヘッドレストを適切な位置まで下げてから手を離します。



3

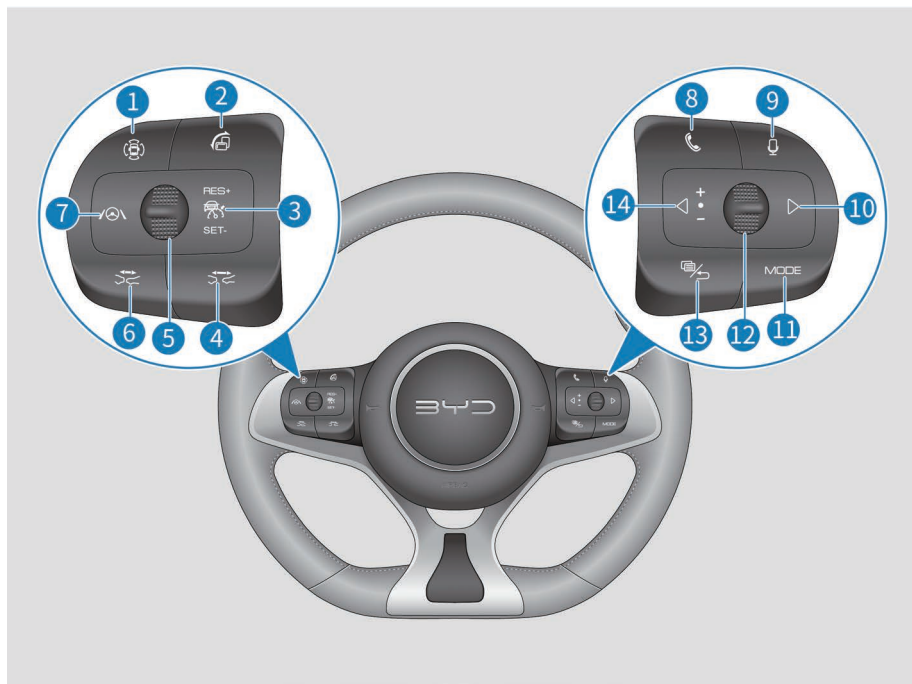
コントローラーの操作

### 警告

- ヘッドレストは、首や頭部の傷害を避けることができます。後頭部がヘッドレストの中心に来るようにヘッドレストの高さを調節しないと、ヘッドレストの効果を最大限に発揮しませんので、乗員の実際の身長に合わせてヘッドレストを適切な位置に調節してください。
- ヘッドレストの中心が耳の上部になるように位置を調節します。
- ヘッドレストの調節後、調整した位置で確実にロックされていることを確認してください。
- ヘッドレストが装着されていない車を運転しないでください。
- ヘッドレストのステーにもものをかけないでください。

## ステアリングホイール

### ステアリングホイールコンビネーションスイッチ



- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1 BYD アラウンドビューシステム *  | 8 電話ボタン           |
| 2 スクリーン回転ボタン          | 9 音声制御ボタン         |
| 3 アダプティブクルーズコントロールボタン | 10 右矢印ボタン         |
| 4 車間距離+ *             | 11 モードボタン         |
| 5 設定速度レバー             | 12 ホイールボタン        |
| 6 車間距離- *             | 13 メーター / リターンボタン |
| 7 ナビゲーションパイロットボタン     | 14 左矢印ボタン         |

電源ポジションを「OK」にすると、オーディオコントロールスイッチが使えるようになります。

## 左側ボタン

### アダプティブクルーズコントロールボタン \*

- アダプティブクルーズコントロールシステム (ACC) の ON・OFF を操作します。

### アドバイス

- アダプティブクルーズコントロール機能の使い方については、[アダプティブクルーズコントロール \(ACC\) システム \\*](#) を参照してください。

### RES+ (設定速度レバーを上方向に) \*

- ACC を有効にして、前回のシステム設定値を呼び出します。

### SET- (設定速度レバーを下方向に) \*

- 現在の速度を ACC の設定速度として設定します。

### 警告

- ACC の初期設定速度は 30km/h になっています。その設定のまま高速道路などを走行中に RES+ を押しと 30km/h に急減速し、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。高速道路などで ACC を使用する場合は、SET- で速度設定を行った後、設定が解除されたときのみ RES+ で設定速度に戻すことをおすすめします。

### 車間距離- \*

- ACC 追従走行機能作動中に、前の車との車間距離を 4 段切替で調整できます。1 回押しと 1 段下がります。

### 車間距離+ \*

- ACC 追従走行機能作動中に、前の車との車間距離を 4 段切替で調整できます。1 回押しと 1 段上がります。

### キャンセルボタン

- ACC ON 状態をキャンセルすると、システムは、作動状態から待機状態に入ります。

### ナビゲーションパイロットボタン

- ナビゲーションパイロット機能の ON・OFF を操作します。

### スクリーン回転ボタン

- スクリーン回転ボタンを押すと、マルチメディアタッチスクリーンを回転させることができます。

### BYD アラウンドビューシステム \*

- BYD アラウンドビューモードの場合はBYD アラウンドビューシステムをOFFにします。BYD アラウンドビューモード以外の場合は、BYD アラウンドビューシステムをONにします。

## 右側ボタン

### ホイールボタン

#### 1. マルチメディア

- 上方向にホイールを回す場合：最大音量になるまで音量を1段ずつ上げます。
- 下方向にホイールを回す場合：最小音量になるまで音量を1段ずつ下げます。
- ホイールを押す場合：ミュートモードになります。

#### 2. メーター

- 上方向にホイールを回す場合：メーターメニューモードでは、スクロールアップで第2階層 / 第3階層メニューを選びます。
- 下方向にホイールを回す場合：メーターメニューモードでは、スクロールダウンで第2階層 / 第3階層メニューを選びます。
- ホイールを押す場合：
  - メーターメニューモードでは、現在のオプションの詳細メニューに入るか、現在の設定を確定します。

## 左矢印 / 右矢印ボタン

#### 1. マルチメディア

- ラジオモードの場合：
  - ◀ボタンを長押しすると、前の放送局へ自動選局を開始します（周波数を下げる）。
  - ▶ボタンを短く押すと、プリセットされた前の放送局を選局します。
  - ▶ボタンを長押しすると、次の放送局へ自動選局を開始します（周波数を上げる）。
  - ▶ボタンを短く押すと、プリセットされた次の放送局を選局します。

- USB / Bluetooth® 音楽 / サードパーティ APP などのモードの場合：
  - ◀ボタンを短く押すと、前の曲を再生します（曲番号- 1）。
  - ◀ボタンを短く押すと、Bluetooth 通話記録、電話帳画面が表示されます。短く押すと、スクロールアップで希望の項目を選びます。
  - ▶ボタンを短く押すと、次の曲を再生します（曲番号+ 1）。
  - ▶ボタンを短く押すと、Bluetooth 通話記録、電話帳画面が表示されます。短く押すと、スクロールダウンで希望の項目を選びます。

## 2. メーター

- メーターメニューモードの場合：
  - ◀ボタンを押すと、左へメインメニューおよびそのサブメニューを切り替えます。
  - ▶ボタンを押すと、右へメインメニューおよびそのサブメニューを切り替えます。

## 電話ボタン

- 電話をかける / 電話を受ける（このボタンを押すと、オーディオシステムがミュートモードに入ります）。
- システムが Bluetooth と関係のない画面を表示し、Bluetooth を接続していない状態で、ボタンを短く押すと、システムが電話機選択メイン画面に切り替わります。Bluetooth に接続されている場合は、システムがダイヤル画面に切り替わります。
- ダイヤル画面に電話番号を入力するか、通話記録、電話帳画面で電話番号を選び、ボタンを短く押すと、ダイヤル機能が作動します。
- Bluetooth に接続した状態でダイヤル画面に番号が入力されていない場合、ボタンを短く押すとシステムが通話記録画面における発信履歴画面に直接切り替わります。再び押すと、システムが発信履歴画面の一番上の電話番号を自動的にダイヤルします。

## 音声制御ボタン

- ボタンを押すと、マルチメディアタッチスクリーンが音声制御画面に切り替わり、音声機能を操作することができます。
- ボタンを再び押すと、新たに音声コマンドが入力されます。

### メーター / リターンボタン

- メーターがメニューモード以外の場合、メーター / リターンボタンを押すと、メーターメニューが表示されます。
- メーターがメニューモードの場合、メーター / リターンボタンを押すと、前の画面に戻ります。前の画面がなければ、メニュー画面が閉じます。
- Bluetooth 通話画面の場合は、短く押すことで通話を終了させることができます。

### モードボタン

- モード選択：モードボタンを押すと、メディア APP、周辺機器、プリインストール APP を切り替えることができます。
  - オーディオ・OFF の状態で「モード」ボタンを短く押すと、オーディオが立ち上がり、前回 OFF 時に記憶された再生モードに入ります。記憶された再生モードでソースが見つからない場合（オーディオ周辺機器が接続されていないなど）は、そのままラジオモードに切り替わります。

### ホーンボタン

- ホーンのパッド面を押すと、ホーンが鳴ります。手を離すと、ホーンが止まります。

#### 注意

- 長時間ホーンのパッド面を押さないでください。ホーンの破損につながるおそれがあります。

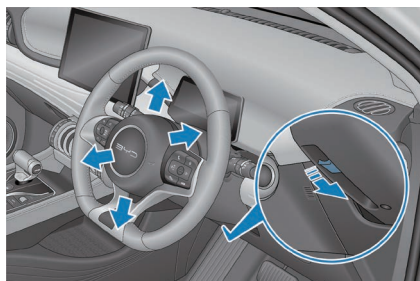
#### アドバイス

- 交通ルールを守り、ホーンを適切に使ってください。

## ステアリングホイールの手動調節

ステアリングホイールの角度を調節するときは、ステアリングホイールを握りながら次の操作を行います。

- ステアリングホイールの調節レバーを下に押し、ステアリングホイールを必要な角度と必要な軸方向の位置に調節してから、レバーをロック位置に戻します。




3

コントロールローラーの操作

### 警告

- 走行中にステアリングホイールの調節をしないでください。操縦の誤りにより、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- ステアリングホイールを調節した後、上下方向に動かし、確実に固定されていることを確認してください。


## パワーステアリングモードの設定

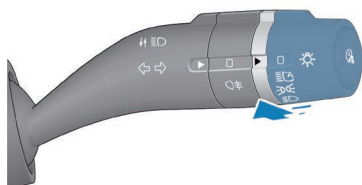
- パワーステアリングの感触は、人によって異なります。ドライバーにより、パワーステアリングの感触の評価やニーズも異なります。
- ドライバーは、 → **車両設定** → **スマートシャーシ** → **ステアリングアシスト** の設定画面を出し、**コンフォート / スポーツ** の操舵モードのオプションを選びます。

### アドバイス

- 車が高速で走行しているとき、ステアリングホイールの操作力が軽く感じられた場合は、ステアリングアシストの設定をスポーツモードに設定するようおすすめします。

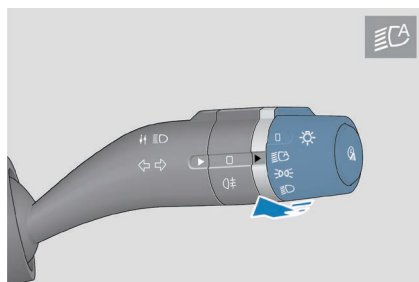
## ライトスイッチ

ライトスイッチを  に回すと、デイトムランニングライト以外のすべてのライトが消灯します。



### オートライト

ライトスイッチを  に回すと、BCM (Body Control Module) が照度センサーで周囲の明るさを取得し、自動的にポジションランプやロービームの ON・OFF を制御します。



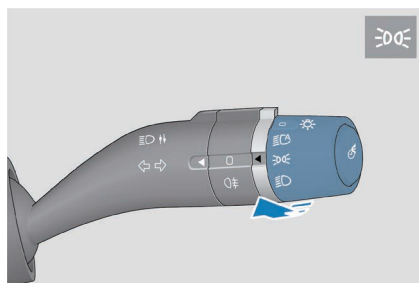
### ▲ 注意

■ 照度センサーは、インストルメントパネルの上端部にあり、センサーが遮られたり、その上に液体がかかったりすることを避けてください。

### ポジションランプ

ライトスイッチを  に回すと、ポジションランプが点灯します。

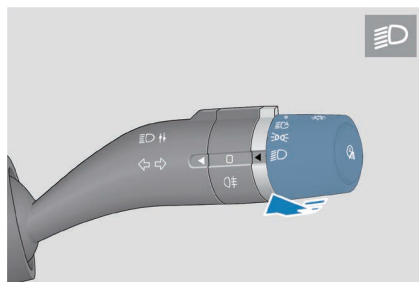
(デイトムランニングライト、ポジションランプ、リアライセンスプレートランプ、メーターバックライト、ポジションランプ表示灯、および一部のバックライトなど。)





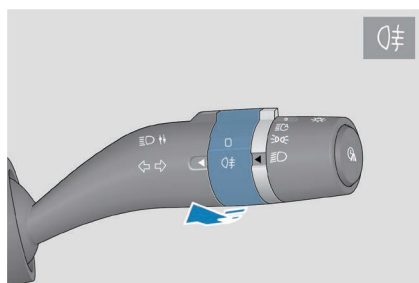
### ロービーム

ライトスイッチを  に回すと、ロービームが点灯します。



### リアフォグランプ

ライトスイッチを  に回し、リアフォグランプスイッチを  に回すと、リアフォグランプが点灯します。




3

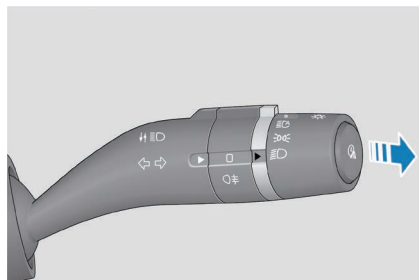
コントローラーの操作

### ⚠ 警告

- 晴天時には使用しないでください。後方車の視界を悪化させるおそれがあります。
- リアフォグランプは、霧や雨、雪などの悪天候で視界が悪いときに使用してください。

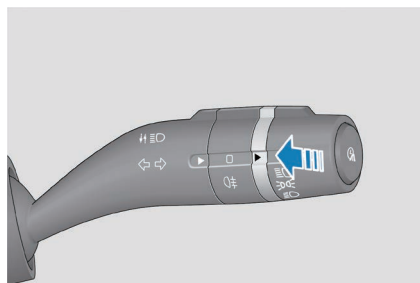
### ハイビーム

ライトスイッチを  に回し、ライトスイッチのレバーを前方（ステアリングホイールから離れる方向）に押し、レバーが自動的に初期位置に戻ると、ハイビームが点灯し同時にメーターのハイビーム表示灯も点灯します。「前、後」方向にライトスイッチのレバーを操作する、ロービームを OFF にする、または「OK」レンジをシフトするとハイビームが消灯します。



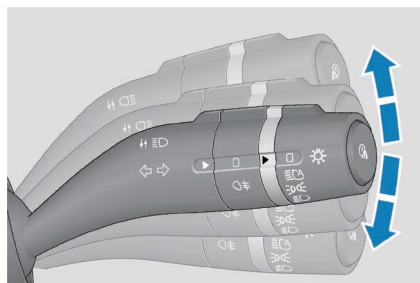
### パッシングライト

ライトスイッチのレバーを手前（ステアリングホイールに近づく方向）に引くと、パッシングライトが点灯し、手を離すとライトスイッチは自動的に戻り、パッシングライトが消灯します。





### ターニングナルランプ

- コンビネーションスイッチのレバーを上方向に上げると、左ターニングナルランプとメーターの方向指示表示灯が同時に点滅します。
- コンビネーションスイッチのレバーを下方向に下げると、右ターニングナルランプとメーターの方向指示表示灯が同時に点滅します。
- ターニングナルランプをつけた後に手を放しても、ターニングナルランプは点滅し続けます。曲がり切った後は、自動的に消灯します。ドライバーの運転の違いにより、特別なケースでは、ステアリングホイールを1回転させないとリセットしない場合があります。




### オート OFF 機能

- オート OFF 機能の作動条件：ライトスイッチを「」、または「」に回し、電源を「スタート」から「ストップ」に切り替えたとき ON になります。
- オート OFF 機能が ON の状態で運転席側ドアが閉まっていると、オート OFF 機能により、10 秒後に点灯中のヘッドライトおよびポジションランプが消灯します。
- オート OFF 機能が ON の状態で運転席側ドアが開いていると、オート OFF 機能により、10 分後に点灯中のヘッドライトおよびポジションランプが消灯します。
- 自動的に消灯した後にライトスイッチのポジションを切り替えた場合、切り替えたポジションに応じてライトが点灯します。このとき、オート OFF 機能の作動条件が揃うと、再度オート OFF 機能が作動します。
- オート OFF 機能の解除：車の電源を入れると、オート OFF 機能は

OFF になります。ライトスイッチを通常通り操作できます。




- オート OFF 機能によりランプを消灯し、イモビライザー作動後に再度イモビライザーを OFF にすると、消灯したランプが自動的に再び点灯します。運転席側ドアが開けていなければ、オート OFF 機能により 10 秒後にランプが再び消灯します。ドアを開けるとオート OFF 機能によりランプが 10 分後に消灯します。

## ヘッドライト残照機能







- 車の電源ポジションを「OK」にしている場合は、 → **車両設定** → **照明&アンビエント** → **降車後のヘッドライト点灯時間** の順にタッチし、残照時間を設定することができます。



- 降車後のヘッドライト点灯機能：


- ドライバーは、マルチメディアタッチスクリーンで降車後のヘッドライト点灯機能の点灯時間を設定することができます。点灯時間の初期値は10秒です。ドライバーがライトスイッチを「」、「」または「」に回し、電源ポジションが「OFF」ですべてのドアが施錠されている状態で車を離れようとする時、該当ライトが10秒（または設定された時間）点灯します。

- 乗車前のヘッドライト点灯機能：

- ドライバーは、ライトスイッチを「」、「」、または「」に回し、電源ポジションを「OFF」にして車から降りてドアを閉めた場合、ドアロック操作を行うことなく、該当ライトが10秒間点灯し続けます。
- ドライバーは、ライトスイッチを「」、「」、または「」に回し、電源ポジションを「OFF」にしてドアを開けたままにした場合、該当ライトが10秒間点灯し続けます。


## ハイビームアシストシステム

- HMA システムは、ウィンドウガラス上部に設置されたマルチファンクションビデオコントローラーにより現在の走行モードを判断し、必要なときにハイビーム/ロービームを自動的に切り替えます。

 → ADAS → ドライビングアシスト  
 の操作で HMA を ON にします。





### HMA の作動

- ライトスイッチを  に回し、速度が 35km/h を超えている状態で明るさの条件を満たすと、HMA が自動的に作動します。作動後は、実際の走行環境に応じてハイビームとロービームを自動的に切り替えます。

### アドバイス

- HMA 作動時、メーター内のハイビームアシスト表示灯は点灯します。

### HMA を OFF にするとき

- 次の操作で HMA を OFF にすることができます。
  - ライトスイッチを  以外のポジションに回します。
  -  → ADAS → ドライビングアシスト、またはショートカットメニュー to turn off HMA
  - 手動でハイビームを ON にします。

### システム作動を抑制する条件

- ハイビームアシストシステムは、下記の場合に作動が抑えられます。
  - 速度が 35km/h 未満の場合。
  - フォグランプ、ターンシグナルランプを ON にする、または急ハンドルを切った場合。

## システムの限界性

### 警告


■ 下記の場合、ハイビームアシストシステムが誤作動したり、作動しなかったりするおそれがあります。手でライトを操作するようおすすめします。

- 照明が弱い交通参加者（歩行者や自転車など）や、鉄道や水路に近隣する道路または野生動物が出没している道路を走行したりする場合。
- ウィンドガラスに霧や汚れが付いていたり、ラベルやアクセサリなどで遮られている場合。
- 光を強く反射するものがある場合（高速道路上の交通標識、路上の水たまり、先行車のトレーラーの反射する後端など）
- 雨や雪、強風などの悪天候の場合。
- パンクなどによりタイヤの空気圧が低下して傾いている場合。

### 注意

■ 衝突事故が発生した、またはセンサーの脱着をした後は、システム性能への支障がないように BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場にセンサーの校正を依頼してください。

## ヘッドライトの高さ調節

ロービームを ON にしている場合は、  
 → 車両設定 → 照明&アンビエント → ヘッドライト高さ調整 の順にタッチし、タッチスクリーンでヘッドライトの照射角を調節します。



車の負荷状況	ライトの推奨グレード
ドライバーおよび助手席の乗員	0～2
満員	0～2
満員、トランクルーム満載（均一分布）	1～3
ドライバーのみ、トランクルーム満載（均一分布）	1～3

■ 車により、負荷状況が異なる場合があるので、実際の車の状況に応じて調整してください。

## ワイパースイッチ

### フロントワイパーとウォッシャー

- レバーを使い、ワイパーとウォッシャーを操作します。このレバーは、5段切り替えとなっています。

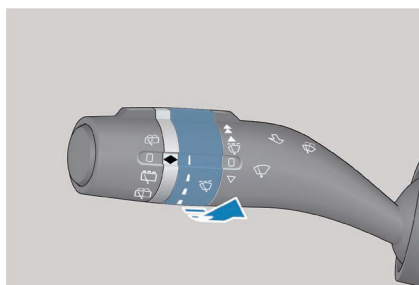
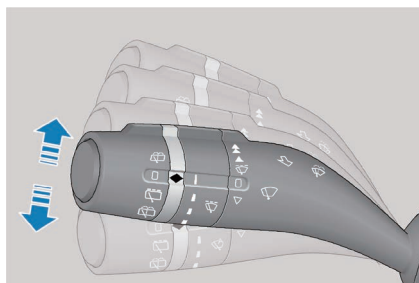
- ▲：高速モード
- △：低速モード
- ☒：間欠モード
- □：停止
- ▽：ミストモード

- モードの切り替えは、上にレバーを上げる、または下にレバーを下げます。

- 低速や高速モードの場合は、ワイパーは連続的に作動します。

- ミストモード「▽」でワイパーを作動させるには、「□」位置からレバーを下方向に下げます。ワイパーは、レバーを離すまで低速で作動します。

- 間欠モード「☒」の場合に、ワイパースイッチの間欠時間設定ツマミを回すと、間欠時間は雨量マークの幅が狭くなるほど長くなります。



### フロントウォッシャー ☒





- フロントガラスを洗浄する場合は、レバーを手前（ステアリングホイールに近づく方向）に引きます。ウォッシャー液が噴射すると同時にワイパーが作動します。
- レバーを離すか 10 秒以上操作し続けると、ウォッシャー液の噴射が止まります。ワイパーが 1～2 回作動してから止まり、約 5 秒後に 1 回作動します。ガラスに残った水を拭き取ります。

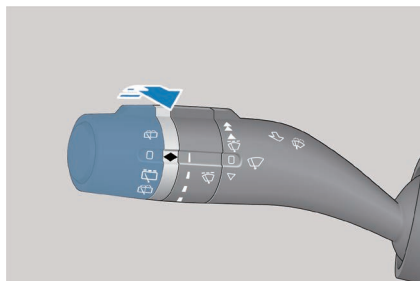
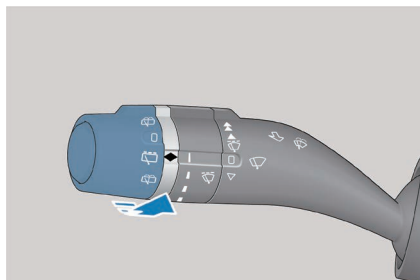
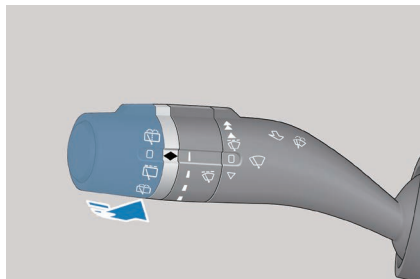


## ⚠ 警告

- 寒冷時は、ガラスに噴射したウォッシュ液が凍結して、視界が妨げられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。ウォッシュ液を噴射する前に、ガラスをヒーターで温めるようにしてください。
- 寒冷地では不凍剤の含まれたウォッシュ液を使用してください。不凍剤が入っていないウォッシュ液を使用すると、ガラスの視界が妨げられることがあります。

## リアワイパーとウォッシュ

- ワイパースイッチのツマミを  位置に回すと、リアワイパーが作動します。ツマミを  に回すかテルゲートを開けると、ワイパーが止まります。
- スイッチをリアワイパーの位置  に回して保持すると、リアワイパーとウォッシュ液が同時に作動します。
- スイッチをリアワイパーの位置  に回し、ウォッシュ液が噴射された後、ワイパーが1～2回作動して停止します。



### リアワイパーとテールゲートとの連動機能

- 車の電源ポジションを「OK」にしてからテールゲートを開けると、リアワイパー/ウォッシャが作動できなくなります。リアワイパー/ウォッシャ作動中にテールゲートを開けると、ワイパー/ウォッシャが止まります。テールゲートを閉じてから5秒後に再び作動します。フロントワイパーを使う場合は、シフトレバーをRレンジに入れると、リアワイパーも自動的に作動します。

#### ⚠ 注意

- ウォッシャを10秒以上連続作動させたり、ウォッシャ液が切れている状態で作動させたりしないでください。オーバーヒートによりモーターが破損するおそれがあります。

#### ℹ アドバイス

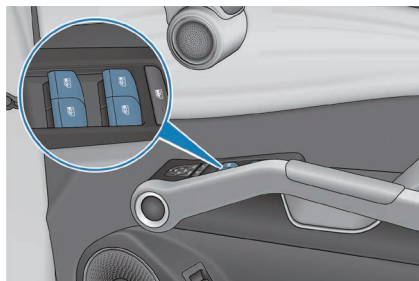
- 定期的にブレードを点検し、ブレードの汚れを除去してください。
- 雨が降り出したとたんにワイパーを作動させると、雨水に土砂やほこりが混じっていて、ウィンドウガラスをきれいに拭き取らないばかりか、視野も一瞬でぼやけて、安全運転に影響します。
- ガラス洗浄液を使ってください。水や他の洗浄液を使うと、ワイパーモーターの破損につながるおそれがあります。

### パワーウィンドウスイッチ

- 電源ポジションが「OK」時に、各ドアのコントロールスイッチにより、それぞれのドアガラスの開閉を制御することができます。電源ポジションを「OFF」にすると、パワーウィンドウの開閉操作ができなくなります。

- ドライバー側のウィンドウスイッチは4つのボタンがあり、それぞれの4ドアのガラス開閉を制御します。

- 下降：スイッチを押す。
- 上昇：スイッチを引き上げる。



- パワーウィンドウを操作中にスイッチ操作を止めると、ドアガラスは途中で止まります。



- 自動下降：2段階までスイッチボタンを押し込んでから手を離すと、ドアガラスが自動的に下がります。
- 自動上昇：2段階までスイッチボタンを引き上げてから手を離すと、ドアガラスが自動的に上がります。
- 途中で止めたい場合は、反対方向に軽く押ししてください。

#### 電源ポジション OFF 後の作動機能 \*

- 電源ポジションを「OFF」した後、フロントドアを開けない場合、10分以内までは4ドアのガラス開閉操作ができます。
- 電源ポジションを「OFF」した後、フロントドアを開けると、4ドアのガラス開閉操作ができなくなります。

#### スマートウィンドウ制御機能 \*

- マルチメディアでこの機能を ON にしたとき（詳細はマルチメディアシステムの項目を参照）、リモートキーの「解錠」ボタンを長押しすると、ガラスが自動的に下がります。リモートキーの「施錠」ボタンを長押しすると、ガラスは自動的に上がります。ガラス作動中にボタンを離すと、ドアガラスの開閉は止まります。
- マルチメディアでこの機能を ON にしたとき（詳細はマルチメディアシステムの項目を参照）、リモートキーを携帯し、フロントドアのマイクロスイッチを長押しして解錠すると、ドアガラスは自動的に下がります。フロントドアのマイクロスイッチを長押しして施錠すると、ドアガラスは自動的に上がります。ガラス作動中にボタンを離すと、ドアガラスの開閉は止まります。
- マルチメディアでドアガラス自動上昇機能を ON にしたとき（詳細はマルチメディア設定操作を参照）、電源ポジションが「OFF」のときにドアを「ロック」すると、すべてのドアは施錠され4ドアガラスは自動的に上がります。

#### ⚠ 警告

- パワーウィンドウを閉じるとき、手や指を挟まないように手をドアガラスの上に置かないでください。
- 走行中は顔や身体を車外に出さないでください。車外のものに当たり、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ドアガラスを開閉するときはお子様に声をかけ、手や腕などを挟まないことを確認してから操作してください。
- リアシートにお子様に乗っている場合は、リアウィンドウスイッチをロックすることをおすすめします。

## 挟み込み防止機能

### 挟み込み防止機能

ドアガラス上昇中に人やものが挟まれると、ドアガラスの上昇が止まり、自動的に下がります。

### 挟み込み防止機能の初期化

- ドアガラスの上昇または下降中に起動バッテリーの接続を解除すると、ドアガラスの自動上昇および挟み込み防止機能が無効となります。その後、起動バッテリーを接続してウィンドウスイッチで閉めてから、再びウィンドウスイッチを3秒以上長押ししてください。
- ドアガラスを閉じてスイッチから手を離し、再度上昇操作を行って3秒以上ホールドします。

### ⚠ 警告

生命にかかわる重大な傷害を防止するために、ドアガラスを閉じるときには、下記の注意事項を守ってください。

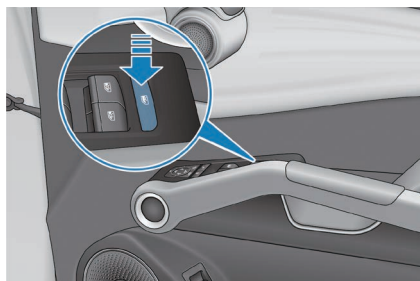
- ドアガラスを操作するとき、ドライバーや乗員の身体が挟まれないようにきちんと確認したうえで操作してください。
- 絶対にお子様にパワーウィンドウを操作させないでください。
- 身体の一部で挟み込み防止機能を故意に作動させないでください。
- ドアガラスが閉まり切ろうとするとき、挟まれるものによっては挟み込み防止機能が作動しない場合があります。

### ⚠ 注意

- 挟み込み防止機能の初期化を頻繁に行うと、パワーウィンドウモーターの過熱保護機能が作動します。
- ドアガラス自動上昇機能と挟み込み防止機能が作動しない場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に点検を依頼するようおすすめします。

## ウィンドウロックキー\*

このボタンを押すと、ドライバー側のパワーウィンドウスイッチでは、すべてのドアガラスの開閉ができ、助手席側のスイッチでは助手席側のドアガラスの開閉ができ、リアウィンドウスイッチでは各席のドアガラスの開閉はできません。



再度ウィンドウロックキーを押すと、表示灯が消灯し、各乗員がそれぞれのドアガラス開閉を操作することができます。

## 集中ドアロック

運転席側のドアには、電動ドアロックスイッチを搭載しています。この二つのスイッチですべてのドアの施錠や解錠ができます。

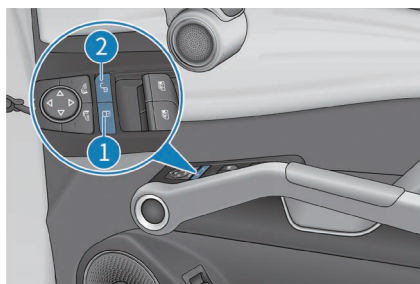
### 1 施錠

「集中ドアロック施錠」ボタンを押すと、4ドアのロックは同時に施錠され、施錠の表示灯が赤く点灯します。

### 2 解錠

「集中ドアロック解錠」ボタンを押すと、4ドアのロックは同時に解錠され、施錠の赤の表示灯が消灯します。

車が強い衝突を受けたときは、すべてのドアは自動的に解錠されます。自動的に解錠されるかどうかは、衝撃の強さや事故などのパターンにより決定されます。



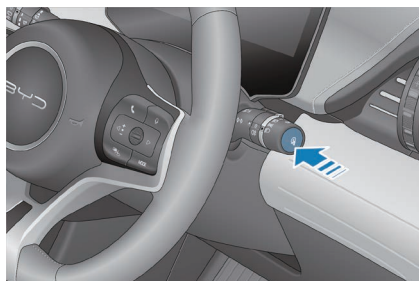
## テールゲートスイッチ

- このスイッチを押すと、車内でテールゲートの開 / 閉操作ができます。



## 走行距離切替スイッチ

- 「走行距離切替」スイッチを押すと、「総走行距離」——「走行距離 1」——「走行距離 2」——「総走行距離」の切り替えができます。それと同時に、メーターには切替状態が表示されます。
- 「走行距離 1」、「走行距離 2」を長押しすると、走行距離がリセットされます。



## 運転支援スイッチユニット

センターコンソールのスイッチユニットは、後方レーダースイッチ\*、ブラインドスポットインフォメーションスイッチ\*、オートブレーキホールドスイッチ\*を含みます。

### ① 後方レーダースイッチ

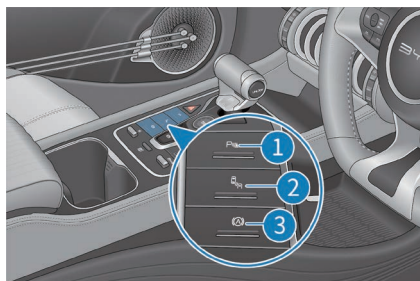
このスイッチを押すと、後方レーダーシステム機能がONになります（詳細は[後方レーダーの電源スイッチ](#)を参照してください）。

### ② ブラインドスポットインフォメーションスイッチ\*

このスイッチを押すと、ブラインドスポットインフォメーション機能がONになります（詳細は[ブラインドスポットインフォメーション\\*](#)の設定を参照してください）。

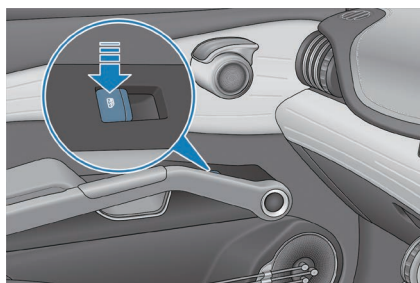
### ③ オートビークルホールドスイッチ\*

このスイッチを押すと、オートビークルホールド機能がONになります（詳細は[オートビークルホールド \(AVH\)](#)を参照してください）。



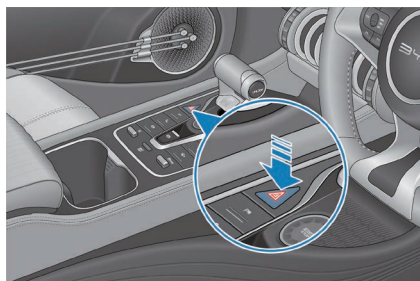
## 助手席側ウィンドウスイッチ

車の電源ポジションを「OK」にしている場合は、助手席側およびリアドアのウィンドウスイッチで助手席側ドアガラスおよびリアドアガラスの上昇/下降をそれぞれ操作することができます。



## ハザードランプスイッチ

⚠ スイッチを押すと、すべてのターンシグナルランプが点滅すると共に、メーター内の方向指示表示灯が点滅します。再び ⚠ スイッチを押すと、点滅が止まります。



### ⚠ 注意

■ ハザードランプを点灯させ、歩行者や他車に危険を知らせることができます。

## モードスイッチユニット

「回生ブレーキモードボタン」、「スノーモードボタン」、「走行モードボタン」を操作し、該当の作動モードを選ぶことができます。

### ① 回生ブレーキモードボタン

■ ボタンはデフォルトとしてスタンダードに設定されています。

■ 前方向にレバー①を操作すると、回生ブレーキの効きが強くなります。

### ② スノーモードボタン

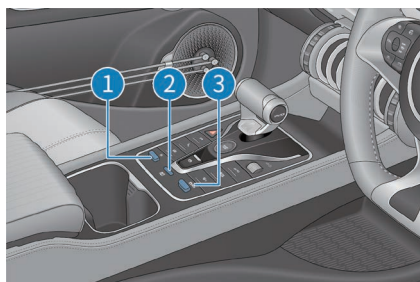
■ スノーモードスイッチ②を押すと、車は雪道走行専用モードに入ります。

● 表面が固いものや滑りやすいもの（草、雪、氷や砂利など）で覆われている路面の場合に使用します。

● スノーモードは、滑りやすい状況でのトラクション、乗り心地、ハンドリング特性、アクセルペダルの慎重な操作を最適化します。

### ③ 走行モードボタン

■ ボタンはデフォルトとしてECOモードに設定されています。



- 前方向にレバー③を操作すると、SPORT モードに切り替わります。
- 手前方向にレバー③を操作すると、NORMAL モードに切り替わります。
- 繰り返して手前方向にレバー③を操作すると、NORMAL → SPORT → ECO → NORMAL の順に切り替わります。
- 繰り返して前方向にレバー③を操作すると、NORMAL → ECO → SPORT → NORMAL の順に切り替わります。
- エコモード (ECO) :  
モーター出力を抑制し電費を向上させ、快適なドライブ体験が得られるモードです。
- ノーマルモード (NORMAL) :  
モーター出力と経済性の両方に配慮しているモードです。
- スポーツモード (SPORT) :  
良好なモーター出力が得られますが、バッテリーの残量が少なく、車が高温や低温などの環境である場合は、加速性能がやや低下します。

### アドバイス

- ドライバーが「ECO モード」、「NORMAL モード」、「SPORT モード」、「スノーモード」の切り替えを操作し、アクセルペダルを完全に離すと、モーターの出力特性がドライバーのニーズに応じて変わるため、安全に注意してください。
- 「ECO モード」、「NORMAL モード」、「SPORT モード」、「スノーモード」では、電源 OFF 時の記憶機能を備えており、電源を切ってから再始動した場合、前回電源 OFF 時のモードを維持します。

### 注意

- 雪道走行時、ダイナミックスタビリティコントロールを作動することでモーター性能が低下する場合は、ESC システムを OFF にすれば、改善されることがあります。解消した後、ESC は新たに ON する必要があります。

## E-Call

### 自動緊急通報システム E-Call

- E-Call とは、緊急通報システムのことです。  
E-Call を手動で利用する場合には、SOS と表記された呼び出しボタンを 2 秒以上押してください。
- エアバッグが展開したり、激しい衝突を検出した場合、E-Call は自動的に緊急通報を行います。
- E-Call は、緊急通報専用のコールセンターへ手動または自動で通報し、緊急通報を行います。オペレーターの問いかけに応答できる場合には、質問に合わせて状況の説明をお願いいたします。



#### ⚠ 警告

- SOS の呼び出しボタンを押すときは、安全なところに停車してから行ってください。走行中に押そうとすると注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

#### ⚠ 注意

- E-Call を発報すると、以下の条件以外で車両側からの操作で E-Call をキャンセルすることはできません。
  - E-Call システムから 10 回以上 E-Call 専用コールセンターを呼び出しても応答がない。
  - E-Call 専用コールセンター側から E-Call を終了する。

#### ℹ アドバイス

- E-Call とは、事故や急病などの緊急時に、消防や警察、医療機関への連絡を補助するサービスです。
- エアバッグが展開する自動緊急通報後は、自動通報機能が使用できなくなりますので、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場までご連絡ください。



## サンルーフスイッチ

### パノラマサンルーフ

サンルーフを操作する場合は、電源ポジションを「OK」にするか「OFF」にしてから作動できる時間内に操作してください。

#### サンルーフを開ける場合

- サンルーフオープンボタン①を押し続け、手動でサンルーフを開けます。途中でボタンを離すと、サンルーフは現在の位置で止まります。



- サンルーフの初期化ができている場合（「初期化方法」参照）、サンルーフオープンボタン①を押し直後に離すと、サンルーフはチルトアップして換気を行います。再度押すとサンルーフは、自動的に約 80% まで開きます。もう 1 回押すと、サンルーフは、自動的に全開になります。自動的に開く途中でボタン①またはボタン②を押すと、サンルーフは現在の位置で止まります。

#### サンルーフを閉める場合

- サンルーフクローズボタン②を押し続け、手動でサンルーフを閉めます。途中でボタンを離すと、サンルーフは現在の位置で止まります。
- サンルーフの初期化ができている場合、サンルーフクローズボタン②を押し直後に離すと、サンルーフは、自動的に全閉します。途中でボタン①またはボタン②を押すと、サンルーフは現在の位置で止まります。

## サンシェードスイッチ

### サンシェードを開ける場合

- サンシェードオープンボタン①を押し続け、手動でサンシェードを開けます。途中でボタンを離すと、サンシェードは現在の位置で止まります。
- サンシェードオープンボタン①を押した直後に離すと、サンシェードは自動的に開きます。途中でボタン①またはボタン②を押すと、サンシェードは現在の位置で止まります。



### サンシェードを閉める場合

- サンシェードクローズボタン②を押し続け、手動でサンシェードを閉めます。途中でボタンを離すと、サンシェードは現在の位置で止まります。
- 初期化ができていない場合、サンシェードクローズボタン②を押した直後に離すと、サンシェードは自動的に閉まります。途中でボタン①またはボタン②を押すと、サンシェードは現在の位置で止まります。

### **i** アドバイス

- サンルーフが閉まっていない（途中で止まった）場合は、サンシェードをサンルーフの閉位置まで閉めることができます（サンルーフを閉めていないときに、サンシェードが邪魔にならないようにするため）。

### 連動してサンシェードを開く機能

- サンルーフを開けると、サンシェードはサンルーフに連動して開きます。

## サンルーフの挟み込み防止機能

サンルーフまたはサンシェードを閉める途中で人やものが挟まれると、サンルーフまたはサンシェードは自動的に止まり、少し開きます。

### ⚠ 警告

- サンルーフを開閉するとき、手や頭部を挟まないように注意してください。サンルーフに挟まれると、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 走行中にサンルーフから頭部、手など身体の一部を出さないでください。生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。

### ⚠ 注意

- 気温が0℃以下の中、または雪や霜が積もっているとき、サンルーフを開けると、サンルーフ、またはモーターを破損させるおそれがあります。

## 初期化方法

- 車の電源ポジションが「OK」で、サンルーフが初期化されていない場合、下記の手順で初期化設定を行います。
- 手動でサンルーフ / サンシェードを全閉にし、ボタン②を0.5秒以上長押し後に離すと、サンルーフ / サンシェードの初期化が完了します。
- サンルーフ / サンシェードが閉まり切らない場合は、手動でサンルーフ / サンシェードクローズボタン②を長押しし、サンルーフ / サンシェードが止まったときに手を離します。再びクローズボタン②を7秒以上長押しし、サンルーフ / サンシェードが閉まり、「カチッ」と音が聞こえたときに手を離します。
- サンルーフとサンシェードの初期化は、個別にしてください。

## ルームランプスイッチ

### フロントルームランプ

左側ルームランプスイッチ

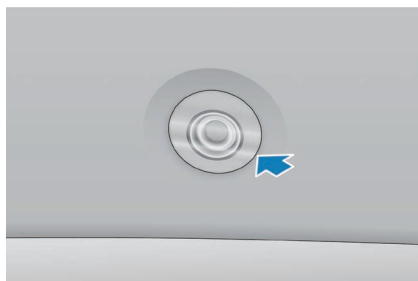
右側ルームランプスイッチ

- 左側 / 右側フロントルームランプスイッチを押すと、左側 / 右側フロントルームランプが点灯します。左側 / 右側フロントルームランプスイッチを再び押すと、左側 / 右側フロントルームランプが消灯します。




### 左側 / 右側リアルームランプスイッチ \*

- 電源ポジションを問わず、このボタンを押すと、左側 / 右側リアルームランプが点灯します。
- このボタンを再び押すと、左側 / 右側リアルームランプが消灯します。



### インテリジェントアンビエントライト

ドアを開けたときに、室内のインテリジェントアンビエントライトが自動的に点灯し、快適な運転環境を作り出します。

-  → 車両設定 → 照明&アンビエントの順にタッチし、設定します。

- アンビエントライト色調
- アンビエントライト明るさ
- アンビエントライト照明範囲
- ダイナミックカラー
- ミュージックリズム



<b>4-1 充電 / 放電について</b> .....	<b>111</b>
充電について .....	111
充電方法 .....	117
外部給電方法 * .....	125
充電ポート盗難防止	
ロック機能 .....	128
航続可能距離の表示 * .....	129
回生ブレーキの設定 .....	130
<b>4-2 バッテリー</b> .....	<b>131</b>
パワーバッテリー .....	131
起動バッテリー (12V) .....	134
<b>4-3 ご利用要領</b> .....	<b>136</b>
慣らし運転期間 .....	136
トレーラーのけん引 .....	136
安全運転上のご注意 .....	136
車のご利用についての	
アドバイス .....	137
電気の省エネで車を	
長持ちさせる方法について ...	138
荷物の積み込み .....	140
冠水路の走行 .....	141
火災の予防 .....	143
タイヤチェーン .....	145
<b>4-4 始動および運転</b> .....	<b>146</b>
車の始動 .....	146
車の運転 .....	148
シフト機構 .....	149
電動パーキングブレーキ	
(EPB) .....	151
オートビークルホールド	
(AVH) .....	154
運転要領 .....	156

**4-5 運転支援機能…………… 159**

アダプティブクルーズコント ロール (ACC) システム * …	159
予測緊急ブレーキシステム …	165
交通標識認識システム ……	169
レーンサポートシステム * …	171
ナビゲーション パイロット * ……………	174
ブラインドスポット インフォメーション * ……	176
タイヤ空気圧モニタリング …	179
BYD アラウンドビュー システム * ……………	182
駐車支援システム ……	185
安全運転支援システム ……	190
車両接近通報装置 (AVAS) ……………	196

**4-6 他の主要機能について… 197**

ルームミラー……………	197
電動ドアミラー……………	198
ワイパー……………	199
ドライブレコーダー * ……	200

## 充電について

### ⚠ 警告

- 充電設備は高電圧がかかっているために、お子様だけで充電作業を行ったり、充電設備を使ったりすることがないようにしてください。充電時はお子様を近づけないでください。
- 充電が医療電子機器や植え込み型電子機器におよぼす影響については、電子機器メーカーへ確認してから充電作業を行ってください。
- 安全な場所で充電してください（液体、火元、熱源などがある環境を避けるなど）。
  - 雨の中で充電する場合は、水がかからないように充電装置の保護を心がけてください。
  - 雷が鳴ったら、車、充電器、充電ケーブルに触れない。落雷で感電するおそれがあります。
- 充電前の設備点検および操作について
  - 給電設備、充電コネクタ、充電ポート、車載充電ケーブルなどには、ケーブルの摩耗、ポートの錆び、ケースの割れ、またはポート内の異物付着などの異常がないことを確認してください。
  - プラグ / ソケット、または充電コネクタ / 充電ポートの金属端子が錆びや腐食で破損している、または緩みがある場合は、充電しないでください。
  - 充電コネクタ / 充電ポートおよびプラグ / ソケットが明らかに汚れたり、濡れたりしている場合は、きれいな乾燥している布で拭きます。
  - プラグやコード、ケーブルを動かすと充電が停止する場合は、使用を中止してください。コードやケーブルが断線して発熱し、発火するおそれがあります。
  - コードやケーブルを引く、ねじる、曲げる、踏むなどしないでください。コードやケーブルが断線して発熱し、発火するおそれがあります。
  - コードやケーブルを、コネクタやコントロールボックスなどに巻き付けたりしないでください。コードやケーブルが断線して発熱し、発火するおそれがあります。
  - 給電プラグは本体部分を持ち、コンセントに対し真っすぐ奥まで差し込んでください。確実に差し込んでないと発熱し、発火するおそれがあります。

**⚠ 警告 (続き)**

- 規格に適合する充電設備で充電してください。
  - 充電用コンセントは、電気工事の資格を有する専門業者が施工したものをお使いください。間違った使用方法では感電のおそれがあります。
  - アースが繋がっている充電用コンセントをお使いください。間違った使用方法では感電のおそれがあります。
  - 故障や火災を防ぐため、充電設備および関係ポートの改造や取り外し、または修理をしないでください。
  - 安全基準を満たさない、または潜在的危険性がある充電設備で充電しないでください。充電中は、お子様やペットを充電設備に近づけないでください。
- 濡れた手で操作しないでください。感電による傷害につながるおそれがあります。
- 充電時、車や充電設備に異常が見つかった場合は、ただちに充電を停止し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
- 充電時は、モータールームを開けて行う修理はご遠慮ください。
- 充電完了後、濡れた手や水の中などに入った状態で充電設備を切り離さないでください。感電による傷害につながるおそれがあります。
  - 車を発進させる前には、充電設備が充電ポートから切り離されていることを確認してください。

**充電上のご注意**

- コンビネーションメーター内のパワーバッテリー残量 (SOC) 表示が赤いエリアに入っている場合は、パワーバッテリーの残量が低下していることを表します。残量が赤いエリアまで低下している場合は、早めに充電してください。パワーバッテリーの寿命を縮めてしまうため、バッテリーが切れてからの充電はおやめください。
- 家庭用 AC 普通充電とは、車に装備されている車載 AC 充電ケーブルで充電することです。規格に適合する専用交流回路と電源ソケットを使用するようにお願いします。専用回路は、回路の破損またはパワーバッテリーへの高出力充電による回路トリップから安全を守るためのものです。専用回路を使わない場合、回線上の他の機器の作動に影響するおそれがあります。
- 充電時、車の破損を防ぐために、下記の内容に注意しながら充電してください。



- 車の充電ポートの破損を招くおそれがあるために、充電コネクタを揺らさないでください。
- 雷雨のときは車のバッテリーを充電しないでください。落雷による車の破損につながるおそれがあります。
- 充電設備の破損を防ぐため（充電設備利用上のご注意）：
  - 充電設備に衝撃を与えないでください。落下や外部からの衝撃などによる機械的破損がないように注意してください。
  - 充電設備をヒーターや他の熱源の近くに置かないでください。
- 充電前に、充電コネクタを挿し込む：
  - 充電前に、充電コネクタと充電ポートに異物が付着していない、充電コネクタ端子の絶縁キャップに緩みや変形がないことを確認します。
  - 充電コネクタを持ち、充電コネクタを充電ポートに合わせてから押し込み、充電コネクタを充電ポートに確実に取り付けます。
- 充電が完了し、充電コネクタを抜き出す：
  - 充電を停止し、充電ポートのロックが解錠されていることを確認します。
  - 充電コネクタを持って、抜き出します。
  - 充電ポートがロックされたまま充電コネクタを抜き出さないでください。充電ポートを破損させるおそれがあります。
- 充電中に、車を始動させてエアコンを使用できますが、充電電力を確保するためには、エアコンを使用しないことをおすすめします。
- 充電時、換気の良いところに車を止め、人は車から降りるようおすすめします。
- パワーバッテリーがフル充電になると、システムが自動的に充電を停止します。充電ポートには盗難防止ロックが装備されているため、ロックを解錠してから充電コネクタを抜き出してください。
- DC 充電を停止する場合は、充電器を OFF にしてから充電コネクタを切り離してください。家庭用 AC 普通充電で充電する場合は、車側の充電コネクタを切り離してから電源側のプラグを抜き出してください。
- 充電が完了し充電コネクタを抜き出した後、充電ポートキャップおよび充電ポートフラップを確実に閉じてください。水や異物が充電ポートに入ると正常に使用できなくなるおそれがあります。

- 車を始動させる前に、充電設備が切り離されていることを確認してください。充電コネクタを最後まで挿し込まないと充電設備のロック機構が機能しないため、充電コネクタをつないだまま車を発進させると、充電設備および車の破損につながるおそれがあります。
- バッテリー温度が低すぎるまたは高すぎる場合、バッテリーの充電性能に影響をおよぼすことがあります。
  - 低温の環境で充電する場合、温度コントロールシステムでバッテリー低温時の充電能力を改善させることができます。充電スタンド出力の制限により、充電時間や加熱時間が延び、加熱による電気消費が増えますが異常ではありません。
  - DC 充電時に気温が低く残量が多い場合は、バッテリーの低温特性により充電電流が小さくなります。残量が少ない状態でバッテリーを充電すると、充電スピードを上げることができます。
  - 利便性向上のため、車を使用した直後に充電することをおすすめします。使用直後は、バッテリーの温度が相対的に高く充電性能が優れているためです。
- 低温の環境で充電している間にエアコンを使う場合は、バッテリー温度コントロールシステムの性能および充電性能に影響をおよぼすことがあります。
- 充電中にバッテリー温度コントロールシステムが作動した後、コンビネーションメーターやマルチメディアタッチスクリーンには、充電電力の一時的な変動を表示することがありますが異常ではありません。
- バッテリーを長持ちさせるため、充電が完了する前にバッテリー補正機能を作動することがあります。バッテリー補正機能が作動すると充電時間が長くなる場合があります。
- 高温の環境で DC による高出力充電を行う場合は、バッテリー温度コントロールシステムの充電性能がエアコンの使用により低下し、充電時間が長くなる場合があります。充電効率を確保するために、充電中はエアコンを使用しないことをおすすめします。
- 充電中に加熱や冷却を行う場合、充電時間が延び、充電中の電気消費も増えますが異常ではありません。
- バッテリー温度を最適な温度に維持するため、充電完了後もバッテリー冷却システムが停止しないことがあります。異常ではありません。
- 充電時、コンビネーションメーターやマルチメディアタッチスクリーンにフル充電の所要時間が表示されます。温度や残量または充電施設などにより、フル充電目安時間は多少異なりますが異常ではありません。充電が完了するまでは、メーターに「計算中...」と表示されますが異常ではありません。

- 長期間車を使っていない場合は、フル充電してから利用するようおすすめします。パワーバッテリーを長持ちさせるために、放置期間中は3ヶ月毎に充電するようおすすめします。

### **i** アドバイス

- 充電ポートフラップが解錠されるまでは、充電ポートフラップを強制的に開けないでください。
- 充電ポート盗難防止ロックを解錠せずに充電コネクタを強制的に挿し込まないでください。
- 充電ポートキャップを外した状態で、充電ポートフラップを閉じないでください。
- 車を充電すると、放熱ファンとエアコンのコンプレッサーは、パワーバッテリーの加熱や冷却の必要性により自動的に作動することがありますが、異常ではありません。

### 一般充電故障の診断

症状	考えられる原因	対処方法
充電されないとき: 充電設備に接続して充電をスタートしている	充電カードの残高不足、または充電スタンドの故障	充電カードの残高を確認する、または充電場所のスタッフに連絡してください。
	AC 充電コネクタを正しく接続していない	充電器のスイッチが入っていることを確認し、車載充電装置の給電プラグの長さや接続位置、充電ケーブルの長さに注意してください。
	モータールームの起動バッテリーが過放電になっている	ブースターケーブルで他車の12V電源と接続し、救援車を始動させた後、モータールームのバッテリーを充電します。
	規格に適合するコンセントに電気が流れていない	電源の過電流保護が作動しているかどうかを確認してください。また、充電専用のアース付きコンセントを使用してください。

症状	考えられる原因	対処方法
充電されないとき: 充電設備に接続して充電をスタートしている	車両や AC 充電コネクタが故障している	コンビネーションメーター内のパワーレイン故障警告灯が点灯する、または充電システム故障メッセージが表示されている場合は、充電を停止してください。BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
	パワーバッテリー温度が設定温度より低い / 高い	充電前に、パワーバッテリーが加熱または冷却されるまで、適切な場所に停車させ、温度が正常になるまで待ってから充電してください。
	パワーバッテリーがフル充電になっている	パワーバッテリーがフル充電になっている場合、自動的に充電を停止します。
充電が途中で止まった	充電コネクタがきちんと接続されていない	充電コネクタが確実に接続されていることを確認してください。
	交流回路が停電している	一定の時間内に電源が復旧すると、自動的に充電を再開します。または充電コネクタを差しなおしてから充電設備を立ち上げます。
	パワーバッテリーの温度が高すぎる	コンビネーションメーター内のパワーバッテリー過熱警告灯が点灯すると、充電が自動的に止まります。バッテリーを冷却してから充電を再開してください。
	車や充電スタンドが故障している	充電スタンドや車の故障メッセージが表示されていないかを確認してください。BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。

## 充電方法

### ■ 充電前の点検：

- 充電装置のキャビネットの割れ、ケーブルの摩耗、プラグの錆、または異物の付着などの異常がないこと。
- 充電コネクタを挿し込んでも、緩みがある場合は、充電しないこと。
- 充電ポートに水または異物がないこと、金属端子に錆や腐食がないこと。

■ 以上のことがある場合は、充電をしないでください。ショートや感電などにより身体に危害をおよぼすおそれがあります。

## 家庭用 AC 普通充電

### 1. 充電器について

- 車と規格に適合するコンセントを接続し、車のバッテリーを充電します。AC200V 仕様となっています。
- ソケットは、高出力充電による回路焼損や、自動保護ブレーカーが誤作動し、他の設備へのご利用に影響を与えることを避けるため、規格に適合する家庭用コンセントを選択してください。
- 車載された装置は AC200V 用で、規格に適合する給電プラグ、充電コネクタ、コントロールボックス、充電ケーブルで構成された、Mode 2 タイプです。給電プラグを家庭用コンセントに挿し込み、充電コネクタを車の充電ポートに挿し込みます。
- 充電時間：コンビネーションメーターまたはマルチメディアに表示される充電時間についてのご注意を参照してください。

4

使用および運転

### ▲ 注意

- BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場や認定技術者に連絡し、充電設備の要求事項にしたがって、適切な電源を選ぶことをおすすめします。
- 充電設備のアースについて：設備のアース工事を確実にしてください。充電設備に故障や破損が起きた場合、アース線は最小抵抗の回路を介し電流を逃し、感電の危険性を下げてくれます。
- 給電プラグは、安全基準に適合し正しく設置されており、アースを確実に取っている家庭用コンセントと合っているものを使用してください。

### アドバイス

- 充電しているとき、放熱性をよくするために、充電ケーブルは、巻いたままの状態にしないでください。
- 充電に関するご注意の詳細は、「[充電について](#)」を参照してください。

### 警告

- 充電に関する警告の詳細は、「[充電について](#)」における充電関係の警告を参照してください。
- 周囲温度：最大 50℃までとし、使わないときは、充電装置を乾燥した冷暗所に保管してください。
- 充電しているとき、充電装置をトランクルーム、車の前部の下、およびタイヤの近くに置かないでください。
- 使用中、車にひかれたり、地面に落としたり、または人に踏まれたりすることがないようにしてください。
- 落下禁止。この充電装置を移動するために、直接ケーブルを引っ張ることは禁止されています。
- 充電装置の移動の際は取り扱いに注意してください。充電設備や関係ポートに対する改造、取り外し、または修理は禁止されています。
- 後付けの電線やアダプター / コンバーターを使わないでください。

### 警告（続き）

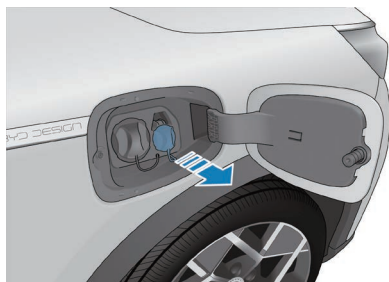
- 家庭用給電コンセントのコードが柔らかくなったり、充電コネクタケーブルの摩耗、絶縁層の破裂やその他の破損があったりする場合は、充電設備を使用しないでください。
- 充電コネクタや給電プラグ、家庭用コンセントの断線や破裂、または表面の破損がある場合は、この設備を使用しないでください。
- 充電ポートフラップの故障を防ぐため、必要以上に充電ポートフラップの開閉を繰り返さないでください。

## 2. 充電をする場合

- 電源ポジションを「OFF」にしてください。
- ドアロックを解錠させ、充電ポートフラップを押し込むと、充電ポートフラップは自動的に開きます。



- 充電ポートキャップと充電コネクタのカバーを開け、充電コネクタのプラグと車側コンセントの部分に障害物がないように確保してください。



- 給電ポート側の接続：
  - Mode 2 タイプの給電プラグを家庭用コンセントに挿し込みます。
- 車側の接続：
  - 充電コネクタを車側充電ポートに挿し込みます。
  - 充電コネクタを確実に挿し込むと、コンビネーションメーターまたはマルチメディアの充電接続表示灯が点灯します。

**⚠ 注意**

- 充電ポート盗難防止ロックを解錠せずに、充電コネクタを無理やり挿し込まないでください。
- 充電時、コンビネーションメーターには関係充電パラメーターが表示され、同時に充電画面も表示されます。
- このとき、**マルチメディア → エネルギー → 充電設定** 画面で、予約充電を設定することができます。
- 予約充電の設定がされていると、普通充電はできません。
- 充電時、コンビネーションメーターにフル充電の所要時間が表示されます。温度、残量、充電施設などにより、フル充電目安時間は多少増減しますが異常ではありません。
- バッテリー残量が少ない場合は、予約充電機能が使用できません。


**3. 充電を停止する場合****■ 充電が完了する：**

- フル充電になると、自動的に充電が完了します。
- 早めに充電を完了させるには、そのまま下記の手順に入ります。

**■ 充電ポートの接続を切る：**

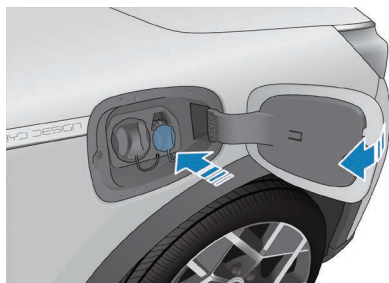
- 盗難防止機能が有効になっている場合、リモートキーのアンロックボタンまたはドアハンドルのマイクロスイッチを押して、充電コネクタを外します。

**i アドバイス**

- 車を解錠させ、リモートキーの解錠ボタンを押す（電源ポジション OFF で充電する場合）、またはフロントドアハンドルのマイクロスイッチを押します（リモートキーが近くにあるとき）。
- 盗難防止ロック機能を作動させている場合は、充電コネクタを抜き出す前に、車の解錠操作で充電ポートの盗難防止ロックを解錠させてから、30 秒以内に充電コネクタを抜き出してください。抜き出さないと、充電ポートの盗難防止ロックが再度施錠されます。
- 盗難防止ロックの作動モードは  → **エネルギー → 充電設定** 画面で設定することができます。設定手順の詳細は、**充電ポート盗難防止ロック機能**を参照してください。
- ロック解錠を操作したが、充電コネクタを抜き出せない場合は、数回解錠操作を繰り返してください。それでも抜き出せない場合は、非常解錠を操作してください。操作手順は**充電ポート盗難防止ロックの非常解錠**を参照してください。



- 給電プラグを外します。
- 車の充電ポートキャップと充電ポートフラップを閉めます。
- 使用した充電設備を元に戻します。



### **i** アドバイス

- 充電ポートキャップを全開している状態で、充電ポートフラップを閉じないでください。

### **!** 警告


- Mode 2 equipment は、落下を禁止します。この充電装置を移動するために、そのままケーブルを引っ張ることを禁止します。設備の移動の際は取り扱いに注意してください。使用した後、充電装置を冷暗所に保管してください。

## AC 充電スタンドでの充電 \*

### 1. 充電器について

- 単相 (AC) 壁掛け式充電ボックス \*
  - 基準に適合する家庭用充電ボックスで車のバッテリーを充電します。充電設備の使い方は、使用する充電設備のマニュアルを参照するか、このオーナーズマニュアルにしたがって操作してください。
  - 単相 (AC) 壁掛け式充電ボックス：この装置は、充電ボックス、充電コネクタ、およびケーブルで構成されています。断路器、非常停止スイッチなどについては、充電ボックスの取扱説明書を参照してください。
- 単相 AC 充電スタンド
  - 公共の場に設置される AC 充電スタンドで車のバッテリーを充電します。
  - 充電時間：コンビネーションメーターまたはマルチメディアに表示される充電時間についての注意を参照してください。

## 2. 充電する

- 車を解錠し、充電ポートフラップを開けます。
  - 家庭用 AC 普通充電での充電を参照し、充電ポートフラップを解錠して開けます。
- 車側の接続：
  - 充電装置の充電コネクタを車の充電ポートに挿し込み、確実に施錠します。
- 充電の設定：
  - 認証を必要とする AC 充電スタンド / ボックスについては、カードをかざすか、QR コードをスキャンしなければなりません。取り扱い方法の詳細は、充電スタンド / ボックスの取扱説明書を参照してください。
- コンビネーションメーター充電接続表示灯  が点灯します。
- 充電中、コンビネーションメーターには関係充電パラメーターが表示されます。また、充電画面も同時に表示されます。
  - このときには、マルチメディアでの設定で充電を予約することができます。

## 3. 充電を停止する

- 充電完了：
  - 任意で充電を終了させる、またはフル充電で充電が自動的に止まります。
- 充電ポートの接続を切る：
  - 家庭用 AC 普通充電での充電を参照し、充電ポートの接続を切り離します。
- AC 充電ポートフラップを閉めます（家庭用 AC 普通充電を参照してください）。
- 充電設備を整理し、適切に保管してください。
  - AC 充電スタンド / ボックスの場合は、充電コネクタを充電スタンド / ボックスの指定位置に戻します。

## DC 急速充電

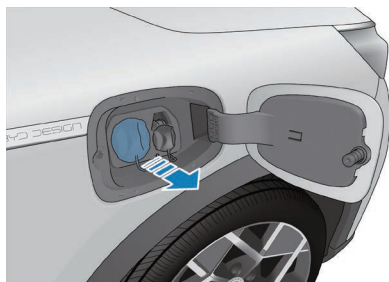
### 1. 充電器について

- 公共の DC 急速充電器で車のバッテリーを充電します。DC 急速充電器は、通常特定の充電スポットに設置されています。
- 設備規格：CHAdeMO 対応。充電器関連の説明を読んでください。
- 充電時間：コンビネーションメーターまたはマルチメディアに表示される充電時間についてのご注意を参照してください。

### 2. 充電をする場合

CHAdeMO の充電コネクタを使い、車と DC 充電スタンドを接続し、DC 急速充電を行います。

- 充電ポートフラップを解錠させ、充電ポートフラップ、充電ポートキャップを開けます。
- 車側の接続：
  - CHAdeMO の充電コネクタを車の充電ポートに確実に差し込みます。
- 充電設備の操作手順で操作し、充電を開始します。
- コンビネーションメーター充電接続表示灯  が点灯します。
- 充電中に、コンビネーションメーターまたはマルチメディアには関連する充電データが表示されると同時に充電画面も表示されます。



### 3. 充電を停止する場合

- 充電が完了する：
  - 充電器に対し事前に終了が設定され、または充電が完了すると充電器は自動的に充電を終了させ、車の充電が終了します。
  - 3 秒以内にアンロックボタンを 2 回押すと充電が停止します。
- 充電ポートの接続を切る：
  - キーのアンロックボタンかドアハンドルのマイクロスイッチを押し（キーが近くにある場合）、充電コネクタを外します。
- 充電器で DC 急速充電が完了し、充電設備を整理し、充電コネクタを充電器の指定位置に戻します。
- DC 充電ポートキャップと充電ポートフラップを閉めます。

### アドバイス

- 充電ポートキャップを外した状態で、充電ポートフラップを閉じないでください。

### 注意

- 充電完了後、ロック解錠を操作しても充電コネクタを抜き出せない場合は、数回解錠操作を繰り返してください。それでも抜き出せない場合は、非常解錠を操作してください。操作手順は[充電ポート盗難防止ロックの非常解錠](#)を参照してください。
- DC 充電の場合のロック解錠は、3 秒以内に 2 回連続でアンロックボタンを押さなければ解錠できません。
- 充電に関するご注意の詳細は、「[充電について](#)」を参照してください。

### 警告

- 充電に関する警告の詳細は、[充電について](#)を参照してください。

## スマート充電機能

- バッテリーマネジメントシステムが起動バッテリーの電圧低下を検知した場合、パワーバッテリーから起動バッテリーを充電することができます。そのため、ドライバーが車をしばらく放置してから再び始動すると、メーターに表示されたパワーバッテリー残量または航続可能距離が減少することがありますが異常ではありません。

### アドバイス

- 長時間にわたって車を放置すると自動的に起動することがあります。それは、制御プログラムにより自動的にスマート充電を行うためで、車が故障しているわけではありません。
- スマート充電に必要な電気エネルギーは、パワーバッテリーパックから取り出すもので、車のスマート充電機能が作動すると、パワーバッテリー残量の低下を起すことがありますが車両の故障ではありません。

## 外部給電方法 \*

■ 本車は DC 外部給電機能を搭載しています (DC V2L 給電機能および DC V2H 充放電機能に対応)。車の出力電圧範囲は、基準に定められる電圧範囲 (DC150V-450V) を満たしています。最大給電電力は 10kW です。

### アドバイス

- 外部給電は、できるだけパワーバッテリー残量が多いときに使用してください。
- パワーバッテリー残量が少ないときは、外部給電機能の使用が制限されます。
- 電源ポジションを「OFF」にし、長時間外部給電器を接続したまま電気エネルギーを出力しない場合、車の漏洩電力が多くなるため、給電コネクタを外すようおすすめします。

### 注意

- 外部給電装置使用上の注意事項については、外部給電装置使用マニュアルを参照してください。
- 外部給電の前に車のパワーバッテリー残量を確認し、外部給電後の航続可能距離を見込んでください。
- 外部給電の前には、負荷が OFF になっていることを確認してください。
- V2L 外部給電装置は、規格 EVPS-004:2014 に適合しなければなりません。V2H 外部給電装置は、規格 EVPS-002:2014、または EVPS-002:2018 に適合しなければなりません。
- 外部給電中に給電コネクタを抜き出さないでください。外部給電が完了した後は、外部給電装置の作動が止まっていることを確認したうえで給電コネクタを外してください。

### 警告

- 外部給電中に、外部給電用ソケットや車両側ポートの金属端子を触らないでください。
- 外部給電中に、異臭や煙立ちなどの異常がある場合は、ただちに外部給電を停止してください。
- 外部給電についての警告は、充電警告と同じです (充電についてを参照してください)。

**⚠ 警告 (続き)**

- コンセントのコードが柔らかくなったり、給電コネクタケーブルの摩耗、絶縁層の破裂やその他の破損がある場合は、外部給電設備を使用しないでください。
- 給電コネクタや給電コンセントの切れや破裂、または表面の破損がある場合は、外部給電装置を使用しないでください。

**外部給電方法****外部給電の開始について**

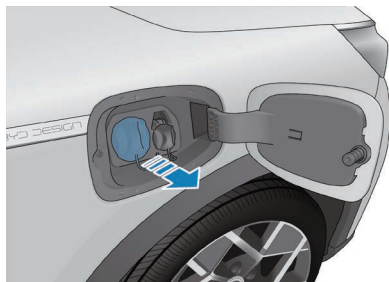
- 電源ポジションがどの位置でも外部給電を行うことができますが、外部給電をする前には、電源ポジションを OFF にするようおすすめします。
- 充電ポートフラップのロックを解錠し、車の充電ポートフラップと DC 充電ポートフラップを開けます。

**■ 外部給電前の点検：**

- 自車のパワーバッテリー残量が 15% 以上であることを確認する。
- 外部給電器キャビネットの割れ、ケーブルの摩耗、プラグの錆、および異物の付着などの異常がないかを確認する。
- 充電ポートに水分または異物がない、金属端子に錆や腐食による破損などの異常がないことを確認する。
- 上記の異常がある場合は、ショートや感電などにより身体に危害およぼすおそれがあるため、外部給電を中止してください。

**■ 外部給電器の接続：**

- 外部給電器の DC 給電コネクタを車の DC 充電ポートに挿し込み、しっかりロックします。

**■ 外部給電を開始する：**

- 外部給電器をしっかり接続し、外部給電器のスタートボタンを押すと外部給電が開始します。コンビネーションメーターには外部給電に関するデータや給電画面が表示されます。


## 外部給電を停止する

- 外部給電を終了する：
  - 運転席側ドアの解錠ボタンを2回連続で押す、またはリモートキーの解錠ボタンを押すと、外部給電を終了することができます。
  - 外部給電器のストップボタンを押すと、外部給電が終了します。
- 外部給電器を切り離す：
  - DC 給電コネクタのメカニカルボタンを押して、給電コネクタを充電ポートから抜き出します。
  - DC 充電ポートキャップと充電ポートフラップを閉めます。
- V2L 外部給電装置を片づける：
  - 外部給電完了後に片づけた外部給電器は、トランクルームに格納することができます。

## V2H 設備での充放電について

- V2H 設備で充電する場合は、パワーバッテリー残量が100%まで充電されると、自動的に充電を停止します。このとき、V2H 設備で外部給電を行うことができます。
- V2H 設備で外部給電を行う場合は、パワーバッテリー残量が15%まで給電すると、外部給電を停止します。このとき、V2H 設備で車のバッテリーを充電することができます。
- V2H 設備で外部給電から充電への切り替え、または充電から外部給電への切り替えを自由に操作することができます。
- V2H 設備で外部給電を行う場合、取り扱い方法は V2L 設備での外部給電と同じです。
- V2H 機器で充電する場合、操作方法は DC 充電スタンドで充電する方法と同じです。

## 充電ポート盗難防止ロック機能

充電コネクタの盗難事故を防ぐため、充電ポートには車に対する充電・給電中の盗難防止機能が備わっています。この機能のデフォルトは **OFF** の状態となっていますが、盗難防止機能を ON にする場合、 → **エネルギー** → **充電設定** の順に設定画面に入り、**充電ポート盗難防止ロック** の **ON** を選択して盗難防止機能を作動させてください。



**ON** モードにおいて充電する場合、ドライバーは次の方法で盗難防止機能を解除し、充電コネクタを抜き出すことができます。

- OFF にした状態でリモートキーのアンロックボタンを押して解錠します。
- 運転席ドアのアウトハンドルにあるマイクロスイッチを押して解錠します。
- 運転席ドアガラス内側の下にある集中ドアロックを押して解錠します。

### 注意

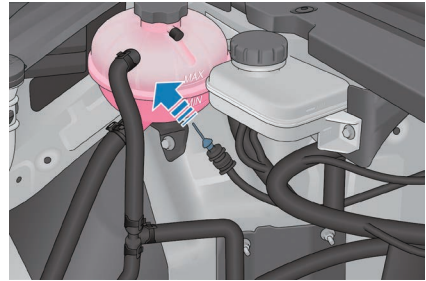
- 充電コネクタのロックを解錠してから 30 秒以内に充電コネクタを抜き出すことができます。30 秒経過後、盗難防止ロックが再び施錠されるため、新たに解錠したうえで充電コネクタを抜き出してください。



## 充電ポート盗難防止ロックの非常解錠


■ 充電ポート盗難防止ロックの故障で充電コネクタを抜き出せないとき、手で非常解錠の操作を行い、充電コネクタを抜き出してください。

■ ボンネットを開けると、充電ポート盗難防止ロックを解錠するためのワイヤーがあります。このワイヤーを引くと、充電コネクタを解錠することができます。



## 航続可能距離の表示 \*

■ ドライバーにより良い運転体験をお届けするために、本車は **航続可能距離表示モード** をオプション機能として備えています。デフォルトは **スタンダード** です。

■ マルチメディア  → エネルギー → エネルギー管理 → **航続可能距離表示モード** で関連設定を行うことができます。

- **スタンダード**：総合モードのテスト結果に基づく走行距離を表示します。
- **ダイナミック**：利用可能なパワーバッテリー残量と現在のエネルギー消費平均値に基づく計算から予測走行距離を表示します。

■ 航続可能距離表示モードは、設定されたモードを記憶します。


- 車の電源ポジションを「OFF」にしてから、次回再び「ON」にした場合、表示モードは前回の設定モードを維持します。

### アドバイス

■ 航続可能距離表示モードを **ダイナミック** と設定する場合：

- フル充電毎に表示される航続可能距離は、前回の走行に消費されたエネルギーに基づき計算されるため、前回と異なる場合があります。
- 実際に表示される航続可能距離は、エアコンの使用状態、選択された運転モード (ECO、NORMAL、SPORT など)、およびドライバーの運転習慣により調整されるため、現在の車の実走行可能距離により近いものです。

## 回生ブレーキの設定

- 走行中に、回生ブレーキによりエネルギーを回収できます。より効率的に使用するために、不必要な加速や減速をしないでください。
- 回生ブレーキモードボタン、またはマルチメディアシステムで回生ブレーキの強さを設定することができます。
  - スタンダード：アクセルペダルを離したとき、通常の量の回生エネルギーを回収します。車の減速度は普通です。
  - 強：アクセルペダルを離したとき、Standard に比べてより多くの回生エネルギーを回収します。車の減速度は Standard に比べてより減速します。
-  **マルチメディア → エネルギー → エネルギー管理 → 回生ブレーキ強度** で関連設定を行うことができます。
- ドライバーは、アクセルペダルから足を離したときの回生ブレーキの強さをニーズに合わせて自由に選ぶことができます。
- 回生ブレーキの強さは、設定されたモードを記憶します。車の電源ポジションを「OFF」にしてから、次回再び「ON」にしたとき、回生ブレーキモードは前回の設定モードを維持します。

### アドバイス

- 高速走行中に回生ブレーキの強さを設定変更しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- 車の動力は、パワーバッテリー残量残量が多い状態よりバッテリー残量が少ない状態の方が弱くなります。

## パワーバッテリー

- パワーバッテリーは車の動力源で充放電を繰り返すことができ、また、外部電源でパワーバッテリーを充電します。制動時や惰性走行時には、回生ブレーキによりパワーバッテリーの充電もできます。
- パワーバッテリーはボディの底部にあるため、悪路や冠水した道路を走る場合は、バッテリーの破損がないように慎重に運転してください。

## バッテリー特性

- バッテリー本体の電気化学特性の影響およびパワーバッテリーを保護する目的で、以下の条件下では、車の性能に一定のばらつきがありますが、異常ではありません。
  - パワーバッテリーの残量が多い場合は、車の回生ブレーキ性能が低下することがあります。
  - フル充電に近づくまでパワーバッテリーを充電すると、トリクル充電モードに切り替わるため、メーターに表示されるフル充電までの予測時間が変化します。
  - パワーバッテリーの残量が少ない場合は、車の加速性能が低下します。
  - パワーバッテリーの残量が少ない場合は、V2L\* が正常に使えないため、早めに充電してください。
  - 高温や低温の環境では、パワーバッテリーの充放電能力が弱くなるため、充電時間が延びますが異常ではありません。この場合、高出力充電設備で充電するようおすすめします。気温が極端に低い状態で走行する場合は、動力性能が低下することがあります。
  - 温度制御機能により、低温の環境でパワーバッテリーを充電する場合の充電能力を大幅に改善しています。低温時の充電については、[充電上のご注意](#)を参照してください。
  - バッテリー温度制御機能は、低温の環境で車を運転する際に適切なタイミングで自動的に加熱を開始し、低温走行時の動力性能や放電性能を確保することで走行性能を向上させます。走行距離が短い場合は、加熱が充分にできないため、電気消費が増えてしまい航続可能距離が短くなる場合があります。
- パワーバッテリーが通常通りに使用されている場合、車の航続可能距離は以下の要因により影響を受けます。
  - 運転習慣：一定速度で走行する場合に比べ、加速や減速を頻繁に行

う方が航続可能距離は短くなります。また低速よりも高速の方が航続可能距離が短くなります。

- 道路状況：悪路が続く道路や長い上り坂を走行する場合の航続可能距離は、平坦で乾燥している路面を走行する場合より短くなります。
- 気温：低温の環境で走行する場合の航続可能距離は、通常の環境で走行する場合より短くなります。
- 電気機器の使用状況：運転中にエアコンを付ける場合の航続可能距離は、エアコンを使わない場合より短くなります。
- 低温の環境では、パワーバッテリーの利用可能な残量が低下し、温度が下がるとともに低下します。低温の環境に停車しているバッテリー残量が多い車に対してバッテリーを充電する場合は、パワーバッテリー残量が急に 100% になることがあります。

## バッテリーの使い方について

- 周囲温度 -10 ~ 40℃の範囲内で車を使うことをおすすめします。バッテリー残量が少ない場合は、十分な航続可能距離や良好な加速性能を確保するため、早めに充電してください。
- 長期間性能を維持するためには、高温や極端な低温の環境に 24 時間以上駐車することは避けてください。
- 周囲の温度が低い環境で長時間車を駐車する場合は、バッテリーの熱放散を低減させ車の使用性能を確保するために、地下駐車場や暖房付き駐車場など温度が高いところに駐車してください。
- 運転中に頻繁な急加速や急減速を避ける、平坦で乾燥している道路を走行する、または必要に応じてエアコンなどの消費電力の大きい電装部品を消す、エアコンの温度を上げるなどを行い航続可能距離を伸ばすことをおすすめします。
- 普通充電は、パワーバッテリーを長持ちさせる方法です。
- 初めて車を使う場合や長時間放置した後に再び車を使用する場合は、メーターに表示されるパワーバッテリー残量がばらつくことがあります。始めに、パワーバッテリーをフル充電するようおすすめします。
- 日常的に車を使用する場合、定期的に車のバッテリーをフル充電してください（推奨：充電は週に 1 回以上）。また、3ヶ月～半年毎にバッテリー残量が少ない状態（10% 以下）からフル充電するようおすすめします。
- 極端な走行（急加速や急減速の繰り返しなど）によりパワーバッテリーの温度が高くなりすぎた場合、パワーバッテリーの放電能力が徐々に低下していきませんが異常ではありません。バッテリーの温度が高くなりす

ぎると、メーター内の警告灯が点灯します。この場合は BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。

- パワーバッテリーの残量が異常に上がったたり、下がったりする場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場点検を行うようおすすめします。

### ⚠ 警告

非常時や事故発生時、次の警告に注意してください。

- 怪我などを避けるために、パワーバッテリーに直接触らないでください。早急に BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
- パワーバッテリーが破損し、液体が漏れ出した場合は、絶対にその液体に触らないでください。
- 不注意で皮膚や目に付着した場合は、すぐに多量の水で洗い流し、ただちに医師の手当てを受けてください。
- 車両火災が起きた場合は、専用消火器で火を消してください。水系消火器を使わないでください。
- パワーバッテリーは専門の技術者でないと整備できません。ご自身でバッテリーの蓋を開けたり、改造したりしないでください。

### ⚠ 注意

- パワーバッテリーの安全を確保するためには、引火性・爆発性があるもの、火元および各種の危険化学品から遠く離れたところに車を駐車してください。
- 利用可能なバッテリー残量は、車の使用時間の増加につれて多少低下します。
- 駐車は、熱源から遠く離れ、長時間日光が当たるところを避けてください。パワーバッテリーの寿命を短縮させるおそれがあります。
- 車を長期間（7日以上）使用しない場合、パワーバッテリーを長持ちさせるためにバッテリーの充電を 40%～60% に保つことをおすすめします。車を 3ヶ月以上使用しない場合は、パワーバッテリーを 3ヶ月毎にフル充電し、その後 40%～60% まで放電してください。そうしないと、パワーバッテリーの過放電によるバッテリー性能の低下、または破損を引き起こすおそれがあります。このような車両の故障は、品質保証の対象外となります。
- パワーバッテリーはボディーの底部にあるため、悪路を走る場合は慎重に運転してください。
- パワーバッテリーが何かにぶつかった場合は、ただちに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場点検を行うようおすすめします。

## パワーバッテリーの回収

廃車やパワーバッテリーの処分については、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に問い合わせてください。

## 起動バッテリー（12V）

ボンネットを開けると、起動バッテリーの端子 2 本、プラス端子（「+」）とマイナス端子（「-」）が見えます。

- 起動バッテリーの電圧不足を避けるため、条件（車の電源ポジションが「OFF」でパワーバッテリーから給電ができ、起動バッテリーの電圧が設計値以下）を満たしている場合は、自動的に「スマート充電」機能を作動させます。
- 起動バッテリーの電圧が低すぎると車の低圧電源として使えないことがあるため、早めに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
- 毎月 1 回起動バッテリー端子の腐食具合などを点検してください。端子に腐食が発生している場合は、起動バッテリーのマイナス端子の結線を取り外し、端子表面に重曹水を塗り付けます。気泡が発生すると同時に重曹水が徐々に褐色になります。気泡の発生が止まったら、水で洗浄し布で水分を拭き取ります。最後に、腐食を防ぐため端子の表面にグリスを塗り付けます。
- 結線の緩みがある場合は、圧着用ナットの増し締めをする必要がありますが、締めすぎないように注意してください。起動バッテリーがしっかり固定されるまで圧着金具を締め付けてください。締めすぎるとバッテリーケースを破損させるおそれがあります。

### アドバイス

- 電源ポジションが「OFF」になり、スマート充電が行われる場合は、車から電源ポジションを「OK」にしたときの音が聞こえますが、異常ではありません。
- スマート充電中に修理作業をしないでください。
- 車から離れる場合は、きちんとドアを閉め切り、すべての電気機器を OFF にしてください。長期間車を放置する場合は、ご自身で起動バッテリーのマイナス端子を外しておいてください。

**▲ 注意**

- 起動バッテリーを点検する場合、始めにマイナス端子（「-」表示）に付いているアース線を外し、取り付ける際は最後に取り付けてください。
- 起動バッテリーを洗浄する場合、液体が起動バッテリーの中に入らないように注意してください。

**▲ 警告**

- 起動バッテリーの中には腐食性のある溶液が入っています。起動バッテリーを破損させたり人身事故を起こしたりしないように、起動バッテリーの分解や修理をしないでください。
- 起動バッテリーの取り外し、分解を勝手にしないでください。環境汚染や事故を起こした場合は、相応の責任を負わなければなりません。
- 起動バッテリーは可燃性・爆発性のある水素ガスが発生します。工具を使う場合は、起動バッテリーからの火花の発生を避けてください。起動バッテリーの近くでタバコを吸ったり、火を付けたりしないでください。
- 電解液が目や皮膚、服に付着しないよう注意してください。電解液が皮膚や目に付着した場合は、重曹水で皮膚を洗い、多量の水で目を洗い流し、ただちに医師の手当てを受けてください。
- 誤って電解液を飲み込まないでください。
- お子様を起動バッテリーに近づけないでください。

## 慣らし運転期間

- パワーユニットが起動しにくい、または回転がよく止まってしまう場合は、ただちに車を点検してください。
- パワーユニットから異音が発生している場合は、安全なところに停車し、点検してください。
- パワーユニットから冷却水、潤滑油が漏れている場合は、安全なところに停車し、点検してください。
- パワーユニットは慣らし運転が必要です。エコモードで最初の約2000kmは高速走行を避けて、できるだけ一定の速度で走行して慣らし運転を行うようおすすめします。下記の操作を避けることで車を長持ちさせることができます。
  - 始動や運転時、アクセルペダルを強く踏み込むことを避けてください。
  - 長時間一定速度での高速走行や低速走行をしないでください。
  - 最初の300kmまでは、急ブレーキを避けてください。

## トレーラーのけん引

- 本車は乗用車として設計されています。自分や他人の安全のために、定員超過で人を乗せたり、トレーラーをけん引したりしないでください。
- トレーラーのけん引では、車両の操縦、動力、制動、耐久性、エコ運転および電気消費などに悪影響をおよぼします。
- 運転の安全や快適性は、正しい設備の使い方や慎重な運転習慣により決まります。
- BYDは、商用目的でのトレーラーけん引による破損や故障を保証しません。

## 安全運転上のご注意

### 飲酒運転厳禁

少量の飲酒でも、交通条件の変化に対する反応が遅くなります。飲酒量が多いほど反応が鈍くなるため、飲酒運転は絶対にしないでください。



## 速度の抑制

スピードの出し過ぎは、衝突事故や死傷事故を引き起こす主な原因です。通常は速度が速いほど危険性が高まります。道路状況に応じて安全な速度で走行してください。

## 車を安全運転可能な状態に保つ

タイヤのバーストや機械の故障は非常に危険です。故障の確率を下げるために、常に車の状況を点検し、定められた点検を行ってください。

### ▲ 注意

- 疲れているときは運転しないでください。
- 運転時、必ず交通ルールを守ってください。
- 運転中、必ず運転に集中し、運転と無関係の操作をしないでください（携帯電話の使用、ボタンの調整など）。

## 車のご利用についてのアドバイス

パワーバッテリーを長持ちさせるために、以下のことをおすすめします。

- 車を長期間（7日以上）使用しない場合、パワーバッテリーの充電を40%～60%に維持します。そうしないと、パワーバッテリーの寿命が短くなります。
- 車を長期間（3ヶ月以上）使用しない場合、パワーバッテリーをフル充電してから、充電率が40%～60%になるまで放電しなければなりません。パワーバッテリーの過放電により発生するパワーバッテリー性能の低下や破損による車両故障および破損は、品質保証の対象外となります。
- メーターに表示される航続可能距離が0の場合は、パワーバッテリー残量が不足していることを表します。早めに充電し、長時間パワーバッテリー残量が少ない状態で使用することは避けてください。
- パワーバッテリーを最適な状態に維持するため、定期的にAC車載充電装置でパワーバッテリーをフル充電してください。毎週1回はフル充電するようおすすめします。
- 長期間にわたる性能を確保するために、温度が60℃より高い、または-30℃より低い環境に駐車するときは24時間以内にしてください。
- トレイが凹んだ、またはパワーバッテリーパック底部のトレイ表面が傷

ついた場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場で点検を行うようおすすめします。

- 運転中、急加速や急減速を繰り返すことは避けてください。
- 長時間車を使い続けると、パワーバッテリー温度が上がり車両性能に影響をおよぼすおそれがあるため、できるだけ避けてください。
- メーターに故障メッセージが表示された場合は、早めに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場で点検を行うようおすすめします。
- パワーバッテリー温度が比較的高い場合は、車両性能が一部制限されます。車を安全な場所に駐車し、パワーバッテリー温度が下がってから使用してください。

### **i** アドバイス

- メーターに表示されるパワーバッテリー残量が0となった場合は、充電してください。7日以内に充電しないと、復旧不可能なパワーバッテリーの破損を引き起こします。これによるパワーバッテリーパックの破損について、BYD は品質保証条項に定められる保証責任を負いません。
- 航続可能距離は、利用可能なパワーバッテリー残量、車齢（現在のパワーバッテリー寿命）、天気、気温、道路状況、運転習慣などで決まります。高温や低温の環境では、走行する場合の航続可能距離が常温の場合より多少短くなり、動力性能も影響されます。

## 電気の省エネで車を長持ちさせる方法について

- 節電はシンプルで簡単、しかも車の寿命を延ばすことにもつながります。
- 電気エネルギーや修理代を節約する要領を次に示します。

### 1. 回生ブレーキ設定：

- 本車は、回生ブレーキ機能および回生ブレーキ強さの設定機能を搭載し、回生ブレーキモードボタンやマルチメディアで設定することができます。回生ブレーキ強度が強と設定された場合は、制動・惰行中に回収するエネルギーを増やすことができます。運転習慣に合わせて設定してください。

### 2. 速度維持：

- 一定速度での運転は電気の省エネに役立ちます。急アクセルや急ハンドル、および急ブレーキはより多くの電気エネルギーを消費します。
- アクセルペダルを踏むたびに余分な電気エネルギーを消費するため、交通状況に応じてできるだけ一定速度で走行してください。

- 急発進、急アクセル、急ブレーキを避け、ゆっくりアクセルペダルを踏んでください。
- 一定の速度を維持しながら車を運転することや、信号が設定されていない道路を走行しながら前車との車間距離を適切に保ち急ブレーキを避けることは、ブレーキの摩耗の軽減につながります。
- 渋滞している道路はなるべく避けてください。
- 高速道路を走行する場合は、適切な速度を維持してください。速度が速いほど、電気エネルギーの消費が多くなります。速度をエコ走行になる範囲内に保つことで、省エネにつながります。

### 3. 負荷の軽減：

- エアコンの作動によりモーターに余分な負荷がかかるため、より多くの電気エネルギーが消費されます。エアコンを消すことで電気エネルギーの消費を減らします。快適な外気温の場合、外気導入モードにして外気を取り入れてください。
- 車に不要な荷物を積むことは避けてください。荷物が多すぎると車への負荷が増えるため、より多くのエネルギーが消費されます。

### 4. その他：

- タイヤの空気圧を適切に保ってください。タイヤの空気圧不足は、タイヤの摩耗や電気エネルギーの消費につながります。
- フロントタイヤの正しいアライメント（取り付け角度）を保ってください。道路の縁石へ乗り上げることを避け、悪路ではゆっくり走行してください。フロントタイヤのアライメントが良くない場合は、タイヤの早期摩耗につながるだけでなく、電動パワートレインへの負荷も大きくなるため、電気エネルギーをより多く消費します。
- 泥などの付着がないようにシャーシを清潔な状態に保ってください。ボディー重量を軽減するだけでなく、腐食を防ぐこともできます。

#### アドバイス

- 走行中の、ニュートラルギアでの惰性走行を厳禁します。

## 荷物の積み込み

- 本車は、複数の便利な格納スペースを用意しています。積み込む荷物が  
多い、または積み込み方が不安定な場合は、車の操縦性、安定性および  
正常な運転に影響をおよぼし、車の安全性を低下させることがあります。
- グローブボックス、ドアポケットおよびシートバックポケットなどは小  
物や軽量物を格納するために設計されたものです。トランクルームは、  
比較的大きく、重いものを収納するための空間です。
- シートを倒すと、長い荷物を積むことができます。ただし、積み込む荷  
物が多い、または積み込み方が不安定な場合は、車の操縦性、安定性お  
よび正常な運転に影響をおよぼし、車の安全性を低下させることがあり  
ます。
- 荷物を積み込む場合は、車両本体、乗員全員および荷物の総重量が車両  
総重量を超えてはなりません。

### ⚠ 警告

- 積載オーバー、不適切な積み込み方は、車両の操縦性および安定性に  
影響をおよぼし、衝突事故を招くおそれがあります。
- 本マニュアルに記載される車両総重量や、他の積載ルールを守ってくだ  
さい。
- 車の正常な運転への干渉を避けるために、強い磁気を持つものを車に  
搭載しないでください。

## 客室に荷物を積み込む場合

### ⚠ 警告

- 衝突時に車内に投げ出され、乗員に怪我を負わせる可能性のあるもの  
は、確実に収納または固定しなければなりません。
- リアシェルフにもものを置かないでください。車両後方の安全確認の妨  
げになり、衝突時には車内に投げ出される場合があります。
- フロントシート後部の床に置いているものは、ドライバーのペダル操  
作やシートの調整の妨げにならないように、シートの下で転がらない  
ようにしてください。荷物の積み込みはフロントシートバックを超え  
てはいけません。
- 運転時はグローブボックスをきちんと閉めてください。グローブボッ  
クスが開いていると、衝突時や急ブレーキ時に乗員の膝などに怪我を  
負わせるおそれがあります。

## ① アドバイス

- お子様のおもちゃを車内に積み込まないでください。急ブレーキや衝突事故などが発生した場合、おもちゃが安全走行を妨げるだけでなく、お子様に怪我をさせるおそれがあります。

## トランクルームに荷物を積み込む場合

### ⚠ 警告

- 走行中に移動しないように紐やチェーンで荷物をきちんと固定します。荷物はシートバック高さ以上に積み込まないでください。

- 荷物をトランクルームに均一に入れ、最も重い荷物は一番下に置き、できるだけ前側の方に置きます。
- トランクルーム内で荷物を縛るための用品や固定装置などについては、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場にお問い合わせください。

## 冠水路の走行

- 冠水路に進入する前に、水の深さをきちんと確認してください。水の深さは、ボディー下部の縁部を超えてはいけません。
- 冠水路を通り抜ける場合は、発進前にエアコンを消して低速で走行し、アクセルペダルを軽く踏み続けながら、ゆっくり走り抜けてください。
- 車を水の中で絶対に停車させないでください。また、水の中でバックしたり、モーターを OFF にしたりしないでください。
- 無事に冠水路を走り抜けた後、ブレーキペダルを数回軽く踏んでブレーキローターに付着した水を落とし、できるだけ早く通常の制動性能に戻してください。
- 深い冠水路を通り抜ける場合は、ブレーキを濡らすことがあるため、慎重に運転してください。



**⚠ 警告**

- ブレーキシステムに水や泥などが侵入すると、ブレーキの効きが悪くなり制動距離が延びるため、事故につながるおそれがあります。
- 冠水路を走り抜けた後は、できるだけ急ブレーキを避けてください。
- 車がくぼんでいる冠水路を走る場合は、モーターへの水侵入がないように注意してください。モーターの重大な破損につながるおそれがあります。それによる車両故障および破損は、品質保証の対象外となります。
- 冠水路を走り抜けた後、ドライブレインシステム、走行システムおよび電気システムなどの部品も大きな被害を受けるおそれがあります。それによる車両故障および破損も、品質保証の対象外となります。
- 水位がドアガラスよりも高くなり、緊急脱出ハンマーを使用した場合、割れたガラスが室内に入り、怪我をするおそれがあります。フロントウィンドウと前席ドアのガラスは合わせガラスで割れないため、後席ドアかテールゲートのガラスを割って脱出してください。

**高電圧部品の内部に水が侵入した場合：**

- 高電圧部品は電子部品のため、車が水の中に浸かった場合、高電圧部品は乾かしても十分に水切りできる保証はありません。
- 高電圧部品の内部に水が侵入すると、部品自体の絶縁性に大きな影響を与えます。また、水分に多く含まれる導電性物質により高電圧部品の内部ショートや高電圧システムのショートが引き起こされるおそれがあります。このような場合、車の安全性能や使用性能に重大な影響を与えます。
- 高電圧部品の内部に水が侵入すると、製品の IP 保護等級、耐電圧などの性能はいずれも大きな影響を受けるため、大きな危険性があります。
- 台風などの荒れた天候では、できるだけ雨が降らない場所で充電するように注意してください。サイドシルの高さ以上に車が水に浸かったり、冠水路を走行するときに浸水したりすると、高電圧部品の内部に水が侵入するおそれがあり、侵入した場合は、早めに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場 で点検や処置をしてください。タイヤの半分以上が水に浸かる冠水路での走行はしないでください。

## 火災の予防

車両火災を有効に防止するために、車を使用する際、下記のことにご注意してください。

- 車内に引火性・爆発性のあるものを格納しないでください。
  - 炎天下、日が当たるところに駐車する場合は、車内の温度が60～70℃以上に達することがあります。車内にライター、洗浄剤、香水などの引火性・爆発性のあるものを置くと、火災、ひいては爆発が発生するおそれがあります。
- 喫煙後、吸い殻は火が完全に消えていることを確認してください。
  - 喫煙は、身体の健康を害するだけでなく、火災を引き起こすおそれもあります。火が完全に消えていない吸い殻は、火災を引き起こすおそれがあります。
- BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場にて定期点検を行うようおすすめします。
  - コネクタとワイヤーハーネスとの接続、絶縁および固定位置などに異常がないかを確認するために車両全体の配線の定期点検を行う必要があります。不具合が見つかった場合は、早めに処置してください。
- 車両の配線の改造、電装品の後付けを禁止します。
  - 電装品（ハイパワーオーディオ、照明器具など）の後付けは、回路に過大な負荷がかかり、ワイヤーハーネスの発熱による火災の原因になります。
  - 基準外の電器・配線の改造により抵抗が大きくなり、異常に発熱して火災を引き起こすおそれがあります。電装品の定格から外れたフューズや金属ワイヤーをフューズの代わりに使うことを厳禁します。
- 正しい駐車場所を選びます。
  - 停車時、できるだけ日にさらされるところを避けてください。
  - 車に車載用の消火器を搭載することをおすすめします。
  - 車の安全を確保するため、車に消火器を搭載する場合、定期的な点検や交換を行ってください。また、消火器の使い方を熟知し、非常時に迅速に対応できるようにしてください。
- 車の修理やメンテナンスを行う場合、モータールームの起動バッテリーのマイナス端子を外します。
- 車両火災が起きた場合は、迅速かつ冷静に効果的な方法で対処し、被害

を最小限にしなければなりません。

- 火災の発生は、ボディーからの異音や異臭などのような前兆があります。異常を感じたら、できるだけ風が当たらないところに車を停車し、車載用消火器で初期消火を行います。
- 早めに 119 番に通報すると同時に、該当の保険会社にも通報し現場対応を要請します。
- 火元を特定します。モータールームから煙が立った場合はすぐにボンネットを開けないでください（ボンネットを開けると、大量の空気が入り火の勢いが強くなるためです。ボンネット閉めておくことで火の勢いを抑え、消火を助けることができます）。車載用消火器を使い、ボンネットの隙間から火元に向け消火剤を噴射します。または外部に助けを求め、複数の消火器を借りることができれば、外部から火が見えない状態で、ボンネットを開けて消火剤を噴射し続けることができます。
- 事故発生後、早めに保険会社に対応などを依頼します。

### アドバイス

- 車で思わぬ被害が発生することを防ぐために、車両保険に加入するようおすすめします。



## タイヤチェーン

- タイヤチェーンは、緊急時対応、またはチェーン規制が実施されている道路を通行するときに使用するものです。
- タイヤチェーンは、フロントタイヤに装着します。凍結路面や雪道でタイヤチェーンを装着した車を運転する場合は、細心の注意を払ってください。タイヤチェーンによっては、車両のタイヤ、ホイール、サスペンションおよびボディーを破損させることがあるため、適切なサイズのタイヤチェーンを選定し、タイヤとホイールハウス内の他部品との間に十分な空間を作るようにしてください。
- タイヤチェーンメーカーの取扱説明書をよく読んでください。
- タイヤチェーンを購入する前、お買い上げのBYD 正規ディーラーまたはBYD 指定サービス工場に問い合わせてください。
- タイヤチェーンを装着した状態で雪道を走行する場合は、タイヤチェーンの種類に合った速度に抑えて走行してください。
- タイヤとタイヤチェーンとの摩耗を軽減するため、タイヤチェーンを装着したまま積雪路や凍結路以外の道路を走行しないでください。

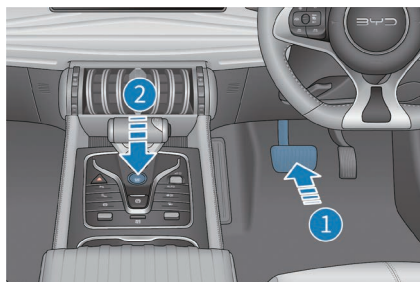
### アドバイス

- 走行速度は、タイヤチェーンメーカーに推奨された速度を超えて走行しないでください。
- 突起物や穴、急カーブに注意しながら慎重に運転してください。乗り上げた場合、ジャンプするおそれがあります。
- タイヤチェーンを装着している車は、制御不能による事故を避けるため、急ハンドルや急ブレーキを避ける、またカーブに進入する前にスピードを落としてください。
- タイヤチェーンは左右対称に装着し、積雪路を抜けたら、ただちに取り外してください。

## 車の始動

### 通常の始動方法：

- パーキングブレーキを確実にかけます。
- シフトレバーを「P」または「N」に入れます。
- リモートキーを携帯します。
- ブレーキペダル①を踏み込んだ状態で「スタート/ストップ」ボタン②を押します。
- メーターの「OK」表示灯が点灯すると、車は走行できる状態になります。



### 車が始動できない場合

- 次の場合は、車の始動ができません。
  - 「スタート/ストップ」ボタンを押したとき、リモートキーシステム警告灯が点灯、および車のスピーカーから警告音が鳴り、コンビネーションメーターの中央部インフォメーションディスプレイに「キー検出不可」と表示された場合（リモートキーが車内にない、または干渉によりキーが検知できていない）。
  - リモートキーが車内にあるが、正しい位置に置かれていない場合（例：床面、カップホルダー内、トランクルーム内または収納箱内など）。

### 緊急時の始動方法：

- パーキングブレーキを確実にかけます。
- 必要のないランプやアクセサリを OFF にします。
- 車の電源ポジションを「OFF」にします。
- リモートキーを車内に置きます。
- スタートボタンを 15 秒以上長押しすると、車が始動します。

### 警告

- 運転時、「スタート/ストップ」ボタンを触らないでください。
- ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながるため、始動する前にペダルの位置を確認し、その位置を確実に覚えてください。
- 始動するときは、必ず運転席に座ってください。運転席以外から始動を行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## リモートスタート機能

### 始動前

1. 電源モードを「OFF」にします。
2. シフトレバーを「P」レンジに入れます。
3. 速度を5km/h以下にします。

## リモートキーの「リモートスタート機能」

1. リモートキーの「リモートスタート/ストップ」ボタンを2秒ほど長押しすると、車を始動させることができます。始動後、ターンシグナルランプが3回点滅します。
2. リモートスタート後、10分以内に有効な操作を行わない場合は、電源ポジションが「OFF」になり、ターンシグナルランプが2回点滅します。
3. 始動後、リモートキーの「リモートスタート/ストップ」ボタンを2秒ほど長押しすると、電源ポジションが「OFF」になり、ターンシグナルランプが2回点滅します。



4

使用および運転

## 車の運転

### 運転前の点検

運転の前は車の点検を行ってください。安全運転を確保するとともに、運転を楽しむことができます。この点検は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に依頼することも可能です。

#### 車の外部

- **タイヤ**：タイヤの空気圧、タイヤトレッドに割れ、破損、異物の噛み込みがないか、タイヤに異常、過度な摩耗がないかを点検します。
- **ホイールナット**：ナットの緩みや外れがないかを点検します。
- **照明**：ヘッドライト、ポジションランプ、ターンシグナルランプおよび他のライトの作動に異常がないことを確認します。ヘッドライトの明るさを点検します。

#### 車の内部

- **シートベルト**：バックルがしっかりロックできることを点検します。シートベルトに摩耗や擦り傷がないことを確認します。
- **コンビネーションメーター**：特にメンテナンス表示灯、メーター照明とデフロスターの作動に異常がないことを確認します。
- **ブレーキペダル**：ブレーキペダルの操作に必要なスペースが充分であることを確認します。

#### モータールーム内部

- **モータールームの起動バッテリーとケーブル**：つなぎ目のところに腐食や緩み、外れがない、モータールームのバッテリーケースに割れ目がないことを点検します。
- **バックアップ用フューズ**：それぞれのフューズのバックアップがあることを確認します。フューズボックスに各種の定格電荷量に対応する仕様が記載されている必要があります。
- **冷却水の量**：冷却水の量が正しい範囲であることを確認します。

#### 始動後の点検

- **コンビネーションメーター**：故障を示す警告灯およびスピードメーターの作動に異常がないことを確認します。
- **ブレーキ**：安全な場所で車を直進走行させ、ステアリングホイールをしっかりと維持してブレーキをかける際に、車が偏りなしに真っすぐ走ること

を確認します。

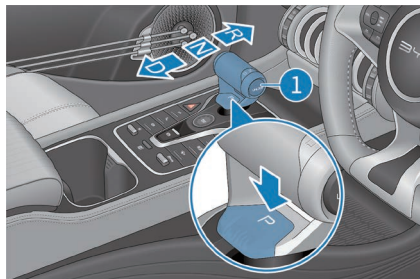
- 他の異常な現象：緩んだ部分や漏れ、異常な騒音がないかを点検します。すべて正常であれば、安心して運転を楽しむことができます。

## 運転前の準備について

- 車に乗り込む前に、車の周りの状況を確認しなければなりません。
- シートポジション、シートバック角度、シートクッションの高さ、ヘッドレストの高さ、ステアリングホイールの角度と高さを調節します。
- ルームミラーとドアミラーを調節します。
- すべてのドアを閉めます。
- シートベルトを確実に締めます。

## シフト機構

- ギアアクチュエーターのレンジマークは、右図のようにシフトレバーに表示されます。
- 「P」はパーキングレンジで、ボタンを押すと駐車できます。モーターをストップまたはスタートさせるときは、シフトレバーをパーキングレンジに入れてください。



- 車を始動させるときに、電源ポジションを「OK」にし、ブレーキペダルを踏み込み「UNLOCK」ボタンを押すと、「P」から他のレンジに切り替えることができます。

### ⚠ 注意

- 怪我を防ぐために「P」ボタンを押すときは、車が完全に止まってから押してください。
- 「R」はリバースレンジで、車が完全に止まってから使用してください。
- 「N」はニュートラルレンジで、一時的に停止する場合に使用します。
  - 何らかの理由により、車から降りる場合には、必ずパーキングレンジに切り替えなければなりません。
- 「D」はドライブレンジで、通常の走行時に使用します。

- 電源ポジションが「OK」以外のときは、ギアポジションをドライブレンジに切り替えることができません。
- パーキングレンジからドライブレンジに切り替える際には、ブレーキペダルを踏み込むと同時に「UNLOCK」ボタンを押す必要があります。詳細は、メーターのインフォメーションを参照してください。
- シフトチェンジ後に手を離すと、シフトレバーは自動的にセンターポジションに戻ります。

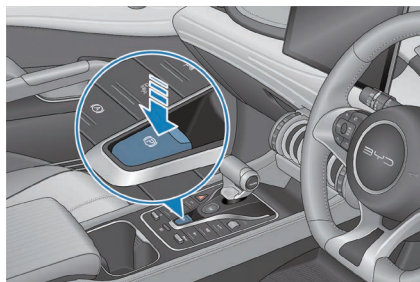
**⚠ 警告**

- モーターを OFF にし、シフトレバーを「N」レンジに切り替えたまま長時間車を移動させると、トランスミッションは、十分に潤滑できずに破損するおそれがあります。
- モーターが作動していて、かつシフトレバーを「R」 / 「D」レンジに入れるときは、必ずブレーキペダルを踏み込み、車を停止させてください。ニュートラルの状態でも、トランスミッションがまだ動力を伝達しているため、車がゆっくり動きます。
- 事故を防ぐために、前進時にシフトポジションを切り替えるときは、絶対にアクセルペダルを踏まないでください。
- 事故を防ぐために、走行中にシフトレバーを「R」に入れたり、「P」ボタンを押したりすることは絶対にやめてください。
- 事故を防ぐため、発進するときはアクセルペダルを踏んだままシフトレバーを操作しないでください。急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。
- 車が始動していない状態であっても、「N」または「P」レンジのまま坂を下ることはしないでください。
- 自然発車を防ぐために、車がきちんと止まってからパーキングブレーキをかけ、「P」ボタンを押します。
- シフトレバーにもものをかけないでください。思わぬシフトチェンジが起き、車が突然発進するなど事故の原因になるおそれがあります。

## 電動パーキングブレーキ (EPB)

### 電動パーキングブレーキスイッチ

パーキング時、および車から離れるときは、EPB スイッチを引き上げてください。



### 手動で EPB をかける

EPB スイッチを引き上げると、EPB は適切な制動力を適応します。メーターの表示灯(Ⓟ)は、最初に点滅してから点灯状態になり、EPB がかかって「電動パーキングブレーキ ON」の文字が表示されます。

#### ⚠ 注意

- (Ⓟ)が点滅している場合は、EPB 作動中を表します。坂道では自然発車を防ぐために、できるだけ(Ⓟ)が点灯してから、ブレーキペダルを離してください。

### 自動で EPB がかかる

#### ストップ時に自動的に EPB がかかる

- 電源ポジションが「OK」から「OFF」に入ったときに、EPB が自動的にかかり、メーターの表示灯(Ⓟ)が点灯します。

#### [P] レンジ時に自動的にかかる

- ブレーキペダルを踏み込み、車を止めてパーキングレンジに入れると、EPB は自動的にかかります。メーターの表示灯が点滅してから点灯状態に入り「電動パーキングブレーキ ON」の文字が表示されたらブレーキペダルを離します。

**▲ 注意**

- EPB スイッチを押して同時にストップボタンを押した場合、EPB は自動的にかかりません。車が故障などで走れなくなりレッカーなどで車を移動する場合に使用されます。
- 車が坂道で停止しているときは、ブレーキペダルを早めに離さないでください。少し離しただけでも車が自然に動いてしまうおそれがあります。
- この機能は、車の自主安全性を上げるためのもので、それを過信したり、頻繁に使ったりしないようにおすすめます。安全を確保するために、必ずシフトレバーをPレンジにする、またはEPBスイッチを引き上げてから車から降りてください。
- 車を始動させてからの数秒以内は、EPBシステムは、電源投入時のセルフテストをしているところであり、すべての機能には応答していません。

**手動でEPBを解除する**

- 車が「OK」またはスタート状態にあり、なおかつ「P」（パーキング）以外のレンジに入っているときに、ブレーキペダルを踏み続けながら、メーターの表示灯が消灯するまでEPBスイッチを押すと、電動パーキングブレーキは解除され「電動パーキングブレーキ OFF」と表示されます。

**▲ 注意**

- 「P」レンジは、駐車するためのレンジで、そのマークは、車が安定な駐車状態にあることを表しているものです。それに対し、EPBは、本車の主なパーキング装置で、安全な駐車を確保するために、EPBスイッチでパーキングブレーキをリリースさせる操作は、「P」（パーキングレンジ）以外のレンジにした前提に限られます。

**発車時に自動的にEPBを解除する**

- パーキング状態で車を始動させ、ブレーキペダルを踏み続けながら、レンジを「P」または「N」から「D」あるいは「R」などのドライブレンジに切り替えると、EPBは自動的に解除され、表示灯(Ⓟ)が消灯し「電動パーキングブレーキ OFF」の文字が表示されます。

**▲ 注意**

- 正しいシフトチェンジをしてください。シフトチェンジ操作中、最後までブレーキペダルを踏み続け、メーターに目的のレンジが表示されたから、ブレーキペダルを離してください。



- 車が始動し、シフトレバーが「D」または「R」などのドライブレンジに入っているとき、手動で EPB スイッチを引き上げてから、アクセルペダルをある程度までゆっくり踏み込むと、EPB は自動的に解除されて、表示灯 (P) が消灯し「電動パーキングブレーキ OFF」の文字が表示されます。

### 警告

- できるだけ EPB による制動の利用を避けてください。緊急ブレーキ機能の使用は、フットブレーキがかからない、またはかかりにくいなどの緊急時に限られます。
- EPB は路面の摩擦力の物理限界を超えることはできませんので、カーブや危険な道路、渋滞時、悪天候時の走行時に緊急ブレーキ機能を作動させると、スリップや横滑り、またはコースアウトを引き起こすおそれがあります。事故につながらないように注意してください。

### 故障時のリリース機能

- 手動で EPB を解除することができない場合は、EPB スイッチを 2 秒以上押し続けてください。EPB が解除された場合は、最寄りの BYD 正規ディーラーでブレーキランプスイッチ信号、および関係部品、回路などを点検してください。EPB スイッチを 2 秒以上押し続けても解除できない場合は、すぐに BYD 指定サービス工場までご連絡ください。
- 走行中にフットブレーキが効きにくい、または効かない場合は、EPB スイッチを引き上げ続けることで緊急ブレーキ機能が作動します。また、走行中の安全を確保するため、正常に走行している場合は EPB による緊急ブレーキを可能な限り避けてください。  
インテリジェントパワブレーキシステムの故障やフットブレーキが効きにくいなどの緊急時は、車両に対する制御を常に維持しながら、正常運転状態で緊急ブレーキ機能を利用するようにしてください。

### EPB システム表示灯

- EPB スイッチが引き上げられている状態で電源スイッチを ON にすると、メーターの表示灯 (P) が点灯状態になります。
- EPB スイッチが引き上げられている状態で電源スイッチを OFF にすると、メーターの表示灯 (P) が点灯してから約 3 秒後に消灯します。
- 電源スイッチを入れると、EPB システムはセルフテストを行い、メーターの表示灯 (E) が点灯してから約 3 秒後に消灯します。もし消灯しない場合は、EPB システムまたはブレーキシステムに不具合が発生している可能性があります。すぐに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場までご連絡ください。

## EPB 作動音

- EPB スイッチが引き上げられた、または EPB が解除されると、EPB モーターの作動音が聞こえます。
- 緊急ブレーキ機能を有効にしてから、焦げた臭いがする、異常な音がする場合は、すぐに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場までご連絡ください。

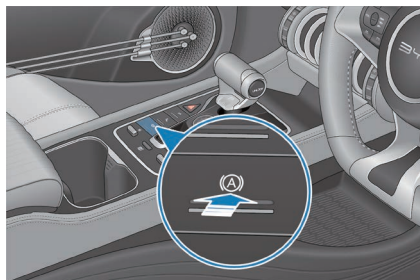
## ⚠ 警告

- 車が坂道で下がることを防ぐために、車から離れるときは、EPB の代わりにシフト機構で駐車しないでください。EPB で駐車し、かつシフトレバーを「P」レンジに入れなければいけません。
- 重大な事故の発生を避けるために、走行中 EPB スイッチの操作をしないでください。
- EPB の制動力不足時の自然発車、それによるシフト引っかかりなどの異常を防ぐために、EPB のスイッチを引き上げる、または解除する途中は、できるだけブレーキペダルを踏まないでください。
- 急斜面や積雪、凍結した場所などでの駐車は避けてください。

## オートビークルホールド (AVH)

オートビークルホールド (AVH) は自動的に駐車する機能であり、坂道での追従走行、信号待ちなど比較的長い時間で駐車する場合に使われ、長時間駐車を維持します。AVH 機能が待機している前提で車が完全に停止するまでブレーキペダルを踏み続けると (速度がゼロになる)、AVH 機能が AVH 状態に入ります。

- AVH スイッチを押し、AVH を ON にすると、メーターの AVH スタンバイ表示灯 (白色) が点灯します。AVH 機能の作動条件が揃うと、メーター内の AVH 表示灯 (緑色) が点灯します。
- 再び AVH スイッチを押すと、AVH 機能が OFF になります。



**▲ 注意**

- アクセルペダルを踏み、「P」レンジに切り替える、EPB スイッチを引き上げたりすると、AVH が解除されて AVH 待機状態に戻ります。また、AVH 待機条件が揃っていない場合にも、AVH 状態が OFF になります。

**オートビークルホールド (AVH) 機能の待機に必要な条件 (同時に満たす必要があります)**

- AVH スイッチを ON にし、メーター内の AVH スタンバイ表示灯 (白色) が点灯していること。
- ドライバーがシートベルトをきちんと締め、かつドアが閉まっていること。
- 駆動モーターを起動させる、または電源ポジションを「OK」にしていること。
- インテリジェントパワーステアリングシステムおよび電動パーキングブレーキ (EPB) システムの故障がないこと。

**▲ 注意**

- 電源ポジションを「OK」にしたときの AVH 機能はデフォルトで OFF と設定されています。待機状態に入ると、メーター内の AVH 待機表示灯 (白色) が点灯します。

**オートビークルホールド (AVH) 機能の作動に必要な条件 (同時に満たす必要があります)**

- AVH が待機状態に入っていること。
- ドライブレンジの状態ですべてのブレーキペダル操作で完全に停止していること。
  - AVH 機能が ON になり、車両ブレーキランプおよびハイマウントストップランプが点灯し、かつメーター AVH 表示灯 (緑色) が点灯します。
  - AVH 機能が 10 分ほど作動すると、そのまま待機状態に入り自動的に EPB がかかります。

**▲ 注意**

- AVH 機能の有効化に必要な条件を同時に満たさなければ、AVH を有効にすることができません。
- レンジを「D」から「R」に切り替えると、システムが移動モードに入ります。このとき、AVH 機能は有効になりません。AVH スイッチを押す、または速度が 10km/h を超えた場合、移動モードが解除になります。

**低速移動モード**

- 「R」レンジに入れることで低速移動モードに入ります。このとき、AVH 機能が移動モード状態に入ります。スムーズに車を移動させるため、「R」レンジで低速バック走行する、または「D」レンジに切り替え低速走行すると、AVH 機能はいずれも有効になりません。
- 低速移動モードに入った後、AVH スイッチを 1 回押す、または速度が 10km/h を超えたとき、移動モードが解除になり、AVH 機能が有効になります。

**▲ 警告**

- 人が乗降したり、荷物の積み下ろしを行ったり、洗車機を使用したりするときなどは、AVH 機能を OFF してください。不意に動き始めて、事故につながるおそれがあります。
- ブレーキペダルを離す前に、AVH 表示灯（緑色）が点灯していることを確認してください。
- AVH 機能によりブレーキが保持されているときに OFF する場合は、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。ブレーキが解除された途端に車両が動き始め、事故につながるおそれがあります。

**運転要領**

- 敷石が設置されている道路を走行する場合は、車をゆっくり走行させながら正しい角度を保ってください。とがっているものや障害物の上を走り抜けることを避けてください。タイヤを大きく破損させるおそれがあります。
- 悪路を走行する場合はスピードを落としてください。衝撃でホイールを大きく破損させるおそれがあります。
- 濡れた路面を走行する場合は、深い水たまりを避けて走行してください。

- 逆風の中では、車のコントロールができるようにゆっくり走行してください。
- 洗車や深い水たまりを通り抜けてブレーキが濡れている場合は、慎重に運転しながらブレーキペダルを軽く踏んでブレーキを乾かしてください。
- 氷雪、砂石、水濡れのタイル・エポキシ樹脂系塗床などの路面の摩擦係数が低い場合は、自然発車がないようにできるだけ坂道での駐車を選んでください。

### アドバイス

- バッテリーは車の底部にあるため、ぶつけないように注意しながら運転してください。
- 運転前、電動パーキングブレーキが充分に解除され、電動パーキングブレーキ表示灯が消灯していることを確認してください。
- 電源ポジションが「OK」となっているときは、車から離れないでください。
- 車から離れる場合は、リモートキーを携帯してください。
- 長距離の下り坂を走行する場合は、スピードを落としてください。頻繁にブレーキをかけると、ディスクローターが高温になり、正常に機能しない場合があります。
- 滑りやすい路面で加速したり、ブレーキをかけたりする場合は、充分注意してください。車がスリップしたり、横滑りを引き起こすおそれがあります。
- 走行中に、生命にかかわる交通事故の発生を避けるために、窓から頭や手を出さないでください。特に車の中にお子様を乗せている場合、充分注意してください。
- モータールームに大量の水が侵入すると、パワートレインや電気部品の破損につながります。

### 警告

- ドライバーは、お子様などの乗員の誤った操作を防ぐために、乗員に車の各機能の使い方を伝え、乗員の安全確保を心がけてください。

## 冬期の運転について

1. 冷却水が凍結防止の保護機能を発揮していることを確認します。
  - 自車に使われているオリジナル冷却水の型番と同じのものを使います。冷却システムに冷却水を補充する場合、周囲温度に応じて、適切な冷却水の型番を選びます。
  - 不適切な冷却水を使うと、冷却システムの破損につながります。
2. バッテリーやケーブルの状況を点検します。
  - 寒い気候は、モータールームの起動バッテリーの電圧を低下させます。そのため、モータールームの起動バッテリーには十分な電圧を持たせ、始動ができるようにします。
3. 氷雪によるドアロックの凍結を避けてください。
  - 凍結を防ぐために、ドアロックの鍵穴の中に除氷剤やグリセリンを吹き付けます。
4. 不凍液を含んだウォッシュ液を使います。
  - このような製品は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場やすべての自動車部品販売店で販売されています。
  - 水と不凍液の混合比は、メーカーの指示にしたがってください。



### 注意


- ウォッシュ液として冷却水や他の代替品を使わないでください。車の塗装の早期劣化などにつながるおそれがあります。
5. 走行道路によっては、必要な非常用装備やアイテムを用意しておくようおすすめします。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC) システム\*

- アダプティブクルーズコントロールシステム (ACC) は、従来のクルーズコントロールをベースに、レーダーで先行車と自車の相対距離、および相対速度を計測し、自車の走行速度を自動的に調整し、先行車との車間距離を一定に保ちながら走る追従走行を可能にした機能です。先行車の有無により、システムがクルーズコントロールと追従型クルーズコントロールの自動切替を行います。
- クルーズコントロールボタンで自車の巡航速度および先行車との車間距離を設定することができます。30 ~ 150km/h の範囲内で巡航速度を設定することができ、また自車と先行車の車間距離を設定し、0 ~ 150km/h の範囲内で車間距離を一定に保ちながら追従走行することもできます。

### 作動状況説明

- ACC OFF の場合：
  - このときは、システムが OFF になっています。システム機能を利用するには、まず ACC システムを ON にしてください。
- ACC 待機の場合：
  - システムを ON にした後、デフォルトの待機状態となり、ドライバーの手動操作によってシステムを有効にすることができます。ただし、アクティブ状態に必要な条件が揃っていないこともあるため、ドライバーが車を確認し、システムを有効にする条件を揃える必要があります。このとき、メーターには  アイコンが表示されます。
- ACC が有効になっている場合：
  - このとき、システムは、通常の作動状態にあります。車が設定速度で定速走行する、または先行車との車間距離を自動的に調節して、追従走行します。このとき、メーターには  アイコンが表示されます。
- 追い越し時の加速の場合：
  - ドライバーが ACC を有効にした状態でアクセルペダルを踏むと、車はその操作に反応し速度を上げます。このとき、ACC が追い越しモードに入ります。ドライバーがアクセルペダルを離すと、ACC が自動的に元のモードに戻ります。
- ACC 故障の場合：
  - このとき、システムは故障状態にあり、いかなる操作もできません。

メーター内の ACC システム警告灯  が点灯します。

## ACC システムの作動条件

- 電動パーキングブレーキ（EPB）は解除されている状態。
- シフトポジションは、ドライブレンジ「D」状態。
- 車はバックしない状態。
- 車の4ドア、ボンネット、テールゲートは閉まっている状態。
- ドライバーはシートベルトを着用。
- ESC システムは ON で、なおかつ作動していない状態。
- 車のスピードが  $\leq 150\text{km/h}$  のとき。
- スピードが  $0\text{km/h}$  の場合はブレーキペダルを踏み込んだ状態、またはスピードが  $0\text{km/h}$  でない場合はブレーキペダルを踏み込んでいない状態。
- メーターには車のネットワーク通信故障のインフォメーションが表示されていない状態。
- 自動緊急ブレーキ機能は ON となっていない状態。

## クルーズコントロールボタン操作

### ACC ON / OFF ボタン

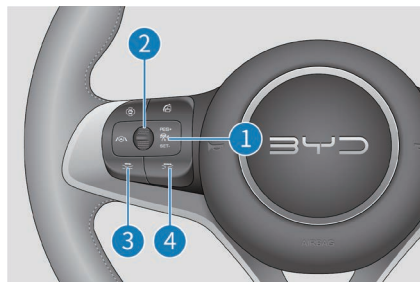
ボタン①を押すことにより（作動条件を満たしている場合、システムはスタンバイ状態）、ACC ON・OFF の切り替えができます。

### RES+ / ACC リセット

上方向にレバー②を操作することにより、前回クルーズコントロールを OFF にするときに記憶された速度に戻すことができます。クルーズ速度が記憶されていない場合は、初期設定速度の  $30\text{km/h}$  になります。

### SET- / 速度設定

- 下方向にレバー②を操作することにより、ACC はスタンバイ状態から作動状態に切り替わったとき、現在の速度を設定速度として設定します。現在の速度が  $30\text{km/h}$  より遅い場合は、 $30\text{km/h}$  を設定速度として設定します。





- ACC 機能を ON にした場合は、レバー②を操作することにより、30～150km/h 範囲内で速度を設定することができます。上 / 下方向にレバー②を操作することにより、設定速度は 5 km/h ずつ加速 / 減速します。ACC で走行した後、電源ポジションを OFF しないまま、クルーズコントロールがスタンバイ状態にある場合、システムは最後に設定された速度を記憶します。

### ⚠ 警告

- ACC の初期設定速度は 30km/h になっています。その設定のまま高速道路などを走行中に RES+ を押すと 30km/h に急減速し、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。高速道路などで ACC を使用する場合は、SET- で速度設定を行った後、設定が解除されたときのみ RES+ で設定速度に戻すことをおすすめします。

## ACC の解除

ブレーキペダルを踏み込むと、ACC は作動状態からスタンバイ状態に入ります。再び①ボタンを押すと、ACC 機能が解除されます。

## 車間距離の設定

- ドライバーは、安全な車間距離を選択する責任があります。
- このシステムは、同一車線を走行する先行車と適切な距離を保つように速度を調整することができます。ドライバーは、ステアリングホイールの③と④ボタンの操作により、4 段階で車間距離を調整することができます。各段階では、車間距離は速度に比例し変化します。速度が速いほど、車間距離が広がります。

## ACC システム使用時の自動加速 / 減速

- ACC が作動している状態でドライバーは自らアクセルペダルを踏み込み、スピードを上げることで、早めに設定速度を達成することができます。この場合、システムは追い越し時の加速状態になります。このように設定速度で走行中に、ドライバーがアクセルペダルを踏み込み自らスピードを上げ、なおかつ他の操作を行わない場合は、スピードを上げた後で車は加速するまでに設定されていた速度に戻ります。アクセルペダルを踏み込むと同時に、下方向にレバー②を操作すると、現在の速度がクルーズコントロールの設定スピードとして設定されます。速度が 150km/h より速い、またはアクセルペダルを 15 分以上踏み続けるとシステムがスタンバイ状態に入るため、新たに ACC を作動させる必要があります。
- ACC が作動している状態でブレーキペダルを踏み込むと、車が減速し

続けるため、ACC システムは自動的にスタンバイ状態になります。ブレーキペダルを離した後は、新たに ACC を作動させる必要があります。

### 先行車に追従しての停止 / 発進

- ACC システムは、車が通常の走行モードで先行車に追従し停車することができます。3 秒以内の停車の場合、車は自動的に先行車に追従し発進します。
- 3 分以内の停車の場合、ドライバーはアクセルペダルを踏み込むか ACC ボタンの操作で再び ACC を作動させる必要があります。
- 3 分以上の停車の場合、ACC システムはスタンバイ状態になり、EPB を再度引き上げて作動します。

### 警告

- ACC はセーフティシステム、障害物検知システム、または衝突警告システムではなく、快適な運転を支援するためのシステムです。ドライバーは常に車をコントロールし、自己責任で運転してください。
- ACC 機能は、ドライバーを支援することはできますが、ドライバーの代わりに運転するものではありません。ドライバーは常に交通ルールにしたがい車をコントロールし、自己責任で運転してください。
- ACC は、高速道路や状況が良好な公道で走行する場合に適しています。複雑な市街地や山道での走行には適していません。

### ご注意

- ドライバーは、前方の車の流れ、雨や霧など現在の天候に合わせて、追従走行時の車間距離を調整し、ACC システムを適切に設定してください。ACC システムが適切に設定された後、ドライバーは、いつでも車の速度を減速して停止できるようにしておくことが必要です。
- ACC の作動時、ドライバーがアクセルペダル、またはブレーキペダルを踏むと、車のコントロールはドライバーに引き継がれます。ACC システムの車間距離制御機能は作動しません。
- 車両、渋滞の後方、料金所、自転車や歩行者など、静止またはゆっくり移動している物体に対する ACC の作動は、非常に特別な状況に限られます。
- 安全上の理由から、ESC を ON にしていない状態では、ACC を有効にすることができません。
- ACC システムは、歩行者や対向車を認識することはできません。
- ACC は、制動力が限られているため、急ブレーキに対応できません。

- 先行車が急ブレーキをかけたとき（緊急停車）、ACCが反応できなかったり、先行車への反応が遅れてブレーキが遅れたりする可能性があります。このような場合には、ドライバーに車両制御への介入を要請するメッセージが届きません。
- 場合によっては（自車の速度に対して、先行車が遅すぎる、車線変更速度が速すぎる、安全距離が短すぎるなど）、システムが相対速度を落とすのに十分な時間がないことがあります。そのような場合には、ドライバーが適切な操作をしなければなりません。システムは、どんな場合でも音声や映像で警告を出すことができるわけではありません。
- カーブに進入したり、カーブを抜け出ししたりするとき、対象先行車の選定が遅れたり、干渉を受けたりすることがあります。このような場合には、ACCが期待通りに作動しない、または作動が遅れることがあります。
- 曲がりくねった道などの急カーブでは、センサーが感知する前方の車両が数秒間消えることにより、ACCの走行速度が上がるおそれがあります。
- ACC付き車両が隣接車線を走行する他車との車間距離が狭い場合、ACCは作動することがあります。
- 車がACC付き車両の進路に車線変更し、レーダーの検知範囲内に入っている場合、その車両が対象車両として認識され、対象車両に応じた反応をするため、強力なブレーキがかかったり、ブレーキが遅れたりすることがあります。
- 対象物のレーダー反射断面積が小さすぎる（自転車、バイク、歩行者など）場合、環境によっては感知に影響が出たり、遅れたりする可能性があります。システムは前车との距離を検知できないおそれがあります。このような場合には、ドライバーが速度をコントロールしなければなりません。また、ノイズや電磁波による干渉などの影響を受け、検知の遅延や干渉が発生することがあります。
- 自車が先行車とほぼ一直線上に走行していないとき、ACCシステムは先行車を対象車両として認識できません。このとき、ドライバーは常に車をコントロールしなければなりません。
- 先行車に追従し停止する際に、まれに先行車の後端を検知できず、下端（車高の高いトラックの後軸や車のバンパーなど）を検知することがあります。システムは適切な停止距離を確保することができなくなるため、ドライバーは常に注意を払い、いつでもブレーキをかけられる準備をしておかなければなりません。
- 車が停止している状態でACCを有効にすると、システムは前方にある静止物を車として認識し、車を停止状態に維持します。それは、発進時の安全を確保し、予期せぬ発進による対象物への衝突を避けるためです。ただし、この機能はすべての障害物に対応できるわけではありません。


そのため、ドライバーは車の真正面に障害物や他の車両がないことを確認しなければなりません。

- レーダーセンサーは振動や衝突の影響を受けたことにより、システム性能が低下することがあります。BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場までご連絡ください。
- レーダーは、車の前部に設置されています。汚れにより視界が遮られると、本来の機能が発揮できなくなります。特に積雪によりセンサーが覆われたときはシステムが OFF になります。システムは、HMI（ヒューマンマシンインターフェース）を通じてドライバーにシステム OFF のメッセージを伝えます。この場合、汚れをきれいに取り除き、車両を再始動させたり、通常の道路を一定距離走行したりすると、システム機能が回復します。
- 円形駐車場やトンネルなどの特別な道路を長時間走行した場合、レーダー検出特性の限界により一時的に機能しないことがあります。その場合は、ドライバーが車両を再始動させたり、通常の道路を一定距離走行したりすることで機能を回復させることができます。
- 車高を下げたり、ナンバープレート取り付けブラケットを変更したりするなど、車両の構造的な改造は ACC システムに影響を与えるおそれがあります。
- レールや道路工事用金属板などの金属物が中距離レーダーに干渉して、正常に作動しないことがあります。
- 視界が悪い場所、坂道やカーブが続く道路、滑りやすい路面（雪道、凍結路、濡れた道路や水浸しの道路など）を走行する場合は、絶対に ACC システムを使わないでください。
- 次の場合は、必ず BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場の中距離レーダーの校正、点検を行うようおすすめします。
  - フロント側中距離レーダー / フロントバンパーを取り外す場合。
  - 車輪の振れにより、新たにホイールアラインメント調整を行った場合。
  - 車が衝突した場合。
  - ACC システムの性能低下、またはメーターからのシステム異常のメッセージに気づいた場合。

## 予測緊急ブレーキシステム

予測緊急ブレーキシステムは、衝突予測警告システム（PCW）と自動緊急ブレーキシステム（AEB）の二つの機能を備えています。このシステムは、レーダーとマルチファンクションビデオコントローラーにより自車線の前の車と歩行者を検知します。システムは、車が前方の車両・歩行者と正面衝突するおそれがあると判断したときに、音声・視覚警告を出し、ドライバーに回避処置を取るよう促すと同時に、潜在的な制動力を強くし、ドライバーに対し充分に対応できるための反応時間を確保することができます。このシステムは、衝突の可能性が高くなりつつあると判断したときには、自動的にブレーキをかけ、ドライバーが衝突を回避できるようにアシストし、あるいは衝突の被害を軽減させるようにします。

### 使い方


ドライバーは、 → ADAS → アクティブセーフティ の操作により、衝突予測警告機能を ON、または OFF にすることができます。車が始動する際に、システムのデフォルトは ON です。

#### 衝突予測警告


##### ■ 安全距離警告

システムは、自車の走行速度が 65km/h 以上で、長時間、短い車間距離で追従走行すると、安全距離警告を出し、メーターの表示灯が点灯し、ドライバーに自車と先行車との安全距離を適切に確保するように知らせます。

##### ■ 事前警告

システムは、自車の走行速度が 30 ～ 150km/h で、自車と先行車が追突するおそれがあると判断した場合、視覚および音声で事前に警告を出し、メーター表示灯  が点灯すると同時にアラームが鳴ります。ドライバーは、安全な車間距離を確保するように早めに適切な操作をしてください。

##### ■ 緊急警告

システムは、自車の走行速度が 30 ～ 150km/h で、かつドライバーが警告を受けた後に早めに適切な操作をせずに衝突の危険性が高くなる場合には、視覚および音声で事前に警告を出し、メーター表示灯  が点滅するとともに、ブレーキをかけるように短い警告音をともなうことがあります。ドライバーは、安全な車間距離を確保するように早めに適切な操作をしてください。

### 自動緊急ブレーキ

- ドライバーが緊急警告を受けても反応せず危険性が更に高まる場合は、システムは、自動緊急ブレーキを作動させます。システムは、能力範囲に応じ制動力をかけ、衝突の回避あるいは衝突の被害を軽減させるようにします。
- ドライバーが緊急時にブレーキをかけたが制動力が弱い場合は、ブレーキシステムは、最適な目標制動力を出すように追加の制動力をかけ、衝突の回避あるいは衝突の被害を軽減させるようにします。

### システムの限界

- 環境によっては、感知が影響を受けたり、遅れたりすることがあります。もし対象物のレーダー反射断面積が小さすぎる（自転車、三輪車、電動自転車やバイクなど）場合、システムは、前方対象物との距離を検知できないおそれがあります。それにより、そのような車に対して反応が遅れるか、反応できなくなります。
- 次の場合は、予測緊急ブレーキシステムが影響を受けるか、機能しないことがあります。
  - 雨、雪、霧、または大きな水しぶき、反射光、直射日光、もしくは照明の明るさの急激な変化。
  - センサーの汚れ、曇り、破損、または遮断。
  - レーダーが他のレーダー源の干渉により故障する。例えば、立体駐車場での強いレーダー反射。
- 交通状況が複雑な場合、システムは下記の場面に正しく対応できないことがあります。
  - ハイスピードでセンサーの検知範囲に現れた歩行者や車。
  - 他のものに遮られている歩行者。
  - 背景と見極めができない歩行者の輪郭。
  - 特殊な衣服、または他のものに覆われているなどで検知されない歩行者。
  - 半径が小さいカーブ。

**警告**

- 予測緊急ブレーキシステムは、いかなる状況でも衝突の回避ができるわけではありません。交通状況が複雑な場合、システムは車と歩行者の認識にきちんと対応することができない場合があります。予測緊急ブレーキシステムは、マンホールカバー、鉄板や道路標識に反応し、誤って警告を発したり、ブレーキをかけたりする可能性があります。
- 必ず安全運転を心がけ、周りの交通状況に注意しなければなりません。いかなる場合も通常のブレーキ操作の代わりに自動緊急ブレーキを使ってはけません。
- 予測緊急ブレーキシステムを過信しないでください。事故が起こり、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。このシステムは運転を支援するためのもので、ドライバーは自己責任で前車との車間距離を適切に保ち、スピードを制御しなければなりません。必要に応じてブレーキをかけたり、ハンドルを切ったりする準備をしてください。ドライバーは常に車をコントロールし、自己責任で運転しなければなりません。
- 歩行者保護は、システムそのものに頼っていると、事故や重大な傷害を完全に避けることはできません。

**ご注意**

- 自動緊急ブレーキシステムの作動は、走行速度が4km/hより速い場合に限られますが、最大で45km/hの速度を落とすことができます。このシステムは、いかなるモードでも正しく作動できるわけではないので、慎重に運転してください。
- ESCシステムがOFF、または警告灯が点灯している場合は、自動緊急ブレーキシステムが正常に作動できません。
- もし衝突予測警告システムが警告を出している場合、ドライバーは、交通状況に応じてブレーキ操作でスピードを落とす、またはハンドル操作で障害物を回避しなければなりません。
- 長時間接近して走行すると、安全距離警告システムは、距離をあけるように警告を出します。先行車が急ブレーキをかけると、衝突は避けられません。
- 緊急警告時、ドライバーが気づいている場合（ドライバーがハンドルを切ったり、アクセルペダルやブレーキペダルを踏んだりするなど）、システムは、自動緊急ブレーキを作動させません。
- 円形駐車場やトンネルなどの特別な道路を長時間走行した場合、レーダーセンサーの検出特性によりしばらく機能しないことがあります。その場合は、ドライバーが車両を再始動させたり、通常の道路を一定距離

走行したりすることで機能を回復させることができます。

- レーダーやマルチファンクションビデオコントローラーが誤って表面の汚れや異物付着と認識するエラーの場合、コンビネーションメーターディスプレイに関係メッセージが表示されるため（表面の汚れ、異物の付着によりセンサーが感知できなくなった）、そのメッセージにしたがい、センサー表面の異物を取り除いてください。センサーがエラーの間は、衝突予測警告と自動緊急ブレーキシステムが OFF になります。エラーが解消されると、衝突予測警告と自動緊急ブレーキシステムが正常に作動できるようになります。
- 歩行者保護システムは、克服できない物理的な条件の制限があるため、システムの設定速度 4 ~ 60km/h で十分に機能しない可能性があります。そのため、ドライバーは、自己責任で迅速かつ有効なブレーキ操作を行わなければなりません。歩行者保護システムが警告を出すか、またはブレーキペダルによる制動を行うか、もしくは歩行者を回避するかは、いずれも実際の状況によります。
- 歩行者保護システムは、曲がっている幹線道路などの複雑な状況では、不必要な警告発信やブレーキ操作を行うことがあります。
- 機能上の故障がある歩行者保護システムでは、レーダー/マルチファンクションビデオコントローラーの角度ずれなどにより、不必要な警告発信やブレーキ操作を行うことがあります。
- 自動緊急ブレーキが作動すると、ブレーキペダルの操作フィーリングが重くなります。短時間でブレーキキャリパーを動かすのに大きな油圧が必要となるため、ドライバーは「ズズ」という音が聞こえることがあります。
- 予測緊急ブレーキシステムの作動は、ドアが閉まり、シートベルトを着用している場合に限定されています。次の場合は、予測緊急ブレーキシステムが機能しなくなります。
  - ドアが閉まっていない、または走行中にドアが開いた場合。
  - シートベルトを着用していない、または走行中に、シートベルトを外した場合。
  - ドライバーがブレーキペダルを踏み込んだ場合。
  - ドライバーがアクセルペダルを強く踏み込んだ場合。
  - ドライバーが走行中にアクセルペダルとブレーキペダルを頻繁に操作した場合。
- 次の場合は、このシステムが常に最適な性能を発揮することができない可能性があります。
  - 事故や他の原因により、フロントバンパーが強い衝撃を受けた場合。



- タイヤ空気圧の過不足、またはタイヤの過度な摩耗がある場合。
- 規定に合わないタイヤを装着した場合。
- タイヤチェーンを装着した場合。
- 小型スペアタイヤ、または緊急用パンク修理キットを使った場合。

■ 次の場合は、必ず BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場 で中距離レーダーの校正を行ってください。

- 中距離レーダーやマルチファンクションビデオコントローラーを取り外した場合。
- ホイールアライメント調整中に、トーインやリアタイヤのキャンバー角を調節した場合。
- 車が衝突した場合。
- ACC システムの性能低下や異常。

■ 紙箱、鉄板、ダミー人形などで予測緊急ブレーキシステムの作動試験を勝手に行わないでください。システムが正常に機能せず事故を引き起こすおそれがあります。


## 交通標識認識システム

■ 交通標識認識システムは、マルチファンクションビデオコントローラーにより道路の速度制限標識を認識し、メーターの最高速度標識を点灯させ、ドライバーに速度を合理的な範囲内に抑えるように知らせます。


■ 交通標識認識システムは、インテリジェントスピードリミットインフォメーション/インテリジェントスピードリミットコントロールの機能を備えています。

■ インテリジェントスピードリミットインフォメーション：認識された制限速度をオーバーしたときに、ドライバーに警告音を出します。

■ インテリジェントスピードリミットコントロール：アダプティブクルーズコントロール機能と速度制限標識認識機能を組み合わせている機能です。インテリジェントスピードリミットコントロール機能の作動条件が揃ったときに、メーターには、「SET-Activate Intelligent Speed Limit Control」が表示され、ドライバーはレバー②を下に操作し、インテリジェントスピードリミットコントロール機能を ON にします。システムは、スピードオーバーにならないように所定時間以内に、自動的にアダプティブクルーズコントロールの設定速度を制限速度以下に抑制します。

■ ドライバーは  → ADAS → ドライビングアシスト 設定画面で交通標識認識システム機能の ON・OFF を操作することができます。車が始動する際に、システムのデフォルトは前回の設定です。



■ システムが道路の速度制限標識を認識できる場合に、メーターには認識された速度制限アイコンが表示されます (例: )。)

■ メーターに表示された速度が認識された制限速度より 5km/h 以上を上回る場合、メーターの制限速度アイコンが点滅し、ドライバーに速度を抑えるように知らせます。システムが速度制限を解除する標識を認識、または一定の距離を走った後、制限速度アイコンは消えます。

## 警告

■ 走行中はドライバーの責任で実際の標識を確認してください。交通標識認識システムは、安全運転を支援するシステムです。認識機能には限界があり、状況によっては交通標識を認識できなかったり、実際とは異なる標識を表示したりする場合があります。

## ご注意

- メーター内の制限速度アイコンは、システムに認識された後、一定の距離を走行すると消えます。ドライバーは、速度を適切な範囲内に抑える必要があります。
- 交通標識認識システムは、制限速度標識のみ認識でき、車のアクティブ制御に関与しません。ドライバーは、常に車を制御するため、適切なスピードで運転してください。
- 並行する車線に複数の制限速度標識がある場合は、システムが現在走行中の車線の制限速度標識を認識し、制限速度注意アイコンを表示します。ドライバーは、正しい車線を走るようにしなければなりません。
- 定められたサイズに一致していない重量制限標識の場合は、誤って制限速度標識として認識されることがあります。
- 制限速度標識が不明瞭で、歪み、傾き、反射、部分的な遮断などがあるとき、カメラは認識能力が低下するか、認識できなくなります。
- 交通標識認識システムの性能は、天気、照明の明るさおよび道路標識の明瞭さの影響を受けます。夜、日陰、夕日、雨天、霧、もや、氷雪付着、

砂塵、明るさの急激な変化などで、認識能力が低下し、制限速度標識を認識できない場合があります。

衝突事故が発生した、またはカメラセンサーを脱着した後は、システム性能への支障がないよう BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場にセンサーの校正を依頼してください。


## レーンサポートシステム \*

レーンサポートシステムは、車線逸脱警告と車線逸脱防止を備えています。

車線逸脱警告は、マルチファンクションビデオコントローラーにより前方車線を検知し、速度が 60km/h 以上で、ドライバーが不注意で車線から逸脱したときに、システムが視覚・音声などにより、ドライバーに安全に運転するように知らせます。

車線逸脱防止は、車線逸脱を防止するようにドライバーに運転支援を提供します。

緊急時車線維持支援は、車が路外へ逸脱しそうになるとき（実線 / 破線）、自車が道路をはみ出したり、対向車や隣接車線を走行する車と衝突することを回避するために、システムが逆方向のトルクやステアリング角度の制御によってステアリング操作をアシストし、自車を現在の車線に維持します。

ドライバーは  → **ADAS** → **ドライビングアシスト** → **レーンサポートシステム** 設定画面でレーンサポートシステムの ON・OFF を操作することができます。車が始動する際に、システムのデフォルトは前回の設定です。



警告のパターンは、音声警告、ステアリングホイール振動、音声警告 + ステアリングホイール振動の 3 つがあります。

## メーターの表示

レーンサポートシステムを作動させた後、コンビネーションメーターには車線境界線が表示されます。

車線境界線	
グレー	機能が ON となっているが、車線境界線が認識されていない。
グリーン	機能が ON となり、車線境界線が認識されている。
レッド	機能が ON となり、車はドライバーによる車線変更なしにずれている。この場合に、車はドライバーの設定により警告を出し、ドライバーに早めに車線の中央付近に寄せるように知らせる。

## システムの限界

複雑な交通環境では、レーンサポートシステムが検知を誤ったり、車線を検知できなかつたりすることがあります。次の場合、システムが機能しない、または性能が著しく低下するおそれがあります。

- 雪、雨、霧により、視界が悪くなった場合。
- フロントガラスの汚れ、曇り、またはマルチファンクションビデオコントローラー前方への異物付着。
- 直射日光、路面の水たまりの反射、対向車などからの反射光。
- トネルの出入口など周囲環境の明るさの急激な変化。
- 分離帯の陰に入っている車線を認識できない場合。
- 道路と道端の草・土壌・縁石などとの境界線が認識できない場合。

### 警告

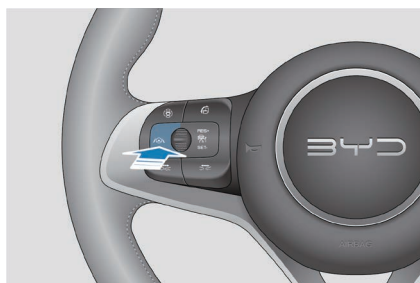
■ レーンサポートシステムは、前方不注意または視界不良による危険を回避するものではなく、運転を支援するためのシステムです。システムには限界があるため、過信せず安全運転を心がけてください。



## ご注意

- ドライバーがターンシグナルランプを点灯させ、かつターンシグナルランプが指示した方向に車線を切り替える場合は、レーンサポートシステムが無効になります。
- 車線境界線上での走行によって、車線境界線が目立たない、細すぎる、摩耗している、不明瞭になっている、または汚れ / 氷雪が付着している場合は、レーンサポートシステムが無効になることがあります。
- 車線が広すぎる / 狭すぎる、車線の数が多くなる / 少なくなる、誘導路や高速道路の出口など短時間で境界線が切り替わる、または複雑な車線を切り替える場合は、レーンサポートシステムが無効になることがあります。
- 坂道や曲がった道路を走行し、先行車との距離が近すぎる、または車線境界線が先行車に遮られた場合は、レーンサポートシステムが無効になることがあります。
- 車が走行中に、道路事情により激しいデコボコ路があり、急アクセル、急ブレーキ、または急ハンドル操作をする場合は、レーンサポートシステムが無効になることがあります。
- マルチファンクションビデオコントローラーの視界範囲内のガラス割れ、フロントガラスの着色、規則に適合しない塗膜、インストルメントパネルの上に置いた光を反射するもの、およびカメラの視界を妨げる後付け部品のすべては、システムの正常な作動に影響をおよぼすおそれがあります。
- 安全運転のために、自ら車線逸脱警告機能の作動試験を行わないでください。マルチファンクションビデオコントローラーの視界が、ものに遮られたり、強い光に干渉されたりしないようにしてください。視野が一時的に遮られたり、強い光に干渉されたりすると、機能が一旦 OFF になります。視野が正常に戻ると、機能が自動的に復帰します。自動的に復帰しなかった場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
- 下記の場合は、レーンサポートシステムを OFF にするようおすすめします。
  - スポーティーな走りの場合。
  - 悪天候の場合。
  - 悪路を通り抜ける場合。

## ナビゲーションパイロット\*

- ナビゲーションパイロットは、アダプティブクルーズコントロールシステム（ACC）とレーンキープアシストシステム（LKS）の機能を組み合わせたシステムで、速度0～120km/h以内において前後左右方向への制御を支援し、ドライバーの運転負荷を軽減し、安全で快適な運転環境を提供します。
- 機能が作動している場合、ドライバーは常にステアリングホイールを手に取り、必要なときに車の制御を行わなければなりません。
- ドライバーは、スイッチ操作によりナビゲーションパイロット機能のON・OFFを操作することができます。車が始動する際に、システムのデフォルトは前回の設定です。



- ナビゲーションパイロット機能をONにすると、メーターのスタンバイ状態表示灯が点灯します：
- ナビゲーションパイロット機能が作動すると、メーターの作動状態表示灯が点灯します：
- ナビゲーションパイロット機能をONにし、アダプティブクルーズコントロール機能を作動させた後、自車の速度が0～60km/hの範囲内となっている場合：
  1. 自車左右両側の車線がいずれも認識されている場合：
    - 前方車両の有無を問わず、自車が車線の中央付近を走行するように維持されます。
  2. 自車が車線明瞭な道路から車線が不明瞭または車線がない道路に入る場合：
    - 前方に対象車両がある場合、自車は先行車に追従し、横に小幅移動します。
    - 前方に対象車両がない場合、ナビゲーションパイロット機能が弱くなり、アダプティブクルーズコントロールのみを行います。

- ナビゲーションパイロット機能を ON にし、アダプティブクルーズコントロール機能を作動させた後、自車の速度が 60 ~ 120km/h の範囲内となっている場合：
  1. 自車左右両側の車線がいずれも認識されている場合：
    - 前方車両の有無を問わず、自車が車線の中央付近を走行するように維持されます。
  2. 自車が車線明瞭な道路から車線が不明瞭または車線がない道路に入る場合：
    - 前方の目標車の有無を問わず、ナビゲーションパイロット機能が弱くなり、アダプティブクルーズコントロールのみを行います。

**⚠ 警告**

- ナビゲーションパイロットは、運転を支援するためのシステムで、自動運転ではありません。ドライバーは常に車を制御し、長時間ステアリングホイールから両手を離さないでください。そうしないと、警告メッセージの後、システムが OFF になります。


**⚠ 注意**

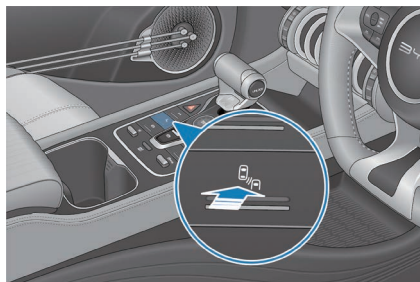
- システムを ON にしたとき、ドライバーがステアリングホイールから両手を離してから 15 秒ほど経つと、システムがドライバーに「ハンドルを握ってください」とメッセージで知らせます。ドライバーがハンドルを握らなかつたとき、ナビゲーションパイロットモードが OFF になります。
- ナビゲーションパイロットは、天気、照明の明るさや車線境界線の明瞭さの影響を受けるため、日陰、夕日、路面の積雪および著しい摩耗がある路面の場合に、性能が著しく低下します。
- ナビゲーションパイロットは、アダプティブクルーズコントロールシステム (ACC) とレーンキープアシストシステム (LKS) の機能を組み合わせたシステムであるため、使用時はアダプティブクルーズコントロールシステム (ACC) とレーンキープアシストシステム (LKS) にかかわる注意事項を守ってください。

## ブラインドスポットインフォメーション\*

ブラインドスポットインフォメーション (BSD) は、ブラインドスポットインフォメーション、車線変更アシスト、リアクロストラフィックアラート、リアクロストラフィックブレーキ、後方衝突予測警告、ドアオープンワーニング\*の機能を備えています。主にレーダーセンサーにより現在の交通状況を判断し、ドライバーに安全に運転し、安全走行に心がけるように早めに知らせます。

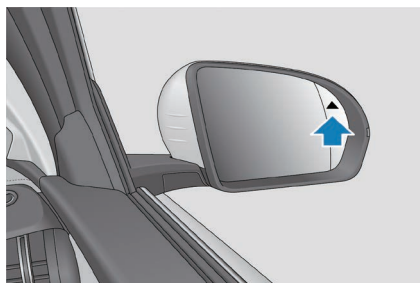
### 使い方

ドライバーは、 → **ADAS** → **アクティブセーフティ** 操作でブラインドスポットインフォメーション機能の ON・OFF を操作することができます。車が始動する際に、システムのデフォルトは前回の設定です。



### ブラインドスポットインフォメーション

走行中 (速度が 30km/h 超過) に、レーダーセンサーにより自車のドアミラーの死角領域に車が検知された場合、該当のドアミラーのインジケーターが点灯します。このとき、同じ側のターンシグナルランプを ON にすると、これ以上の車線変更は危険なため、ドアミラー警告灯の点滅で、安全に注意するように知らせます。



### 車線変更アシスト

速度が 30km/h を超過したときに、レーダーセンサーにより隣接車線の接近領域内で急接近する車両が検知された場合、検知した側のドアミラーのインジケーターが点灯します。このとき、同じ側のターンシグナルランプを ON にすると、これ以上に車線を変更すると危険なので、ドアミラー警告灯の点滅で、安全に注意するように知らせます。

### リアクロストラフィックアラート (RCTA)

- リアクロストラフィックアラートは、ドライバーが左右後方の安全を確認するための支援を行い、後退時に、後方に接近してくる車の存在をドライバーに知らせます。



- 後退時に、リアクロス Traffick アラートシステムは、レーダーにより後方の死角領域を走行する車を検知します。システムが後方の接近車が自車と衝突するおそれがあると判断した場合は、両サイドのドアミラー内のインジケーターを点灯させ、ドライバーに注意喚起し、衝突の可能性を低減させます。

### リアクロス Traffick ブレーキ (RCTB)

- リアクロス Traffick ブレーキ機能は、立体 / 傾斜のある駐車スペースを出るときに、道路を横断する車が存在する場合に、ドライバーに知らせ、自動ブレーキをかけ、後方の道路を横断する車との衝突を回避します。特にドライバーの視界が横の車により遮られている場合に用いられます。
- 後退時に、リアクロス Traffick ブレーキは、それぞれに左後 / 右後レーダーセンサーからの入力信号を受信し、関係対象と衝突する危険性および衝突するまでの時間を評価します。
- レーダーの検知範囲内で対象車両までの測定距離、相対速度やアプローチアングルに基づき、システムは、衝突の危険性を判断し、ブレーキアシストを介し、ドライバーにマニュアルまたはオートブレーキの操作を支援します。

### 後方衝突予測警告

自車の速度が 5km/h を超えて走行中、レーダーセンサーが後続車の急接近を検知し、追突のおそれがある場合は、ハザードランプおよびドアミラーのインジケーターが点灯・点滅し、ドライバーに安全運転を注意喚起します。同時に後続車のドライバーに、追突のおそれがあり、安全に注意するように知らせます。

### ドアオープンワーニング (DOW) \*

- ドアオープンワーニング (DOW) システムは、停車状態でドアを開けようとするときに、後方の安全状況を監視し、警告灯で警告することにより、発生しうる事故を回避することができます。
- 車両後部のレーダーにより後方および横に接近してくる目標を認識し、後方の安全状況を監視し、インジケーターでドライバーに知らせます。
  - システムの検知対象は、自転車、電動四輪車、三輪車、オートバイなどの軽車両、トラック、乗用車、バスなどのモータービークル、歩行者および交通安全に危害をおよぼす他の移動する対象を含みません。

**⚠ 警告**

- ブラインドスポットインフォメーションは、左右ドアミラー死角領域の監視を支援するものですが、ドライバー自らの目視確認や判断に取って代わるものではありません。ドライバーは常に車をコントロールし、自己責任で運転しなければなりません。

**⚠ 注意**

- 対象車両が後方からハイスピードで自車に接近してくるとき、ブラインドスポットインフォメーションは、警告機能が十分に発揮できないことがあります。
- ドライバーは、ブラインドスポットインフォメーションが正常に作動するようにしなければなりません。早めに泥、雪などの付着物をきちんと取り除き、ブラインドスポットインフォメーションレーダーの設置部位を良好な状態に維持しなければなりません。
- 環境によっては、感知が影響を受けたり、遅れたりすることがあります。もし対象物のレーダー反射断面積が小さすぎる（自転車、電動車、歩行者など）場合、システムは、対象物を認識できず誤って警告を出すことがあります。また、ノイズや電磁波による干渉などの影響を受け、システムの検知が遅れたり、干渉を受けたりすることがあります。
- 道路工事中の道路脇の大型防護柵、道路脇の大型看板、トンネル内の反射板、反射断面積が大きい物体など、後側方や後方の無関係の対象物が誤って対象車両として認識されたとき、ブラインドスポットインフォメーションは警告を出します。
- 状況によっては、感知システムが影響を受けたり、遅れたりすることで、システムが運転を支援できないことがあります。考えられる状況は、次に示す場合を含みますが、それらに限りません。
  - 後方から接近してきた車が突然車線を切り替えた場合。
  - 急カーブ、坂道などで後方から接近してきた車の感知が遅れた場合。
  - 後方から接近してきた車の相対速度が 80km/h を超えた場合。
  - 対象車両が遮られた場合。
  - 対象車両のレーダー反射断面積が小さすぎる（自転車、電動車など）場合。
  - カーブの半径が小さすぎる、またはカーブを出入りする場合。
  - 雨、雪などの悪天候の場合。
- ブラインドスポットインフォメーションレーダーセンサーの校正が振動や衝突の影響を受けたことにより、システム性能が低下することがあります。このような場合には、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。

## 車載されるレーダーについて

### 77V12FLR:


- 本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。認証番号：215-JRA003  
本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効となります。)

### 77V13CRN:

- 本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。認証番号：204-B00217  
本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効となります。)

## タイヤ空気圧モニタリング

### システムについて

- タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPMS) は、モニタリングモジュール、制御モジュールおよび表示部から構成されています。タイヤ空気圧などのデータをリアルタイムに監視し、視覚・音声信号でドライバーに知らせます。走行の安全性や快適性を向上させ、空気圧不足によるタイヤの早期摩耗や車のエネルギー消費量の増加を低減することができます。
- メーター情報は、走行情報と指示メッセージがあります。指示メッセージがない場合は、常に走行情報を表示します。ドライバーは、ステアリングホイールのボタン操作でタイヤ空気圧の表示画面  を出すことができます。
- 本車の適正空気圧は、車の仕様書の[車両諸元](#)を参照してください。

### システムの基本機能

- 電源ポジションを「ON」にしたときの警告について
  - 電源ポジションを「OFF」にするときにタイヤ空気圧が不足している場合、再び電源ポジションを「ON」にすると、ただちにタイヤに空気を補充してから走行するよう低圧警告を出します。
- タイヤ空気圧不足時の警告について
  - システム作動状態でいずれかのタイヤの空気圧が適正空気圧の 75% 以下になったとき、TPMS システムは、1 分以内にタイヤ空気圧警告信号を発信し、空気圧不足のタイヤの位置を指示します。
  - 低圧警告が表示された後、適正空気圧になるまでタイヤに空気を補充してください。タイヤ空気圧が適正空気圧の 95% になったとき、低圧警告の表示が消えます。

### ■ タイヤ空気大量漏れ警告

- システム作動状態で1か所または複数のタイヤから空気が漏れ、かつ空気漏れのスピードが設定値以上になると、TPMSは15秒以内にタイヤ空気大量漏れ警告を出し、空気漏れのタイヤの位置を指示します。
- 空気漏れ警告が表示されている場合は、早めに安全な場所に停車し、警告が表示されたタイヤを点検し、タイヤに問題がないことを確認したうえで運転を再開してください。

### ■ シグナル異常警告機能

- システム作動状態で故障が起きると、警告を出します。

### ■ リアルタイムでタイヤ空気圧を表示します

- TPMSは、作動状態で各タイヤの空気圧情報をリアルタイムで表示します。

## 警告の表示について

タイヤ空気圧警告灯：

メッセージ	表示方法	対応
タイヤ空気圧が不足している	1. タイヤ空気圧警告灯が点灯する 2. タイヤ空気圧の値が黄色になる	関係するタイヤに少量の空気漏れがないかを点検し、空気圧を適正な範囲内にしてください。
信号異常	1. タイヤ空気圧警告灯が点滅してから常時点灯する 2. タイヤ空気圧の数値表示：信号異常	関係するモニタリングモジュールが正常であるか、長時間強い電界範囲に囲まれていないかを点検してください。
システム故障	1. タイヤ空気圧警告灯が点滅してから常時点灯する 2. 文字メッセージ：タイヤ空気圧モニタリングシステムを点検してください 3. タイヤ空気圧の数値表示：信号異常	モニタリングモジュール、制御モジュールに異常があるかを点検し、モニタリングモジュールや制御モジュールを交換してください。

## ご注意

- モニタリングモジュールの使用時間は、毎日の走行距離などの要素に関係します。

- モニタリングモジュールはタイヤ空気圧などの情報を定期的にディスプレイに送信するため、走行中にタイヤ空気圧が急に低下したり、バーストが起きたりした場合、次回システムが立ち上がるまでデータをディスプレイに送信することができないため、運転が制御不能になる場合があります。タイヤ破損と共にモニタリングモジュールも破損させたことにより情報が発信できなくなる、またはタイヤが破損しているか疑いがある場合は、ディスプレイに警告が表示されてからの停車ではなく、ただちに車を安全な場所に停車してください。
- モニタリングモジュールの取り付けを誤ると、タイヤの気密性に影響をおよぼすため、モニタリングモジュールの取り付けや交換は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に依頼するようおすすめします。
- タイヤの装着位置やモニタリングモジュールを交換したとき、タイヤ空気圧モニタリングシステムに対するキャリブレーションを行う必要があります。その作業は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に依頼するようおすすめします。そうしないと、このシステムが作動できなくなるおそれがあります。
- タイヤ空気圧が外気温度により変わるため、メーターに表示された空気圧および適正空気圧に合わせ、必要に応じてエアを補充したり、抜いたりしてください。
- タイヤ空気圧モニタリングシステムは、ワイヤレスでデータを送信します。干渉が強い環境では、タイヤ空気圧モニタリングシステムの受信能力を低下させることがあります。

**警告**


- タイヤ空気圧に異常があっても、システムは車両の走行を停止させないため、ドライバーは運転を開始するたびに、電源ポジションを「ON」にした状態でタイヤ空気圧がメーカー推奨の適正空気圧になっていることを点検してください。メーカー推奨の適正空気圧になっていない場合は、空気圧を調整したうえで運転してください。そうしないと、車両を破損させたり、自分や他人に怪我を負わせたりするおそれがあります。
- 運転時、タイヤ空気圧の異常が見つかった場合は、ただちに空気圧を点検してください。タイヤ空気圧警告灯が点灯している場合、急ハンドルや急ブレーキの操作をしないでスピードを落とし、安全な場所に車を停車してください。空気圧不足のまま走行し続けると、タイヤの破損、交換につながる場合があります。タイヤを大きく破損させた場合、死傷者が出るほどの交通事故につながるおそれがあります。

## BYD アラウンドビューシステム \*

マルチメディアディスプレイを「パノラマ設定」以外のページにし、ステアリングホイールのボタン、またはシフトレバーを「R」レンジに入れると、BYD アラウンドビューシステムがONになります。



### ■ 横画面表示の場合：

- マルチメディアディスプレイ左下のフロント側、リア側、ライト側、レフト側に表示されているアイコンをタッチすると、左側の画面にはフロントビュー、リアビュー、ライトビュー、レフトビューのシングルビューが表示されます。
- フロントビュー、リアビューのシングルビューで映像領域をダブルタップすると、180° 視角の全画面表示に切り替わります。
- BYD アラウンドビューシステムのレーダーアイコンをタッチし、レーダー表示をONにします。再びタッチすると、レーダー表示はOFFになります。レーダー表示をONにした後、障害物に接近すると、映像には障害物が映り警告音が鳴ります。



### ■ 縦画面表示の場合：

- マルチメディアディスプレイ下側の前、後、左、右のいずれか二つの領域に表示されるアイコンをタッチすると、上側と右下の映像領域に選択された二つのシングルビューが表示されます。

- 左側のボディビューをゆっくりタッチすると、透明ボディと現物ボディの切り替えができます。
- 車が始動後、透明の全景画面には前回電源 OFF 時の画像が表示されます。このとき、車の底や周りの死角領域にある異物は、実際のものとは異なることがあります。車の発進で車の底の画像はリアルタイムに更新され、ボディ長さ相当の距離以上を走行してから更新が完了します。新規、更新は車間距離を超えた後にのみ完了できません。



**警告**

- このシステムには広角魚眼カメラが搭載されているため、表示画面に映っているものに、若干の歪みが発生することがあります。
- BYD アラウンドビューシステムは、駐車 / 走行を補助するためのものです。車の前後に死角領域が存在しているため、駐車や走行時にこのシステムだけに頼るのは危険です。事故を避けるために、駐車 / 運転時は他の方法で車の周りの状況を観察する必要があります。
- ドアミラーが最後まで展開されていない場合は、BYD アラウンドビューシステムを使用しないでください。BYD アラウンドビューシステムを通じて車を操作するとき、すべてのドアが閉まっていることを確認してください。
- BYD アラウンドビューシステムの画面に映されている距離は、自分の目で確認した距離と違うことがあります。特に、障害物が車に近くなってきたとき、ドライバーは、複数の手段で車と障害物との距離を判断する必要があります。
- カメラは、フロントバンパー、左右ドアミラーの下側およびリアライセンスプレートの上側に搭載されています。必ずカメラの視界が異物などで遮られないようにしてください。
- 高圧洗浄機でボディを洗浄するとき、カメラ性能への影響を避けるため、できるだけ水をカメラに直接噴射しないでください。カメラに水分やほこりが付いているときは早めに拭き取ってください。
- カメラの故障や破損につながるおそれがあるので、カメラを叩かないでください。
- 車を始動した後のマルチメディアシステムがまだ完全に立ち上がっていないとき、BYD アラウンドビューシステムのスイッチを操作したり、シフトレバーをリバースレンジに入れたりすると、BYD アラウンドビューシステム表示画面への出力が遅れたり、画面がちらついたりしますが、これはカメラ起動時の電源投入プロセスで正常な現象です。
- 低速走行中は、透明全景機能が速度の変化やブレーキ操作の繰り返しによる影響を受けるため、車両底部の画像位置が、車外の画像と一致しないことがあります。



## 駐車支援システム

- 駐車支援システムは、駐車時にマルチメディアディスプレイ\*に表示された映像やスピーカーの警告音で、車と障害物の距離をドライバーに伝えます。このシステムは、センサーで障害物を検知します。
- 駐車支援システムは、バック駐車をアシストする機能です。バックする際に、車の後部や周りの状況をよく確認してください。
- シフトポジションをリバースレンジに入れると、システムは自動的にバックビューになります。
- 走行の安全を確保するために、バックビュー画面を表示している間は、音量関係や電話関係のボタン以外の、すべてのボタンが使用できません。
- リバースレンジを解除にすると、画面が元に戻ります。

### バックモニターの映像画面

- 図に表示される2本の線は、バックをする際の後方距離の目安線です。
  - 赤：約0～0.5m 範囲内
  - 黄：約0.5～1m 範囲内
  - 緑：約1～3m 範囲内
- 映るエリアは、車の進行方向や道路状況の違いにより異なります。



4

使用および運転

### 警告

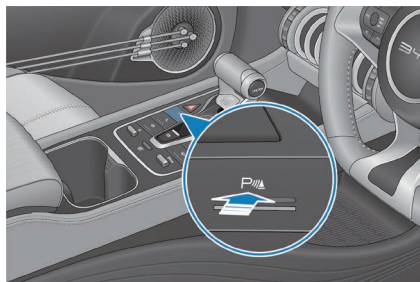
- 駐車支援システムは、ドライバーの駐車操作を支援するもので、ドライバー自身の判断に取って代わるものではありません。車両周りを観察したうえで車を操縦してください。
- 速度が10km/hを超えると、駐車支援システムは作動が停止します。
- センサーの作動範囲内に他のものを取り付けしないでください。
- 洗車時、水や蒸気でセンサー部位を洗浄しないでください。センサーの故障につながるおそれがあります。

## 後方レーダーの電源スイッチ

ドライバーは、バックソナースイッチ\*やマルチメディア → ADAS → パーキングアシスト → 後方レーダーでバックソナーシステム機能のON・OFFを操作することができます。

電源ポジションを「OK」にしたとき、EPBがリリース状態に入り、駐車支援システムが自動的に立ち上がります。

システムをONにし、車の周りに障害物が存在しているとき、警告メッセージが表示されます。システムをOFFにしたとき、警告メッセージは表示されません。

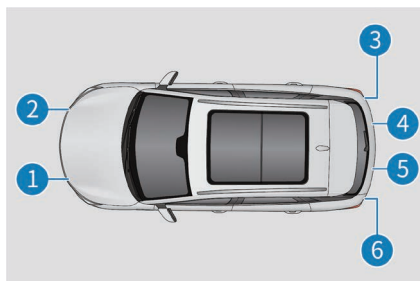


## センサータイプ

センサーが障害物を検知したときに、障害物の方位や車と障害物との距離により、画像がマルチメディアディスプレイ\*に表示されます。

縦列駐車や車庫入れをする際に、このセンサーは車と障害物との距離を検知し、マルチメディアディスプレイおよびスピーカーでお知らせします。当該システムをご利用の際には、必ず周りの環境に注意してください。



- ① 左前側面センサー\*
- ② 右前側面センサー\*
- ③ 右後側面センサー\*
- ④ ⑤ リア中央センサー\*
- ⑥ 左後側面センサー\*



## 距離表示およびブザー

センサーが障害物を検知したときに、マルチメディアディスプレイには障害物の向きおよび車と障害物のおおよその距離が表示され、ブザーが鳴ります。

### 中央部センサーの作動例

大体の距離 (mm)	マルチメディア表示例	警告音
約 700 ~ 1200		低速
約 300 ~ 700		高速
約 0 ~ 300		鳴り続ける

### 角度センサーの作動例

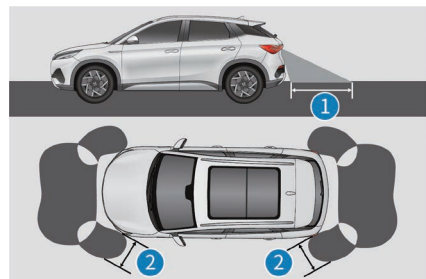
大体の距離 (mm)	マルチメディア表示例	警告音
約 300 ~ 600		高速
約 0 ~ 300		鳴り続ける

### 作動するセンサーおよびその検知範囲

車が後進すると、すべてのセンサーが作動します。

図はセンサーの検知範囲を示しています。検知範囲は限られているため、後進前に車両周りの状況を観察し、ゆっくり車を後退させてください。

- ① 約 1200mm
- ② 約 600mm



## **i** アドバイス

- センサーが障害物を検知するための場所にアクセサリやその他のものを置かないでください。システムの正常な作動に影響をおよぼします。
- 状況によってはシステムが正常に作動せず、車が障害物に接近しても検知しないことがあります。そのため、常に車両周りの状況を観察し、システムだけに頼らないでください。

### センサーからの検知情報

- 車両状況や周囲環境によっては、障害物を正しく検知するセンサー性能に影響をおよぼすことがあります。影響を与える可能性がある特定の状況を以下に示します。
  - センサーに汚れ、水分や曇りがある場合。
  - センサー上に雪や氷が付着している場合。
  - センサーが何かに覆われている場合。
  - 車が明らかに傾いたり、最大積載量を超えたりした場合。
  - デコボコが激しい道路、坂道、砂利道や草原を走っている場合。
  - センサーを新たに塗装した場合。
  - ホーンの音、バイクのエンジン音、大型車両のエアブレーキの作動音や超音波が発生するその他の騒音、車両付近が非常に騒がしい場合。
  - 近くに駐車支援システムを搭載した車がある場合。
  - 車にけん引フックを取り付けた場合。
  - バンパーやセンサーが強い衝撃を受けた場合。
  - 車が高い縁石または曲がりくねった縁石に接近した場合。
  - 炎天下や厳しい寒さの場合。
  - 純正品でない、車高の低いサスペンションキットを取り付ける場合。
- 上記の他に、障害物自身の形状により、センサーが実際の距離を感知できないことがあります。
- 障害物の形状、材料は、センサーの検知を妨げることがあります。特に下記に示す障害物に注意してください。：
  - 電線、柵、ロープなど。
  - 綿、雪、その他の電波を吸収する材料。

- 角がとがっているもの。
  - 低い障害もの。
  - 上部が外側に向き、車の方に伸びている高い障害物。
  - バンパー下にあるもの。
  - 車に近づいているもの。
  - 車両近くの人（服装のパターンによる）。
- マルチメディアディスプレイ\*に画像が表示されたり、スピーカーが鳴ったりしている場合、センサーが障害物を検知している、またはセンサーが外部からの干渉を受けている可能性があります。このような現象が続く場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場での点検を行うようおすすめします。

**⚠ 注意**

- 水や蒸気でセンサー部位を洗淨しないでください。センサーの故障につながるおそれがあります。

## 安全運転支援システム

走行の安全性を向上するために、以下の安全運転支援システムは、様々な走行条件に合わせて、自動的に作動します。ただし、それらのシステムは、補助的なものであり、車を運転する際に、それらのシステムに過度に頼るべきではないことにご注意ください。

### インテリジェントパワーブレーキシステム

- インテリジェントパワーブレーキシステムは、先端的な分離型電気油圧式ブレーキシステムで、マスターバック、電子真空ポンプおよびアンチロックブレーキシステム（ABS）、横滑り防止装置などの機能を集積しています。
- インテリジェントパワーブレーキシステムは、ドライバーの制動操作上の必要性に応じて、車の制動を支援し、運転の安定性や快適性、制動エネルギーの回生効率を上げることができます。

### ビークルダイナミクスコントロールシステム（VDC）

走行中に急に方向を変え、車がドライバーの目的の走行ルートから外れると、VDC はドライバーの横滑り制御を支援し、車の方向安定性を保つために、関係する車輪に制動力を加えることにより修正を行います。

### トラクションコントロールシステム（TCS）

TCS は、加速走行時に駆動輪のスリップを防止します。また、必要なときに制動力を加え、駆動輪の空転を防止します。走行条件が悪いときは、TCS の作動により、車の発進、加速、上り坂の走行が容易になります。

#### 警告

- TCS は走行安定性を向上させるもので、急転回することで引き起こされる衝突事故を防止するものではありません。作動にも限界があるため、滑りやすい路面では速度を落とし安全運転を心がけてください。
- 下記の場合は、TCS の機能が効果的に発揮できないことがあります。
  - 滑りやすい路面を走行するとき、TCS システムが正常に作動しますが、方向が制御できなかったり、必要な駆動力が出なかったりすることがあります。
  - 安定性や動力が維持できなくなる状況で車を運転しないでください。

### ヒルスタートホールドコントロール（HHC）システム

ブレーキペダルを離した後、HHC が約 1 秒間ブレーキ油圧を保持し、車の後退を防止します。

**警告**

- 滑りやすい路面の坂道では、スリップして後退することがあります。HHC の機能を過信せず、安全運転に心がけてください。
- 駐停車に HHC を使用しないでください。停車するときは、ブレーキペダルを踏み続け、駐車するときは電動パーキングブレーキのスイッチを引き上げて、パーキングブレーキをかけてください。

**ハイドロリックブレーキアシスト (HBA) システム**

ドライバーが素早くブレーキペダルを踏んだとき、HBA がそれを緊急ブレーキと認識し、ブレーキ油圧を能動的に高めることにより、ABS をより早く介入させ、制動距離を効果的に短くすることができます。


**減速度制御 (CDP) システム \***

電動パーキングブレーキスイッチを引き上げると、CDP 機能が作動します。車が停止するまで一定の減速度 (ブレーキを踏まずに電動パーキングブレーキスイッチを引き上げる場合の減速度が 0.4g、電動パーキングブレーキスイッチを引き上げると同時にブレーキペダルを踏む場合の減速度が 0.8g) で制動します。ドライバーが電動パーキングブレーキスイッチをリリースすると、CDP 機能が停止します。

**ヒルディセントコントロール (HDC) システム**

作動原理：HDC は、ESC システムのバリューアップを図る機能で、車の快適性を改善させるものです。能動的に制動力を加えることにより、低速で下り坂を降りていくように車の速度を制御します。

**HDC の ON、OFF：**

-  → ADAS → アクティブセーフティ → ヒルディセントコントロール (HDC) の順にタッチすると、HDC システムの ON・OFF 操作ができます。
- 速度が 38km/h 未満の場合は、HDC アイコンをタッチすることで機能を ON にすることができます。ON になったとき、メーターの HDC 機能表示灯が常時点灯します。



- HDC 機能が要らないとき、再び HDC アイコンをタッチします。このとき、メーター内の表示灯が消灯します。速度が約 65km/h を超えると、

HDC も自動的に OFF になります。

- HDC 作動中に、ホイールのスリップ率が ABS の作動しきい値を超えると ABS が作動し、安全でスムーズに下り坂を降りたり、後退したりすることができます。
- HDC 速度の制御：
  - HDC は、速度が約 11 ～ 38km/h の範囲内で機能します。この範囲内のとき、アクセルペダルやブレーキペダルを踏んだり、離したりして速度を調整し、アクセルペダルまたはブレーキペダルを離れたときの速度を維持します。HDC 作動中に、メーター内の HDC 表示灯が点滅していることは、HDC が機能していることを表します。
- HDC 機能故障：
  - 長い下り坂を走行するなどの特別な状況では、ブレーキが高温になるため、HDC 機能が一時的に使用できなくなります。
  - このとき、メーターには「ヒルディセントコントロールシステム確認」とメッセージが表示されますので、安全運転を心がけてください。機能を復帰させるには、車を安全な場所に停車し、ブレーキが冷えるまで待つ必要があります。

## ESC システム操作について

インテリジェントパワーブレーキシステムは、従来の ESC システムに対して、次の機能を追加しています。

- ブレーキペダル制御モード
  - ブレーキペダル制御モードは、ブレーキペダルフィーリングを調整する場合に利用します。ブレーキペダルの深さと車両減速度の関係曲線がモードによって異なるため、ドライバーはお気に入りのブレーキペダルフィーリングを選ぶことができます。
  - ドライバーは、**マルチメディア → 車両設定 → スマートシャーシ → ブレーキアシストモード** 設定画面に入り、ブレーキアシストモードの **コンフォート / スポーツ** を選び、調整します。
- コンフォートブレーキ
  - コンフォートブレーキ機能：緊急時以外の減速・停止時に、インテリジェントパワーブレーキシステムが 4 つのブレーキの油圧を制御することにより、停車時のサスペンションの揺れや衝撃を軽減させ、ドライバーにスムーズなコンフォートブレーキを提供します。
  - ドライバーは、**マルチメディア → 車両設定 → スマートシャーシ** から **コンフォートブレーキ** 設定画面に入り、この機能の ON・OFF を設定することができます。



- コンフォートブレーキ機能が作動すると、制動距離が2～5cmほど長くなることがあるため、停車前に前車や前方障害物との距離を適切にあげてください。

#### ■ ブレーキディスクワイピング

- ブレーキディスクワイピング機能：ワイパースイッチをON、または雨量センサーが雨滴を検知したとき、インテリジェントパワーブレーキシステムは、4つのブレーキにブレーキ油圧を軽く加え、ブレーキパッドをブレーキディスクに当て、ブレーキディスクに付いている水分を落とし、ブレーキ効果の素早い発揮や制動距離の短縮を図ります。
- システムが雨滴やワイパーのON信号を検知すると、安全性を向上させるために、一定間隔でブレーキディスクの拭き取りを繰り返します。

#### ■ ESCシステム作動時

- 坂道発進時、車が滑ったり、後退したり、いずれかの駆動輪が空転する可能性がある場合は、ESC表示灯が点滅し、ESCシステムが作動していることを表します。

#### ■ ESCシステムの使用禁止について


- 車が積雪やぬかるみでスタックすると、ESCシステムはモーターからホイールへの出力を下げる場合があります。スタック脱出のために、このシステムをOFFにする必要があります。

#### ■ ESCシステムをOFFにするとき

- ESCシステムをOFFにする必要があるとき、ESC OFFスイッチを押すか、マルチメディアシステムでの設定操作でESCシステムをOFFにします。また、ESCはリアルタイムでその作動状態を点検します。ESCシステム作動中にESC OFFスイッチを押すと、ESCシステムはただちに「OFF」せずに、能動的に制御に介入します。制御介入が完了するまでは、ESCシステムがOFFになりません。
- ESCシステムがOFFになった後、再びESC OFFスイッチを押すか、速度がしきい値(80km/h)を超えると、OFFになったESCシステム機能が再びONになります。ESCシステムが車両走行の制御に介入していない場合のみ、再びESCシステム機能をONにすることができます。

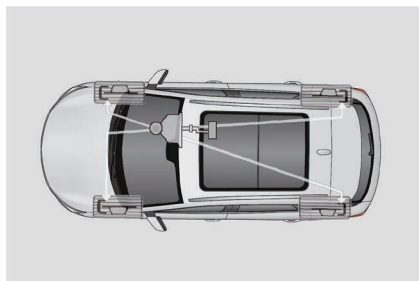
#### ■ ESC OFFスイッチの誤操作\*

- ESC OFFスイッチを押し続ける時間が10秒を超えると、ESCシステムは、それを誤操作と判断します。ESCシステムはすべての内部機能の正常作動を保ちます。

- モーター OFF 後の ESC システム再開
  - ESC システムを OFF にしてから、再びモーターを ON にすると、ESC システムの作動が自動的に再開します。
- 速度連動による ESC システムの作動
  - ESC システムが OFF になっているとき、速度がしきい値 (80km/h) を超えると、車の姿勢が極めて不安定になります。このとき、ESC システムは自動的に ON になります。
- ESC システム起動時
  - ESC 警告灯  が点滅するときは、慎重に運転してください。
- ESC システムを OFF にしたとき
  - 細心の注意を払いながら、道路状況に応じた速度で運転しなければなりません。ESC システムは、車の安定性と駆動力を確保してくれるため、必要がなければ OFF にしないでください。
- タイヤの交換
  - すべてのタイヤは、寸法、ブランド、トレッドパターン、輪荷重を同一にしてください。また、推奨空気圧になるまでタイヤに空気を入れてください。
  - 車に異なる種類のタイヤを装着した場合、ABS と ESC システムが正常に作動できなくなります。
  - タイヤやホイールの交換については、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場にお問い合わせください。
- タイヤおよびサスペンションの処置
  - 不具合があるタイヤの使用、サスペンションの改造は、安全運転支援システムに影響をおよぼし、このシステムの故障を引き起こすおそれがあります。

## アンチロックブレーキシステム (ABS)

- ABS の油圧システムは、それぞれ独立する 2 つの回路があります。それぞれの回路は対角線上にあります (右側フロントタイヤブレーキと左側リアタイヤブレーキとの接続など)。1 つの回路が故障しても、まだ 2 つのホイールに制動力を加えることができます。



- ABS は、急ブレーキや滑りやすい路面でのブレーキ操作時に車輪のロックやスリップを防止し、ステアリング制御の維持に役立ちます。
- フロントタイヤがスリップしたときはステアリングを制御できません。つまり、ステアリングホイールを回しても車が直進します。脈動する急ブレーキは人間の反応よりはるかに速いため、ABS は車輪のロックを防ぎ、ステアリング制御の維持に役立ちます。
- 絶対にブレーキペダルをポンピングして踏まないでください。ABS が効かなくなるおそれがあります。危険を回避するためにステアリングホイールを切るときは、ABS が作動するようにブレーキペダルを強く踏み続けてください。それは、いわゆる「ブレーキペダルを強く踏み続け、正しいハンドル操作を行う」ことです。
- ABS が作動すると、ブレーキペダルが振動し、その作動音が聞こえることがあります。それは、ABS がポンピングブレーキをかけているためで、異常ではありません。ABS 作動の速さは、タイヤの駆動力（グリップ力）の強さによって決まります。

### 安全上の重要なメッセージ

<b>⚠ 警告</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ABS（アンチロックブレーキシステム）は、車を停止させるのに必要な時間および距離を短縮させることができません。この装置は、ブレーキをかけるときのステアリング制御を支援するものです。常に他の車と安全な車間距離を保ってください。</li> <li>■ 軟弱な路面やデコボコ路（砂利道や積雪路面）を走行するとき、ABS 搭載車は ABS が搭載されていない車と比べると長い制動距離が必要です。</li> <li>■ 下記の場合は、ABS 機能を効果的に発揮できません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● グリップ力が弱いタイヤを使っている場合（雪が積もっている路面で過度な摩耗があるタイヤを使うなど）。</li> <li>● 高速で滑りやすい路面を走行するとき、車がスリップした場合。</li> </ul> </li> </ul>

<b>⚠ 注意</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ABS 警告灯が点灯すると同時に、ブレーキシステム警告灯も点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車し、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。</li> <li>■ ABS は、急旋回や急な車線変更などの急なハンドル操作によるスリップを防ぐことができません。路面状況および天気を問わず、常に安全な速度で慎重に運転してください。</li> </ul>

## ⚠ 注意 (続き)

- ABS は、安定性の低下を防ぐこともできません。急ブレーキ時は適切にハンドル操作を行ってください。大きなカーブや急カーブでは、対向車線に飛び出したり、道路からはみ出したりするおそれがあります。

## 車両接近通報装置 (AVAS)

車両接近通報装置 (AVAS) は、車が低速で走行するときに、歩行者に車の接近を知らせるものです。

### ■ 前進時：

- 速度が  $0\text{km/h} < V \leq 20\text{km/h}$  の場合、警告音はスピードアップするにつれ強くなります。
- 速度が  $20\text{km/h} < V \leq 30\text{km/h}$  の場合、警告音はスピードアップするにつれ弱くなります。
- 速度が  $V > 30\text{km/h}$  の場合、警告音は自動的に止まります。

### ■ 後退中は、車から一定間隔で警告音を出し続けます。

- 警告音の音源はスタンダード、ブランドの二つがあり、音源の切り替えができます。音源モードにより、車から発する警告音が異なります。



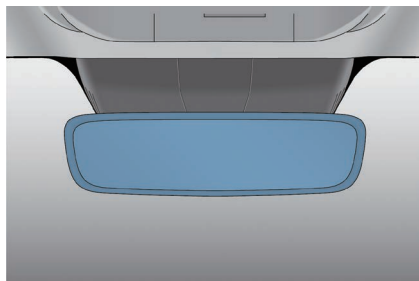
## ⚠ 警告

- 低速走行中に車両接近通報装置の通報音が聞こえない場合は、車を安全で静かなところに駐車し、ウィンドウを開けてから、[D] レンジで  $20\text{km/h}$  の一定速度で走行し、(このときの音量が最大) 通報音が聞こえるかを確認してください。それでも通報音が聞こえない場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。

## ルームミラー

### 自動防眩ルームミラー\*

自動防眩ルームミラーは自動防眩機能を搭載しているため、車両周囲の環境に合わせてルームミラーのガラス色を自動的に調整し、強い反射光によるまぶしさを軽減させます。



#### **⚠ 警告**

- ルームミラーに重量物をかけたり、力強く揺らしたり、引っ張ったりしないでください。
- 手動でルームミラーを調節するときに引っかかりがある場合、ルームミラーが脱落しないよう絶対に乱暴に調整しないでください。
- 走行中に、ルームミラーを調節しないでください。ドライバーが運転に集中できず、死傷につながる思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。






4

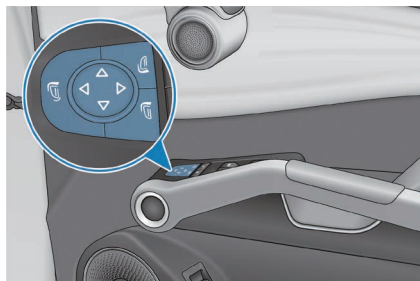
使用  
およ  
び運  
転

## 電動ドアミラー

### ドアミラーの調整ボタン

#### 電動可倒式ドアミラー

- 格納ボタン  を押すと、左右ドアミラーが同時に折りたたまれ再び格納ボタンを押すと、左右ドアミラーが格納前の位置に戻ります。
- 左側電動ドアミラーの調節スイッチ  を押すと、左ドアミラーが選択されます。
- また、 → **車両設定** → **サイドミラー** → **ドアミラー自動格納** の順にタッチすることにより、ドアミラーの自動収納機能を制御することができます。
- 右側電動ドアミラーの調節スイッチ  を押すと、右ドアミラーが選択されます。
- ドアミラーのガラスは四方向に調節でき 、すなわち上、下、左、右はそれぞれにスイッチの上、下、左、右動作対応します。



#### 警告

- 走行中にドアミラーを調節しないでください。ドライバーが車の操縦を誤り、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

#### アドバイス

- ドアミラーが凍り付いた場合は、コントローラーを操作したり、ドアミラーの表面を削ったりしないでください。解氷スプレーでドアミラー表面の氷を落としてください。

## ワイパー

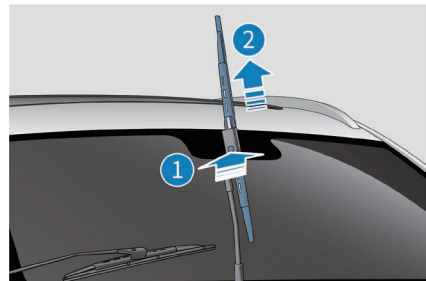
### ワイパーブレードの交換

車の電源ポジションが「OK」になっているとき、ドライバーは **車両状況** → **リペアー** → **Fr. ワイパーチェック** 画面でフロントワイパーの点検機能のON・OFFを操作することができます。対象ワイパーの点検設定をONにすると、ワイパーが自動的に作動し、点検や交換が簡単にできるようになります。



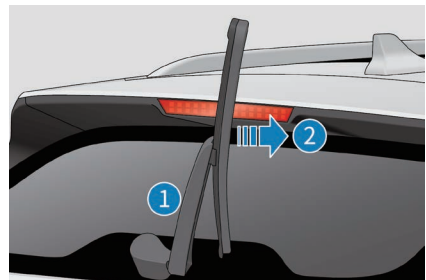
#### フロントワイパーの交換

1. まずは、運転席側のワイパーアームを立て、それから助手席側のワイパーアームを立てます。
2. ブレードロックボタン ① を押します。
3. ブレード留め具を持ち、図に示す方向 ② に取り出します。
4. 新しいブレードを取り付けるときは、ブレードの外し方と逆の手順で作業します。



#### リアワイパーの交換

1. まずは、リアワイパーのワイパーアームを立てます。
2. ワイパーアーム位置 ① を持ち、図に示す方向 ② にブレードを真っすぐに抜き出します。
3. 新しいブレードを取り付けるときは、ブレードの外し方と逆の手順で作業します。



## ⚠ 注意

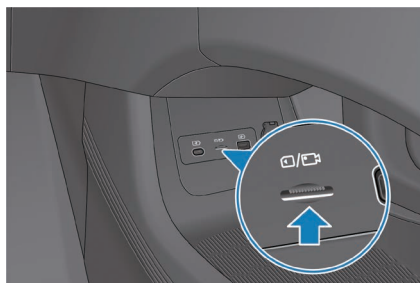
- ワイパーアームを立てているとき、ボンネットを開けないでください。ボンネットおよびワイパーアームを破損させるおそれがあります。
- 洗車後、ワイパーブレードを倒すとき、ブレードがフロントガラスに直接ぶつかるようにワイパーアームを直接押し倒さないでください。
- ワイパー作動時、ワイパーブレードを折り曲げたり、手などでワイパーブレードの動きを阻止しないでください。
- ワイパーブレードを交換するとき、ワイパーアームを立てた後、手でしっかり支えてください。ブレードを交換した後、ゆっくり倒してください。ブレードを取り付けていない状態でミスなどによりワイパーアームがガラスに当たると、ガラスを破損させるおそれがあります。

## ドライブレコーダー\*

- ドライバーは、**マルチメディア → ドライブレコーダー** 設定画面でドライブレコーダーシステム機能の ON・OFF を操作することができます。車が始動する際に、システムのデフォルト設定は前回の設定になります。
- ドライブレコーダーは、リアルタイム画像、プレイバックリストおよび設定の3つの操作画面があり、走行情報を調べたり、設定したりするときに使います（操作の詳細については、電子版ユーザーマニュアルを参照してください）。
- ドライブレコーダーのカメラは、



- センターコンソールの下段にはドライブレコーダー専用のSDカードスロットが設置されています。





## ドライブレコーダーの映像\*

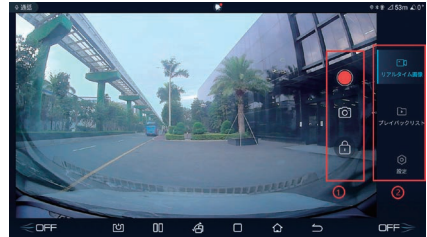
### 画面について

■ 画面に入ります。

- センターインフォメーションディスプレイの主画面で **ドライブレコーダー** をタッチし、ドライブレコーダーに入ります。



- ① ファンクションメニューバー
  - 録画、撮影、ファイルロックに対応します。
- ② メニューバー
  - リアルタイム画像、プレイバックリスト、設定を切り替えることができます。



### リアルタイム画像：

#### 映像録画

■ 次の手順で映像を録画することができます。

1. SD カードをセットします。
2. DVR をタッチし、ドライブレコーダー画面に入ります。
3. ファンクションメニューバー内の赤の録画アイコンをタッチし、録画を開始します。システムが前方の様子をリアルタイムで録画します。
4. 再び赤の録画アイコンをタッチすると、録画機能を OFF にすることができます。
5. 録画済みの映像は、プレイバックリストから選定し、再生することができます。

### **i** アドバイス

- 車に SD カードが付いていない場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に問い合わせたうえで、自ら適用の型番で購入し、セットしてください。

### 写真撮影

- ドライブレコーダーファンクションメニューバー画面でカメラをタッチすると、システムは、前方の車両映像を撮影し、それを SD カードに記憶します。

### ファイルロック

- ドライブレコーダーファンクションメニューバー画面でロックアイコンをタッチすると、ドライブレコーダーは、現在録画している映像の衝撃前の 20 秒から衝撃後の 10 秒分をロックします。

## アドバイス

- ロックされた映像は上書きされません。

### プレイバックリスト

- この画面で録画された走行映像、緊急ロックされたファイルおよび撮影した写真を調べることができます。

### 設定

- この画面で映像の録画時間、解像度およびデータ削除を設定することができます。

## 注意

- 削除データは復旧できないため、削除前に、すべてのデータを消す必要があるかを慎重に考えてください。

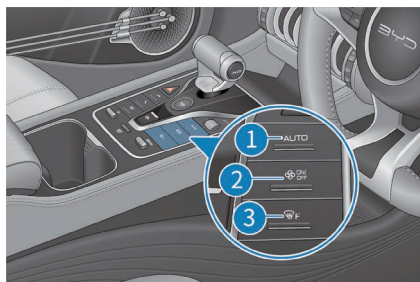
<b>5-1 空調システム</b> .....	<b>205</b>
エアコンパネルイメージ .....	205
エアコン操作画面 .....	205
機能定義 .....	208
吹き出し口 .....	213
空気清浄システム * .....	214
クラウドサービス APP での エアコン操作 .....	216
<b>5-2 小物入れ</b> .....	<b>217</b>
ドアポケット .....	217
グローブボックス .....	217
センターコンソール ボックス .....	218
シートバックポケット .....	218
カップホルダー .....	218
<b>5-3 その他の装置</b> .....	<b>220</b>
サンバイザー .....	220
アシストグリップ .....	220
USB ポート .....	221
12V アクセサリー電源 .....	221
ワイヤレス充電エリア .....	222
リアシェルフ * .....	224
カーペット .....	225
<b>5-4 マルチメディアシステム</b> .....	<b>226</b>
マルチメディア コントロールパネル PAD .....	226
ナビゲーションバー .....	228
ジェスチャーおよび応答 .....	229
BYD インテリジェント 音声制御機能 .....	229
Bluetooth 電話 .....	230
ファイル管理 .....	231

5-5 BYD APP について ……	232
BYD APP について ……	232
アカウント登録 ……	232
車両状態	
および車両制御システム ……	233
個別センター	
および車両管理 ……	233


## エアコンパネルイメージ

### フロントエアコンボタン：

- ① オートボタン
- ② エアコン ON / OFF ボタン
- ③ フロントガラスデフロストボタン



## エアコン操作画面

- ドライバーは、 → 車両設定 → A/C の順でエアコン設定画面に入ることができます



- 1 通話中風量低下
- 2 駐車時オートリサキュレーション
- 3 リモートコントロール空調の運転時間 (m)
- 4 自動 A/C モード \*
- 5 自動空気清浄 \*

### 通話中風量低下

- このアイコンをタッチすると、Bluetooth 通話中風量低下の設定が ON になります。
- 再びこのアイコンをタッチすると、Bluetooth 通話中風量低下の設定が OFF になります。

### 駐車時オートリサキュレーション

- このアイコンをタッチすると、駐車時自動内気循環の設定が ON になります。
- 再びこのアイコンをタッチすると、駐車時自動内気循環の設定が OFF になります。

### リモートコントロール空調の運転時間 (m)

- リモートコントロール空調の運転時間を設定することができます。

### 自動 A/C モード \*

- エコノミーモードとコンフォートモードを設定することができます。

### 自動空気清浄 \*

- このアイコンをタッチすると、自動浄化機能が ON になります。
- 再びこのアイコンをタッチすると、自動浄化機能が OFF になります。

フロントエアコン操作画面



- |                  |                        |
|------------------|------------------------|
| 1 エアコン設定アイコン     | 9 フロントガラスデフロスト         |
| 2 空気浄化システム*      | 10 リアガラスおよびドアミラーデフロスト* |
| 3 シートヒーティングアイコン* | 11 外気導入 / 内気循環切替       |
| 4 エアコン操作画面アイコン   | 12 換気                  |
| 5 ファン ON / OFF   | 13 助手席側エアコン温度調節        |
| 6 オートモード         | 14 吹き出しモード選択           |
| 7 エアコン ON / OFF  | 15 風量調節                |
| 8 最大エアコン         | 16 運転席側エアコン温度調節        |

## 機能定義

### オートモード

- このアイコンをタッチすると、アイコンが点灯し（フロントエアコンパネルの AUTO アイコン表示灯が点灯）、コンプレッサーの状態、風量の強さ、吹き出しモードを自動的に調節します。
- 風量や吹き出しモードを設定すると、フルオート制御が OFF になります。その操作機能を除き、その他の機能はオートモードのままです。

### ファン ON / OFF

- エアコンが ON の状態でこのアイコンをタッチすると、エアコンを OFF にすることができます。
- エアコンが OFF の状態でこのアイコンをタッチすると、エアコンを ON にすることができます。



### 最大エアコン

- このアイコンをタッチすると、エアコンが最大冷房制御に入り、コンプレッサーが ON になり、温度が Lo、風量が最大、外気導入 / 内気循環状態が内気循環、吹き出しモードが上半身送風になります。
- 再びこのアイコンをタッチすると、エアコンの最大冷房制御が OFF になります。

### エアコン ON / OFF

- このアイコンをタッチすると、エアコンのコンプレッサーを ON にすることができます。アイコンが点灯し、コンプレッサーが作動を開始し、冷房が機能します。
- 再びこのアイコンをタッチすると、コンプレッサーが OFF になりコンプレッサーが停止します。

### 外気導入 / 内気循環切替

- 外気導入 / 内気循環アイコンをタッチすると、アイコンがとなり、外気導入モードから内気循環に切り替わります。
- 再び外気導入 / 内気循環アイコンをタッチすると、アイコンがとなり、内気循環モードから外気導入に切り替わります。



**⚠ 警告**

- 内気循環で長時間使用しないでください。ガラスが曇りやすくなり、視界が損なわれて危険なため、一時的な使用にしてください。
- 吹き出し風が長時間あたらないように注意してください。低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。
- フロントガラスデフロストを ON にしているときに、エアコンの設定温度を低くしないでください。フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。
- 湿気が多いときは、フロントガラスに冷風を吹き付けしないでください。フロントガラスの車内外での温度差により、フロントガラスが曇ることがあります。
- お子様や介護を必要とされる方、ペットを車内に置き去りにしないでください。エアコンの設定をしても、自動停止などにより車内が高温または低温になることがあり、死亡につながるおそれがあります。

**ℹ アドバイス**

- 駐車時オートリサキュレーションの設定が ON になっている場合は、車内の空気の質を確保するため、排気ガスが車内に入らないように駐車時循環モードが内気循環に切り替わります。

**換気**

- 「換気」アイコンをタッチすると、エアコンの換気制御が ON になり、外気が送り込まれます。
- 再びアイコンをタッチすると、エアコンの換気制御が OFF になります。

**温度調節****■ エアコン温度調節**

- 上側の矢印をタッチする、または下にスライドさせ、温度を上げます。下側の矢印をタッチする、または上にスライドさせ、温度を下げます。
- 温度を最小に調節したときは、「[L0]」と表示されます。温度を最高に調節したときは、「[HI]」と表示されます。

### フロントガラスデフロスト

- このアイコンをタッチすると、アイコンが点灯し（フロントエアコンパネルのフロントガラスデフロスト表示灯が点灯）、エアコンがフロントガラスデフロスト制御に入り、吹き出しモードがフロントガラスデフロストモードに切り替わります。
- 再びこのアイコンをタッチすると、アイコンが消灯し（フロントエアコンパネルのフロントガラスデフロスト表示灯が消灯）、エアコンのフロントガラスデフロスト制御が OFF になります。

### リアガラスおよびドアミラーデフロスト\*

- リアガラスおよびドアミラーデフロストのアイコンをタッチすると、ドアミラー内蔵のヒーターの作動により、ドアミラーがきれいに映るようになります。再度操作しない場合、15分作動してから自動的に OFF になります。
- 再びこのアイコンをタッチすると、リアガラスおよびドアミラーデフロスト機能を OFF にすることができます。
- この機能は、雨滴を乾燥させたり、雪を溶かしたりするものではありません。



#### 注意

- リアガラス内側のクリーニングを行うときは、熱線およびその接続部を傷付けたり破損させないように注意してください。

#### アドバイス

- 長時間ドアミラー内蔵のヒーターで除霜する機能を使う場合は、ガラスの早期劣化につながるおそれがあるため、不要なときは、早めにデフロストアイコンを OFF にしてください。

### 風量調節

- エアコン風量調節
  - ご希望の風量調節アイコンを押します。数が多いほど風量が強くなります。
  - 「」をタッチすると、風量が1段階弱くなり、「」をタッチすると、風量が1段階強くなります。

## 吹き出しモード選択

- マルチメディアシステムの該当アイコンを押し、目的の吹き出しモードを選択します。
- 吹き出しモードは自由に組み合わせることが可能で、ご希望に応じて吹き出しモードを3つまで同時にONにすることができます。
- 右記の吹き出しモードのイメージで調節することができます。



## ご利用要領

- 炎天下に駐車後、車内の温度を素早く下げるには、窓を開け、数分間ほど運転してください。このように熱気を車外へ出すと、素早く車内を冷やせます。
- 車内の温度を素早く下げるには、温度を「Lo」に調節し、内気循環モードで数分間エアコンを稼働させます。
- フロントガラス前のエアインレットグリルが（落ち葉や雪などで）詰まっていないことを確認してください。
- 車内の空気が充分に循環できるようにフロントシートの下に物を置かないでください。
- 寒いときは、ドアガラスの曇りを低減させるために、エアコンの風量を強の方に設定して1分間稼働させ、吸気経路にある雪や湿気を取り除いてください。
- 寒いときは、車内の温度を素早く上げるために、内気循環モードで数分間エアコンを稼働させます。ドアガラスの曇りがないように、車内が温まった後は外気導入モードをONにします。
- ホコリが多い道路で他の車に追従して走行する、または風とホコリがある状況で走行するとき、すべてのドアガラスを閉めるようおすすめします。また、エアコンを内気循環に設定し、エアコンのファンをONにします。
- 暖房運転時、エアコンON/OFFアイコンを押し、アイコンを点灯（エアコンをON）させると、空気中の湿気を減らすことができます。
- 換気モードでは、車外の自然な空気を車内に導入するため、春や秋の運転に適しています。

**i** アドバイス

## ■ エアコンの異臭について：

- エアコンを付けたとき、吹き出してきた空気からカビの臭いがある場合がありますが、エアコンからの異臭発生は異常ではありません。エアコン使用中は、エバポレーターに結露が付着しやすく、フィルターにキャッチされなかった人体の汗やタバコの煙などは湿ったエバポレーターに吸着されます。暗く湿ったエバポレーター表面にはカビが発生しやすいため、カビが長期間にわたって発酵することにより、異臭が発生しやすくなります。

## ■ 異臭の防止について：

- 停車前にエアコンを消し、外気導入で換気することにより、比較的乾燥した状態を保つことができます。
- エアフィルターを定期的に点検、清掃、交換します。
- できるだけ車内を清潔にし、車内の空気をきれいに保ちます。

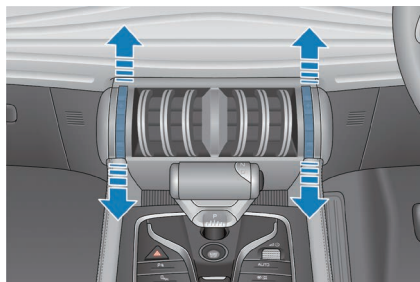
## ■ 異臭対策を行っても異臭が発生する場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場での修理を行うようおすすめします。

## ■ エアコンからの異臭を改善させるために、エアコンを作動させた状態で電源ポジションを OFF にして施錠すると、エアコンのブロワーがしばらく作動を続けることがあります。ブロワーを回す目的は、エバポレーター表面の結露を乾かし、エバポレーター表面のカビによる異臭を避けることにあります。車両を施錠した後に、エアコンのブロワーが自動的に作動しても異常ではないためご安心ください。

## 吹き出し口

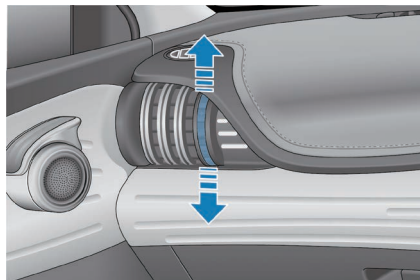
### フロント側中央吹き出し口

- 調節ダイヤルで風量や吹き出し口の開度を調節することができます。
- 左右方向に吹き出し口中央部のノブを操作すると、風の向きを調節することができます。



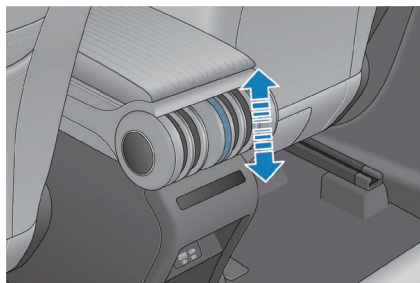
### フロント側サイド吹き出し口

- 調節ダイヤルで風量や吹き出し口の開度を調節することができます。
- 左右方向に吹き出し口中央部のノブを操作すると、風の向きを調節することができます。



### リア側吹き出し口

- 調節ダイヤルで風量や吹き出し口の開度を調節することができます。
- 左右方向に吹き出し口中央部のノブを操作すると、風の向きを調節することができます。



## 空気清浄システム\*

空気清浄システムは、空気中のPM2.5を清浄する機能を備えています。つまり、エアコンをONにすることで車内に送り込まれた空気中のPM2.5をきれいに取り除くことができます。

### 空気清浄操作画面

マルチメディア操作画面の**空気清浄**アイコンをタッチすると、マルチメディアには空気清浄操作画面が表示されます。



- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| ① 空気清浄操作画面のアイコン      | ④ 急速清浄               |
| ② 車外のPM2.5濃度および指数の表示 | ⑤ 車内のPM2.5濃度および指数の表示 |
| ③ PM2.5 detection    |                      |

## PM2.5 detection

- **PM2.5 detection** アイコンをタッチし、アイコンが点灯すると、リアルタイムに車内 / 車外の PM2.5 濃度を検出します。
- PAD に車内 / 車外の PM2.5 の値をリアルタイムに表示します。アイコンが消灯し、車内 / 車外の PM2.5 の検出が停止します。

## 急速清浄

- 急速清浄機能は、短時間で車内空気中の PM2.5 濃度を素早く低減させることができます。
- このアイコンをタッチし、アイコンが点灯すると、急速清浄機能が作動します。更にタッチしてアイコンが消灯すると、急速清浄機能が OFF になります。

## 車内の PM2.5 濃度および指数の表示

- 車外 / 車内の検出濃度および指数を表示します。
- 車載空気清浄システム (PM2.5) 検出器は、検出器を搭載した車両周辺の大気中の PM2.5 を短時間で検出する装置です。国や関係省庁が発表する日報やリアルタイムの大気中 PM2.5 濃度とは異なります。

空気質指数の参考：

PM2.5 濃度範囲	空気質指数
0-35	非常に良い
36-75	良い
76-115	敏感体質の方に良くない
116-150	健康に悪い
151-250	健康に非常悪い
251-999	危害が生ずる

## **i** アドバイス

- 下記の環境では、PM2.5 検出の使用頻度を下げなければなりません。
  - 砂嵐などの極めて過酷な環境。
  - 寒冷地（周囲温度 < -20℃）
  - 高湿度な環境（相対湿度 > 90%）
  - 寒い環境から暖かい室内や駐車場に入るなど温度変化を繰り返す環境（結露が発生しやすい）。
- 内気循環モードで最大風速にすると、車内空気中の微粒子濃度を素早く下げることができます。

## クラウドサービス APP でのエアコン操作

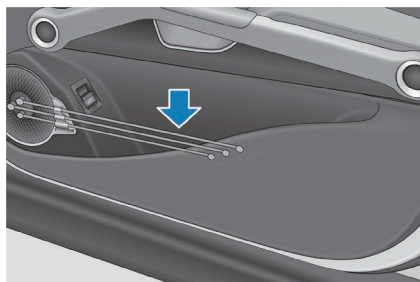
BYD APP トップページで **A/C** をタッチすると、エアコン制御画面に入ります。制御画面でエアコンの温度や作動時間の調節、予約などが行えます。

- **+** または **-** をタッチすると、エアコンの設定温度を調節することができます。また、**強** 冷房モード、または **弱** 冷房モードでエアコンを起動することもできます。
- **その他の設定** では、エアコンの作動時間や循環モードを設定することができます。
- **スケジュール** をタッチすると、24 時間以内で指定した時間にエアコンを起動するように予約できます。



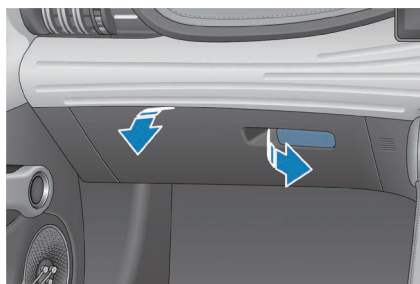
## ドアポケット

- それぞれのドアには、ペットボトルや小物などを格納するためのドアポケットが付いています。



## グローブボックス

- ノブを引くと、グローブボックスを開けることができます。
- グローブボックスを押し上げると、閉めることができます。



5

車内装置

### ⚠ 警告

- 思わぬ事故や急ブレーキの際に怪我をする可能性を減らすために、運転時はグローブボックスを閉めたままにしてください。
- グローブボックスは、ゆっくり開けてください。開いたときに身体に当てて、怪我につながるおそれがあります。
- 可燃性ガスの入ったスプレー缶やガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れたままにしたり、床やシートの間隙に落としたままにしたりしないでください。引火して爆発したり、火災につながるおそれがあります。

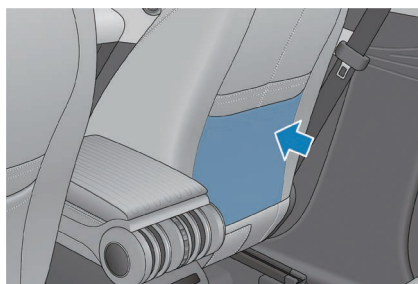
## センターコンソールボックス

- フロントシートの中央部にあり、センターコンソールボックススリッドを開けると使えます。



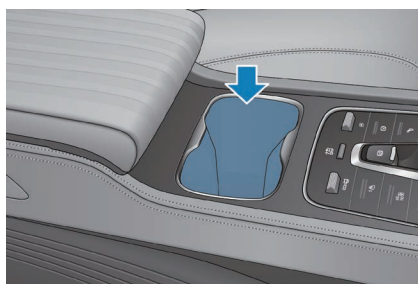
## シートバックポケット

- フロントシートバックには、雑誌、新聞などを入れるためのシートバックポケットが付いています。



## カップホルダー

- フロントシートのカップホルダーは、センターコンソールの中央部にあります。



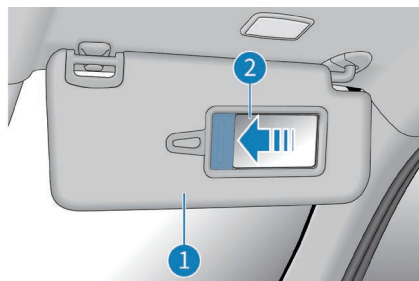
**⚠ 警告**

- 運転中にカップホルダーから飲み物を出し入れしないでください。前方不注意となるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中に飲み物がこぼれないように、蓋が付いていないカップやしっかり蓋をしていないボトルをカップホルダーに入れないでください。スイッチや配線などの電気部品にかかると、故障や火災の原因となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 熱い飲み物を置かないでください。急発進や急ブレーキの操作によりこぼれて飛び散ると、乗員がやけどをするおそれがあります。
- ビンなどの硬いものは入れないでください。側面衝突のときに、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 車内のスイッチやタッチスクリーンなどに飲み物をこぼさないでください。故障や火災の原因となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## サンバイザー

### ① サンバイザー

- 前方からの光を遮るには、サンバイザーを下方方向に操作してください。
- 側方からの日差しを遮るには、サンバイザーを下げた状態でフックから外し、横へ回します。



### ② バニティーミラー

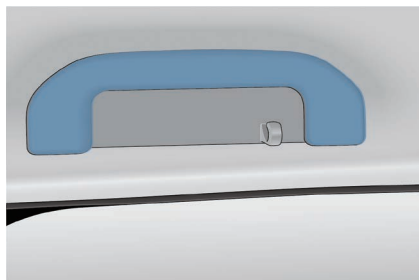
- バニティーミラーを使うときは、サンバイザーを下方方向に操作し、バニティーミラーの蓋をスライドさせます。

## i アドバイス

- 正しく適切にサンバイザーを使うと、運転時の快適性や安全性を向上させることができます

## アシストグリップ

- アシストグリップを使うときは下に引き、使わないときは手を離すと自動で戻ります。



## ⚠ 注意

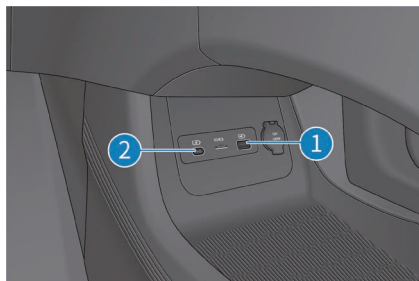
- 怪我やアシストグリップの破損を避けるために、アシストグリップに重量物をかけないでください。

## USB ポート

### フロント側 USB ポート

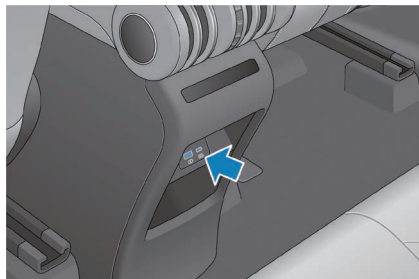
センターコンソールの下段に二つのポートが設置されています。

- 1 Type-A ポートで、データの伝送に対応します。
- 2 Type-C ポートで、充電用です。使用时、事前に車の電源ポジションを「OK」にしてください。



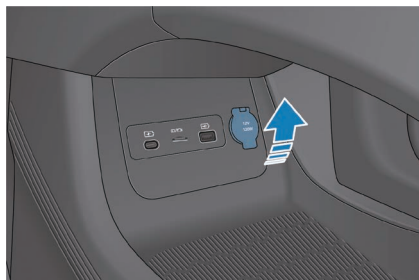
### リア側 USB ポート

- USB ポートは充電用で、複数の機器を接続することはできません。
- 車の電源ポジションを「OK」にしてください。



## 12V アクセサリー電源


- 作動電圧 DC12V、かつ作動電流が 10A までのアクセサリーに対応します。
- 12V アクセサリー電源を使うとき、蓋を開けて、車の電源ポジションを「OK」にしてください。

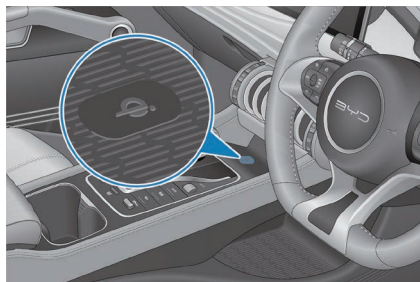


**⚠ 警告**

- 電源ソケットを使うときは、次のことを守ってください。不適切な使用により、フューズが切れるだけでなく、車両火災や乗員がやけどするおそれがあります。
  - 消費電力 120W 以下の電気器具を使用する
  - アクセサリーのプラグは電源ソケットの奥まで挿入する
  - 電源ソケットに水をかけない
  - 電源ソケットに異物を入れない
- 電源ソケットやアクセサリーのプラグは熱くなることがあります。

**ワイヤレス充電エリア**

- ワイヤレス充電器は、電源ケーブルを使わずに電磁誘導で携帯電話に充電するものです。
- マルチメディアシステムのショートカットメニューをドロップダウンし、**ワイヤレス充電機能設定** アイコン  を点灯させます。
- 車が始動後、携帯電話の画面を上向きにして携帯電話をワイヤレス充電エリアに置くと、携帯電話が自動的にワイヤレス充電モードに入ります。
- ワイヤレス充電機能を OFF にするとき:PADショートカットメニューをドロップダウンし、**ワイヤレス充電機能設定** アイコンをタッチすると、表示灯が消灯し、ワイヤレス充電機能が OFF になります。
- ワイヤレス充電機能は、すべての携帯電話ではなく、Qi 認証取得済みの携帯電話のみに対応しています。
- カードの焼損を防ぐために、充電中はキャッシュカードなどのチップ付きカードを携帯電話ケースと携帯電話の間に入れしないでください。



**⚠ 警告**

- 運転中に、携帯電話の充電状況を長時間確認しないでください。交通事故につながるおそれがあります。
- ワイヤレス充電時に携帯電話とゴムパッドの間に金属製の異物が入っている場合、やけどのおそれがあるため、異物を素手で取り除かないでください。

**⚠ 注意**

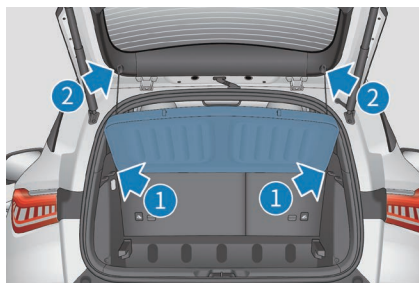
- ワイヤレス充電システムが作動しているとき、リモートキーをワイヤレス充電エリアから 25cm 以内のところに置かないでください。
- 事故にかかわるワイヤレス充電機能の異常を避けるために、コイン、金属キー、金属リングや金属成分を含んでいる他の物を携帯電話と一緒にワイヤレス充電エリアに置かないでください。
- 充電エリアの破損を避けるために、充電エリアに重量物を置かないでください。ワイヤレス充電システムが故障し、正常に使えない場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
- 誤った使い方による問題について、当社はいかなる責任も負いません。製品の解体や改造があった場合、無償保証サービスが受けられなくなります。
- ドライバーが車内にいないときは、車内で携帯電話を充電しないでください。火災などにつながるおそれがあります。
- より良い充電効果を得るために、携帯電話のコイルの中心をワイヤレス充電器の中心（充電エリアの印字部）に合わせてください。合わせないと、充電できないことがあります。
- 充電エリアに水がかからないようにしてください。水がゴムパッドの隙間からワイヤレス充電器に侵入し、充電器が故障するおそれがあります。
- 温度が高すぎると携帯電話の充電が止まることがあります。温度が下がると充電が再開します。
- 外付けのワイヤレス充電コイルによる不具合について当社は一切保証できませんので、注意してご使用ください。

## ① アドバイス

- 一度に1台の携帯電話しか充電できません。
- 携帯電話ケースが厚すぎる場合は、充電できないことがあります。
- デコボコ路走行時、ワイヤレス充電機能が充電停止と充電再開を繰り返すことがあります。
- できるだけ携帯電話の裏側を充電モジュールに密着するように置いてください。携帯電話がワイヤレス充電エリアからずれて充電が止まった場合は、携帯電話をワイヤレス充電エリアに戻す必要があります。
- 携帯電話が正常に充電できない場合は、まずワイヤレス充電エリアに異物がないか確認し、ワイヤレス充電エリアが冷えてから充電を再開してみてください。まだ充電できない場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。
- 電源ポジションを「OFF」にした後に携帯電話がまだ充電されている場合、運転席側ドアを開けると、メーター内のブザーが1回鳴り、「携帯電話を忘れないでください」のメッセージが5秒ほど表示されます。
- 充電するかしないかにかかわらず、携帯電話は横置きにご使用ください。携帯電話を縦置きにした場合は、充電エリアに入れられなかったり、Rレンジへのシフトチェンジを妨げることがあります。

## リアシェルフ\*

- プライバシーを守り、直射日光を避けるために、リアシェルフで荷物を覆うことができます。
- リアシェルフのフック部①を両側のCピラーパネル下部の突起にはめ込んでから、リアシェルフの紐②をかけます。
- リアシェルフの取り外し方は取り付けと逆の手順です。



## ⚠ 警告

- リアシェルフを取り付けるときは、リアシェルフがしっかり取り付けられていることを確認してください。
- リアシェルフに物を置かないでください。
- お子様をリアシェルフに上らせないでください、リアシェルフの破損やお子様の生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。



## カーペット

専用のカーペットが設定されていますので、正しく固定してご使用ください。

### ⚠ 警告

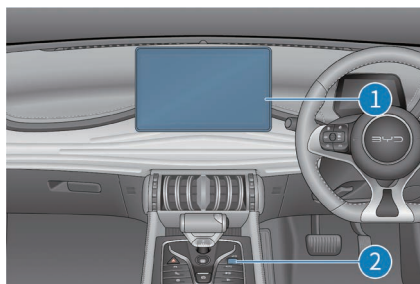
- 運転する前にカーペットが正しく固定されていることを定期的を確認してください。車内のクリーニング後は、必ず確認してください。
- 運転席にカーペットを敷くときは、カーペットでペダルを覆ったり、重ねて敷いたり、前後さかさまにしたり、裏返しにしたりして使用しないでください。
- タバコの火種をカーペットに落とさないでください。火災につながるおそれがあります。

## マルチメディアコントロールパネル PAD

電源ポジションを「OK」にすると、初期画面を数秒ほど表示してから、システムが作動します。マルチメディア関連の機能（例えば APP、インターネット通話など）を活用するには、インターネットに接続してから使用してください。

初めてシステムを起動した場合は警告ページが表示されます。「同意する」をタッチするとシステムインターフェイスに入ります。

マルチメディアタッチスクリーンをカスタマイズし、必要に応じて項目を選択できます。Wi-Fi、Bluetooth、モバイルデータ接続、音量、明るさ、一般的な車の制御機能などの項目を設定することで利便性を高めます。



- ① マルチメディアタッチスクリーン
- ② ホイールボタン

- マルチメディアが作動している状態で 1 回押すと、オーディオが OFF になります。2 回押すと、オーディオが ON になります。3 秒以上長押しすると、マルチメディアは再起動をします。
- マルチメディアが作動している状態で上方向（フロント方向）にホイールを回すと、音量が上がります。下方向（リア方向）にホイールを回すと、音量が下がります。音量は 0 ～ 39 の範囲内で変化します。音量が 0 の場合、ステータスバーにはミュートマークが表示されます。

### 工場出荷時設定に戻す場合

- 工場出荷時設定に戻すをタッチすると、マルチメディア機器に設定されているすべてのデータが工場出荷時の状態に戻ります。
  - 工場出荷時の状態に戻している間は、車の電源は切らないでください。また、エラーの発生を防ぐためマルチメディア機器のアイコンに触れないでください。
  - 工場出荷時の状態に戻す作業は、2 ～ 5 分掛かるためしばらくお待ちください。

**⚠ 警告**

- 車内でハイパワーインバーターを使わないでください。マルチメディアシステムの異常につながるおそれがあります。
- オペレーティングシステム入れ替えやRoot化は禁止です。マルチメディアシステムや車の異常につながるおそれがあります。
- 安全運転のために、運転中はマルチメディアタッチスクリーンを横向きにして使ってください。
- 運転中にオーディオなどのタッチスクリーンを操作すると、前方不注意となるおそれがありますので、絶対にしないでください。
- オーディオの音量を大きくしすぎると、車外の状況が分からないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンターテインメント機能の使用は、駐車中だけにしてください。運転中の使用は交通事故につながるおそれがあります。
- 運転中のテキスト送信の禁止やハンズフリーの使用義務など、電話の使用に関する法規にしたがってください。BluetoothをONにした状態でも、運転中の携帯電話の使用やプログラミングは交通事故につながるおそれがあります。
- アップグレードプロセス中は、車両は走行できず、ロック解除またはロック、室内ランプ、ウィンカーおよび窓の開閉機能を除いた車両機能は一時的に無効となります。

**▲ 注意**

- タッチスクリーンの破損を防ぐために
  - 指でタッチスクリーンを軽くタッチしても反応がない場合は、タッチスクリーンから指を離してから再びタッチしてください。
  - タッチスクリーンを拭くときは、柔らかい布を使用してください。洗剤の利用はしないでください。
- タッチスクリーンを使うとき
  - ディスプレイの温度が低いとき、表示された画像が暗く見えたり、システムの作動がいつもより遅かったりする場合があります。
  - サングラスをかけてディスプレイを見るとき、暗く見えたり、きれいに見えない場合があります。タッチスクリーンの角度を変えるか、サングラスを外してください。
  - 灰色のタッチスクリーンアイコンは操作できません。
- タッチスクリーンの表示は参考表示であり、具体的には現物に準じます。
- マルチメディアシステムに故障があった場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場にお問い合わせください。

**ナビゲーションバー**

- ↳ : 前の画面に戻す、またはプログラムを終了します。
- 🏠 : メイン画面アイコンをタッチすると、メイン画面に戻ります。
- : マルチタスクアイコンをタッチすると、最近利用していた APP を調べることができます。
- 🔄 : スクリーン回転アイコンをタッチすると、マルチメディアディスプレイの横画面表示・縦画面表示が回転します。
- 📐 : 画面分割アイコンをタッチすると、画面分割に対応する APP が画面分割状態になります。
- 🔒 : 画面ロックキーをタッチすると、スクリーンセーバーの状態になります。
- 🚗 : タッチすると、車両設定画面になります。
- 自車はマップアプリをカスタマイズすることができ\*、目的地の検索、ルート検索、ナビゲーション（オンラインおよびオフライン）、リアルタイムな道路交通情報および交通渋滞情報、音声放送、最適な経路推薦などの機能に対応しており、地点登録や家 / 会社の設定などが可能です。
- マップ画面全体の対話型コントロールがスクリーンに設定されており、最寄りの充電スポットや駐車場などを簡単に調べることができます。



## ジェスチャーおよび応答

ジェスチャー操作および応答は次の通りです。

- **タッチ**：APP を立ち上げる、機能を選択する、スクリーン上のキーを押す、スクリーンのキーで文字を入力する場合は、スクリーンをタッチしてください。
- **ドラッグ**：アイコン、サムネイル、またはプレビューを新規位置へ移動する場合は、押しながら目的の位置にドラッグして離してください。
- **スワイプ**：メイン画面、または APP の画面でこの操作を行うことができます。
- **ダブルタップ**：ダブルタップすると写真を拡大表示することができます。再度ダブルタップすると戻ります。
- **ピンチアウト / ピンチイン**：指 2 本で画面をタッチして間隔を広げると、画像の一部を拡大表示できます。間隔を縮めると縮小表示できます。

## BYD インテリジェント音声制御機能

BYD インテリジェント音声制御機能は、ナビゲーション起動、音楽再生 / ラジオ放送、電話発信、エアコンなどの車内装置の制御を、音声指示で実現できます。

- **音声制御による起動方法**：
  - ステアリングホイール上のキー  を短く押します。
  - インフォテインメントシステム上のアイコン  をタッチします。
  - 音声起動ワード：「ハイ、BYD」。
- ドライバーが BYD インテリジェント音声制御機能を起動した後、ドライバーの音声指示を受信して認識を開始します。
- このとき、ドライバーは音声で任意の指示を出すことができます。
  - 例：「家に帰る（特定場所へのショートカットを設定してください）」、「音楽をかける」、「電話をかける（電話帳にアクセスします。携帯電話の Bluetooth に接続してください）」、「温度を 23 度に設定する」、「運転席シートヒーターをつける」など。BYD インテリジェント音声制御機能が音声指示を識別した後、該当の操作を行います。



## Bluetooth 電話

### Bluetooth 接続

1. Bluetooth 電話画面に入り **Bluetooth 接続** アイコンをタッチすると、ジャンプ接続します。
2. **Scan for device** をタッチすると、接続可能な機器を検出します。
3. 接続可能な機器を選択しペアリングをします。携帯電話とインフォテインメントシステムのペアリングコードが合っていることを確認します。
4. 接続できた後、Bluetooth に対して様々な設定を行うことができます。

### Bluetooth 電話

Bluetooth に接続した後、ダイヤル画面に入ります。

- 連絡先、最近の通話記録および不在着信記録をタッチして発信することができます。または、テンキーパッドで電話番号を入力して電話を掛けることもできます。
-  をタッチするとダイヤル画面が縮小表示されます。再度タッチするとフルスクリーンのダイヤル画面に戻ります。
-  をタッチするとダイヤルキーボードを表示します。再度タッチするとキーボードを隠します。
- 映像画面が表示されている状態で着信がある場合は、受信画面が最小化ウィンドウで開きドライバーに伝えます。

## ファイル管理

### 新規作成

- ファイル管理画面に入ると新規フォルダを作成することができます。カーソルの位置に新規フォルダの名称を入力して、**OK** をタッチします。**キャンセル** をタッチすると新規作成を終了することができます。
- メイン画面の上側をタッチすると、ファイルソースを切り替えることができます。

### 検索

- メイン画面の左上の **検索** をタッチすると検索画面に入ります。検索ボックスにファイル名を入力するとファイルを検索できます。

### 移動またはコピー

- メイン画面のファイルアイコンを長く押しして該当のファイルを選択します。対象の操作 (**コピー**、**移動**、**削除**) を選択し確定をタッチすると、該当コマンドの編集状態に入ります。

### 名前変更

- メイン画面のファイルアイコンを長く押し、表示したダイアログボックスから **名前変更** を選択します。名前を変更する対象フォルダを選択し、表示されたダイアログボックスにフォルダ名を入力して、**OK** をタッチすると完了します。

### 削除

- メイン画面のファイルアイコンを長く押し、削除するファイルを選択すると削除ができます。

### 並び替え

- ファイルは名前順で並んでいます。名前、サイズ、タイプ、時間の4つからファイルを並び替えできます。

### プロパティ

- メイン画面のファイルアイコンを長く押ししてファイルを選択します。**詳細** をタッチするとファイルのプロパティを確認できます。

## BYD APP について

- BYD APP は、BYD が自ら開発した、車のインターネット関連モバイル APP で、遠隔制御、車両状況チェックなどの機能を手軽に確認することができ、お客様を車のインターネットクラウド時代に導いてくれます。
- Google Play 市場または App Store でキーワード「BYD」を検索して、BYD APP をダウンロード・インストールしてください。



## アカウント登録

BYD APP をダウンロードしてインストールした後、携帯電話の案内または次の手順に従って、登録およびアカウントへのサインインを行います。

1. APP を立ち上げて **登録** をタッチし、**登録** 画面に入ります。
2. 車のご購入の際にディーラーで登録したメールアドレスを入力して **メールを送信** をタッチし、キャпча認証文字を取得します。その後 APP に戻りキャпча認証文字を入力します。
3. サインインパスワードの設定画面に入ってパスワードを設定した後、**登録完了** をタッチするとメイン画面に入ります。

### ⚠ 注意

- 必ずディーラーで登録したメールアドレスを入力してください。そうしないと、登録が完了できません。
- APP 右上で国を選択することができます。デフォルトは、お客様の携帯電話のオペレーティングシステムに設定された地域となっています。ご購入先の地域が携帯電話のオペレーティングシステムに設定された地域に一致していない場合は、ご購入先の地域を選択してください。そうしないと、お客様のデータを取得できません。



## 車両状態および車両制御システム

APP トップページに入ると、車両に関連する情報や該当の制御項目を調べることができます。

1. トップページでは、車の航続可能距離、バッテリー残量、車の異常情報、車の走行状態、充電状態、エアコン作動情報、ドアとウィンドウの状態、シートの通気・加熱状態、タイヤ空気圧の異常などを調べることができます。
2. 施錠、解錠、パッシング・ホーン鳴らし、パッシングのアイコン 4 つのいずれかをタッチすると、該当の機能を直接制御することができます。
3. エアコンは、トップページで ON/OFF することができ、**A/C** をタッチすることでエアコン制御画面に入り、温度などを設定することができます。
4. **シート、ドアとウィンドウ、タイヤ空気圧** は、トップページ下側の各制御項目をタッチして該当の画面に入り、状態を調べることができます。
5. お客様の同一アカウントに複数台車両が登録されている場合は、車両名称をタッチすることで車両を切り替えることができます。

### ⚠ 注意

- APP の制御機能は主に遠隔制御シーンに対応するものであり、当該機能を利用する際は、携帯電話と車両をインターネットに接続している状態にしてください。

## 個別センターおよび車両管理

トップページ右上のアイコンをタッチすると、個別センター画面を表示することができます。

- **車両マネージャー** に入ると、車両名およびナンバープレートの番号を変更することができます。
- **アカウントとセキュリティ** に入ると、パスワードの再取得または変更をすることができます。
- **設定** に入ると、プッシュ通知の対象項目の選択や、自動ログインなどの機能を ON/OFF することができます。
- **当社について** に入って、プライバシーポリシーをご閲覧いただき、ご意見をフィードバックするようお願いいたします。



<b>6-1</b>	<b>メンテナンス上の</b>	
	<b>ご注意</b> .....	<b>236</b>
	メンテナンス周期	
	およびメンテナンス内容 .....	236
<b>6-2</b>	<b>定期メンテナンス</b> .....	<b>243</b>
	定期メンテナンス .....	243
	車両の防食について .....	243
	塗装メンテナンスのお願い .....	244
	洗車 .....	245
	車内の清掃 .....	247
<b>6-3</b>	<b>セルフメンテナンス</b> .....	<b>250</b>
	セルフメンテナンス .....	250
	サンルーフの	
	メンテナンスについて .....	254
	車両の保管 .....	256
	ボンネット .....	257
	冷却システム .....	258
	ブレーキシステム .....	259
	ウォッシャー .....	259
	空調システム .....	260
	ワイパーブレード .....	260
	タイヤ .....	262
	フューズ .....	266

## メンテナンス周期およびメンテナンス内容

### 車両メンテナンス計画

- メンテナンス計画は、安定した走行、故障の低減、安全運転およびエコ運転を実現するために設計されています。
- メンテナンスの間隔は、メンテナンス周期表を参照し、オドメーターの表示値や時間間隔に合わせ判断します。いずれかの早い方に準じます。
- 期限切れのメンテナンス項目も、同じ時間間隔でメンテナンスを行う必要があります。
- ホース（冷暖房システム、ブレーキシステムなどに使われるホース）は、メンテナンス周期表にしたがい、専門の技術者に点検を依頼してください。
- それらは、特に重要なメンテナンス項目であるため、それぞれのメンテナンス間隔がメンテナンス周期表に記載されています。ホースに何らかの劣化や破損があれば、ただちに交換してください。
- メンテナンス周期表には、車を常に最適な運転状態に保つために必要なすべてのメンテナンス項目を記載しています。
- メンテナンス作業は、BYD の基準および規格にしたがい、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場を実施するようおすすめします。
- メンテナンス周期表に記載されている点検項目および走行時間や走行距離は、車を通常の交通手段として乗員や荷物の搬送に使う用途を想定して設定しているため、過積載がないようにしてください。

### 注意

- BYD の「品質保証書およびメンテナンスノート」の記載内容にしたがって、定期的に車両メンテナンスを実施してください。

## メンテナンス計画について

車は、通常のメンテナンス周期表にしたがって、メンテナンスを実施してください。

下記に示す 1 つ以上の特別条件のもとで車を操作する場合、メンテナンス計画の一部の項目は、頻繁にメンテナンスを実施する必要があります。

### ■ 路面状況

- 悪路、ぬかるんだ路面、融雪路
- ほこりの多い路面

### ■ 運転状況

- キャンピングトレーラーを含むトレーラーの使用

## メンテナンス周期表

メンテナンス時の走行距離数と使用時間のうち、いずれか早い方に準じます。

メンテナンス項目	メンテナンス周期
シャーシ各部固定ネジの確認および締付*	12 ヶ月、または 20000km 毎に点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
ブレーキペダルと電動パーキングブレーキスイッチの点検	初回は 6 ヶ月、または 5000km で点検し、二回目は 24 ヶ月、または 40000km で点検する。その以後は 24 ヶ月、または 40000km 毎に点検する。 過酷な使用条件の場合、初回は 3 ヶ月、または 5000km で点検し、二回目は 12 ヶ月、または 20000km で点検する。その以後は 12 ヶ月、または 20000km 毎に点検する。
ブレーキパッドとディスクの点検	12 ヶ月、または 20000km 毎に点検する。
ブレーキシステムのラインおよびホースを点検	初回は 6 ヶ月、または 5000km で点検し、二回目は 24 ヶ月、または 40000km で点検する。その以後は 24 ヶ月、または 40000km 毎に点検する。 過酷な使用条件の場合、初回は 3 ヶ月、または 5000km で点検し、二回目は 12 ヶ月、または 20000km で点検する。その以後は 12 ヶ月、または 20000km 毎に点検する。

メンテナンス項目	メンテナンス周期
ブレーキキャリパー ASSY のガイドピンを確認	初回は 12 ヶ月、または 20000km で点検する。その後は 24 ヶ月、または 40000km 毎に点検する。
ステアリング、タイロッドの点検	初回は 12 ヶ月、または 20000km で点検する。その後は 24 ヶ月、または 40000km 毎に点検する。
ドライブシャフトダストブーツの点検	24 ヶ月、または 40000km 毎に点検する。 過酷な使用条件の場合、初回は 3 ヶ月、または 5000km で点検し、二回目は 12 ヶ月、または 20000km で点検する。その以後は 12 ヶ月、または 20000km 毎に点検する。
ボールジョイントダストブーツの確認	24 ヶ月、または 40000km 毎に点検する。 過酷な使用条件の場合、初回は 3 ヶ月、または 5000km で点検し、二回目は 12 ヶ月、または 20000km で点検する。その以後は 12 ヶ月、または 20000km 毎に点検する。
前後サスペンションの確認	24 ヶ月、または 40000km 毎に点検する。 過酷な使用条件の場合、初回は 3 ヶ月、または 5000km で点検し、二回目は 12 ヶ月、または 20000km で点検する。その以後は 12 ヶ月、または 20000km 毎に点検する。
タイヤと空気圧の確認 (TPMS を含む)	初回は 6 ヶ月、または 5000km で点検し、二回目は 12 ヶ月、または 20000km で点検する。その以後は 12 ヶ月、または 20000km 毎に点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
前後輪アライメントの点検	24 ヶ月、または 40000km 毎に点検する。 過酷な使用条件の場合、初回は 3 ヶ月、または 5000km で点検し、二回目は 12 ヶ月、または 20000km で点検する。その以後は 12 ヶ月、または 20000km 毎に点検する。
タイヤローテーション	毎月 1 回以上空気圧とタイヤを点検し、10000km 毎に位置を交換する。

メンテナンス項目	メンテナンス周期
ドアストッパーの確認	湿らせた柔らかい布でチェックロッドのほこりを取り除き、チェックロッド、リベットジョイント、回転軸に0.3～0.8gのグリスを塗布する。12ヶ月、または20000km毎に点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
ホイールベアリングの遊びを確認	24ヶ月、または40000km毎に点検する。 過酷な使用条件の場合、初回は3ヶ月、または5000kmで点検し、二回目は12ヶ月、または20000kmで点検する。その以後は12ヶ月、または20000km毎に点検する。
サブタンクのクーラントレベルを確認	初回は6ヶ月、または5000kmで点検し、二回目は12ヶ月、または20000km毎に点検する。その後は12ヶ月、または20000kmで点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
パワーモーター冷却水の交換	4年、または100000km毎にロングライフ有機酸系クーラントを入れ替える。いずれかの早い方に準ずる
ブレーキフルードの点検	初回は6ヶ月、または5000kmで点検し、二回目は12ヶ月、または20000km毎に点検する。その後は12ヶ月、または20000kmで点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
ブレーキフルードの交換	2年、または40000km毎に入れ替える。
車両モジュールの故障コードを確認 (記録後にクリア)	12ヶ月、または20000kmで点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
パワーバッテリートレイ、ガード、クラッシュバー、取付部のトルクを確認	12ヶ月、または20000kmで点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
パワーバッテリー セルフキャリブレーション	72000km、または6ヶ月毎に (アドバイスを参照)

メンテナンス項目	メンテナンス周期
トランスミッションギアオイルの交換	ギアオイル入れ替えの初回は24ヶ月、または40000kmで、その後は24ヶ月、または40000km毎にギアオイルを入れ替える。
パワートレインに液漏れや衝突などがないかを確認	12ヶ月、または20000kmで点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
高電圧ワイヤーハーネスまたはコネクタの緩みがないかを確認	12ヶ月、または20000kmで点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
高電圧モジュールの外観部品の変形、油の付着の有無を確認	12ヶ月、または20000kmで点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
各充電コネクタのインターフェースに異物、焼損などがないかを確認	12ヶ月、または20000kmで点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
HECフィルター（クリーンエアフィルター）の確認* (HEC: High-Efficiency-Carbon)	12ヶ月、または20000km毎に定期点検を行う。いずれかの早い方に準ずる。 必要に応じて交換する。環境が極端に悪い地域では、6ヶ月毎に点検し、必要に応じて交換する。
電球とLEDが正常に点灯しているかを確認	初回は6ヶ月、または5000kmで点検し、二回目は12ヶ月、または20000km毎に点検する。その後は12ヶ月、または20000kmで点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
ハイビームアシストが正常かを確認	12ヶ月、または20000kmで点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
ロービームの高さ調整が正常かを確認	10000km毎に校正する
EPSグラウンドに異物や焼損がないかを確認	12ヶ月、または20000kmで点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。



メンテナンス項目	メンテナンス周期
EPS コネクタの緩みがないか、コネクタのピンが焼損していないかを確認	12 ヶ月、または 20000km で点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
EPS ECU が腐食していないかを確認	12 ヶ月、または 20000km で点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
EPS ECU とモーターの接続に異物や腐食がないかを確認*	12 ヶ月、または 20000km で点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
高電圧部品に浸水の痕跡がないかを確認	12 ヶ月、または 20000km で点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
ワイパーアームロックナットのトルクを確認	12 ヶ月、または 20000km で点検する。異常や破損がある場合は早めに交換する。
ボンネットロックおよびストライカーを確認	12 ヶ月毎に点検する
※ シャーシ各部固定ネジの確認および締付の点検をするとき、シャーシ部品に異常や破損が見つかった場合は、早めに交換してください。	

**i** アドバイス

パワーバッテリーセルキャリブレーションとは、パワーバッテリーを最適な状態に保つため、定期的（最小6ヶ月、または72000kmで、いずれか早い方に準ずる）にフル放電とフル充電を行い、バッテリーの自己校正による活性化を目的とするものです。普段車両の利用頻度が低く、15～100%の充電をされない方は点検を受けてください。  
BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場にバッテリー容量のテストおよび校正を依頼することも可能です。

過酷な使用条件とは：

- ほこりの多い地域を走行する、または塩分を含む空気にさらされる場合。
- デコボコ路、浸水路や山道を走行する場合。
- 寒冷地を走行する場合。
- 頻繁にブレーキをかける、または急ブレーキをかける場合。
- トレーラーをけん引する場合。
- タクシーとして使用する場合。
- 32℃以上の気温で交通量の多い市街地を走行する時間が、総走行時間の50%を超える場合。
- 30℃以上の気温、120km/h以上の速度で走行する時間が、総走行時間の50%を超える場合。
- 過積載で走行する場合。

## 定期メンテナンス

- 最適な稼働効率で車を運転し、故障の発生を減らすために、メンテナンス周期表のスケジュールにしたがってメンテナンスを実施してください。
- メンテナンスの間隔については、メンテナンス周期表を参照し、オドメーターの表示値や時間間隔に合わせて判断します。ただし、いずれかの早い方に準じます。
- 期限切れのメンテナンス項目も、同じ時間間隔でメンテナンスを行う必要があります。
- メンテナンス作業は、BYDの基準および規格にしたがい、BYD正規ディーラーまたはBYD指定サービス工場を実施するようおすすめします。
- メンテナンス周期表に記載されている点検項目および走行時間や走行距離は、車を通常の交通手段として乗員や荷物の搬送に使う用途を想定して設定しているため、過積載がないようにしてください。

### ⚠ 注意

- BYDの「品質保証書およびメンテナンスノート」の記載内容にしたがって、定期的に車両メンテナンスを実施してください。

## 車両の防食について

### 車両腐食でよくある要因：

- 車の下へのアルカリ性土壌、ほこりや湿気の付着。
- 湿度が高い環境、または車両のある部位が長期間高湿高温にさらされる。
- 軽微な衝突、または小石や砂利で塗装や下地が傷付く。

### 車両腐食を防ぐために、下記のルールを守ってください。

- こまめに洗車します。
  - 冬場、塩分のある路上を走行する、または海沿いに住んでいる場合は、毎月1回以上土や泥がよく付着するところを洗浄します。高圧洗浄機や蒸気でシャーシとホイールハウスを洗浄し、腐食を軽減させます。冬が終わったら、シャーシ部分を徹底的に洗浄してください。
- ボディーの塗装とアクセサリーの点検
  - 塗装の破片や塗装割れがある場合は、腐食を防ぐためにただちに補修してください。塗装剥がれがある場合は、BYD正規ディーラーまたはBYD指定サービス工場で補修するようおすすめします。

### ■ 車内の点検

- 水分やほこりのカーペット下への堆積は腐食につながるため、カーペットの下をよく点検し、それらの部位を乾燥状態に保ちます。
- 化学品、洗浄剤、化学肥料、塩などを運ぶ場合には特に注意してください。適切な容器で運んでください。あふれや漏れがある場合は、ただちにきれいに洗浄し、乾かしてください。

■ 車を十分に換気された乾燥した場所に駐車します。

## 塗装メンテナンスのお願い

■ 色違いや配合不良を防ぐために、塗装に明らかな擦り傷がなければ、容易に再塗装しないでください。

■ 長期間車を放置する場合は、車庫や風通しの良いところに駐車しなければなりません。冬場は、専用ボディーカバーで覆わなければなりません。一時的に駐車する場合、直射日光が当たらない涼しい場所を選びます。

■ ボディーの塗装への強い衝撃、当たり傷や擦り傷を防ぎます。塗装に傷、へこみ、剥がれがある場合は、早めに補修してください。できれば、専門のカーケアショップで補修してください。

■ 化学反応を避けるために、油で汚れた手でボディー塗装の表面を触ったり、油で汚れた布で塗装の表面を拭いたり、油汚れが付いている工具や有機溶剤を含んだ布をボディーの上に置かないように注意してください。

■ 毎月 1 回またはボディー表面の撥水性が落ちたとき、車に専用ワックスを塗布し、定期的に（四半期毎に 1 回）手入れを行い、早めにボディー塗装の輝きを取り戻してください。

■ なお、ボディーコーティングなどの BYD 商品を施工された場合は、お手入れ方法が異なります。詳しくは、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場にお問い合わせください。

### ▲ 注意

- 再度塗装が行われ、かつ高温の塗装ブースに置く間は、車の樹脂製バンパーを取り外す必要があります。高温でバンパーを破損させるおそれがあります。

## 洗車

- 下記の場合は、塗装剥がれ、またはボディーや部品の錆びを引き起こすおそれがあるため、早めに車を洗淨してください。
  - 沿海部で走る場合。
  - 凍結防止剤をまいている道路を走る場合。
  - コールタールが付いている道路を走る場合。
  - 樹脂、鳥の糞や虫の死骸が車に付いた場合。
  - 煙塵、石炭灰、ほこり、鉄くずや化学物質を大量に含んでいる地域で走る場合。
  - 車がほこりや泥で明らかに汚れている場合。
  - 雨が降った後。

### 手洗い洗車をするとき

日が当たらない涼しいところで車が十分に冷えてから車を洗淨します。

1. 洗車ホースで表面の汚れを洗い落とし、車の下回りやホイールの奥に付いているすべての泥や塩分汚れをきれいに洗い落とします。
2. 中性洗剤で車を洗淨するときは、洗剤の取扱説明書にしたがって洗剤を混ぜ合わせてください。柔らかい布に洗剤を浸け、水流方向に上から下へ拭きます。円を描くように拭いたり、横方向に拭いたりしないでください。
3. 十分に洗い落とします——洗剤が乾くと、痕が残ります。暑い時期に洗車した後は、水で各部分をきれいに洗い流します。
4. 水痕が残らないように、きれいで柔らかいタオルでボディーの水分を拭き取ってください。強く拭いたり、押し付けて拭いたりすることを避けてください。塗装が傷付くおそれがあります。

#### 警告

- 下回りを洗うときは、手に怪我をしないように注意してください。
- 洗車のときは、モータールーム内に水をかけないでください。電気部品が故障するおそれがあります。
- 高圧洗淨機で、センサーやカメラ部に衝撃を与えないでください。精密機器のため、故障や感電につながるおそれがあります。

### **i** アドバイス

- 強アルカリ性の粉石鹼、石鹼水、洗剤、脱脂洗浄剤、有機物質（ガソリン、灯油、揮発油、または強溶剤）を使わないでください。
- コンビネーションランプを洗浄するとき、ガソリン、アルコール、シンナー、希釈剤、四塩化炭素などの化学溶剤でコンビネーションランプの表面を拭かないでください。コンビネーションランプのレンズ割れにつながるおそれがあります。
- 沿海部や汚染が深刻な地域で走る車については、毎日1回洗い流すようおすすめします。
- ボディーの汚れをカッターで削ったり、ガソリンで洗ったりしないでください。有機物質によってプラスチック製ホイールトリムは簡単に損傷します。有機物質がホイールトリムに付いたとき、必ず水で洗い流したうえで部品の傷みがないかを点検してください。著しい破損があるプラスチック製ホイールトリムは早めに交換してください。車が移動中にホイールトリムが外れ、事故を起こすおそれがあります。
- 研磨剤を含んだ洗浄剤でバンパーを拭かないでください。
- メッキ処理の金属部品の洗浄は、専用の洗剤を使って、定期的に専用ワックスを塗布することをおすすめします。

### 自動洗車をするとき

自動洗車機で洗車するとき、ブラシのタイプ、ろ過されていない洗浄水、または洗車機に設定された洗浄プログラムに注意してください。塗装面に傷がつくおそれがあります。塗装表面の擦り傷は、特に色が濃い車で、塗膜の耐久性や光沢度を低下させます。洗車前に、できるだけ洗車専門店のスタッフに問い合わせ、塗装面に最も安全な洗車プログラムを確認してください。

## 車内の清掃

### **i** アドバイス

- 内外装を洗浄するとき、水が直接インストルメントパネル、床や近くの電気部品に流れ込まないようにしてください。水の侵入により、機能の異常につながるおそれがあります。
- ボディー腐食を避けるために、水で車の床を洗浄しないでください。

### カーペット

- 高品質の泡タイプの洗剤でカーペットを洗浄してください。
- まずは、できるだけ掃除機でほこりをきれいに掃除します。使える泡タイプ洗剤が数種類あります。スプレーもあれば、粉末や液体で水と混合して泡を発生させるものもあります。泡立てたスポンジやブラシでカーペットを洗浄し、円を描くように拭きながら洗浄します。
- 水を使わず、できるだけカーペットを乾燥状態に保ってください。

### **▲** 警告

- カーペットがペダルに干渉しないように、運転席のカーペットが正しく固定されていることを確認してください。また、カーペットの上に別のカーペットやその他のカバーを重ねないでください。

### シートベルト

- シートベルトは、中性石鹼水やぬるま湯でクリーニングすることができます。
- スポンジや柔らかい布でシートベルトを拭きます。洗浄中に、シートベルトに過度な摩耗、破れや切れがないかを点検してください。

### **▲** 注意

- 染色剤や漂白剤でシートベルトを洗浄しないでください。シートベルトの強度が落ちるおそれがあります。
- シートベルトは、乾燥するまで使わないでください。

## ドアおよびドアガラス

- ドアおよびドアガラスは、一般家庭用の洗剤で洗浄できます。
- 定期的にドアチェッカーを点検します。チェッカーのロッドにほこりが明らかに付着しているとき、水で濡らした布でドアチェッカーのロッドを拭き、表面のほこりを落とす必要があります。

### ▲ 注意

- リアガラス内側のクリーニングを行うときは、熱線およびその接続部を傷付けたり破損させないように注意してください。

## エアコンパネル、カーオーディオ、インストルメントパネル、コントロールパネルとスイッチ

- エアコンパネル、カーオーディオ、インストルメントパネル、コントロールパネルとスイッチは、水で濡らした柔らかい布でクリーニングします。
- 水や温水で濡らしたきれいな布でほこりを軽く拭き取ります。

### ▲ 注意

- 有機物質（溶剤、灯油、アルコール、ガソリンなど）、酸性やアルカリ性溶液を使わないでください。表面の変色、シミや剥がれにつながるおそれがあります。
- 洗剤や艶出し剤を使う場合は、その組成に上記の物質を含んでいないことを確認してください。
- 新規の液体洗剤を使う場合は、液体を車内の表面にこぼさないでください。液体に上記の成分を含んでいる可能性があるため、液体をこぼした場合は、素早くきれいに拭き取る必要があります。

## 車内の人工皮革部分

- 人工皮革部分は、毛織物に使える中性洗剤で洗浄することができます。
- 中性洗剤の溶液を浸けた柔らかい布でほこりを拭き取ってから、水で濡らしたきれいな布で残りの洗剤を完全に拭き取ります。
- 洗浄後、または人工皮革が濡れたとき、きれいで柔らかい布で水分を拭き取り、風通しが良い涼しいところで人工皮革を乾かします。
- 車の洗浄について、何かご質問がありましたら、現地のBYD 正規ディーラーまたはBYD 指定サービス工場に問い合わせてください。



**▲ 注意**

- 中性洗剤で汚れが取れない場合は、有機溶剤を含まない洗剤で洗浄することができます。
- 揮発油、アルコール、ガソリン、酸性やアルカリ性溶液などの有機物質で人工皮革を洗浄しないでください。それらの物質は、人工皮革の色落ちにつながります。
- ナイロンブラシや人造繊維製の布などを使うと、人工皮革表面の模様が傷付きます。
- 汚れている人工皮革部分は、カビが生えます。特に油污れに注意し、常に人工皮革部分を清潔に保ってください。
- 日光に長時間さらされると、人工皮革の表面が固くなったり、縮んだりします。そのため、特に夏場は車を日が当たらない涼しいところに駐車してください。
- 夏の暑い時期は、車内の温度が上昇しやすいので、人工皮革部分の上には、ポリエチレン製やワックスを含む材料で作られたものを置かないようにしてください。それらのものは、高温で人工皮革に固着してしまいます。
- 人工皮革部分の洗浄を誤ると、色が落ちたり、まだらになったりします。

## セルフメンテナンス

### セルフメンテナンス上のご注意

- 自らメンテナンスを行う場合は、本章に記載された手順で正しくメンテナンスをしてください。
- 不適切で不完全なメンテナンスは、車の正常な使用に影響をおよぼすことをご了承ください。
- 本章には、ユーザー本人が簡単に実施できるメンテナンスのみ記載しています。ただし、資格のある技術者が専用工具で行わなければならない項目は、まだ多くあります。
- 車のメンテナンスを行うときは、思わぬ怪我を防ぐために、細心の注意を払ってください。下記のいくつかの注意事項を必ず守ってください。

### 警告

- パワーバッテリー充電接続表示灯が点灯・点滅しているときは、整備作業を行わないでください。高電圧システムで感電するおそれがあります。
- メンテナンスを行うときは、車両から充電コネクタを取り外してください。
- モータールーム内の作業時は、電源ポジションを OFF にしてください。EV システム作動中に手や工具などを入れると思わぬ怪我をするおそれがあります。
- ルーフに積もった雪は落としてください。ウィンドウガラスに滑り落ちる雪が視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車両を長期間駐車していると、小動物が巣を作り、思わぬ火災につながる可能性があるので注意してください。
- 規定の容量以外のフューズや、フューズの代わりに針金などを絶対に使用しないでください。電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。
- 自動車で使用される液体（バッテリー酸、バッテリー冷却水、ブレーキフルード、フロントガラス ウォッシュ液など）の中には有毒なものがあり、これらの液を吸入または飲み込んだり、傷口に触れさせたりしないでください。安全のため、液体容器に表示されている説明を必ず読み、その指示にしたがってください。

**▲ 注意**

- 車の一部の回路や部品には高電流や高電圧がかかっているため、ショートさせないように細心の注意を払ってください。
- 冷却水があふれた場合は、部品や塗膜の破損を防ぐために、乾燥した布や紙できれいに拭き取ってください。
- ブレーキフルードがあふれた場合は、部品や塗膜の破損を防ぐために、水できれいに洗い流してください。
- ワイパーブレードを交換するとき、ワイパーでガラス表面に傷が付かないようにしてください。
- ボンネットを閉めるとき、工具、布などがモータールーム内に残っていないかを点検してください。
- 車内や車外を問わず、異物や液体が目に入らないように、作業時は保護メガネをかけてください。
- ブレーキフルードは皮膚や目を傷めるため、ブレーキフルードを注入するとき、充分注意してください。ブレーキフルードが皮膚や目に付着した場合は、ただちに水で付着部位を洗い流してください。まだ手や目の痛みなどがある場合は、ただちに医師の手当てを受けてください。

**点検**

使用状況や推奨の走行距離にしたがって、下記に示す項目を点検してください。

- 冷却水レベル——充電のたびにラジエーターの冷却水レベルをチェックしてください。
- ウォッシュ液——毎月1回リザーブタンクのウォッシュ液の残量を点検してください。悪天候で頻繁にウォッシュ液を使った場合は、充電のたびにウォッシュ液の残量をチェックしてください。
- フロント・リアガラスワイパー——毎月1回ワイパーを点検します。ワイパーがフロント・リアガラスをきれいに拭き取れない場合は、摩耗、亀裂やその他の損傷がないかを点検してください。
- ブレーキフルードレベル——毎月1回レベルを点検してください。
- ブレーキペダル——ブレーキペダルがスムーズに操作できるかを点検します。
- 電動パーキングブレーキスイッチ——スイッチが正常に機能していることを点検します。
- 起動バッテリー——毎月1回バッテリーの状況および端子の腐食状況を点検してください。
- 空調システム——毎週エアコン装置の稼働状況を点検してください。

- **タイヤ**——毎月 1 回タイヤ空気圧を点検してください。タイヤトレッドの摩耗状況および異物の挟み込みがないかを点検します。
- **ガラスデフロスト**——毎月、暖房装置やエアコンを使うときは、デフロスト装置の吹き出し口を点検してください。
- **ライト**——毎月 1 回ヘッドライト、ポジションランプ、テールライト、ハイマウントストップランプ、ターンシグナルランプ、リアフォグランプ、ブレーキランプおよびリアライセンスプレートランプの状況を点検してください。
- **ドア**——テールゲートおよび他のドア（リアドアを含む）のスイッチはすべて確実にスムーズに施錠できるかを点検します。
- **ホーン**——ホーンに異常がないかを点検します。

### **i** アドバイス

- 未点検の車を運転しないでください。車を大きく破損させたり、人に怪我を負わせたりするおそれがあります。

## コンビネーションランプ

### フロントコンビネーションランプの光軸調整

- 工場出荷時、フロントコンビネーションランプの光軸調整が行われています。重い荷物を運ぶことが多い場合は、新たにフロントコンビネーションランプの光軸調整を行う必要があります。フロントコンビネーションランプの光軸調整については、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に依頼するようおすすめします。

### ライトの曇り

- 大雨や洗車の後、コンビネーションランプ、テールライト、またはドアミラーのターンシグナルランプには曇りが発生することがあります。これは、雨天時に車内側のドアガラスが結露することと似ていますが、車が故障しているわけではありません。
- ライトは、空間が相対的に密閉し、かつ狭く、点灯時の温度が高いため（レンズ、リフレクターなどが高温で変形しやすい）、放熱用の通気口が必要です。点灯時、放熱するために、ライトは、ケースに設置された放熱用通気口を通じて、周辺環境と対流を発生させます。温度差が高いほど、対流が活発になります。対流する中でどうしても空気中の水蒸気がライト内部に持ち込まれ、日光、対流、ランプ発熱量などによって、温度が低いところの表面に結露や水滴が発生します。その現象はライト曇りと呼ばれています。

**⚠ 警告**

- 事故などで破損したライトのまま走行しないでください。内部に水が入ることにより、火災につながるおそれがあります。

**i アドバイス**

- コンビネーションランプの内側、ドアミラー内のターンシグナルランプの内側に曇りが発生する場合、空気の湿度が高い、または車と周辺環境との温度差が大きいことが考えられます。運転時、コンビネーションランプやターンシグナルランプをつけてしばらく走ると、ライト内の水蒸気は消えます。
- ライト内に水が明らかに入っている場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場で点検を行うようおすすめします。

## サンルーフのメンテナンスについて

### パノラマサンルーフのメンテナンスについて \*

1. 濡れた布でサンルーフ外側のウェザーストリップに付いているほこりや砂を拭き取ります。拭き取るとき、ウェザーストリップが傷付かないように注意してください。サンルーフの気密性が落ちるおそれがあります。
2. 濡れた布でフロントルーフガラスの成型部に付いているほこりや砂を拭き取ります。拭き取るとき、ウェザーストリップが傷付かないように注意してください。サンルーフの気密性が落ちるおそれがあります。
3. ほこり、砂、落ち葉などにより排水口が詰まり、サンルーフの排水不具合が起きることを防ぐために、リアルーフガラスの先端部をよく掃除します（フロントルーフガラスを全開にした後）。
4. ほこり、砂、落ち葉などにより排水口が詰まり、サンルーフの排水不具合が起きることを防ぐために、両サイドのレールおよびフロント排水溝をよく掃除します。
5. 洗車中に、高圧洗浄機でウェザーストリップに水を直接吹き付けないようにしてください。高圧洗浄機の圧力を受けると、ウェザーストリップの変形や破損につながりやすく、車内への水漏れも起きやすくなります。
6. 冬場、サンルーフがよく凍り付きます。このとき、強制的にサンルーフを開けると、ウェザーストリップや他のサンルーフ部品を破損させるおそれがあります。しばらく暖機運転を行うと同時に、エアコンの暖房システムを使用して、速くサンルーフを解凍させます。車内が一定の温度まで温まってから、再びサンルーフを開けてみてください。サンルーフの凍結を避けるために、サンルーフに残った水分を拭き取ってください。
7. デコボコが激しい道路では、サンルーフを全開にしないでください。サンルーフとガイドレール間の強い振動により、関係部品が変形し、モーターまで破損させるおそれがあります。また、雨天時や洗車時、サンルーフを開けないでください。

### 普通のサンルーフのメンテナンスについて\*

1. 濡れた布でウェザーストリップに付いているほこりや砂を拭き取ります。拭き取るとき、ウェザーストリップが傷付かないように注意してください。サンルーフの気密性が落ちるおそれがあります。
2. 濡れた布でルーフ板金周りに付いているほこりや砂を拭き取ります。サンルーフを閉めるとき、ウェザーストリップの摩耗が起き、サンルーフの気密性が落ちるおそれがあります。
3. ほこり、砂、落ち葉などにより排水口が詰まり、車内への水漏れが起きるのを防ぐために、レールおよびフロント排水溝などの部品をよく掃除します。
4. 洗車中に、高圧ガンでウェザーストリップに水柱を直接吹き付けないようにしてください。高圧ガンの圧力を受け、ウェザーストリップの変形や破損につながりやすく、車内への水漏れも起きやすいです。
5. 冬場、サンルーフがよく凍り付きます。このとき、強制的にサンルーフを開けると、ウェザーストリップや他のサンルーフ部品を破損させるおそれがあります。しばらく暖機運転を行うと同時に、エアコンの暖房システムを OFF にして、速くサンルーフを解凍させます。車内が一定の温度まで温まってから、再びサンルーフを開けてみてください。サンルーフの凍結を避けるために、サンルーフに残った水分を拭き取ってください。
6. デコボコが激しい道路では、サンルーフを全開にしないでください。サンルーフとガイドレール間の強い振動により、関係部品が変形し、モーターまで破損させるおそれがあります。また、雨天時や洗車時はサンルーフを開けないでください。

## 車両の保管

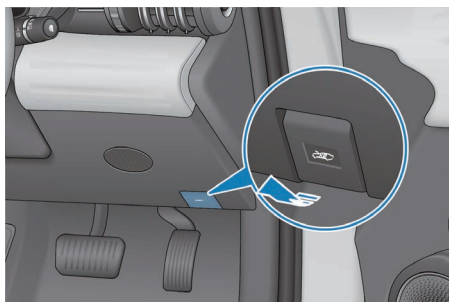
- 長期間（1ヶ月以上）車を放置する場合は、下記に示す準備が必要です。適切な準備は、車の性能などの劣化を効果的に防止します。できれば、車を屋内に駐車してください。
- 推奨の時間通り充電します。
- ボディーの外部を徹底的に洗浄し、乾かします。
- 車内を掃除し、カーペット、床などを完全に乾かします。
- パーキングブレーキを解除し、シフトレバーをパーキングレンジに切り替えます。
- ドアガラスを一枚少し下げます（屋内駐車の場合）。
- モータールームのバッテリーのマイナス端子を取り外します。
- フロントワイパーアームがウィンドウガラスに接触しないように、ワイパーアームの下に折りたたんだタオルや布を入れておきます。
- 固着を軽減させるために、すべてのドアのシール部にシリコン潤滑剤を塗り付け、ドアウェザーストリップ接触部の塗膜表面にボディーワックスを吹き付けます。
- 布のような「多孔質材料」で作られた通気性カバーでボディーを覆います。ビニールシートのような無孔質材料では、湿気が溜まり、ボディー表面の塗膜を破損させることがあります。
- できれば、定期的に車を始動させます（毎月1回を推奨）。車を1年間、またはそれ以上に放置した場合は、BYD 正規ディーラーまたはBYD 指定サービス工場で全面的なメンテナンスを行うようおすすめします。



## ボンネット

### ボンネットの開け方

1. インstrumentパネル下の右側にあるボンネットリリースレバーを2回連続で引き上げると、ボンネットが解錠され、少し隙間ができるように開きます。



2. ボンネットを開けるとき：ボンネットを持ち上げて、ボンネットステーでボンネットを支えます。
3. ボンネットを閉めるとき：ボンネットを閉めるとき、フロントグリルから約30cm高い位置に下げたところから、両手を離し、自重で落下させ、ロックします。
4. ボンネットを閉めた後、確実にロックされていることを確認してください。



6

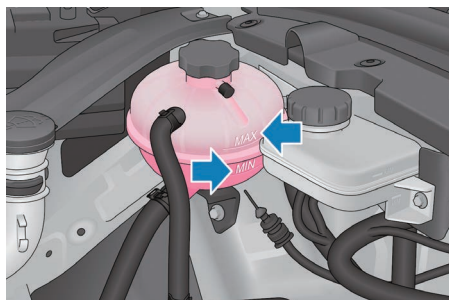
お手入れとメンテナンス

#### **!** 警告

- ボンネットが閉まり、しっかりロックされていることを確認します。しっかりロックされていない場合、運転中に、ボンネットが突然開き、事故につながるおそれがあります。
- 強風時は、ボンネットをしっかり持ちゆっくり開けてください。
- 開けたボンネットに頭などをぶつけないよう注意してください。
- ボンネットを閉めるときは、手などを挟まないように注意してください。

## 冷却システム

- 液面がリザーバタンクの最大値 (MAX) と最小値 (MIN) の間であれば、問題ありません。
- 冷却水は、添加剤を入れずに BYD 指定の冷却水と同じ仕様のもので使ってください。異なるブランドや型番の冷却水を、混ぜ合わせて使用してはなりません。



- 下限の目盛りを下回る場合は、上限 (MAX) の目盛りに達するまで冷却水を補充してください。冷却システムの漏れがないかを点検します。

### ⚠ 警告

- ラジエーターなどの高温部に触れると、やけどをするおそれがあります。
- モーターが完全に冷えていないときにリザーバタンクの蓋を開けると、冷却水の噴出により、重度のやけどにつながるおそれがあります。

### ℹ アドバイス

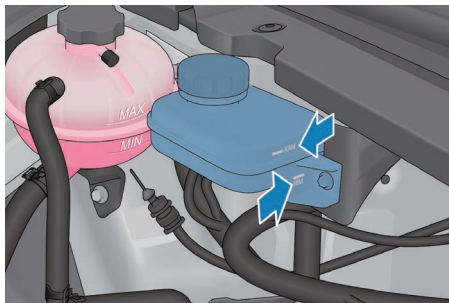
- バッテリー冷却水が直射日光などの紫外線が強い環境にさらされると、色が落ちる可能性があります。車の使用やメンテナンスのとき、ボンネットを開ける必要がある場合は、直射日光を避けるようにしてください。

### ⚠ 注意

- 絶対に冷却システム内に防錆剤や他の添加物を追加しないでください。添加物は、冷却水やモーターの部品と相性が悪い可能性があるためです。
- リザーバタンクの蓋を開ける前に、モーター、集積型高電圧電気制御モジュール、リザーバタンクおよびラジエーターがすべて冷えていることを確認してください。
- BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場ではバッテリー専用の冷却水を注入するようおすすめします。

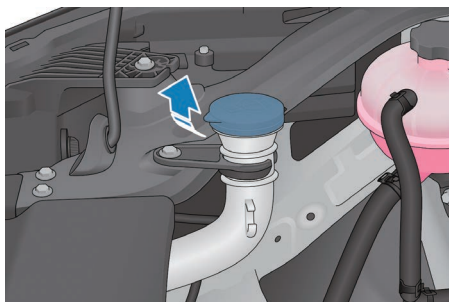
## ブレーキシステム

- 毎月 1 回ブレーキフルードリザーバタンク内のフルードレベルを点検してください。ブレーキフルードは、定期メンテナンス表に記載された走行時間と走行距離にしたがい交換してください。
- ブレーキフルードは、純正品のブレーキフルードと同じ仕様のもので使ってください。また、規格外のブレーキフルードは、混ぜ合わせて使用してはなりません。
- フルードレベルがリザーバタンクの「MAX」(最大値)と「MIN」(最小値)の間であれば、問題ありません。
- メーターにブレーキフルードレベルが低いと表示された場合は、ブレーキシステムからの液漏れやブレーキパッドの摩耗がないかを点検する必要があります。



## ウォッシャー

- 通常の使用中は、毎月 1 回以上ウォッシャー液タンクのレベルをチェックしてください。
- 悪天候でウォッシャーをよく使う場合は、ウォッシャー液タンクのレベルを確認する頻度を増やしてください。
- 高品質のウォッシャー液を補充してください。汚れをよく落とし、凍結を防ぐことができます。
- ウォッシャー液タンクにウォッシャー液を補充する場合は、ウォッシャー液を付けたきれいな布でワイパーのブレードを拭いてください。ブレードのゴム刃を良好な状態に保つことができます。



### 警告

- ウォッシャー液を補充するときは、ウォッシャー液を高温部にかけないでください。出火するおそれがあります。

**⚠ 注意**

- 絶対にウォッシュ液タンクに酢水溶剤を注入しないでください。
- 適合したウォッシュ液を使うようおすすめします。

**空調システム**

- 車の空調システムはクローズドシステムです。大事なメンテナンス作業のすべては、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場の整備士によって実施されるようおすすめします。
- 空調システムを正常に機能させるために、ご自身で作業できることを下に示します。
  - ラジエーターおよびエアコンコンデンサーを定期的に点検します。
  - その前側の表面に詰まっている落ち葉、虫およびほこりを取り除きます。それらの異物が詰まると、空気の流れを妨げるため、冷房能力が落ちます。
  - 寒い季節は、毎週 1 回以上、毎回 10 分以上エアコンをつけてください。冷媒に含まれている潤滑油を循環させるためです。
- 空調システムの冷房能力が通常より落ちている場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場 で点検を行うようおすすめします。

**⚠ 注意**

- 空調システムの点検では、確実に冷媒の再循環装置を使わなければなりません。この装置は、冷媒をリサイクルすることができます。冷媒を大気に出すと、環境汚染につながります。

**ワイパーブレード**

ブレードの材質は合成ゴムで、消耗品です。車両の使用環境やドライバーの使用習慣によりブレードが破損することがあるため、ブレードの寿命と安全を確保するために、下記に示すことに注意してください。

- ブレードでウィンドウガラスの表面に付いている氷を拭き取らずに車両専用のアイス・スクレーパーを使ってください。
- 汚れ、油やワックスが付着しているウィンドウガラスの表面をブラシでこすらないでください。

- ガラスの表面をきれいに保ちます。ガラスの表面に付着しているほこり、砂、虫や異物などを取るために、ガラスの表面をこすらないでください。
- 洗車時やボディー塗装のメンテナンス時、ウィンドウガラスに専用ワックスを吹き付けしないでください。暗いとき、ワックス層が光を反射し、視野や安全走行に影響をおよぼします。洗車後、水でブレードを洗い、専用のワックス除去剤でウィンドウガラスに付着したワックスを落としてください。
- 洗車時、強い水圧によるブレードの破損を防ぐために、高圧洗浄機でブレードに水を直接吹き付けしないでください。

## メンテナンス細則

- 定期的にウィンドウガラスとブレードを洗浄します（1週間～2週間毎に1回を推奨）。
  - 定期的にワイパーを作動させます（1日～2日毎に1回を推奨）。ブレードでウィンドウガラスをワイピングするとき、ガラスを十分に濡らさなければなりません（雨が降っていないときは、まずウォッシュ液をガラスに噴射します）。
  - ウィンドウガラスを専用の洗剤で洗浄します。
  - ウィンドウガラスに付着している泥、虫の死骸は、早めに布できれいに拭き取ってください。
  - ウィンドウガラスに飛び石などによる傷が付いている場合は、早めにメンテナンスを行います（ウィンドウガラス修復用樹脂製品の使用を推奨。傷が多かったり、大きかったりする場合、ウィンドウガラスの交換を推奨）。
  - ワイパーブレードを定期的に交換します。半年に1回をおすすめします。
  - ウィンドウガラスを洗浄するとき、事前にワイパーアームを立てておかなければなりません。操作方法の詳細は次の通りです。
1. **マルチメディア → 車両状況 → リペアー** 画面で **Fr. ワイパーチェック** をONにすると、ワイパーアームが立てられる位置に動きます。
  2. ワイパーアームの上側を持ち、ワイパーアームとブレードアセンブリをしっかりと引き上げます。

## タイヤ

安全運転のために、タイヤは自転車に適合する型番やサイズを選定します。また、トレッドパターンが良好で、適正空気圧になっていなければなりません。

### ⚠ 警告

- 過度な摩耗があり、空気圧が不足した、またはタイヤ空気圧が高すぎるタイヤを使うと、生命にかかわる事故につながるおそれがあります。
- 本マニュアルに記載されている空気圧調整およびメンテナンスに関する内容にしたがわなければなりません。
- 著しく摩耗に差のあるタイヤや、空気圧が規定値と著しく異なるタイヤは装着しないでください。車の性能が発揮できず、安全性を損ない、故障の原因となるおそれがあります。

## 空気を入れるとき

- タイヤ空気圧の適切な調整は、操縦性、タイヤトレッドの寿命および運転快適性の最適な組み合わせを実現します。
- 空気圧不足のタイヤを使うと、タイヤの偏摩耗が起こり、操縦性やエネルギー消費に影響をおよぼし、更に過熱によるエア漏れにつながるおそれがあります。
- 空気圧が高すぎるタイヤを使うと、車の快適性が悪くなり、路面のデコボコにより、タイヤが傷付き、ひどい場合にバーストを引き起こすおそれもあります。それと同時に、タイヤの偏摩耗が起こり、タイヤの寿命を短縮させます。
- 冷間時（車にタイヤ空気圧モニタリングシステムを装備）、メーターに表示されたそれぞれのタイヤ空気圧により、空気補充の必要性を判断することができます。
- タイヤ空気圧は冷間時に測定しなければなりません。それは、少なくとも停車してから3時間後に測定することを意味します。タイヤ空気圧を測定する前に走らなければならないとき、走行距離が1.6kmを超えなければ、冷間時と考えて問題ありません。
- 温間時の（数kmほど走った後）タイヤ空気圧を点検する場合は、圧力計の指示値が冷間時より30～40kPa（0.3～0.4bar）高くなります。このような現象は異常ではありません。指示値が推奨の冷間時空気圧になるまでエアを抜かないでください。空気圧不足につながります。

## **i** アドバイス

- 推奨するタイヤ空気圧のラベル（運転席側ドア開口部に貼ってあります）には、推奨の冷間時空気圧が明記されています。
- パンク時、チューブレスタイヤは一気に空気が抜けにくい性質がありますが、エアがゆっくり漏れているため、タイヤ空気圧が下がり出したら、エア漏れの位置を特定しなければなりません。

## 点検

- タイヤ空気圧を点検するときは、タイヤの傷や摩耗状態、異物などが刺さっていないかも合わせて点検してください。
  - タイヤトレッドや側面の傷および膨らみ。いずれかがあった場合は、タイヤを交換しなければなりません。
  - タイヤ側面の擦り傷、割れや切れ。カーカスやビードワイヤーが見えた場合は、タイヤを交換しなければなりません。
  - タイヤトレッドの過度な摩耗。
- タイヤトレッド内部にスリップサインが設置されています。タイヤトレッドの摩耗によりスリップサインが現れると、溝の深さが1.6mm以下であることを意味します。摩耗がここまで進んだタイヤは、滑りやすい路面で走るときのグリップ力が悪くなります。
- タイヤトレッドにスリップサインが現れるまで摩耗したとき、タイヤ性能が著しく落ちるため、タイヤを交換してください。



## メンテナンス

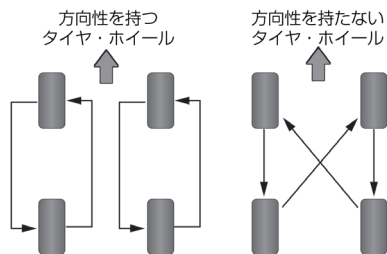
- 適切な空気補充以外に、正確なホイールアライメントもタイヤトレッドの摩耗を効果的に軽減させます。
- タイヤの偏摩耗が起きた場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場でのホイールアライメントの点検を行う必要があります。
- 工場出荷前に、ホイールアライメント調整が行われていますが、一定の時間走った後、ホイールアライメント調整を新たに行う必要があります。
- 比較的高い速度（80km/h）で運転するときは継続的に振動を感じているが、低速時には振動を感じていない場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場でのタイヤの点検を行うようおすすめします。
- 補修したタイヤが1つでもある場合は、必ずホイールアライメント調整を新たに行ってください。
- 新しいタイヤを装着したり、新しいホイールに交換したりする場合は、必ずホイールアライメント調整を行ってください。

### ⚠ 注意

- バランスウェイトの取り付けを誤ると、ウェイトが脱落し、走行時に自車や周りのものを破損させるおそれがあります。
- バランスウェイトの取り付けを誤ると、車のアルミホイールを破損させるおそれがあります。

## タイヤの位置交換

- タイヤの摩耗を一定に保ちタイヤを長持ちさせるため、タイヤの位置を定期的に交換すると同時に、ホイールアライメントの点検・調整を行う必要があります。
- 交換用タイヤを購入する際、「方向性」が決まっているタイヤがあります。このようなタイヤは、同じ回転方向で位置交換しなければなりません。方向性があるタイヤを使う場合は、図のようにフロントタイヤ、リアタイヤの入れ替えしかできません。
- タイヤの装着位置を交換すると、専用診断機によるキャリブレーションを行う必要があります。実施する際は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場へお問い合わせください。





## タイヤとホイールの交換

- 本車のオリジナルタイヤは、車両性能を最大限に引き出すために選定されたもので、それと同時に操縦性、乗り心地の良さおよび使用寿命の最適な組み合わせとなっています。
- BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場にて指定タイヤに交換するようおすすめします。
- ABS（アンチロックブレーキシステム）は、タイヤの回転数を比較することで機能するものです。タイヤを交換するとき、オリジナルタイヤと同じサイズのものを使わなければなりません。タイヤのサイズおよび構造は、ホイールの回転数に影響をおよぼし、システムの動作不一致につながるおそれがあります。
- ホイールを交換する必要があるとき、新品ホイールは、オリジナルホイールの仕様に合っているものでなければなりません。新品ホイールは、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場から購入することができます。ホイールを交換する前に、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に問い合わせるようおすすめします。

### ⚠ 警告

- サイズ、負荷範囲、定格回転数および最大の冷間時空気圧（タイヤの側面に表示）が異なるラジアルタイヤに交換したり、ラジアルタイヤとダイアゴナル構造のテンパータイヤを混用すると、車の制動能力、駆動力（グリップ力）および操舵精度の低下につながり、安全性が損なわれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤを誤って装着すると、車の操縦性や安定性に影響をおよぼし、生命にかかわる事故につながるおそれがあります。
- できれば 4 つのタイヤを同時に交換してください。1 つのタイヤだけを交換しないでください。車の操縦性に著しい影響をおよぼします。

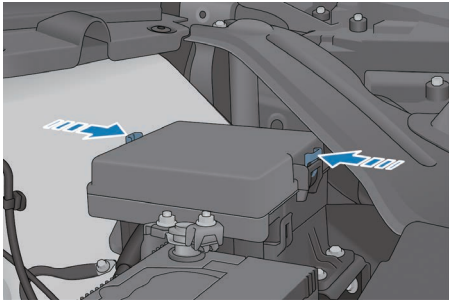
### i アドバイス

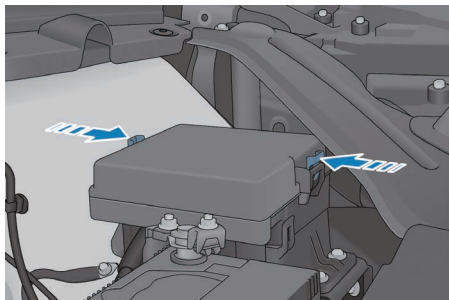
下記に示すことを守ってください。操縦上、代表的な危険を引き起こし、車が制御できなくなるおそれがあります。

- 車にはラジアルタイヤ、バイアスタイヤやダイアゴナル構造のテンパータイヤを混用しないでください。
- メーカーの推奨サイズ以外のタイヤを使わないでください。

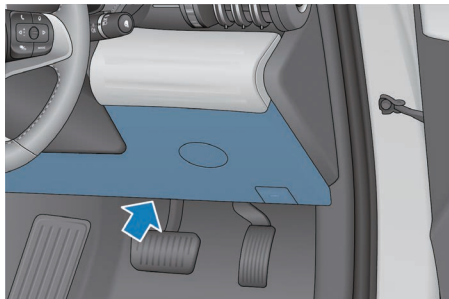
## フューズ

ショートや過負荷を防ぐために、車の回路毎にフューズを設置しています。それらのフューズは、モータールームのフューズボックスとインストルメントパネルのフューズボックスに格納されています。フューズボックスの中にはフューズのラベルが貼ってあります。ラベルでフューズと電気部品との関係が特定できます。

- モータールームのフューズボックスは、モータールームの左側後部にあります。それを開けるには、まずモータールームの化粧板を取り外し、それからのようにクリップを押すと、フューズボックスが開きます。



- 車内の運転席側のインストルメントパネルのフューズボックスは、インストルメントパネルの右側にあります。インストルメントパネル下側を取り外すと、フューズの点検ができます。



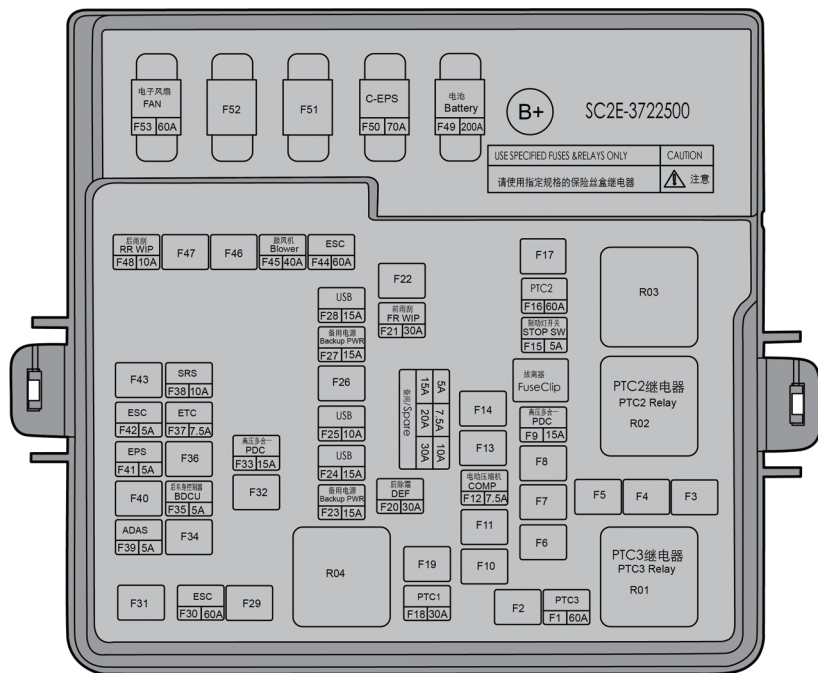
- アンペア数が高いフューズで切れたフューズを入れ替える場合は、対象電気システムを破損させる可能性が極めて大きくなります。

- 回路に適合するアンペア数の代替フューズがない場合は、代替品としてアンペア数が比較的小さいフューズを使ってください。

### **i** アドバイス

- 定格アンペア数より高いフューズを使わないでください。また、フューズの代わりに他のものを使わないでください。著しい破損を引き起こし、火災を招くおそれがあります。
- フューズが切れた後、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場点検や交換を行うようおすすめします。

モータールームのフューズボックスラベル

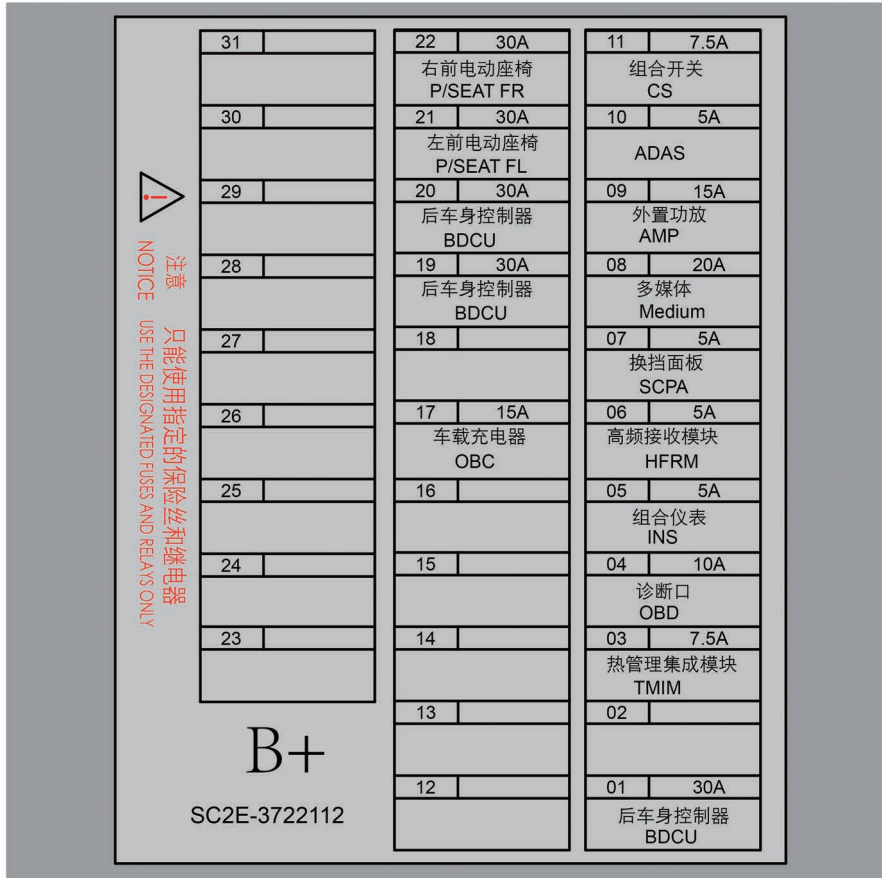


番号	アンペア (A)	保護対象のユニットまたは回路
F1	60	PTC3
F2	-	-
F3	-	-
F4	-	-
F5	-	-
F6	-	-
F7	-	-
F8	-	-
F9	15	高電圧統合 PDC コントローラー
F10	-	-
F11	-	-
F12	7.5	電動コンプレッサー
F13	-	-
F14	-	-
F15	5	ブレーキランプスイッチ
F16	60	PTC2

6  
お手入れとメンテナンス

番号	アンペア (A)	保護対象のユニットまたは回路
F17	-	-
F18	30	PTC1
F19	-	-
F20	30	リアデフロスター
F21	30	フロントワイパー
F22	-	-
F23	15	アクセサリ電源
F24	15	USB
F25	10	USB
F26	-	-
F27	15	アクセサリ電源
F28	15	USB
F29	-	-
F30	60	ESC
F31	-	-
F32	-	-
F33	15	高電圧統合 PDC コントローラー
F34	-	-
F35	5	リアボディーコントロールモジュール
F36	-	-
F37	7.5	ETC
F38	10	SRS
F39	5	ADAS
F40	-	-
F41	5	EPS
F42	5	ESC
F43	-	-
F44	60	ESC
F45	40	ブロー
F46	-	-
F47	-	-
F48	10	リアワイパー
F49	200	バッテリー
F50	70	C-EPS
F51	-	-
F52	-	-
F53	60	電子制御ファン

インストルメントパネルのフューズボックスラベル



番号	アンペア (A)	保護対象のユニットまたは回路
01	30	リアボディーコントロールモジュール
02	-	-
03	7.5	サーマルマネジメント用統合モジュール
04	10	診断用ポート
05	5	コンビネーションメーター
06	5	高周波受信モジュール
07	5	シフトレバーパネル
08	20	マルチメディア
09	15	外付けアンプ

6  
お手入れとメンテナンス

番号	アンペア (A)	保護対象のユニットまたは回路
10	5	ADAS
11	7.5	コンビネーションスイッチ
12	-	-
13	-	-
14	-	-
15	-	-
16	-	-
17	15	車載充電器
18	-	-
19	30	リアボディーコントロールモジュール
20	30	リアボディーコントロールモジュール
21	30	左フロントパワーシート
22	30	右フロントパワーシート
23	-	-
24	-	-
25	-	-
26	-	-
27	-	-
28	-	-
29	-	-
30	-	-
31	-	-

### アドバイス

- 車種仕様によっては、一部のフューズ（マルチメディア）のアンペア数が異なるため、修理や交換時は、現物に準じてください。

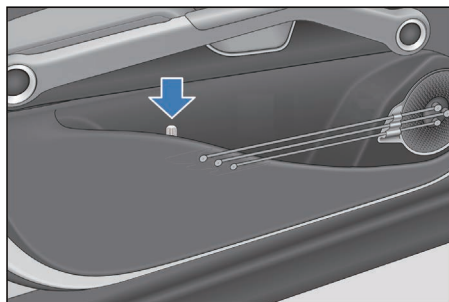
<b>7-1 故障が発生</b> .....	<b>272</b>
非常信号灯 .....	272
リモートキーの バッテリーが切れたら .....	272
緊急時シャットダウン システム .....	273
車両火災が発生したら .....	274
バッテリーの液漏れが 発生したら .....	274
レッカー移動が必要なとき ..	276
タイヤのエア漏れが 発生したら .....	278
バッテリーが切れたら .....	281
車をジャッキアップ するとき .....	283

## 非常信号灯

高速道路や踏切などで故障・事故により緊急停車したときに使用します。

### 使い方

1. 非常信号灯を助手席側ドアポケットのホルダーから取り出します。
2. 本体のスイッチを入れ、点滅を確認します。
3. 底部のマグネットで車体に設置して、後続車に危険を知らせます。



### ▲ 注意

- 強い衝撃を与えないでください。
- 底部のマグネットで車体に傷付けないようご注意ください。
- 取り付けのまま走行せず、元の保管場所に戻してください。
- 非常時に使用できるように、動作確認を定期的に行ってください。

## リモートキーのバッテリーが切れたら

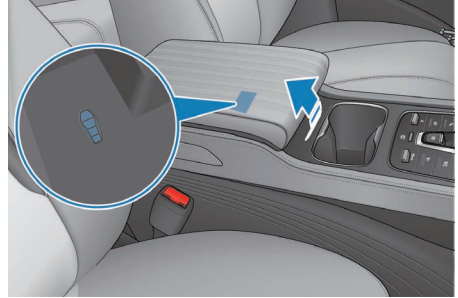
リモートキー表示灯が点滅せず、スタート機能で車を始動させることができない場合、バッテリーが切れていることが考えられます。早めにBYD正規ディーラーまたはBYD指定サービス工場でのバッテリーを交換するようおすすめします。このとき、電池レスモードで車を始動させることができます。

### ▲ 注意

- キーを温度が高いところに置かないでください。
- 固いものでキーを叩いたり、投げ付けたりしないでください。
- キーを磁気を帯びた機器から遠ざけてください。
- ドアが施錠され、イモビライザーが作動状態に入った後、車を使わない場合は、車からキーを遠ざけてください。車がキーに電波を自動的に送信し続けるため、起動バッテリーの電気エネルギーが消費されます。



1. メカニカルキーで解錠します。
2. ブレーキペダルを踏み込むと同時に、「スタート/ストップ」ボタンを押します。このとき、リモートキーシステム警告灯が点灯し、車内のブザーが1回鳴ります。
3. ブザーが鳴ってから30秒以内にリモートキーを電池レスモードのマークにかざすと、リモートキーシステム警告灯が消灯し、5秒以内に車を始動させることができます。



## 緊急時シャットダウンシステム

- 次の条件を満たした場合、緊急時シャットダウンシステムがONになり、高電圧システムが自動的にOFFになります。
  - 前方衝突後、エアバッグが作動しなかった。
  - 後面衝突。
  - 車両システム故障。
- 以上の衝突や車両システム故障が発生すると、走行可能表示灯（「OK」表示灯）はOFFになります。
- 以上の衝突で緊急時シャットダウンシステムが作動することにより、傷害または思わぬ事件の発生リスクを最大限に低減することができます。
- 一度、緊急時シャットダウンシステムがONになると、本車のシステムは走行可能状態に入らなくなります。BYD正規ディーラーまたはBYD指定サービス工場まで救援を依頼するようにしてください。電源スイッチを走行可能に切り替えても、システムはすぐにOFFになるので、早めにBYD正規ディーラーまたはBYD指定サービス工場までご連絡ください。

## 車両火災が発生したら

車両火災が発生した場合に、実際の状況に応じ、以下の方法で車の操作をしてください。

1. 電源ポジションを「OFF」にし、車から離れてください。
2. 身の安全を確保する前提で、火勢が弱い場合には、乾燥粉末消火器で鎮火し、すぐに119番に通報してください。
3. 火勢が強く、勢いよく燃え広がる場合は、ただちに車から遠く離れ、消防や救援者に対して車にはパワーバッテリーパックが搭載されていることを伝え、救援をお待ちください。

### 注意

- 車を解体する際は絶縁手袋を着用してください。指定された消火器で火を消してください。水での消化や、消火器の使い方を誤ると、感電につながるおそれがあります。
- 特別な状況により部品など（内装部品、ガラスなど）が飛ばされるおそれがある場合は、車から離れてください。また、早めにBYD正規ディーラーまたはBYD指定サービス工場に現場対応を依頼するようおすすめします。

## バッテリーの液漏れが発生したら

衝突後、バッテリーの液漏れが発生し、車内に酸性の液体の臭いがする、もしくは酸性の液体が明らかに流出し、バッテリーパック内部から煙が出ている場合：

1. 電源ポジションを「OFF」にし、可能であればボンネットを開けて、起動バッテリーを切り離してください。
2. ただちにBYD正規ディーラーまたはBYD指定サービス工場までご連絡いただき、消防や救援者に対して車にはパワーバッテリーパックが搭載されていることを伝え、救援を要請するようにしてください。

## 衝突事故が発生したら

衝突事故が発生した場合に、実際の状況に応じ、以下の方法で車の操作をしてください。

1. 電源ポジションを「OFF」にし、可能であればボンネットを開けて、起動バッテリー（12V）を切り離してください。

2. ただちに BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場までご連絡いただき、救援をご要請してください。
3. 状況が許せば、自ら簡単な点検を行ってください。例えば、パワーバッテリートレイの縁に割れがないか、明らかな液体の流出がないかなど。
  - いずれの場合でも高電圧部品の破損が識別できるわけではないため、破損した部品やアクセサリや他の金属品をそれらの部品に触れさせてはいけません。
  - 漏れた液体が身体に付着したときは、ただちに大量の水で 10 ～ 15 分ほど洗い流してください。痛みを感じた場合は、2.5% のグルコン酸カルシウムジェルを塗り付け、または 2 ～ 2.5% のグルコン酸カルシウム溶液に浸け、痛みを止めます。効果がなく、気分が悪いときは、すぐに医師の手当てを受けてください。
  - 絶対にオレンジ色の高電圧ケーブルや他の高電圧部品に対し勝手に作業をしないでください。高電圧システム作業の資格を取得している BYD 指定サービス工場にのみ高電圧システムに対する作業を依頼してください。
  - 絶対にオレンジ色の高電圧ケーブルの破損、変更、取り外し、または高電圧配線網からの切り離しをしないでください。
  - 必ず消防隊員や救援者に対して車にパワーバッテリーパックが搭載されていることを伝えてください。

**警告**

- 漏れ出した液体を触らず、液漏れした場所の車やパワーバッテリーから遠く離れてください。
- 漏れ出した液体は、水や土壌などへみだりに流さないでください。
- 本車のシステムは、高電圧の直流電源を使います。車を始動させる前後および車の電源ポジションを OFF にしたとき、システムには大量の熱が発生するため、高電圧や高温に気を付けてください。
- 高電圧のバッテリー部品および接続ケーブルに対し、解体、移設や変更をしないでください。コネクタによって、重度のやけどや感電が起これ、怪我や死亡につながるおそれもあります。オレンジ色の接続ケーブルは、高電圧ワイヤーハーネスです。ドライバーは、自ら車の高電圧システムを修理してはなりません。修理が必要な場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場での修理を行うようおすすめします。
- 車のリモートキー、高電圧部品は、身体に医療機器が付いている方に影響をおよぼし、傷害を負わせるおそれがあります。

### ⚠ 警告 (続き)

- 高電圧部品および高電圧ケーブルが露出しているときは絶対に触れないでください。
- 走行中、床下に強い衝撃を受けたときは、安全な場所に停車し、損傷が無い点検してください。床下に損傷が見られる場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場までご連絡ください。
- 事故により車両が損傷した場合は、車両から離れて BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場までご連絡ください。
- 事故により車両が損傷し、板金・塗装による修理が必要な場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場までご連絡ください。

## レッカー移動が必要なとき

レッカー車でけん引し移動する必要がある場合は、BYD 指定サービス工場またはけん引サービス専門業者、もしくはご入会のロードサービスに救援を依頼するようにしてください。

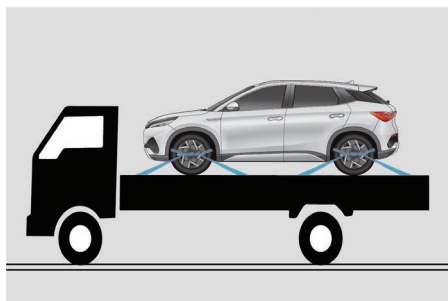
### ⚠ 警告

- ロープやチェーンだけでのけん引を他の車に依頼しないでください。

通常のけん引方法：

#### ■ 積載車

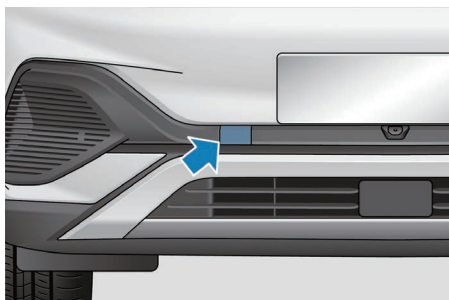
- 故障で車をけん引する必要がある場合に、積載車を選ぶ方が最適です。前輪の回転により高電圧部品が破損するおそれがあります。



## けん引フック

けん引フックの取り付け位置は図の通りです。

1. マイナスドライバーで取り付け位置のカバーを開けます。
2. けん引フックを差し込み口に取り付けます。



### **i** アドバイス

- けん引フックによる車の搬送をおすすめしません。できればけん引サービス専門業者、またはご入会のロードサービスに救援を依頼するようにしてください。
- 車載工具に入っているけん引フックのみ使用してください。そうしないと、車を破損させるおそれがあります。

## タイヤのエア漏れが発生したら

- ゆっくり速度を落とし、直線走行を保ちながら、交通量の多い場所を離れ、車を安全な場所に持って行ってください。
- 車を堅固で平坦な地面に駐車し、高速道路の中央分岐に停車しないようにしてください。
- 電動パーキングブレーキスイッチを引き、「P」ボタンを押します。
- 電源ポジションを「OFF」にし、ハザードランプを点滅させます。高速道路では三角表示板を置き、非常信号灯を使用して、後続車に危険を知らせてください。
- 乗員の全員が車を降り、ガードレールの外など安全な場所に避難します。
- 自然発車を防ぐために、車を確実に固定します。エア漏れのタイヤの対角線上にあるタイヤのところに輪留めを設置するようにしてください。



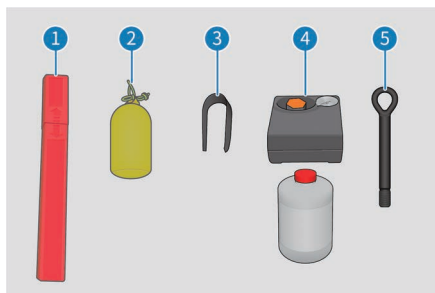
### ▲ 注意

- タイヤからエアが漏れたまま車を運転し続けしないでください。短距離の走行でも修復できないほどタイヤを破損させるおそれがあります。

### 車載工具

車載工具は、テールゲートの下の工具箱に格納しています。

車載工具は、三角表示板、反射ベスト、ホイールナットキャップの取り外しクリップ、タイヤ補修キット、けん引フックなどを用意しています。



### i アドバイス

- 故障で緊急停車する場合は、車載工具に入っている反射ベストを早めに着用してください。

## 三角表示板の設置

### **i** アドバイス

- 故障や電欠でやむなく道路上に駐停車する場合は、後方車両に知らせるために、三角表示板の赤い反射部を後方車両進行方向に向け、車両後部から 50m 以上離れたところに設置するように心がけてください。移動の準備ができれば、三角表示板を回収してください。

三角表示板は、後方車両に危険を知らせ、後方車両が速すぎたり、早めにスピードを落とさなかったことにより、停止中や修理中の前方車両に衝突したりすることを避けるためのものです。

三角表示板の使い方：

1. ケースから三角表示板を取り出します。
2. 三角表示板を組み立てます。
3. 三角表示板の足を広げます。設置後の状態を図に示します。



### パンク修理剤\*

- パンク修理剤は、小さいパンク穴、特にトレッドパターン内の穴を塞ぐことができます。パンク修理剤で補修するのは、最寄りのサービス工場まで走行できる状態まで復旧するための応急処置にすぎません。タイヤからエアが漏れていないとしても、緊急時の短距離走行に対応するだけです。

### **A** 警告

- タイヤ補修キットは、トレッドパターン内に開いた直径 6mm までの穴を補修することができます。直径が 6mm より大きい穴、またはタイヤの他の位置に開いた穴では、この補修キットを使わずにロードサービスを依頼してください。
- パンク修理剤は、引火性が高く、かつ健康に害をおよぼすため、蒸気を吸い込まないでください。修理中は、裸火の使用や喫煙を禁止し、皮膚や服、目に付着することを避けてください。また、お子様の手が届かないところに保管してください。

**▲ 警告 (続き)**

パンク修理剤に触れたとき：

- パンク修理剤が皮膚や目に付着した場合は、ただちに多量の水で付着部位を洗い流してください。
- ただちに汚れた服を脱いでください。
- アレルギー症状が出た場合は、ただちに医師の手当てを受けてください。
- 誤ってパンク修理剤を飲み込んだ場合は、ただちにうがいで口の中をきれいに洗い、また、多量の水を飲んでください。吐かせずにただちに医師の手当てを受けてください。

- パンク修理剤の使い方について、詳細は空気自動補充・パンク修理剤の取扱説明書を読んでください。

**i アドバイス**

- パンク修理剤で破損したタイヤを補修するのは、応急処置だけで、できるだけ早く専門のサービス工場でタイヤを交換してください。BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に連絡するようおすすめします。タイヤの中にパンク修理剤が入っていることについては、整備士に伝えてください。
- この場合、急発進や高速でカーブを曲がることを避けなければなりません。
- 80km/h の最高制限速度を守ってください。走行中に激しい振動が発生したり、走行性能が不安定になったり、騒音が聞こえたりした場合は、車を運転し続けしないでください。
- パンク修理剤の有効期限が切れるとき（有効期限はパンク修理剤の容器に付いているラベルを参照）、新品のパンク修理剤に入れ替えてください。
- タイヤ補修キットで補修した後、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場から新品のパンク修理剤を購入するようおすすめします。

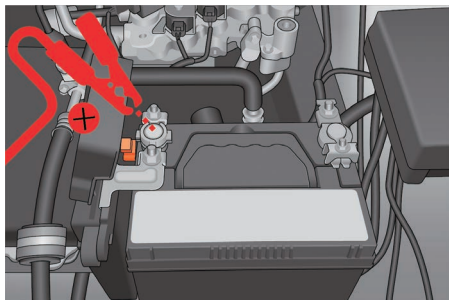


## バッテリーが切れたら

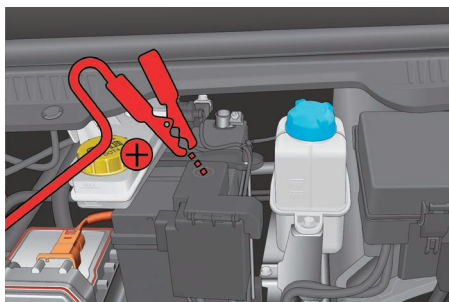
### 起動バッテリーが消耗している場合

車が起動バッテリーの電圧不足で始動できない場合は、下記の手順で始動させてください。

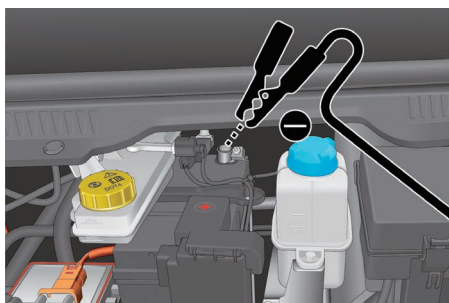
1. ボンネットを開けます。(ボンネットの開け方の内容を参照)
2. 赤い正極 (+) ブースターケーブルの片側を故障車の電圧がかかっていないバッテリーの正極 (+) 端子に接続します。



3. 赤い正極 (+) ブースターケーブルのもう片側を救援車の電圧がかかっているバッテリーの正極 (+) 端子に接続します。



4. 黒い負極 (-) ブースターケーブルの片側を救援車の電圧がかかっているバッテリーの負極 (-) 端子に接続します。



5. 黒い負極 (-) ケーブルのもう片側を自車の適切な接続部 (きれいで塗装されていない、しっかりと接地された金属部分) に接続します。
6. まず、救援車を始動させ、一定の時間が経った後、自車を始動させます。

7. 自車が正常に始動した後、救援車の電源を OFF にして、ブースターケーブルの接続と逆の順にブースターケーブルを取り外し、しまっておきます。
8. ボンネットを閉めます。

**⚠ 警告**

- ブースターケーブルの接続、取り外しの手順を誤ると、電気のショートが発生し、車を破損させたり、人に怪我を負わせたりするおそれがあります。
- ジャンピングスタート時、ショートの発生を避けるために、ブースターケーブルが互いに接触したり、ケーブル接続部以外の導電部位に当たったりすることがないようにしてください。
- 起動バッテリーを交換するときは、必ず同じ型式と交換し、しっかりと固定してください。固定が充分できていないと、ショートなどの原因となるおそれがあります。
- ブースターケーブルは、救援車の振動で外れたりしないように確実に接続してください。
- ブースターケーブルをつなぐまたは外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

**⚠ 注意**

- ジャンピングスタートを複数回行っても、故障車が始動できない場合は、BYD 正規ディーラーまたは BYD 指定サービス工場に対応を依頼してください。
- ジャンピングスタート時の救援車はバッテリーの定格電圧が 12V でなければなりません。

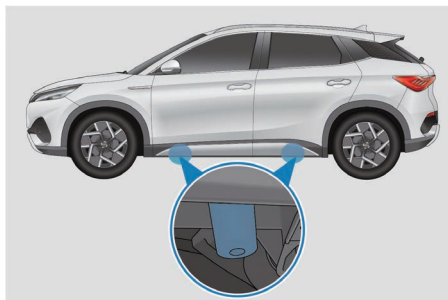
## 車をジャッキアップするとき

### 車両にサポートが必要な場合

リフトやジャッキで車を持ち上げる必要がある場合は、図に示すジャッキアップポイントにリフトアームやジャッキをセットしてください。

安全を確保するために、リフトやジャッキで車を持ち上げる前に、下記に示すことに注意する必要があります。

- 車を堅固で平坦な地面に駐車してください。
- 車の電源ポジションを「OFF」に切り替えて、乗員は車から降ります。
- ジャッキで車を持ち上げるとき、車がずれるのを防ぐために、フロントホイールの前側、またはリアホイールの後側に輪止めを設置する必要があります。



### ⚠ 警告

- リフトアームやジャッキをパワーバッテリーの上に置かないください。
- リフトやジャッキで車を持ち上げるとき、安全確認をきちんとしてください。車を破損させたり、人に傷害を負わせたりするおそれがあります。
- ジャッキで車を持ち上げるとき、身体を車の下に入れてはいけません。
- ジャッキアップ中は電源ポジションを「ON」にしないでください。車が発進し、重大な事故につながるおそれがあります。
- 充電中でなくても、充電ケーブルを接続しているときに、車を持ち上げないでください。
- ボルトやナットにエンジンオイルや潤滑油を使用しないでください。ナットを締めすぎてボルトが損傷する、またはナットが緩んでホイールが脱落し、事故につながるおそれがあります。



<b>8-1 データ情報</b> .....	<b>286</b>
車両諸元.....	286
車両の表示.....	289
<b>8-2 指示メッセージ</b> .....	<b>291</b>
警告ラベル.....	291
マイクロ波通信用 ウィンドウ.....	293
<b>8-3 適合証明</b> .....	<b>294</b>
リモートキー.....	294

## 車両諸元

### 車両諸元明細

#### 車両寸法：

全長 (mm)	4455
全幅 (mm) (ドアミラーを含まない)	1875
全高 (mm)	1615
ホイールベース (mm)	2720
フロントトレッド (mm)	1575
リアトレッド (mm)	1580
フロントオーバーハング (mm)	888
リアオーバーハング (mm)	847
アプローチアングル (°)	19
デパーチャーアングル (°)	24

#### 車両重量：

車両重量 (kg)	1750
車両総重量 (kg)	2025
車両総重量前軸荷重 (kg)	1030
車両総重量後軸荷重 (kg)	995
乗車定員 (人)	5

#### 駆動モーターの諸元：

型式	TZ200XSQ
種類	永久磁石同期モーター
駆動方式	4 × 2 前輪駆動
定格出力 / 回転数 / トルク (kW/rpm/ N・m)	65/4433/140
最高出力 / 回転数 / トルク (kW/rpm/ N・m)	150/4620/310

**動力性能データ：**

最高速度 (km/h)	160
最大登坂角度 (%)	30

**車両の経済性データ：**

WLTC モード時の百 km 当たりの消費電力量 (kW・h/100km)	≤12
WLTC モード時の航続可能距離 (km)	470

**▲ 注意**

■ 消費電力量の実績は、車の状況、道路条件、運転習慣などにかかわっています。

**ホイールとタイヤの諸元：**

タイヤの呼び	235/50R18 ; 215/55R18
タイヤ空気圧 (kPa)	250
ホイールバランス (g)	≤10

**ホイールアライメント調整値 (車両重量時)：**

フロントタイヤキャンバー角 (°)	-0.9 ± 0.75
フロントタイヤトーイン (°)	0.116 ± 0.16
キングピン角 (°)	11.47 ± 0.75
カスター角 (°)	3.23 ± 0.75
リアタイヤキャンバー角 (°)	-1.07 ± 0.5
リアタイヤトーイン (°)	0.17 ± 0.2

**ブレーキシステム技術諸元：**

ブレーキペダルの遊び (mm)	≤5
フロントディスクローターの厚みの適正範囲 (mm)	24 ~ 26
リアディスクローターの厚みの適正範囲 (mm)	10 ~ 12
フロントディスクパッドの厚みの適正範囲 (mm)	2 ~ 8
リアディスクパッドの厚みの適正範囲 (mm)	2 ~ 6.5

**パワーバッテリー諸元：**

パワーバッテリータイプ	リン酸鉄リチウムイオンバッテリー
パワーバッテリー定格容量 (Ah)	150

**油脂類諸元：**

メンテナンス項目	型番 / 規格
トランスミッションオイルの型番	Castrol BOT384 (推奨)、 Castrol ON D2
トランスミッションオイルの注入量 (mL)	600 ± 50
モーター冷却水の規格	エチレングリコール系有機酸冷却液 -25/-40
モーター冷却水の注入量 (L)	3.9 ± 0.1
ブレーキフルードの規格	DOT4、または HZY6
ブレーキフルード注入量 (mL)	1050 ± 50

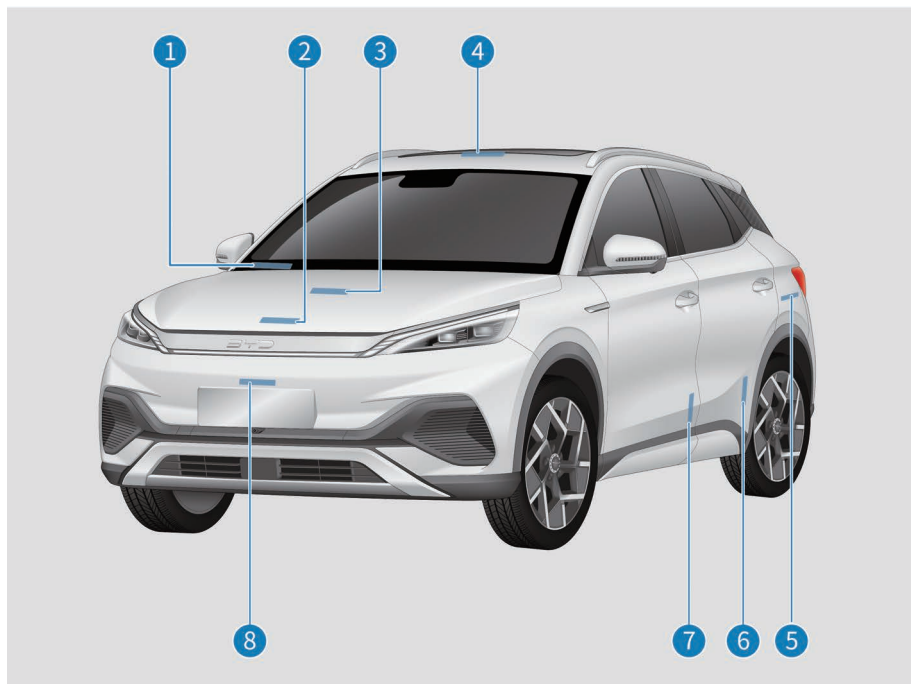
**シート諸元 (クッション深さ測定時)：**

フロントシートの設定 シートバック角度	23°
フロントシートの設定シート前後位置	設計位置から前へ 200mm、 後ろへ 60mm、レール傾角 4.5°
フロントシートバックの通常使用状態	シートバックが設計位置から 前へ 22.5°、後ろへ 52.5°
リアシートの設定シートバック角度	27°
リアシートの設定シート前後位置	設計状態で、調節不可 (解錠後に倒す)
リアシートバックの通常使用状態	27°



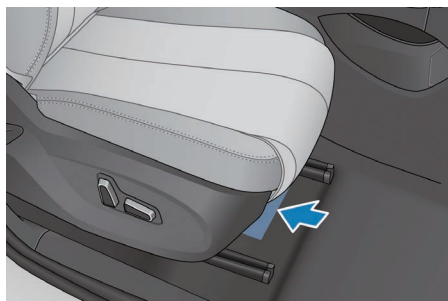
## 車両の表示

### 車両識別番号 (VIN コード)



- ① 右側フロントガラスのクロスシル、アッパーパネルのVINコード溝に貼ってあります。
- ② トランスミッションの本体に貼ってあります。
- ③ ボンネット内の板金表面に貼ってあります。
- ④ テールゲート板金の右下に貼ってあります。
- ⑤ 左リアタイヤのフェンダ表面に貼ってあります。
- ⑥ 左リアドアのサイドシル内側板金の表面に貼ってあります。
- ⑦ 左フロントドア左下のドア内側に貼ってあります。
- ⑧ フロントクロスメンバーの板金表面に貼ってあります。

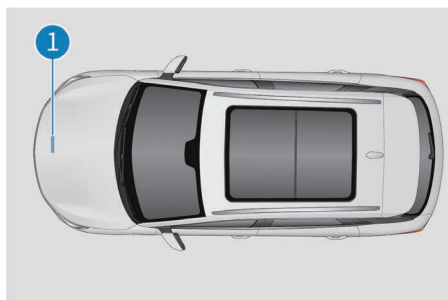
VIN コードは右側フロントシート下側のメンバーに刻印されています。



注) 車両 VDS の接続を通じて、車種を選定してから、右上で車両識別番号 (VIN) を読み出します。詳細は VDS 取扱説明書を参照してください。

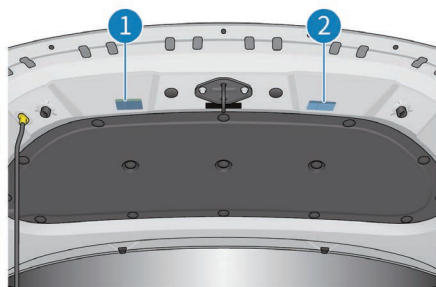
### 駆動モーターの型式および番号

- 1 駆動モーターの型式および番号は、ボンネット真下のストライカー近くに付いています。

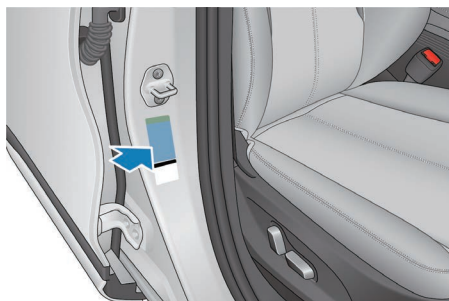


## 警告ラベル

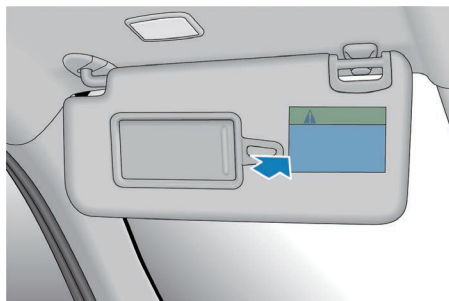
- ① 空調システム、冷却ファンラベル
- ② バッテリー搭載位置ラベル



サイドエアバッグ警告ラベルは、左右Bピラーのドアロックストライカーの下側に貼ってあります。



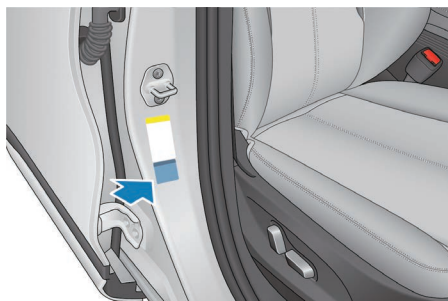
エアバッグ警告ラベルは、左側サンバイザーの表側・裏側に貼ってあります。



### ⚠ 警告

■ 絶対に前側にエアバッグが装備されているシートで後向きにチャイルドシートを使わないでください。お子様の死亡や重傷につながるおそれがあります。

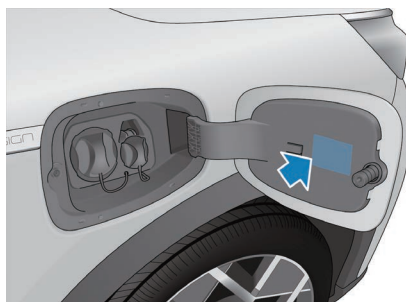
タイヤ空気圧ラベルは右側 B ピラーのドアロックストライカーの下側に貼ってあります。



チャイルドロックのマークは、左/右リアドア板金の表面に刻印しています。

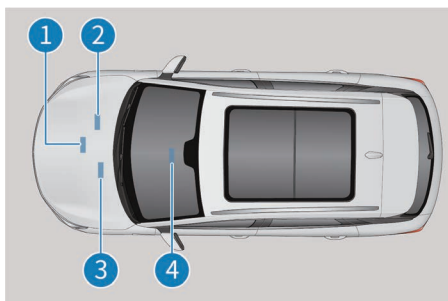


充電コネクタの警告ラベルは、充電ポートフラップ裏側の表面に貼ってあります。



### ■ 高電圧ラベル

- ① 高電圧ユニットのダイナミックドメインコントローラー上部のフューズカバー、モーターエンドキャップに貼ってあります。
- ② モータールーム内の AC 充電ケーブルに貼ってあります。
- ③ 高電圧ケーブルに貼ってあります。
- ④ パワーバッテリーパックのフロントカバーの上端部に貼ってあります。



## マイクロ波通信用ウィンドウ





マイクロ波通信用ウィンドウは、ウィンドウガラスの左上にあります。



### ⚠ 注意

- 車検検査標章を貼り付けるとき、ガラスのプリント部や他の物体への重なりを避けてください。

## リモートキー

	<p>ブラジル</p> <p>型番：D0-92/D1-92</p> <p>本デバイスは、有害な妨害から保護する対象外であり、また、正規認証を取得しているシステムに妨害を与えることはありません。</p>
	<p>ウズベキスタン</p> <p>型番：D0-92/D1-92</p>
	<p>EU 地域</p> <p>型番：D0-92/D1-92</p>
<p>FCC ID : 2A5DH-DAEA-92</p>	<p>アメリカ</p> <p>型番：D0-92/D1-92</p>
	<p>日本</p>

## 数字

12V アクセサリー電源 .....221

## A

ACC システムの作動条件 .....160

AC 充電スタンドでの充電 .....121

## B

Bluetooth 電話 .....230

BYD APP について .....232

BYD アラウンドビューシステム .....182

BYD インテリジェント  
音声制御機能 .....229

## D

DC 急速充電 .....123

## E

E-Call .....104

EPB 作動音 .....154

EPB システム表示灯 .....153

## N

NFC カードキー ..... 63

NFC カードでの施錠 / 解錠 ..... 69

## P

PM2.5 detection .....215

## U

USB ポート .....221

## かな

## あ

アカウント登録 .....232

アシストグリップ .....220

アダプティブクルーズコントロール  
(ACC) システム .....159

安全運転支援システム .....190

安全運転上のご注意 .....136

アンチロックブレーキシステム  
(ABS) .....194

## い

一般充電故障の診断 .....115

イモビライザー ..... 38

飲酒運転厳禁 .....136

インストルメントパネルの  
フューズボックスラベル .....269

インテリジェント

アンビエントライト .....108

インテリジェント

パワーブレーキシステム .....190

## う

ウィンドウロックキー ..... 99

ウォッシュャ .....259

運転支援スイッチユニット .....101

運転席および助手席エアバッグ ..... 24

運転前の準備について .....149

運転前の点検 .....148

運転要領 .....156

## え

エアコン操作画面 .....205

エアコンパネルイメージ .....205

エアコンパネル、カーオーディオ、  
インストルメントパネル、  
コントロールパネルとスイッチ .....248  
エアバッグが作動しないとき ..... 28

エアバッグが作動するとき …… 27  
 エアバッグについて …… 22  
 エアバッグの作動条件 …… 27  
 液晶コンビネーションメーター …… 46

お

オートビークルホールド (AVH) ……154  
 オートビークルホールド (AVH) 機能の  
 作動に必要な条件 ……155  
 オートビークルホールド (AVH) 機能の  
 待機に必要な条件 ……155

か

カーペット …… 225,247  
 回生ブレーキの設定 ……130  
 外部給電方法 …… 125,126  
 火災の予防 ……143  
 カップホルダー ……218  
 家庭用 AC 普通充電 ……117  
 冠水路の走行 ……141

き

キーについて …… 60  
 起動バッテリー (12V) ……134  
 起動バッテリーが消耗している場合…281  
 機能定義 ……208  
 機能を ON にする場合 …… 75  
 客室に荷物を積み込む場合 ……140  
 急速清浄 ……215  
 距離表示およびブザー ……186  
 緊急時シャットダウンシステム ……273

<

空気清浄システム ……214  
 空気清浄操作画面 ……214  
 空気を入れるとき ……262  
 空調システム ……260

駆動モーターの型式および番号 ……290  
 クラウドサービス APP での  
 エアコン操作 ……216  
 クルーズコントロールボタン操作 …160  
 車の運転 ……148  
 車のご利用についてのアドバイス …137  
 車の始動 ……146  
 車の第三者への譲渡、  
 およびオフラインモード …… 42  
 車を安全運転可能な状態に保つ ……137  
 車を始動する場合 …… 75  
 車をジャッキアップするとき ……283  
 グローブボックス ……217

け

警告灯 / 表示灯について …… 49  
 警告の表示について ……180  
 警告ラベル ……291  
 けん引フック ……277

こ

航続可能距離の表示 ……129  
 交通標識認識システム ……169  
 後方レーダーの電源スイッチ ……186  
 故障時のリリース機能 ……153  
 ご注意 ……162,167,170,173,180  
 個別センターおよび車両管理 ……233  
 ご利用要領 ……211  
 コンビネーションメーターイメージ… 46  
 コンビネーションランプ ……252

さ

サイドカーテンエアバッグ …… 26  
 作動状況説明 ……159  
 作動するセンサー  
 およびその検知範囲 ……187  
 サンシェードスイッチ ……106



サンバイザー	220
サンルーフスイッチ	105
サンルーフの挟み込み防止機能	107
サンルーフのメンテナンスについて	254

## し

シートについて	78
シートバックポケット	218
シートベルト	247
シートベルトについて	16
シートベルトの緊急ロック機能	17
シートベルトのプリテンション / ロードリミット機能	17
シートベルトリマインダー	20
シートベルトを着用するとき	18
ジェスチャーおよび応答	229
システムについて	179
システムの基本機能	179
システムの限界	166,172
自動緊急通報システム E-Call	104
自動洗車をするとき	246
自動で EPB がかかる	151
自動防眩ルームミラー	197
シフト機構	149
パンク修理剤	279
車載工具	278
車載されるレーダーについて	179
車内の PM2.5 濃度 および指数の表示	215
車内の人工皮革部分	248
車内の清掃	247
車両火災が発生したら	274
車両識別番号 (VIN コード)	289
車両状態および車両制御システム	233
車両諸元	286
車両諸元明細	286
車両接近通報装置 (AVAS)	196
車両データの処理	39

車両にサポートが必要な場合	283
車両の表示	289
車両の防食について	243
車両の保管	256
車両メンテナンス計画	236
集中ドアロック	99
集中ドアロックの施錠 / 解錠	73
充電上のご注意	112
充電について	111
充電方法	117
充電ポート盗難防止ロック機能	128
充電ポート盗難防止ロックの 非常解錠	129
手動で EPB を解除する	152
手動で EPB をかける	151
衝突事故が発生したら	274
初期化方法	107
助手席側ウィンドウスイッチ	101

## す

ステアリングホイール	82
ステアリングホイール コンビネーションスイッチ	82
ステアリングホイールの手動調節	87
スマートエントリー & スタートシステム	75
スマート充電機能	124

## せ

セキュリティ表示灯	38
セルフメンテナンス	250
セルフメンテナンス上のご注意	250
センサータイプ	186
洗車	245
前席サイドエアバッグ	25
センターコンソールボックス	218

そ

走行距離切替スイッチ ……100  
 速度の抑制 ……137

た

タイヤ ……262  
 タイヤ空気圧モニタリング ……179  
 タイヤチェーン ……145  
 タイヤとホイールの交換 ……265  
 タイヤの位置交換 ……264  
 タイヤのエア漏れが発生したら ……278

ち

チャイルドロック …… 77  
 駐車支援システム ……185

つ

使い方 ……165

て

手洗い洗車をするとき ……245  
 定期メンテナンス ……243  
 低速移動モード ……156  
 データの収集および処理 …… 39  
 テールゲートスイッチ ……100  
 テールゲートの緊急時解錠 …… 72  
 テールゲートの施錠 / 解錠 …… 70  
 電気の省エネで  
 車を長持ちさせる方法について ……138  
 点検 …… 251,263  
 電動ドアミラー ……198  
 電動パーキングブレーキ (EPB) ……151  
 電動フロントシートの調節 …… 79

と

ドアおよびドアガラス ……248

ドアの施錠 / 解錠 …… 64  
 ドアポケット ……217  
 ドアミラーの調整ボタン ……198  
 冬期の運転について ……158  
 当局への個人情報開示 …… 42  
 塗装メンテナンスのお願い ……244  
 ドライブレコーダー ……200  
 ドライブレコーダーの映像 ……201  
 トランクルームに  
 荷物を積み込む場合 ……141  
 トレーラーのけん引 ……136

な

ナビゲーションバー ……228  
 ナビゲーションパイロット ……174  
 慣らし運転期間 ……136

に

荷物の積み込み ……140

の

ノブ操作でドアを開けるとき …… 64

は

ハイビームアシストシステム …… 92  
 ハザードランプスイッチ ……102  
 挟み込み防止機能 …… 98  
 発車時に自動的に EPB を解除する ……152  
 バッテリーが切れたら ……281  
 バッテリー特性 ……131  
 バッテリーの液漏れが発生したら ……274  
 バッテリーの使い方について ……132  
 パノラマサンルーフ ……105  
 パノラマサンルーフの  
 メンテナンスについて ……254  
 パワーウィンドウスイッチ …… 96  
 パワーステアリングモードの設定 …… 87

パワーバッテリー	131
パワーバッテリーの回収	134

## ひ

ヒーターシステム	79
非常信号灯	272
左側 / 右側リアルームランプ	
スイッチ	108
表示灯 / 警告灯の標識	47

## ふ

ファイル管理	231
吹き出し口	213
普通のサンルーフの	
メンテナンスについて	255
フューズ	266
ブラインドスポット	
インフォメーション	176
ブレーキシステム	259
フロントエアコン操作画面	207
フロント側 USB ポート	221
フロント側サイド吹き出し口	213
フロント側中央吹き出し口	213
フロントシートの調節	79
フロントルームランプ	108
フロントワイパーとウォッシュャ	94

## へ

ヘッドライトの高さ調節	93
ヘッドレスト	81
ヘッドレストの調節	81

## ほ

ボンネット	257
ボンネットの開け方	257

## ま

マイクロスイッチ操作での	
施錠 / 解錠	68
マイクロスイッチ操作での	
窓開 / 閉	69
マイクロ波通信用ウィンドウ	293
マルチメディアコントロール	
パネル PAD	226

## め

メーターのその他故障について	57
メーターの表示	172
メーター表示灯	47
メカニカルキー	62
メカニカルキーでの施錠 / 解錠	64
メカニカルキーでの全ドア緊急施錠	74
メンテナンス	264
メンテナンス計画について	237
メンテナンス細則	261
メンテナンス周期	
およびメンテナンス内容	236
メンテナンス周期表	237

## も

モータールームの	
フューズボックスラベル	267
モードスイッチユニット	102

## ゆ

ユーザーのデータ保護の権利	43
---------------	----

## よ

幼児用補助装置	
(チャイルドシート)	33
幼児用補助装置の取り付けについて	34
予測緊急ブレーキシステム	165

ら

ライトスイッチ ..... 88

り

リア側 USB ポート .....221  
 リア側吹き出し口 .....213  
 リアシートの収納 ..... 80  
 リアシェルフ .....224  
 リアワイパーとウォッシュャ ..... 95  
 リモートキー ..... 60,294  
 リモートキー操作での施錠 / 解錠 ... 65  
 リモートキーのバッテリーが  
 切れたら .....272  
 リモートキーの  
 「リモートスタート機能」 .....147  
 リモートキーのリモコン操作での  
 窓開 / 閉 ..... 67  
 リモートスタート機能 .....147

る

ルームミラー .....197  
 ルームランプスイッチ .....108

れ

冷却システム .....258  
 レーンサポートシステム .....171  
 レッカー移動が必要なとき .....276

わ

ワイパー .....199  
 ワイパースイッチ ..... 94  
 ワイパーブレード .....260  
 ワイパーブレードの交換 .....199  
 ワイヤレス充電エリア .....222

## 略語

略語	名称	略語	名称
ECU	エレクトロニック コントロールユニット	ISOFIX	幼児用補助装置 固定システム
ABS	アンチロック ブレーキシステム	AUTO	自動
ACC	アダプティブクルーズ コントロール *	USB	ユニバーサルシリアルバス
ECO	エコモード	NORMAL	ノーマルモード
SPORT	スポーツモード	SOC	パワーバッテリー残量
AVH	オートビークルホールド	EPB	電動パーキングブレーキ
PCW	衝突予測警告	AEB	自動緊急ブレーキ
BSD	ブラインドスポット インフォメーション	RCTA	リアクロス トラフィックアラート
DOW	ドアオープンワーニング	TPMS	タイヤ空気圧 モニタリングシステム
VDC	ビークルダイナミクス コントロール	TCS	トラクション コントロールシステム
HHC	ヒルスタートホールド コントロール	HBA	ハイドロリック ブレーキアシスト
CDP	減速度制御	HDC	ヒルディセント コントロール
PM2.5	空気浄化システム	MAX	最大値
MIN	最小値	VIN	車両識別番号

